

技術的条件集

第 18.0 版

令和 2 年 4 月 1 日

KDD I 株式会社

技術的条件集 目次

技術的条件集

第1章 通則

- 第1条 用語の定義
- 第2条 標準的な接続個所
- 第3条 相互接続呼の接続条件

第2章 形態別接続条件

第1節 対移動体事業者接続用インタフェース仕様

- 第4条 網構成
- 第5条 接続方式
- 第6条 信号方式
- 第7条 接続シーケンス
- 第8条 輻輳制御方式
- 第9条 伝送装置間インタフェース仕様
- 第10条 その他接続に必要な事項

第2節 対地域／国際事業者接続用インタフェース仕様

- 第11条 網構成
- 第12条 接続方式
- 第13条 信号方式
- 第14条 接続シーケンス
- 第15条 輻輳制御方式
- 第16条 伝送装置間インタフェース仕様
- 第17条 その他接続に必要な事項

第3節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（WIN方式）

- 第18条 網構成
- 第19条 接続方式
- 第20条 その他接続に必要な事項

第4節 対移動体事業者SMS接続用インタフェース仕様

- 第21条 網構成
- 第22条 接続方式
- 第23条 信号方式

第24条 接続シーケンス

第25条 伝送装置間インタフェース仕様

第26条 その他接続に必要な事項

第5節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（LTE方式）

第27条 網構成

第28条 接続方式

第29条 その他接続に必要な事項

第6節 対移動体事業者IP接続用インタフェース仕様

第30条 網構成

第31条 接続方式

第32条 その他接続に必要な事項

第7節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（5G（NSA）方式）

第33条 網構成

第34条 接続方式

第35条 その他接続に必要な事項

技術的条件集別表（対移動体事業者接続用インタフェース仕様）

別表1. 対移動体事業者接続用インタフェース

別表2. M T P仕様

別表3. I S U P仕様

別表4. 接続シーケンス

別表5. 伝送装置間インタフェース仕様

技術的条件集別表（対地域／国際事業者接続用インタフェース仕様）

別表6. 対地域／国際事業者接続用インタフェース

別表7. M T P仕様

別表8. I S U P仕様

別表9. 接続シーケンス

別表10. 伝送装置間インタフェース仕様

技術的条件集別表（対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（W I N方式））

別表11. 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（W I N方式）

技術的条件集別表（対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（L T E方式））

別表11の2. 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（L T E方式）

技術的条件集別表（対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（5G (NSA)方式））

別表11の3. 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（5 G (N S A)方式）

技術的条件集別表（対移動体事業者SMS接続用インタフェース仕様）

別表12. 対移動体事業者SMS接続用インタフェース

別表13. M T P仕様

別表14. 制御プロトコル仕様

別表15. 接続シーケンス

別表16. 伝送装置間インタフェース仕様

技術的条件集別表（対移動体事業者I P接続用インタフェース仕様）

別表17. 対移動体事業者I P接続用インタフェース仕様

第1章 通則

(用語の定義)

第1条 この技術的条件集においては、次表の左欄の用語はそれぞれの右欄の意味で使用することを示す。

用語	意味
(1) 形態	接続インタフェースごとにインタフェース種別を区別した概念
(2) 分類	<p>接続番号を電気通信番号規則(令和元年総務省令第4号)に規定する電気通信番号ごとに区別した概念</p> <p>分類と電気通信番号の対応は次のとおりとする</p> <p>分類1 携帯電話系番号：携帯電話事業者が利用する携帯電話に係る端末系伝送路設備を識別するための電気通信番号 (無線設備規則第3条第1号に規定する携帯無線通信による電気通信役務の提供の用に供するものに限る)</p> <p>分類2 端末系番号：端末系事業者が利用する固定端末系伝送路設備を識別するための電気通信番号もしくはIP電話事業者が利用するIP電話に係る音声伝送役務を識別するための電気通信番号</p> <p>分類3 PHS系番号：PHS事業者が利用するPHSに係る端末系伝送路設備を識別するための電気通信番号 (電波法施行規則第六条第四項第六号に規定するPHSの陸上移動局との間で行われる無線通信による電気通信役務の提供の用に供するものに限る)</p> <p>分類4 国際系番号：国際系事業者(電気通信番号規則(令和元年総務省令第4号)別表第10号に規定する電気通信番号を有し、国際電気通信サービスを提供する事業者)が利用する電気通信回線設備を識別するための電気通信番号</p> <p>分類5 中継系番号：中継事業者が利用する電気通信回線設備を識別するための電気通信番号</p> <p>分類6 サービス系番号：フリーダイヤル等をはじめとした各サービスを識別する電気通信番号</p>

	分類7 IP電話系番号：IP電話事業者が利用するIP電話に係る音声伝送役務を識別するための電気通信番号
(3) 地域/国際事業者接続用インタフェース	国内固定事業者・国内中継事業者・国際事業者が接続する時に適用するインタフェース種別
(4) 移動体事業者接続用インタフェース	携帯電話事業者、PHS事業者が接続する時に適用するインタフェース種別
(5) パケットデータ直取ユーザインタフェース	パケットデータ直取接続する時に適用するインタフェース種別
(6) 移動体事業者SMS接続用インタフェース	携帯電話事業者、PHS事業者がSMS接続する時に適用するインタフェース種別
(7) 移動体事業者IP接続用インタフェース	携帯電話事業者がIP接続する時に適用するインタフェース種別
(8) 網	通信の用に供することを目的として伝送交換を行うための電気通信設備の集合体
(9) 直接協定事業者	当社移動体網と直接接続している協定事業者のうちの当事者
(10) 対応網	2つの信号端局を直接接続した信号リンクで信号を転送する網
(11) MGS (Mobile Gateway Switch)	直接協定事業者網と相互接続する当社移動体網の交換機
(12) GS (Gateway Switch)	当社移動体網と相互接続する直接協定事業者網の交換機
(13) CIC (Circuit Identification Code)	同一方路に設定される回線に付与された番号
(14) TGN (Trunk Group Number)	同一方路に設定される回線の集合を表す番号
(15) 共通線信号方式 (No. 7信号方式)	通信回線とは別に通信を制御するための情報を転送する専用の信号リンクを設け、これを通して信号メッセージを転送する方式
(16) 発側網	1つの網への入接続時にその網より前位にある網
(17) 着側網	1つの網への入接続時にその網及びその網より後位にある網
(18) 携帯・電話端末	携帯電話系番号を有する端末
(19) PHS端末	PHS系番号を有するPHS端末
(20) CAコード	電気通信事業者共通の単位料金区域 (Charge Area) を与えられた5桁の識別コード
(21) 事業者識別コード	電気通信事業者共通の事業者ごとの識別コード
(22) TTC標準	社団法人情報通信技術委員会 (TTC) において制定された標準の名称
(23) 中継交換機接続	中継交換機と直接協定事業者網を本則の標準的な接続箇所に定める中継交換機の伝送装置において接続する形態
(24) 付加サービス	当社サービス契約約款に基づく付加機能サービス

(25) J I S規格	工業標準化法（昭和24年法律第185号）に基づき制定された規格の名称
(26) 発事業者網	1つの電気通信番号を発信接続する事業者の網
(27) 着事業者網	1つの電気通信番号を着信接続する事業者の網
(28) M N P（Mobile Number Portability）	携帯電話もしくはPHSの利用者がサービスの提供を受ける電気通信事業者を変更した場合において、利用者に付与された電気通信番号を変更することなく変更後の携帯電話事業者もしくはPHS事業者のサービスを利用できること。なお、同一国内に存在する携帯電話事業者もしくはPHS事業者間の変更のみが対象である。
(29) M N P接続（転送方式）	M N Pにより携帯電話事業者もしくはPHS事業者を変更した利用者への着信の場合に、発側網がリダイレクション実行可能通知を行わなかった場合において移転元網がネットワークルーティング番号を設定した信号を移転先網へ送出し、中継接続を行う。
(30) M N P接続（リダイレクション方式）	M N Pにより携帯電話事業者もしくはPHS事業者を変更した利用者への着信の場合に、発側網がリダイレクション実行可能通知を行った場合において移転元網が発側網へネットワークルーティング番号を通知して発側網が回線切り戻しを起動して移転先網への接続を行う。
(31) 移転元網	携帯電話もしくはPHSの利用者が使用する電話番号の番号帯を総務省から割り当てられた携帯電話事業者もしくはPHS事業者であり、且つその番号帯の各電話番号の移転先事業者を管理する網
(32) 移転先網	携帯電話もしくはPHSの利用者が、M N Pにより携帯電話事業者もしくはPHS事業者を変更して契約される事業者の網
(33) ネットワークルーティング番号（NRN）	移転先網に呼をルーティングさせるために利用する番号
(34) 3 G P P（Third Generation Partnership Project）	第3世代（3G）移動体通信システムの仕様・作成を行うプロジェクト
(35) 3 G P P 2（Third Generation Partnership Project 2）	
(36) G S M-M A P（Global System for Mobile Communications-Mobile Application Part）	3G P P仕様の携帯電話に使われているモビリティ制御のための信号プロトコル
(37) S M S（Short Message Service）	携帯電話もしくはPHS系番号を送受信のために用いて、数字及び記号その他任意の文字を伝送交換するサービス

(38) I W S G (Interwork SMS Gateway)	3 G P P仕様を利用してSMS接続を行う直接協定事業者網と接続する当社移動体網の信号変換装置
(39) T r G W (Transaction GateWay)	直接協定事業者網とI P相互接続する当社移動体網の音声処理用の中継交換機
(40) I B C F (Inter-connection Border Control Function)	直接協定事業者網とI P相互接続する当社移動体網の信号処理用の中継交換機

(標準的な接続箇所)

第2条 本則に規定する標準的な接続箇所は次のとおりとする。

標準的な接続箇所	技術的条件
(1) 中継交換機の伝送装置	技術的条件集第2章第1節、第2節、第6節に規定するところによる。
(2) 直取パケット交換機に接続される帯域制御装置	技術的条件集第2章第3節、第5節に規定するところによる。
(3) 文字メッセージ通信用信号変換装置の伝送装置に接続される伝送装置	技術的条件集第2章第4節に規定するところによる。

(相互接続呼の接続条件)

第3条 当社移動体網の接続インタフェース種別と直接協定事業者との接続箇所ごとの接続番号の関係は次表に示すとおりとする。次表の中の「入」は、その接続箇所と接続番号において直接協定事業者網から当社移動体網への接続(以下、「当社移動体網入接続」という。)が可能であることを示す。また次表の中の「出」は、その接続箇所と接続番号において当社移動体網から直接協定事業者網への接続(以下、「当社移動体網出接続」という。)が可能であることを示す。

インタフェース種別 接続番号	中継交換機接続 インタフェース			対パケット データ直収 ユーザインタ フェース	対移動体事 業者SMS 接続用インタ フェース
	対移動体事 業者接続用 インタフェ ース	対地域/国 際事業者接 続用インタ フェース	対移動体事 業者IP接 続用インタ フェース		
分類1(0A0-CDE~) 携帯電話系番号	出入	入	出入	-	出入
分類2(0A~J) 端末系番号	-	出	-	-	-
分類3(0A0-CDE~) PHS系番号	出入	入	出入	-	出入
分類4(00XY~) 国際系番号	-	出	-	-	-
分類5(00XY~) 中継系番号	-	出	-	-	-
分類6(0AB0~) サービス系番号	-	出	-	-	-
分類7(0A0-CDE~) IP電話系番号	-	出	-	-	-

凡例ー：規定しない

第2章 形態別接続条件

第1節 対移動体事業者接続用インタフェース仕様

(網構成)

第4条 当社移動体網と直接協定事業者網間の回線網の構成は次のとおりとする。

- (1) MGSとGSとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとする。
- (2) 1つの相互接続点の接続対象地域内にMGSが複数ある場合は、1つのGSがその接続対象地域内にある全てのMGSと接続することを可能とし、1つの相互接続点の接続対象地域内にGSが複数ある場合は、1つのMGSがその接続対象地域内にある全てのGSと接続することを可能とする。

2 分類1、分類3における当社移動体網と直接協定事業者網間の共通線信号網の構成は次のとおりとする。

- (1) 共通線信号網構成は、対応網構成とする。
- (2) 共通線信号網構成はA、B面の2面構成とし、A、B両面にリンクの設定を行うこととする。

(接続方式)

第5条 分類1、分類3における当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、技術的条件集別表1に示すとおりとする。

(信号方式)

第6条 当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する信号方式は次のとおりとする。

- (1) TTC標準に準拠したNo.7信号方式(ユーザ部はISUP)を適用する。共通線リンクの速度は「4.8kbit/s」もしくは「48kbit/s」、「64kbit/s」とし当社移動体網と対応網構成で接続する。
- (2) 共通線リンクの速度を「4.8kbit/s」もしくは「48kbit/s」、「64kbit/s」のいずれかで行うかは、接続する事業者の関門交換機毎に互いの設備状況等を考慮の上、別途協議を行うこととする。
- (3) MTP仕様は、技術的条件集別表2に示すとおりとする。
- (4) ISUP仕様は、技術的条件集別表3に示すとおりとする。但し、規定外信号については原則として信号送信側で規制する。本ISUP仕様で規定された以外の信号を受信した場合、当社は接続に関わる正常性を保証しない。なお、主な転送情報については次のとおりとする。

(ア) 当社移動体網発信時の主な転送情報は表6.1のとおりとする。

表6.1 当社移動体網発信時の主な転送情報

接続形態		転送情報					
当社 移動 体網 発信	当社移動体網 ↓ 他移動体網	発番号	発CA	発事業者 情報※2	経由情報 転送表示	付加ユー ザ種別	着番号
	他移動体網 ↓ 当社移動体網	△※1	○	○ (当社)	○※3	△※4	○
	他移動体網 ↓ 当社移動体網	着CA	着事業者 情報	経由事業 者情報	課金レート情報※5		
					単位料金 表示	課金レート 情報種別	課金 レート
		○	○	△※6	△	△	△

○：常に転送する情報，△：特定条件下のみ転送する情報

※1：当社移動体網で着信転送を行なった場合等には設定されない場合がある。

※2：「POI階梯情報」は設定しない。

※3：経由情報転送表示の値は、接続形態及び事業者間精算情報の必要有無を考慮の上、別途協議する。

※4：必要時には、原則として以下の情報を設定する。

移動系付加ユーザ種別 1 : 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)

移動系付加ユーザ種別 2 : 移動通信 (cdmaOne800MHz)

※ 5 : 着 C A を C H G 信号で返送する場合、課金レート情報 (ダミー) の転送を設定する。

※ 6 : 経由情報転送表示 (逆方向 / 両方向) の設定に従い設定される。

(イ) 当社移動体網着信時の主な転送情報は表6.2のとおりとする。

表6.2 当社移動体網着信時の主な転送情報

接続形態		転送情報						
当社移動体網着信	他移動体網 ↓ 当社移動体網	発番号	発CA	発事業者情報	経由情報転送表示	付加ユーザ種別	着番号	
		△	○	○	○※1	△※2	○	
	当社移動体網 ↓ 他移動体網	着CA	着事業者情報※4	経由事業者情報	付加ユーザ種別	課金レート情報※3		
					単位料金表示	課金レート情報種別	課金レート	
		○	○(当社)	△※5	△※6	△	△	△

○：常に転送する情報，△：特定条件下のみ転送する情報

※1：経由情報転送表示の値は、接続形態及び事業者間精算情報の必要有無を考慮の上、別途協議する。

※2：送信する場合、移動系付加ユーザ種別1，移動系付加ユーザ種別2を設定する。

※3：着CAをCHG信号で返送する場合、課金レート情報（ダミー）の転送を設定する。

※4：「POI階梯情報」は設定しない。

※5：経由情報転送表示（逆方向／両方向）の設定に従い設定する。

※6：必要時には、原則として以下の情報を設定する。

移動系付加ユーザ種別1：移動通信（自動車・携帯電話サービス）

移動系付加ユーザ種別2：移動通信（cdmaOne800MHz）

（接続シーケンス）

第7条 当社移動体網と直接協定事業者網間の一般的な接続シーケンスを技術的条件集別表4に示す。但し、接続シーケンスは発側網と着側網間のみを規定することとし、端末-網間のシーケンスは特に記載しない。また、当社の携帯・自動車電話（cdmaOne800MHz）端末と、直接協定事業者の有線によるアナログ端末／ISDN（デジタル）端末，又は無線による携帯電話端末，或いはPHS端末との接続を対象とした発着信の接続シーケンスを記載する。なお、接続シーケンス中に示すタイム値はJT-Q764を参照することとする。

(輻輳制御方式)

第8条 輻輳制御方式は、技術的条件集別表1に示すとおりとする。

(伝送装置間インタフェース仕様)

第9条 伝送装置間インタフェース仕様は、技術的条件集別表5に示すとおりとする。

(その他接続に必要な事項)

第10条 通信回線，共通線信号リンクの新設・増減設単位及び共通線信号局番号，C I C，T G Nの付与方法，その他の接続に必要な事項のうち細目に亘るものについては当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

第2節 対地域／国際事業者接続用インタフェース仕様

(網構成)

第11条 当社移動体網と直接協定事業者網間の回線網の構成は次のとおりとする。

- (1) MGSとGSとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとする。
- (2) 1つの相互接続点の接続対象地域内にMGSが複数ある場合は、1つのGSがその接続対象地域内にある全てのMGSと接続することを可能とし、1つの相互接続点の接続対象地域内にGSが複数ある場合は、1つのMGSがその接続対象地域内にある全てのGSと接続することを可能とする。

2 分類2及び分類4から分類7における当社移動体網と直接協定事業者網間の共通線信号網の構成は 次のとおりとする。

- (1) 共通線信号網構成は、対応網構成とする。
- (2) 共通線信号網構成はA、B面の2面構成とし、A、B両面にリンクの設定を行うこととする。

(接続方式)

第12条 分類2及び分類4から分類7による当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、技術的条件集別表6に示すとおりとする。

(信号方式)

第13条 当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する信号方式は次のとおりとする。

- (1) TTC標準に準拠したNo. 7信号方式(ユーザ部はISUP)を適用する。共通線リンクの速度は「4.8kbit/s」もしくは「48kbit/s」、「64kbit/s」とし当社移動体網と対応網構成で接続する。
- (2) 共通線リンクの速度を「4.8kbit/s」もしくは「48kbit/s」、「64kbit/s」のいずれかで行うかは、接続する事業者の関門交換機毎に互いの設備状況等を考慮の上、別途協議する。
- (3) MTP仕様は、技術的条件集別表7に示すとおりとする。
- (4) ISUP仕様は、技術的条件集別表8に示すとおりとする。但し、規定外信号については原則として信号送信側で規制する。本ISUP仕様で規定された以外の信号を受信した場合、当社は接続に関わる正常性を保証しない。なお、主な転送情報については次のとおりとする。

(ア) 当社移動体網発信時の主な転送情報は表 13. 1 のとおりとする。

表 13. 1 当社移動体網発信時の主な転送情報

接続形態		転送情報						
当社移動体網発信	当社移動体網 ↓ 他事業者網	発番号	発CA	発事業者 情報※2	経由情報 転送表示	経由事業者 情報	付加ユー ザ種別	着番号
		△※1	○	○ (当社)	○※3	△※4	△※5	○
	他事業者網 ↓ 当社移動体網	着CA	着事業者 情報	経由事業者 情報	課金レート情報※7			
				単位料金表示	課金レート 情報種別	課金レート		
		△	○	△※6	△	△	△	

○：常に転送する情報，△：特定条件下のみ転送する情報

※1：当社移動体網で着信転送を行なった場合等には設定されない場合がある。

※2：「P O I 階梯情報」は設定しない。

※3：経由情報転送表示の値は、接続形態及び事業者間精算情報の必要有無を考慮の上、別途協議する。

※4：経由事業者情報の値は、接続形態及び事業者間精算情報の必要有無を考慮の上、別途協議する。

※5：必要時には、原則として以下の情報を設定する。

移動系付加ユーザ種別1：移動通信（自動車・携帯電話サービス）

移動系付加ユーザ種別2：移動通信（cdmaOne800MHz）

※6：経由情報転送表示（逆方向／両方向）の設定に従い設定する。

※7：課金レート情報の転送については事前に接続事業者間で調整を行うこととする。

(イ) 当社移動体網着信時の主な転送情報は表 13. 2 のとおりとする。

表 13. 2 当社移動体網着信時の主な転送情報

接続形態		転送情報						
当社移動体網着信	他事業者網 ↓ 当社移動体網	発番号	発C A	発事業者情報	経由情報転送表示	付加ユーザ種別	着番号	
		△※1	△※2	○	○※3	△	○	
	当社移動体網 ↓ 他事業者網	着C A	着事業者情報※4	経由事業者情報	課金レート情報※6			付加ユーザ種別
	○	○(当社)	△※5	単位料金表示	課金レート情報種別	課金レート		
		○	○(当社)	△※5	△	△	△	△※7

○：常に転送する情報，△：特定条件下のみ転送する情報

※1：国際網からの発信時では設定されないことがある。

※2：国際網からの発信時は設定されない。

※3：経由情報転送表示の値は、接続形態及び事業者間精算情報の必要有無を考慮の上、別途協議する。

※4：「P O I 階梯情報」は設定しない。

※5：経由情報転送表示（逆方向／両方向）の設定に従い設定される。

※6：課金レート情報の転送については、事前に接続事業者間で調整を行うこととする。なお、発信網から「発ユーザ種別=一般発ユーザ」かつ「固定系付加ユーザ種別1=ピンク電話」が転送されてきた場合は「一般」と「公衆」の課金レートを転送する。

※7：必要時には、原則として以下の情報を設定する。

移動系付加ユーザ種別1：移動通信（自動車・携帯電話サービス）

移動系付加ユーザ種別2：移動通信（cdmaOne800MHz）

（接続シーケンス）

第14条 当社移動体網と直接協定事業者網間の一般的な接続シーケンスを技術的条件集別表 9 に示す。但し、接続シーケンスは発側網と着側網間のみを規定することとし、端末ー網間のシーケンスは特に記載しない。また、当社の携帯・自動車電話（cdmaOne800MHz）端末と、直接協定事業者の有線によるアナログ端末／I S D N（デジタル）端末，又は無線による携帯・自動車電話端末，或いはP H S 端末との接続を対象とした発着信の接続シーケンスを記載する。なお、接続シーケンス中に示すタイム値はJ T - Q 7 6 4 を参照することとする。

(輻輳制御方式)

第 15 条 輻輳制御方式は、技術的条件集別表 6 に示すとおりとする。

(伝送装置間インタフェース仕様)

第 16 条 伝送装置間インタフェース仕様は、技術的条件集別表 10 に示すとおりとする。

(その他接続に必要な事項)

第 17 条 通信回線、共通線信号リンクの新設・増減設単位及び共通線信号局番号、C I C、T G Nの付与方法その他の接続に必要な事項のうち細目に亘るものについては当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

第3節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様（WIN方式）

（網構成）

第18条 当社移動体網と本則のWIN直取パケット接続機能によるパケットデータ直取接続に関する直接協定事業者（以下、「WIN直取パケット接続事業者」という。）との接続に係る構成は次のとおりとします。

- （1）直取パケット交換機とWIN直取パケット接続事業者ノードとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとします。
- （2）当社移動体網とWIN直取パケット接続事業者網は、WIN直取パケット接続事業者側回線終端装置を介して直取パケット交換機に接続された帯域制御装置とWANによって接続され、相互接続点は直取パケット交換機に接続された帯域制御装置と接続される他事業者の電気通信設備の当社側端子とします。

（接続方式）

第19条 当社移動体網とWIN直取パケット接続事業者網間で使用する接続方式は次のとおりとします。

- （1）当社移動体網とWIN直取パケット接続事業者網間は、IP接続方式を適用します。
- （2）当社移動体網からの発信のみ提供します。
- （3）本則のWIN直取パケット接続機能によるDTE（Data Terminal Equipment）からの接続は、WIN直取パケット接続事業者ノードへの接続に制限され、WIN直取パケット接続事業者ノードを経由しないインターネット接続等は制限されます。
- （4）認証はWIN直取パケット接続事業者網にて行うこととします。
- （5）当社移動体網とWIN直取パケット接続事業者網との間の通信経路については、冗長化構成をとることができます。
- （6）基本的なRADIUSアトリビュートは以下となります。

① Access-Request(1)

Type	Value
User-Name(1)	PAP：Authenticator-RequestのPeer-IDを設定 CHAP：ResponseのNameを設定
User-Password(2)	PAP：Authenticator-RequestのPasswordを暗号化して設定
CHAP-Password(3)	CHAP：ResponseのValueを設定
NAS-IP-Address(4)	当社網における設定値
NAS-Port(5)	当社網における設定値
Service-Type(6)	Value：Framed(2)
Framed-Protocol(7)	Value：PPP(1)
CHAP-Challenge(60)	CHAP：ChallengeのValueを設定(※)

NAS-Port-Type(61)	当社網における設定値
-------------------	------------

(※) CHAP : Challenge の Value は、Authenticator へ設定される場合があります。

注 : 上記以外のアトリビュートに関しては、Value の規定無しとします。

② Accounting-Request (4)

Type	Value
User-Name (1)	PAP : Authenticator-Request の Peer-ID を設定 CHAP : Response の Name を設定
NAS-IP-Address (4)	当社網における設定値
NAS-Port (5)	当社網における設定値
Service-Type (6)	Value : Framed (2)
Framed-Protocol (7)	Value : PPP (1)
Framed-IP-Address (8)	DTE に設定される IP アドレス
Acct-Status-Type (40)	開始 : Start (1) を設定 終了 : Stop (2) を設定
Acct-Delay-Time (41)	タイムラグ (秒) を設定
Acct-Input-Octets (42)	DTE から送信されたパケットの総オクテット数
Acct-Output-Octets (43)	DTE に送信されたパケットの総オクテット数
Acct-Session-ID (44)	当社網における設定値
Acct-Authentic (45)	Value : RADIUS (1)
Acct-Session-Time (46)	Start から Stop までの時間 (秒) を設定
Acct-Input-Packets (47)	DTE から送信された総パケット数
Acct-Output-Packets (48)	DTE に送信された総パケット数
NAS-Port-Type (61)	当社網における設定値

注 : 上記以外のアトリビュートに関しては、Value の規定無しとします。

(その他接続に必要な事項)

第20条 WIN直収パケット接続事業者網の設備構成に伴う試験実施方法や、その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては、当社とWIN直収パケット接続事業者間で別途協議の上、決定することとします。

第4節 対移動体事業者SMS接続用インタフェース仕様

(網構成)

第21条 当社移動体網と直接協定事業者網間の回線網の構成は次のとおりとする。

IWSGとGSとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとする。

2 分類1における当社移動体網と直接協定事業者網間の共通線信号網の構成は次のとおりとする。

- (1) 共通線信号網構成は、対応網構成とする。
- (2) 共通線信号網構成はA、B面の2面構成とし、A、B両面にリンクの設定を行うこととする。

(接続方式)

第22条 分類1における当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、技術的条件集別表12に示すとおりとする。

(信号方式)

第23条 当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する信号方式は、次のとおりとする。

- (1) TTC標準に準拠したNo. 7信号方式(ユーザ部は3GPP(GSM-MAP)仕様を適用する。共通線リンク速度は、「48kbit/s」もしくは「64kbit/s」とし当社移動体網と対応網構成で接続する。
- (2) 共通線リンクの速度を「48kbit/s」もしくは「64kbit/s」のいずれかで行うかは、接続する事業者の関門交換機等毎に互いの設備状況等を考慮の上、別途協議を行うこととする。
- (3) MTP仕様は、技術的条件別表13に示すとおりとする。
- (4) 制御プロトコル仕様は、技術的条件集別表14に示すとおりとする。但し、規定外信号については原則として信号送信側で規制する。本制御プロトコル仕様で規定された以外の信号を受信した場合、当社は接続に関わる正常性を保証しない。

(接続シーケンス)

第24条 当社移動体網と直接協定事業者網間の一般的な接続シーケンスを技術的条件集別表15に示す。

(伝送装置間インタフェース仕様)

第25条 伝送装置間インタフェース仕様は、技術的条件集別表16に示すとおりとする。

(その他接続に必要な事項)

第 26 条 共通線信号リンクの新設・増減設単位及び共通線信号局番号, グローバルタイトルの付与方法その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

第5節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様(LTE方式)

(網構成)

第27条 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と本則のLTE直取パケット接続機能(携帯電話・BWA電波連携分)によるパケットデータ直取接続に関する直接協定事業者(以下、「LTE直取パケット接続事業者」という。)との接続に係る構成は次のとおりとします。

- (1) 直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者ノードとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとします。
- (2) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網とLTE直取パケット接続事業者網は、LTE直取パケット接続事業者側回線終端装置を介して直取パケット交換機に接続された帯域制御装置とWANによって接続され、相互接続点は直取パケット交換機に接続された帯域制御装置と接続される他事業者の電気通信設備の当社側端子とします。

(接続方式)

第28条 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網とLTE直取パケット接続事業者網間で使用する接続方式は次のとおりとします。

- (1) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網とLTE直取パケット接続事業者網間は、IP接続方式を適用します。
- (2) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網からの発信のみ提供します。
- (3) 本則のLTE直取パケット接続機能(携帯電話・BWA電波連携分)によるDTE(Data Terminal Equipment)からの接続は、LTE直取パケット接続事業者ノードへの接続に制限され、LTE直取パケット接続事業者ノードを経由しないインターネット接続等は制限されます。
- (4) 認証はLTE直取パケット接続事業者網にて行うこととします。
- (5) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網とLTE直取パケット接続事業者網との間の通信経路については、冗長化構成をとることができます。
- (6) 信号方式のプロトコルはGTPv2-C(GPRS Tunneling Protocol version 2 Control Plane)で提供します。

(その他接続に必要な事項)

第29条 LTE直取パケット接続事業者網の設備構成に伴う試験実施方法や、その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては、当社若しくは当社及び特定BWA事業者と直取パケット接続事業者間で別途協議の上、決定することとします。

また、当社若しくは当社及び特定BWA事業者が準拠する標準規格・バージョンの変更に伴い接続条件における後方互換性が維持されず(※)、LTE直取パケット接続事業

者網の設備等に改造又は変更が必要になる場合がありますが、当社若しくは当社及び特定BWA事業者は一切の責を負いません。

※ 3GPP で後方互換性の無い変更が合意され続けているため。

第6節 対移動体事業者IP接続用インタフェース仕様

(網構成)

第30条 当社移動体網と直接協定事業者網との接続に係わる構成は次の通りとします。

- (1) 当社の中継交換機と直接協定事業者の中継交換機との接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める接続点単位に行うものとします。
- (2) 当社網と直接協定事業者網は、広域イーサネット等を介して接続され、相互接続点は中継交換機に接続されたルータと接続される、回線終端装置（直接協定事業者が当社側に設置するもの）の当社側端子とします。

なお、当該回線終端装置と中継交換機に接続されたルータ間の接続はイーサネットとします。

(接続方式)

第31条 当社網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、次のとおりとします。

- (1) 当社移動体網と直接協定事業者網間で使用する接続方式は、IP接続方式を適用します。
- (2) 当社移動体網と直接協定事業者網との間の通信経路については、冗長構成をとることができます。
- (3) 当社移動体網との接続方式に関する詳細は、別表17に定めるとおりとします。

(その他接続に必要な事項)

第32条 当社網と直接協定事業者網間で、その他接続に必要な事項は次のとおりとします。

- (1) 直接協定事業者網の設備構成に伴う試験実施方法や、その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては、当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとします。
- (2) 当社が準拠する標準規格・バージョンの変更に伴い接続条件における後方互換性が維持されず、直接協定事業者網の設備等に改造又は変更が必要になる場合がありますが、当社は一切の責を負いません。

第7節 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様(5G (NSA)方式)

(網構成)

第33条 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と本則の5G (NSA方式)直取パケット接続機能(携帯電話・BWA電波連携分)によるパケットデータ直取接続に関する直接協定事業者(以下、「5G (NSA方式)直取パケット接続事業者」という。)との接続に係る構成は次のとおりとします。

- (1) 直取パケット交換機と5G (NSA方式)直取パケット接続事業者ノードとの接続は、本則の相互接続点の設置場所に定める相互接続点単位に行うものとします。
- (2) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と5G (NSA方式)直取パケット接続事業者網は、5G (NSA方式)直取パケット接続事業者側回線終端装置を介して直取パケット交換機に接続された帯域制御装置とWANによって接続され、相互接続点は直取パケット交換機に接続された帯域制御装置と接続される他事業者の電気通信設備の当社側端子とします。

(接続方式)

第34条 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と5G (NSA方式)パケット接続事業者網間で使用する接続方式は次のとおりとします。

- (1) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と5G (NSA方式)直取パケット接続事業者網間は、IP接続方式を適用します。
- (2) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網からの発信のみ提供します。
- (3) 本則の5G (NSA方式)直取パケット接続機能(携帯電話・BWA電波連携分)によるDTE(Data Terminal Equipment)からの接続は、5G (NSA方式)直取パケット接続事業者ノードへの接続に制限され、5G (NSA方式)直取パケット接続事業者ノードを経由しないインターネット接続等は制限されます。
- (4) 認証は5G (NSA方式)直取パケット接続事業者網にて行うこととします。
- (5) 当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動体網と5G (NSA方式)直取パケット接続事業者網との間の通信経路については、冗長化構成をとることができます。
- (6) 信号方式のプロトコルはGTPv2-C(GPRS Tunneling Protocol version 2 Control Plane)で提供します。

(その他接続に必要な事項)

第35条 5G (NSA方式)直取パケット接続事業者網の設備構成に伴う試験実施方法や、その他の接続に必要な事項のうち細目に渡るものについては、当社若しくは当社及び特定BWA事業者と直取パケット接続事業者間で別途協議の上、決定することとします。

また、当社若しくは当社及び特定BWA事業者が準拠する標準規格・バージョンの変更に伴い接

続条件における後方互換性が維持されず（※）、5G（NSA方式）直取パケット接続事業者網の設備等に改造又は変更が必要になる場合がありますが、当社若しくは当社及び特定BWA事業者は一切の責を負いません。

※ 3GPPで後方互換性の無い変更が合意され続けているため。

技術的条件集別表 1

対移動体事業者接続用インタフェース

技術的条件集別表－1（対移動体事業者接続用インタフェース）

1. 概説

本別表は、当社網と移動体事業者網間の接続条件（以下、「網間インタフェース」という。）について規定する。

1. 1 規定範囲

本別表は、電気通信事業者間の相互接続を円滑に行うため、網間インタフェースに関わる接続条件について規定を行うものである。本別表は、基本サービス機能について規定している。

1. 2 規定対象

本別表は、基本サービス機能に関わる網間インタフェースを規定しており、網間インタフェースは、I S U P及びM T Pに関わる事項を含む相互接続に必要な事項を規定対象としている。

2. 番号方式

- (1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号は電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとする。なお、直接協定事業者は当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要する。分類1、分類3による当社網と直接協定事業者網間で使用する電話番号の基本構成は次のとおりとする。

$$\begin{array}{ccc} \underline{0 A 0} & + & \underline{C D E} & + & \underline{F G H J K} \\ \text{サービス識別番号} & & \text{事業者識別番号} & & \text{接続番号} \end{array}$$

- (2) 発事業者網のダイヤル番号に関する機能

(ア) 番号の識別

発事業者網は原則として接続番号を識別した特別な処理は行わない。

(イ) 有効受信桁数

発事業者網は有効な受信桁数（最小受信桁数から最大受信桁数まで）の登録を可能とし、最小桁数に満たない場合、無効を検出した交換局でB T接続， トーキ接続， または切断処理（R E L送出）とする。

3. 接続条件

3. 1 接続制御

(1) 基本的な接続機能

- ・ 当社網発信呼については、必要な接続制御を当社網で行う。

- ・ 当社網では、着事業者固有のサービスに対応するための発信制御は行わない。
- ・ 当社網に対する着信呼に関しては、原則として発事業者網側で接続制御を行うこととし当社網での接続制御は行わない。従って規制が必要な場合は発事業者網側で行う。

(2) 付加的な接続機能

- ・ 付加サービスへの接続に関しては、原則として当社網発信の付加サービスは当社網で発信を制御し、当社網着信の付加サービスの場合は発事業者網側で接続を制御することとする。但し、当社網着信の付加サービスに関しては当社網で必要な接続制御を行う場合がある。

当社網接続制御の考え方を表 3. 1-1, 表 3. 1-2 にまとめる。

表 3. 1-1 当社網発信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	当社網	着事業者網
接続協定を締結した事業者の番号	全事業者に提供	接続	接続
	特定事業者のみ提供	接続/規制(注1)	接続/規制(注2)
上記以外	—	規制	—

注1：接続を行う特定の事業者以外との接続を規制する。

注2：基本的に発側網で規制を行うが、当該網へ接続された時の処理を示す。

表 3. 1-2 当社網着信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	発事業者網	当社網
定義された番号	全事業者に提供	接続	接続
	特定事業者のみ提供	接続/規制(注1)	接続/規制(注1)
未定義の番号	—	規制	規制(注2)

注1：接続を行う特定事業者以外は発側網で接続を規制する。

注2：基本的に発側網で規制を行うが、当該網へ接続された時の処理を示す。

3. 2 ベアラの利用条件

利用可能なベアラは、音声, 3. 1 k H z オーディオ, 6 4 k b i t / s 非制限とする。

3. 3 当社網発信時のサービス接続条件

当社網発信時のサービス接続条件を表 3. 3-1 に示す。

表 3. 3-1 当社網発信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	記事
着信転送	<input type="checkbox"/>	転送接続を許容する番号は限定される
発信番号通知	<input type="radio"/>	
三者通話	<input type="radio"/>	
プリペイド	<input type="checkbox"/>	接続を許容する番号は限定される

凡例：○＝全接続に提供, □＝特定接続のみ提供

3. 4 当社網着信時のサービス接続条件

当社網着信時のサービス接続条件を表3. 4-1に示す。

表3. 4-1 当社網着信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	記事
応答保留	○	
番号通知リクエスト	○	
お留守番	○	
割り込み通話	○	
発信者番号表示	○	
迷惑電話撃退	○	
EZ待ちうた	□	

凡例：○＝全接続に提供，□＝特定接続のみ提供

4. 課金方式

基本的な呼の接続に関するユーザ課金方式及び事業者間料金精算方式について記述する。当社と接続事業者間の課金方式は、ここで述べる課金方式を原則とし、協議により決定する。

4. 1 課金表示の扱い

J T-Q 7 6 3 3. 5節 逆方向呼表示パラメータのBAビット（課金表示）は前位網にユーザ課金（料金登算）を指示する信号とする。

課金表示の設定規則は次のとおりとする。

- (1) 前位網にユーザ課金（料金登算）を指示する場合はANMで「課金」を、ユーザ非課金を指示する場合はANMで「非課金」を送出する。
- (2) 前位網に対してユーザ課金（料金登算）／ユーザ非課金の指示を行わない場合は、着信網では「課金」（デフォルト値）を送出する。
- (3) ACM及びACMをインタワークしたCPG返送時点でユーザ課金の要否が確定しているならば正確な情報（課金または非課金）を設定する。
- (4) ACM／CPGで「課金」「非課金」が確定できない場合に限り、「表示なし」を設定する。

4. 2 課金表示とユーザ課金方式

(1) 当社が発事業者の場合

①当社が料金設定を行う場合

当社が独自に料金設定を行ない、発ユーザから料金回収を行う。

②当社が料金設定を行わず、後位網からユーザ課金の指示を受ける場合

i) ユーザ課金を行わない場合

後位網は逆方向呼表示の課金表示に「非課金」を設定し、課金情報種別パラメータと課金情報パラメータは次のとおり設定する。この場合、当社は発ユーザから料金回収を行わない。

- ・課金情報種別パラメータ及び課金情報パラメータそのものを設定しない。但し、CHGを送出する際には以下の情報を設定する。

課金情報種別：「課金レート転送」

課金情報の単位料金表示：「表示なし」

課金情報の課金レート情報種別：「柔軟課金レート情報なし」

ii) ユーザ課金を行う場合

後位網は逆方向呼表示の課金表示に「課金」を設定し、課金レート情報を設定する。この場合、当社は課金レート情報に従って、発ユーザから料金回収を行う。

(2) 当社が着事業者の場合

当社が料金設定を行う場合で、前位網にユーザ課金を指示する場合は、課金表示に「課金」を、ユーザ課金を指示しない場合は「非課金」を設定して返送する。当社が料金設定を行わない呼に対しては「課金」(デフォルト値)を設定して返送する。

4. 3 課金レート情報

課金レート情報の通知は次のとおりとする。

単位料金 : 10円/表示なし(ピンク電話発信時は10円のみ設定)

一括登算度数 : 課金レートなし/1~15度数(公衆/ピンク電話発信時は「なし」のみ設定する)

課金レート(一般) : 2.5秒~499.5秒(0.5秒単位)

課金レート(公衆) : 4.5秒~499.5秒(0.5秒単位)

なお、ピンク電話発信時には「一般」「公衆」の双方の課金レートを転送する。

課金レートを設定する時間帯例を表4.3-1に示す。

表4.3-1 課金レートを設定する時間帯例

課金間隔情報	時間帯
第1課金間隔	「昼間」午前8時~午後7時
第2課金間隔	「夜間」午後7時~午後11時(土日祝の昼間含む)
第3課金間隔	「深夜/早朝」午後11時~午前8時
第4課金間隔	「予備」第1~3課金間隔の最低レートを設定

注：第1~4課金間隔情報全てに課金レートを設定していなければならない。(全て同じ課金レートでも可能)

4. 4 網使用料

当社及び接続事業者は網使用料の課金について、次のとおり取り扱うこととする。

(1) 網使用料の課金開始・停止契機

開始契機：応答信号（ANM）を検出した時

停止契機：切断信号（REL等）を検出した時

(2) 網使用料精算対象呼

課金表示の「課金／非課金」に関わりなく、以下を除く全ての呼を精算対象とする。

- ① 試験呼（5. 2項の試験方法によるものとする）
- ② 接続が完了しなかった呼

5. 試験方式

当社網と直接協定事業者網間で使用する試験方式は次のとおりとする。

5. 1 基本的考え方

- (1) 予防保全、故障発生時の故障探索・修復確認及び増設時の機能確認等を目的とする。
- (2) それぞれの事業者の設備に係わる試験は設備を所有する事業者が責任を持って実施し、他事業者の試験については原則として実施しない。但し、故障切り分け等のため当社網と直接協定事業者網間は試験可能とする。
- (3) 試験は原則として隣接の事業者間で実施する。
- (4) 試験呼はIAM信号の発ユーザ種別の「試験呼」で識別する。

5. 2 試験の種類

(1) 手動接続試験

当社網と直接協定事業者網はMGS、GSに自動応答トランク（AAT）機能を付与し手動接続試験を行うこととする。

(ア) 直接協定事業者網から当社網における手動接続試験の内容を表5. 2-1に示す。

表5. 2-1 直接協定事業者網から当社網における手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件※1	強制切断の有無
手動接続試験	MGSのAAT	A0※2 + CDE※3 + 12Y	非課金	Y=1：無し Y=5：有り Y=7：無し（課金レート 有り・CHG有り）※4

※1：発ユーザ種別「試験呼」の場合は事業者間精算対象外とする。

※2：A=7, 8, 9：携帯・自動車電話呼

※3：当社が使用する番号

※4：本機能を使用する場合は事前に接続事業者間との調整をすることとする。

(イ) 当社網からの直接協定事業者網に対する手動接続試験の内容を表5.2-2に示す。

表5.2-2 当社網からの直接協定事業者網に対する手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件	強制切断の有無
手動接続試験	GSのAAT	A0 _{※1} +CDE _{※2} + 12Y _{※3}	非課金	Y=1：無し Y=5：有り Y=7：無し（課金レート 有り・CHG有り） _{※4}

※1：A=7, 8, 9：携帯・自動車電話呼

※2：直接協定事業者が使用する番号

※3：PHS事業者の試験番号は事前に調整をすることとする。

※4：本機能を使用する場合は事前に接続事業者間との調整をすることとする。

(2) 回線開通出合試験

回線開通時において発信交換機出側と着信交換機入側との間で出合い、回線名、回線番号及び通話の良否を相互に確認する出合試験を実施する。

(3) 共通線試験

手動信号ルート試験で信号リンクの正常性を確認する機能及び回線照合試験を実施する。

(c) 課金レート有り，強制切断無し，CHG有り，AAT接続

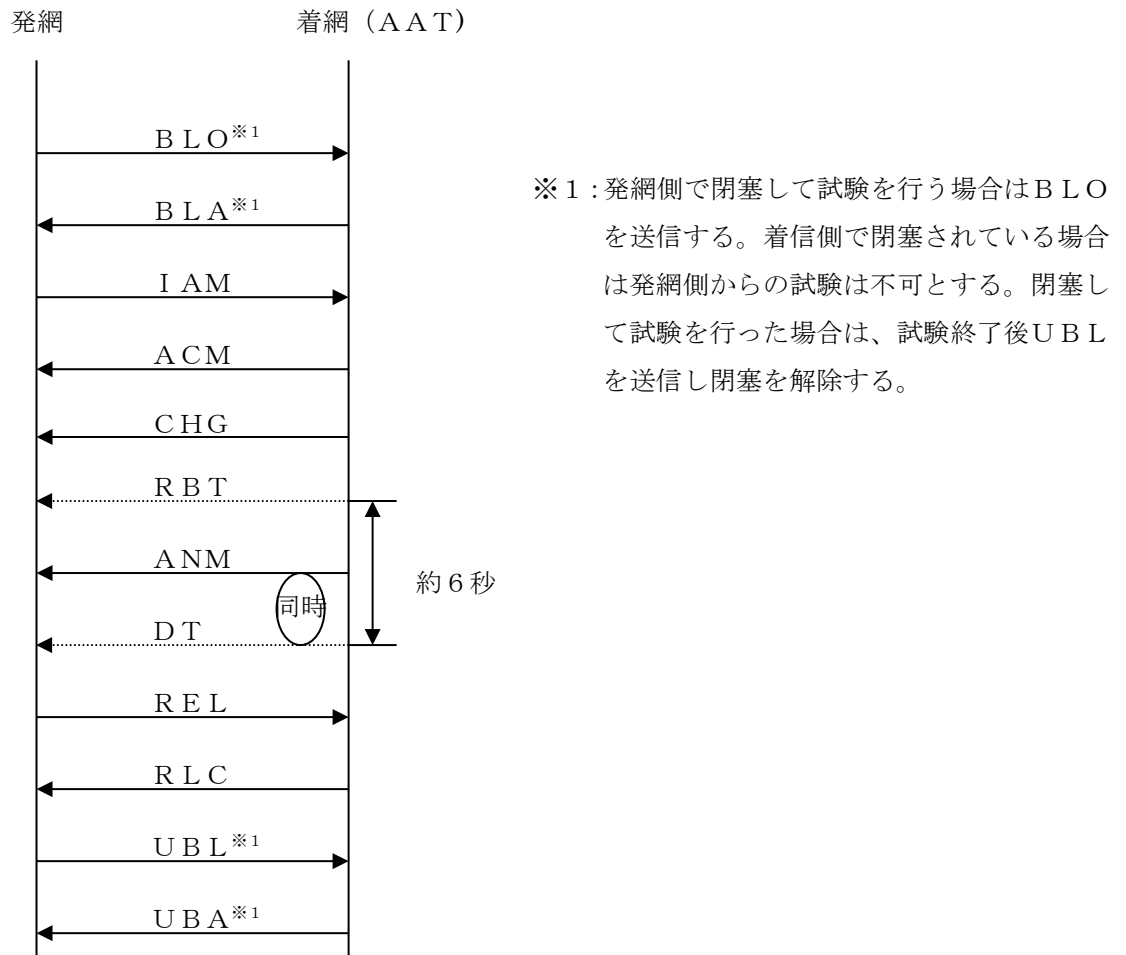


図5. 3-3 課金レート有り，強制切断無し，CHG有り，AAT接続の信号シーケンス

6. 輻輳制御方式

6. 1 非常緊急通話の取り扱い

- (1) 優先的に扱う通信の識別における優先信号とは、I AM信号上の「発ユーザ種別」に「優先発ユーザ」を設定した信号を示す。当社網が直接協定事業者網から送出された「発ユーザ種別」に基づき輻輳制御を行う場合は、制御率を当社網内に終始する呼と同等にする。直接協定事業者網も当社網からの呼の制御を行う場合は、直接協定事業者網内に終始する呼と同等にする。
- (2) 当社網と直接協定事業者網間での災害時優先電話の疎通を確保するため、当社網は優先発ユーザ回線留保機能を有し、制御を行うことができる。

6. 2 回線留保機能による制御方式

- (1) 優先発ユーザ留保回線数（一般発ユーザトラフィックが多い時に優先発ユーザのトラフィックのために留保する回線）を設定し、次の条件で回線捕捉を許可または禁止する。

発ユーザ種別	回線捕捉の許可または禁止
ア 優先発ユーザ	回線捕捉時に空きがあれば捕捉を許可する。
イ ア欄以外	空き回線数が優先発ユーザ留保回線数より大きいとき、自局の回線捕捉を許可する。 空き回線数が優先発ユーザ留保回線数以下のとき、自局の回線捕捉を禁止する。

- (2) 直接協定事業者網は、優先発ユーザ留保回線制御を実施することの有無について、当社に通知することを要する。
- (3) 優先発ユーザ留保回線数及び使用可能回線数については当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

技術的条件集別表 2

M T P 仕様

(対移動体事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－２（MTP仕様）

1. MTP仕様は「TTC標準 網間インタフェース 網間信号方式（ISDN網間信号方式）」に準拠する。参照するTTC標準は次のとおりである。

TTC標準 JT-Q701 : 第2版 1990年11月28日制定
 TTC標準 JT-Q702 : 第1版 1987年4月28日制定
 TTC標準 JT-Q703 : 第3版 1994年4月27日制定
 TTC標準 JT-Q704 : 第3版 1992年4月28日制定
 TTC標準 JT-Q707 : 第2版 1990年11月28日制定

2. 下記に上記に挙げたTTC標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を記述する。

標準	番号	項目	具体的内容	
JT-Q701	3.1	信号網構成	対応網による接続とする。	
JT-Q702	2.2	信号速度	信号速度は、4.8kbit/s, 48kbit/s, 64kbit/sとする。	
JT-Q703	2.3.8	信号情報部	SIFの取り得る長さの最大は272オクテットとする。	
		6	自リンク停止時	SIOSを継続的に送出
		信号リンク起動前の送出信号	SIOS送出	
		運用中SIE受信時	初期設定終了待ち（SIE送出）に遷移	
		相手局検証終了待ち状態でのタイム	8分。タイムアウト後は、SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
	6	検証不良／リンク障害時	SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
	11	LSSU送出周期	24msec（SIB 200msec）	
		FISU送出周期	運用中、検証終了待ち共に72msec／24msec（4.8kbit/s, 48kbit/s, 64kbit/s）	
	12	MSU送出アウトスタンディング数	40	
		信号リンク検証期間	検証期間については、T4=3sec, 検出不良時においては、60sec	
JT-Q704	2.2	ポイントコードの構成	16ビット（M=5ビット／S=4ビット／U=7ビット）とする。	
	2.3	リンクセット構成とロードシェア	SLSのA/B面ビットで2面構成とし、SLS上位3ビットを使って、負荷分散を行う。	

標準	番号	項目	具体的内容
JT-Q704	4.3	過半数リンク障害の処理	全リンク障害で迂回を行う。
	6.2	切戻信号（C B D, C B A）	使用可能なリンクに対して切戻信号（C B D）を送出。未実装のリンクにはC B Aを返送しない。
		相手局非応答時の切替	他網側に未送出信号を迂回
	11.2	優先度制御	多段輻輳制御を行う。
	14.2	S I O	S S F = 0 0 0 0 S I = 0 0 0 0（信号網管理） 0 0 0 1（試験・保守） 0 0 1 1（S C C P） 0 1 0 1（I S U P）
JT-Q707	2	信号リンク試験	信号リンクが使用可となった時、自動的に信号ルーチング試験を用いて行う。

3. 本別表で用いられる用語・語句の意味は、T T C標準の内容に準拠している。

4. 本別表の項目2にて記載しているセクション番号は、T T C標準のセクション番号に対応している。但し、T T C標準のセクション番号はI T U-Tのセクション番号に対応しており、またI T U-Tでのみ規定されていて、T T C標準, 当社のどちらも規定していない事項については、その記述を全て割愛してあるため、セクション番号が連続しない場合がある。

技術的条件集別表 3

I S U P仕様

(対移動体事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－3（ISUP仕様）

1. ISUP仕様は「TTC標準 網間インタフェース 網間信号方式（ISDN網間信号方式）」に準拠する。ベースドキュメントとして参照するTTC標準は次のとおりである。

TTC標準	JT-Q761	: 第7版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-Q762	: 第20版	2002年5月30日制定
TTC標準	JT-Q763	: 第20版	2002年5月30日制定
TTC標準	JT-Q764	: 第12版	2002年5月30日制定

2. 本別表では上記に示すTTC標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を表3-1「ISUP仕様互換表」及び表3-2「ISUP信号一覧」に記述している。なお、JT-Q761及びJT-Q762に記述された用語、語句についてはTTC標準の内容に準拠しているが、表3-1「ISUP仕様互換表」に記述されていない内容については当社としては使用しないこととする。

また、表3-2「ISUP信号一覧」には、当社と直接協定事業者間において使用する信号パラメータの設定値及び信号の方向を記述している。

3. 本別表のセクション番号は、TTC標準のセクション番号に対応している。
但し、TTC標準のセクション番号はITU-Tのセクション番号に対応しており、またITU-Tでのみ規定されていて、TTC標準、当社のどちらも規定していない事項については、その記述を全て割愛してあるため、セクション番号が連続しない場合がある。

表 3-1 I S U P仕様互換表

J T-Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備 考
項 番	項 目		
1.	概説	ベースドキュメントどおり	
1.0	本標準の範囲、参考文献、定義、略語		
1.0.1	本標準の範囲		
1.0.2	参考文献		
1.0.3	用語と定義		
1.0.4	略語		
1.0.5	コーディング原則の概要		
1.1	ルーチングラベル		
1.2	回線番号	C I C設定フィールドは13ビットとする	
1.3	メッセージ種別	ベースドキュメントどおり	
1.4	フォーマッティングの原則		
1.5	固定長必須部		
1.6	可変長必須部		
1.7	オプション部		
1.8	オプションパラメータの終了 表示オクテット		
1.9	送出順序		
1.10	予備ビットのコーディング	予備ビットは送信時”0”を設定し、受信時無視とする	
1.11	国内用信号種別とパラメータ	ベースドキュメントどおり	
1.12	メッセージ種別コードとパラメータ コードの割当て		
1.13	「予備」コードと「留保」コードの意味		

JT-Q763の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
2.	パラメータのコード		
2.1	メッセージ種別のコード	ベースドキュメントどおり	
2.2	長さ表示のコーディング	ベースドキュメントどおり	
2.3	ポインタのコーディング	ベースドキュメントどおり	
3.	ISDNユーザ部のパラメータ		
3.1	パラメータ名	ベースドキュメントどおり	
3.2	アクセス配送情報	使用しない	
3.3	アクセス転送	ベースドキュメントどおり	
3.4	自動輻輳レベル	使用しない	
3.5	逆方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	相互接続表示の「相互接続あり」はNo.7であってもISUP以外の信号方式とインタワークした場合にも設定する
3.9	着番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.10	発番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.11	発ユーザ種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.12	理由表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.13	回線群監視メッセージ種別	使用しない	
3.14	回線状態表示(国内用)	第1版をサポートするためのオプションを使用する その他はベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.15	閉域接続インタロックコード	使用しない	
3.16	接続先番号	使用しない	
3.18	導通表示	使用しない	

J T-Q 7 6 3の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.20	オプションパラメータ終了表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.21	イベント情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.23	順方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	相互接続表示の「相互接続あり」はNo.7であってもISUP以外の信号方式とインタワークした場合にも設定する
3.24	汎用ディジット(国内用)	使用しない	
3.25	汎用通知識別子	使用しない	
3.26	汎用番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	複数の汎用番号パラメータを受信した場合、当社は透過中継する
3.33	メッセージコンパチビリティ情報	使用しない	
3.35	接続特性表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.36	網特有ファシリティ(国内用)	使用しない	
3.37	オプション逆方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.38	オプション順方向呼表示	使用しない	
3.39	第一着番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.41	パラメータコンパチビリティ情報	使用しない	
3.43	範囲と状態	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.44	転送元番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.45	着信転送情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	

J T - Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.46	転送先番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.50	信号局コード(国内用)	使用しない	
3.52	中断/再開表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.53	中継網選択(国内用)	使用しない	
3.54	通信路要求表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.57	ユーザサービス情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.59	ユーザテレサービス情報	使用しない	
3.60	ユーザ・ユーザ表示	使用しない	
3.61	ユーザ・ユーザ情報	使用しない	
3.63	C C S S	使用しない	
3.65	コールトランスファ参照	使用しない	
3.67	ループ抑止表示	使用しない	
3.70	相関 i d	使用しない	
3.71	S C F i d	使用しない	
3.73	着 I N 番号	使用しない	
3.78	U I D 動作表示	使用しない	
3.79	U I D 能力表示	使用しない	
3.82	アプリケーション転送	使用しない	
3.84	ピボット能力	使用しない	
3.85	ピボットルーティング表示	使用しない	
3.86	着ディレクトリ番号(国内用)	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.87	第一着 I N 番号	使用しない	

J T - Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.88	発測地位置	使用しない	
3.93	ピボットルーティング回数	使用しない	
3.94	ピボットルーティング順方向情報	使用しない	
3.95	ピボットルーティング逆方向情報	使用しない	
3.96	リダイレクション能力（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.97	リダイレクション回数（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.99	リダイレクション順方向情報（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.100	リダイレクション逆方向情報（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.102	網機能種別	使用しない	
3.103	料金区域情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.104	課金情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.105	課金情報種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.106	契約者番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.107	移動通信用エンド情報転送	使用しない	
3.108	移動通信用呼番号	使用しない	
3.109	PHS 端末識別番号	使用しない	
3.110	発信者番号非通知理由	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	本パラメータは発番号パラメータが設定されないあるいは通知不可となっている場合のみ使用する
3.111	国内用リダイレクション理由	使用しない	

J T - Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.112	付加ユーザ種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.113	課金情報遅延	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	
3.114	事業者情報転送	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表3-2を参照する	設定値については事前に接続事業者間で調整を行うこととする
	a) 経由情報転送表示		
	b) 事業者情報名		
	c) 事業者付属パラメータ名		
	d) 事業者識別コード		
	e) P O I - 料金区域情報		
	f) 発事業者情報		I A M に常に設定
	g) 着事業者情報		A C M または C P G に設定
	h) 選択中継事業者情報		中継事業者選択番号による事業者選択時に設定
	i) 経由事業者情報		経由情報転送表示の内容に従って設定 但し、6事業者以上の経由事業者情報の設定を行う場合は事前に接続事業者間で調整を行うこととする
	j) S C P 事業者情報		
3.115	輻輳制御済み通知情報	使用しない	
3.116	発測地速度情報	使用しない	
3.117	緊急通報呼表示	使用しない	
4	I S D N ユーザ部メッセージとコード	ベースドキュメントどおり	

J T-Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	メッセージ種別		
表 4-1	ACM	「メッセージ種別」「逆方向呼表示」「オプション逆方向呼表示」「理由表示」「料金区域情報」「課金情報」「課金情報種別」「課金情報遅延」「付加ユーザ種別」「事業者情報転送」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-2	ANM	「メッセージ種別」「逆方向呼表示」「アクセス転送」「料金区域情報」「付加ユーザ種別」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-3	CPG	「メッセージ種別」「イベント情報」「逆方向呼表示」「オプション逆方向呼表示」「理由表示」「アクセス転送」「課金情報」「課金情報種別」「課金情報遅延」「事業者情報転送」「料金区域情報」「付加ユーザ種別」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-4	CQR	ベースドキュメントどおり	
表 4-5	GRA	ベースドキュメントどおり	
表 4-12	I AM	「メッセージ種別」「接続特性表示」「順方向呼表示」「発ユーザ種別」「通信路要求表示」「着番号」「発番号」「アクセス転送」「ユーザサービス情報」「汎用番号」「料金区域情報」「付加ユーザ種別」「発信者番号非通知理由」「事業者情報転送」「着信転送情報」「転送元番号」「第一着番号」「契約者番号」「リダイレクション能力」「リダイレクション回数」「リダイレクション順方向情報」「着ディレクトリ番号」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-13	REL	「メッセージ種別」「理由表示」「転送先番号」「リダイレクション逆方向情報」「リダイレクション回数」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-14	RLC	「メッセージ種別」のみ使用する	
表 4-18	SUS, RES	「メッセージ種別」「中断/再開表示」のみ使用する	
表 4-19	BLO, BLA, RSC, UBL, UBA	ベースドキュメントどおり	
表 4-21	GRS, CQM	ベースドキュメントどおり	
表 4-29	SGM	使用しない	
表 4-34	CHG	ベースドキュメントどおり	

(注1) 本互換表に規定されているパラメータのみ使用することを原則とし、規定されていないパラメータを使用する場合には別途該当事業者間で協議の対象とする。

(注2) 中継事業者は原則的に受信情報を透過中継する。

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
1.	概説	
1.1	本標準の範囲	
1.2	参考文献	ベースドキュメントどおり
1.3	定義	
1.4	略語	
2.	基本呼制御と信号手順	
2.1	完了の呼設定	
2.1.1	順方向アドレス信号制御—一括転送制御	ベースドキュメントどおり
2.1.1.1	発交換機で必要な動作	<ul style="list-style-type: none"> ・コネクションタイプは「音声」, 「3. 1 k H z オーディオ」のみ使用する ・ユーザテレサービス情報がアドレス情報に含まれる場合でも、後位レイヤ整合性情報が含まれない場合もある (全ての項番について同様)
2.1.1.2	中継交換機の動作	簡易分割手順は使用しない (全ての項番について同様)
2.1.1.6	着交換機の動作	
2.1.3	発番号	ベースドキュメントどおり
2.1.4	アドレス完了メッセージ、接続メッセージ	
2.1.4.1	着交換機の動作	
2.1.4.2	中継交換機の動作	接続メッセージ (CON), 及びアクセス配送表示は使用しない (全ての項番について同様)
2.1.4.6	発交換機の動作	
2.1.4.7	着交換機におけるパス接続及び応答待表示の送出	
2.1.4.8	相互接続がある場合のアドレス完了メッセージの返送	
2.1.4.9	アクセス配送表示	
2.1.5	呼経過メッセージ (基本呼)	
2.1.5.1	着交換機で必要な動作	ベースドキュメントどおり
2.1.5.2	中継交換機で必要な動作	
2.1.5.3	発交換機で必要な動作	

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様	
項番	項目		
2.1.7	応答メッセージ	ベースドキュメントどおり	
2.1.7.1	着交換機に必要な動作		
2.1.7.2	中継交換機に必要な動作		
2.1.7.6	発交換機に必要な動作		
2.1.7.7	自動ユーザからの応答の返送		
2.1.8	導通試験		使用しない (全ての項番について同様)
2.1.9	課金		ベースドキュメントどおり
2.1.11	中継網選択 (国内使用)		使用しない (全ての項番について同様)
2.1.12	簡易分割		使用しない (全ての項番について同様)
2.1.12.1	勧告 Q 7 6 7 及び I S U P ' 8 8 版 I S D N ユーザ部との相互接続		
2.2	不完了呼設定	ベースドキュメントどおり	
2.2.1	切断メッセージを生成し、送信する交換機の動作		
2.2.2	中継交換機の動作		
2.2.3	制御交換機の動作		
2.2.4	トーン及びアナウンス		
2.3	正常の呼解放	ベースドキュメントどおり	
2.3.1	発ユーザにより起動された切断		
2.3.2	着ユーザ起動の切断		
2.3.3	網起動の切断		
2.3.4	アドレスメッセージ内情報の保存と廃棄		
2.3.5	先行切断情報転送		使用しない (全ての項番について同様)
2.4	中断/再開	ベースドキュメントどおり	
2.4.1	中断	また、当社網にてユーザ起動の中断、再開が起動されることはない	
2.4.2	再開		
2.4.3	タイマ T 6 または T 38 のタイムアウト	切断メッセージに設定する理由表示として # 16 以外が設定される場合がある (全ての項番について同様)	

J T - Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.7	エコー制御信号手順	使用しない (全ての項番について同様)
2.7.1	導入	
2.7.3	簡易エコー制御信号手順	
2.7.3.1	概説	
2.7.3.1.2	順方向	
2.7.3.1.2.1	発交換機の動作	
2.7.3.1.2.2	中継交換機の動作	
2.7.3.1.2.3	着交換機の動作	
2.7.3.1.3	逆方向	
2.7.3.1.3.1	着交換機の動作	
2.7.3.1.3.2	中継交換機の動作	
2.7.3.1.3.3	発交換機の動作	
2.8	網機能	
2.8.1	自動再試行	
2.8.2	回線および回線群の閉塞と閉塞解除	
2.8.2.1	閉塞メッセージ受信時のその他の動作	
2.8.2.2	回線群閉塞及び閉塞解除メッセージ	
2.8.2.3	閉塞及び回線群閉塞の異常手順	
2.8.3	回線群状態要求	
2.8.3.1	概要	
2.8.3.2	回線状態の解釈	
2.8.3.2A	回線状態の解釈	使用しない
2.8.3.3A	検査手順	「呼処理状態に誤りがある場合の措置」に関する動作差分について付表1にまとめる (なお、交換機タイプにより2種類の差分内容がある)
2.8.3.3A.1	呼処理状態に誤りがある場合の措置	
2.8.3.3A.2	保守状態において誤りがあった場合の措置	

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.9	異常状態	
2.9.1	二重捕捉	
2.9.1.1	制御不可の時間	ベースドキュメントどおり
2.9.1.2	二重捕捉の検出	
2.9.1.3	防止動作	当社網は方法2を使用する
2.9.1.4	二重捕捉の検出時取るべき動作	ベースドキュメントどおり
2.9.2	交換機間デジタル回線の伝送警告処理	ベースドキュメントどおり
2.9.3	回線及び回線群のリセット	
2.9.3.1	回線リセットメッセージ	マルチレートコネクションタイプは使用しない（全ての項番について同様）
2.9.3.2	回線群リセットメッセージ	
2.9.3.3	異常回線群リセットメッセージ手順	
2.9.4	閉塞/閉塞解除手順の誤り	ベースドキュメントどおり
2.9.5	不合理信号情報の受信	
2.9.5.1	予期しないメッセージの処理	基本的に資料「ISUP仕様互換表」で「使用する」としているメッセージ/パラメータ以外のものは、送信側で規制する。また、「認識不可情報と同じメッセージで受信されたコンパチビリティ情報」, 及び「コンフュージョンメッセージ」を用いた手順は使用しない（全ての項番について同様）
2.9.5.2	認識不可信号情報メッセージとパラメータ受信時の一般的要求	
2.9.5.3	認識不可メッセージ又はパラメータの処理	
2.9.5.3.1	認識不可メッセージ	
2.9.5.3.2	認識不可パラメータ	
2.9.5.3.3	認識不可パラメータ値	
2.9.5.4	認識不可情報送信を通知する応答の処理手順	
2.9.5.4.1	タイプA交換機	
2.9.5.4.2	タイプB交換機	
2.9.5.5	不合理情報処理に対する手順	

JT-Q764の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.9.6	復旧完了メッセージの受信不可-タイマT1及びT5	ベースドキュメントどおり
2.9.8	他の失敗状態	
2.9.8.1	切断メッセージに対して切断不可の場合	使用しない
2.9.8.2	呼失敗	
2.9.8.3	異常切断条件	ベースドキュメントどおり
2.11	自動輻輳制御	
2.11.1	輻輳レベルパラメータを含む切断メッセージの受信	使用しない (全ての項番について同様)
2.11.2	過負荷時の動作	
2.15	信号長オーバメッセージ	ベースドキュメントどおり
2.20	発測地位置手順	
2.20.1	序文	使用しない (全ての項番について同様)
2.20.2	測地情報の転送	

J T-Q 7 6 4 の参照節		仕様
項目		
付属資料A	I S D N ユーザ部のタイマ	T 2, T 8, T 10, T 11, T 18~T 21, T 34 タイマは使用しない (全ての項番について同様)
付属資料B	基本呼制御信号手順	ベースドキュメントどおり
付属資料F	理由表示値	ベースドキュメントどおり
付属資料H	状態遷移図	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のメッセージ種別に関する箇所は使用しない (全ての項番について同様) -信号手順制御 <ul style="list-style-type: none"> ・回線群閉塞 (C G B) ・回線群閉塞確認 (C G B A) ・回線群閉塞解除 (C G U) ・回線群閉塞解除確認 (C G U A) -呼処理制御 <ul style="list-style-type: none"> ・導通試験 (C O T) ・網リソース管理 (N R M) ・分割 (S G M) ・順方向転送 (F O T) ・接続 (C O N) -回線監視制御 <ul style="list-style-type: none"> ・導通試験 (C O T) ・回線群閉塞 (C G B) ・回線群閉塞確認 (C G B A) ・回線群閉塞解除 (C G U) ・回線群閉塞解除確認 (C G U A) <p>・入側/出側呼処理制御 S D L において、通信中に C H G を受信するケースは本仕様の規定外とする (全ての項番について同様)</p>
付属資料 a	事業者間料金精算方式	ベースドキュメントどおり。但し、当社網では、以下の機能を具備しない (全ての項番について同様) <ul style="list-style-type: none"> ・選択中継事業者情報の設定 ・リダイレクション機能
付属資料 b	輻輳制御に対する二重制御の抑止	使用しない
付属資料 c	優先接続における固定塗替で選択された事業者名の音声通知手順	使用しない
付属資料 d	緊急通報呼の発信手順	使用しない

付表1 呼処理状態に誤りがある場合の措置について（差異がある箇所のみ記述）

呼処理状態に誤りがある場合	措置－交換機（タイプ1）	措置－交換機（タイプ2）
自局が出側回線使用中または入り側回線使用中で、相手局が未実装の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・相手局閉塞とする ・回線を空にする ・保守システムへ通報する 	ベースドキュメントどおり
自局が回線空きで、相手局が出側回線使用中または入側回線使用中の場合	ベースドキュメントどおり	<ul style="list-style-type: none"> ・相手局側で回線を空にするため切断メッセージを送出する ・復旧完了メッセージ受信回線を空にする
自局が回線使用中で、相手局が回線空きの場合	ベースドキュメントどおり	<ul style="list-style-type: none"> ・切断メッセージを送出する ・復旧完了メッセージ受信回線を空にする

表 3-2 ISUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
接続特性表示	BA	衛星回線表示		
	00	接続において衛星回線なし	○	○
	01	接続において衛星1回線あり	○	○
	10	接続において衛星2回線あり	○	○
	11	予備	-	-
	DC	導通試験表示		
	00	導通試験不要	○	○
	01	導通試験必要	-	-
	10	前位で導通試験実施	-	-
	11	予備	-	-
	E	エコー制御回路表示		
	0	出回線にハーフエコー制御回路を挿入せず	○	○
	1	出回線にハーフエコー制御回路を挿入	-	-
	H~F	予備	-	-
	順方向呼表示	A	国内/国際呼表示	
0		国内呼として処理される呼	○	○
1		国際呼として処理される呼	-	-
CB		エンド・エンド法表示(CCS網)		
00		エンド・エンド法が利用できない	○	○
01~11		予備	-	-
D		相互接続表示		
0		相互接続なし	○	○
1		相互接続あり	○	○
E		エンド・エンド情報表示		
0		エンド・エンド情報利用できない	○	○
1		予備	-	-
F		ISUP1リンク表示		
0		ISUP1リンクでない	○	○
1		ISUP1リンクである	○	○
HG		ISUP1リンク希望表示		
00		ISUP1リンクを希望するが必須でない	○	○
01		ISUP1リンクを希望しない	○	○
10		ISUP1リンクを希望し必須である	○	○
11		予備	-	-
I		ISDNアクセス表示		
0	発側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○	○	
1	発側のユーザ・網インタフェースがISDN	○	○	
KJ	SCCP法表示			
00	表示なし	○	○	
01~11	予備	-	-	
L	予備	-	-	
P~M	国内使用に留保	-	-	
発ユーザ種別	H~A	発ユーザ種別		
	0000000	発ユーザ種別不明	-	-
	00000001~00000101	予備	-	-
	00000110, 111, 1000	相互協定によって選ばれた特別の言語を管理するのに利用	-	-
	00001001	国内台	-	-
	00001010	一般発ユーザ	○	○
	00001011	優先発ユーザ	○	○
	00001100	データ呼(音声帯域データ)	-	-
	00001101	試験呼	○	○
	00001110	予備	-	-
	00001111	公衆電話	○	○
	00010000~11110000	予備	-	-
	11110001~11111110	国内使用のため留保	-	-
	11111111	予備	-	-
通信路要求表示	H~A	通信路要求表示		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
	00000000	音声	○	○
	00000001	予備	-	-
	00000010	64kbit/s非制限	○	○
	00000011	3.1kHzオーディオ	○	○
	00000100~00000111	予備	-	-
	00001000	384kbit/s非制限	-	-
	00001001~11111111	予備	-	-
着番号パラメータのポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
着番号				
	G~A	番号種別表示		
	0000000	予備	-	-
	0000001	加入者番号	-	-
	0000010	予備、国内使用のため留保	-	-
	0000011	国内番号	○	○
	0000100	国際番号	-	-
	0000101~1101111	予備	-	-
	1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-
	1111110	網特有番号	-	-
	1111111	予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
	0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
	1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	L~I	予備	-	-
	O~M	番号計画表示		
	000	予備	-	-
	001	ISDN(電話)番号計画	○	○
	010~111	予備	-	-
	P	網内番号表示(INN表示)		
	0	網内のルーティング可	○	○
	1	網内のルーティング不可	-	-
	~Q	アドレス情報(最大13oct)	○	○
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
	00001010	発番号	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
発番号				
	G~A	番号種別表示		
	0000000	予備	-	-
	0000001	加入者番号	-	-
	0000010	予備、国内使用のため留保	-	-
	0000011	国内番号	○	○
	0000100	国際番号	○	○
	0000101~1101111	予備	-	-
	1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-
	1111110	網特有番号	○	○
	1111111	予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
	0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
	1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	J I	網検証識別		
	00	予備	-	-
	01	ユーザ投入、網検証あり、成功	○	○
	10	留保	-	-
	11	網投入	○	○
	L K	表示識別		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
		00 表示可	○	○	
		01 表示不可	○	○	
		10 使用不可	-	-	
		11 予備	-	-	
	O~M	番号計画表示			
		000 予備	-	-	
		001 ISDN (電話) 番号計画	○	○	
		010 予備	-	-	
		011 予備	-	-	
	P	発番号不完全表示 (NI表示)			
		0 完全	○	○	
		1 不完全	-	-	
	~Q	アドレス情報 (最大8oct)		○	○
	パラメータ名				
H~A	パラメータ名				
	00000011	アクセス転送	○	○	
パラメータ長					
H~A	オクテット数で示す		○	○	
アクセス転送		JT-Q931 4.5章に記述されたようにコード化される (最大80oct)	○	○	
パラメータ名					
H~A	パラメータ名				
	00011101	ユーザ・サービス情報	○	○	
パラメータ長					
H~A	オクテット数で示す		○	○	
ユーザ・サービス情報		JT-Q931に記された伝達機能情報エレメントと同一にコード化される (最大11oct)	○	○	
パラメータ名					
H~A	パラメータ名				
	11000000	汎用番号	○	○	
パラメータ長					
H~A	オクテット数で示す		○	○	
汎用番号					
H~A	番号情報識別子				
	00000000~00000101	留保	-	-	
	00000110	付加発番号	○	○	
	00000111	付加第一着番号	○	○	
	00001000~00001001	留保	-	-	
	00001010~01111111	予備	-	-	
	10000000~11111110	国内使用のため留保	-	-	
	11111111	拡張のため留保	-	-	
	O~I	番号種別表示			
		0000000	予備	-	-
		0000001	加入者番号	-	-
		0000010	不定	-	-
		0000011	国内番号	○	○
		0000100	国際番号	-	-
		0000101~1101111	予備	-	-
		1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-
		1111110	網特有番号	-	-
		1111111	予備	-	-
	P	奇数/偶数表示			
		0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
		1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	RQ	網検証識別			
		00	留保	-	-
		01	ユーザ投入、網検証あり、成功	○	○
10		留保	-	-	
11		網投入	○	○	
TS	表示識別				

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
		00 表示可	○	○	
		01 表示不可	○	○	
		10 使用不可	—	—	
		11 予備	—	—	
	W~U	番号計画表示			
		000 予備	—	—	
		001 ISDN (電話) 番号計画	○	○	
		010 予備	—	—	
		011~101 留保	—	—	
		110 国内使用のため留保	—	—	
	X	番号不完全表示			
		0 完全	○	○	
		1 不完全	—	—	
	~Y		アドレス情報(最大8oct)	○	○
パラメータ名					
H~A	パラメータ名				
	00001011	転送元番号	○	○	
パラメータ長					
H~A		オクテット数で示す	○	○	
転送元番号					
G~A	番号種別表示				
	0000000 予備	—	—		
	0000001 加入者番号	—	—		
	0000010 国内番号	○	○		
	0000100 国際番号	—	—		
	0000101~1101111 予備	—	—		
	1110000~1111101 国内使用のため留保	—	—		
	1111110 網特有番号	—	—		
	1111111 予備	—	—		
	H	奇数/偶数表示			
		0 番号ディジットの桁数が偶数	○	○	
		1 番号ディジットの桁数が奇数	○	○	
	J I	予備		—	—
	L K	表示識別			
		00 表示可	○	○	
		01 表示不可	○	○	
		10 使用不可	—	—	
	11 予備	—	—		
	O~M	番号計画表示			
		000 留保 (不定)	—	—	
		001 ISDN (電話) 番号計画	○	○	
		010 予備	—	—	
		011 データ番号計画	—	—	
		100 テレックス番号計画	—	—	
		101 国内使用のため留保 (私設番号計画)	—	—	
		110 国内使用のため留保	—	—	
	111 予備	—	—		
P	予備		—	—	
~Q		アドレス情報(最大8oct)	○	○	
パラメータ名					
H~A	パラメータ名				
	00010011	着信転送情報	○	○	
パラメータ長					
H~A		オクテット数で示す	○	○	
着信転送情報					
C~A	転送表示				
	000 転送なし (国内使用)	—	—		
	001 転送呼	—	—		
	010 転送呼、全ての転送情報規制	—	—		
	011 着信転送呼	○	○		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
	100	着信転送呼、全ての転送情報規制	○	○
	101	転送呼、着信転送番号規制	-	-
	110	着信転送呼、全ての着信転送番号規制	-	-
	111	予備	-	-
	D	予備	-	-
	H~E	第一転送理由		
	0000	不定/使用不可	-	-
	0001	話中	○	○
	0010	無応答	○	○
	0011	無条件	○	○
	0100	呼び出し中呼毎着信転送	○	○
	0101	即時レスポンス呼毎着信転送	○	○
	0110	移動端末着信不可	○	○
	0111~1111	予備	-	-
	K~I	転送回数 (1から5の間のバイナリ数)	○	○
	L	予備	-	-
	P~M	転送理由		
	0000	不定/使用不可	-	-
	0001	話中	○	○
	0010	無応答	○	○
0011	無条件	○	○	
0100	呼び出し中呼毎着信転送	○	○	
0101	即時レスポンス呼毎着信転送	○	○	
0110	移動端末着信不可	○	○	
0111~1111	予備	-	-	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
00101000	第一着番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
第一着番号				
G~A	番号種別表示			
0000000	予備	-	-	
0000001	加入者番号	-	-	
0000010	国内番号	○	○	
0000100	国際番号	-	-	
0000101~1101111	予備	-	-	
1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-	
1111110	網特有番号	-	-	
1111111	予備	-	-	
H	奇数/偶数表示			
0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○	
1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○	
J I	予備	-	-	
L K	表示識別			
00	表示可	○	○	
01	表示不可	○	○	
10	使用不可	-	-	
11	予備	-	-	
O~M	番号計画表示			
000	留保 (不定)	-	-	
001	ISDN (電話) 番号計画	○	○	
010	予備	-	-	
011	データ番号計画	-	-	
100	テレックス番号計画	-	-	
101	国内使用のため留保 (私設番号計画)	-	-	
110	国内使用のため留保	-	-	
111	予備	-	-	
P	予備	-	-	
~Q	アドレス情報(最大8oct)	○	○	
パラメータ名				

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ長	H~A	パラメータ名		
		11111001 契約者番号	○	○
契約者番号	H~A	オクテット数で示す	○	○
	G~A	番号種別表示		
	0000000	予備	-	-
	0000001	加入者番号	-	-
	0000010	国内番号	○	○
	0000100~1111111	予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
	0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
	1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	L~I	予備	-	-
	O~M	番号計画表示		
	000	留保(不定)	-	-
	001	ISDN(電話)番号計画	○	○
	010~111	予備	-	-
	P	予備	-	-
	~Q	アドレス情報(最大8oct)	○	○
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11111101 料金区域情報	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
	G~A	情報識別表示		
	0000000	MAコード	-	-
	0000001	CAコード	○	○
	0000010~1111111	予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
	0	アドレス情報の桁数が偶数	-	-
	1	アドレス情報の桁数が奇数	○	○
	~I	情報(3oct)	○	○
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11110101 発信者番号非通知理由	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
	G~A	発信者番号非通知理由		
	0000000	予備	-	-
	0000001	ユーザ拒否のため通知不可	○	○
	0000010	サービス競合のため通知不可	○	○
	0000011	公衆電話発信のため通知不可	○	○
	0000100~1111110	予備	-	-
	1111111	拡張のため留保	-	-
	H	拡張表示		
	0	留保	-	-
	1	最終オクテット	○	○
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11110011 付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
	H~A	付加ユーザ種別名		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111010	予備	-	-
	11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信		
H～Aが “1111 1110” の場合	P～I	11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	○	
		11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	○	
		11111110	固定系付加ユーザ種別1	—	—	
		11111111	予備	—	—	
	P～I	固定系付加ユーザ種別1				
		00000000	予備	—	—	
		00000001	列車公衆	—	—	
		00000010	ピンク	—	—	
		00000011～11111111	予備	—	—	
	H～Aが “1111 1101” の場合	P～I	移動系付加ユーザ種別1			
			00000000	予備	—	—
			00000001	移动通信（自動車・携帯電話サービス）	○	○
00000010			移动通信（船舶電話サービス）	○	—	
00000011			移动通信（航空機電話サービス）	○	—	
00000100			移动通信（無線呼び出しサービス）	—	—	
00000101	PHS通信（PHSサービス）	—	—			
00000101～11111111	予備	—	—			
H～Aが “1111 1100” の場合	P～I	移動系付加ユーザ種別2				
		00000000	予備	—	—	
		00000001	移动通信（大容量方式）	○	—	
		00000010	移动通信（N/J-TACS）	○	—	
		00000011	移动通信（PDC 800MHz）	○	—	
		00000100	移动通信（PDC 1.5GHz）	○	—	
		00000101	移动通信（N-STAR衛星）	○	—	
		00000110	移动通信（cdmaOne 800MHz）	○	○	
		00000111	移动通信（イリジウム衛星）	○	—	
		00001000	移动通信（IMT2000）	○	—	
00001001	PHS通信（PHS活用型）	—	—			
00001000～11111111	予備	—	—			
パラメータ名						
H～A	パラメータ名					
	11110001	事業者情報転送	○	○		
パラメータ長						
H～A	オクテット数で示す		○	○		
事業者情報転送						
(繰り返しあり)	B A	經由事業者情報転送表示		○	○	
		00	転送なし	○	○	
		01	順方向	○	○	
		10	逆方向	○	○	
	11	両方向	○	○		
	H～C	予備	—	—		
	P～I	事業者情報名				
		00000000	予備	—	—	
		00000001～10000000	網固有情報	—	—	
		10000001～11111001	予備	—	—	
		11111010	SCP事業者情報	○	—	
		11111011	発事業者情報	○	○	
		11111100	着事業者情報	—	—	
11111101		選択中継事業者情報	○	—		
11111110		經由事業者情報	○	○		
11111111	予備	—	—			
X～Q	事業者情報長	○	○			
“11111011” 発事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	H～A	事業者情報従属パラメータ名				
		00000000	予備	—	—	
		00000001～10000000	網固有情報	—	—	
		10000001～11111011	予備	—	—	
		11111100	POI-階梯情報	○	—	
		11111101	POI-料金区域情報	—	—	
		11111110	事業者識別コード	○	○	
11111111	予備	—	—			
事業者識別	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	○		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
コード	W~Q	予備	○	○	
	X	奇数/偶数表示			
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
	~Y	事業者識別コード	○	○	
	POI・階梯情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	-
		T~Q	出側POI-階梯情報		
			0000 表示無し	○	-
			0001 階梯1	○	-
			0010 階梯2	○	-
			0011~1111 予備		
		X~U	入側POI-階梯情報		
			0000 表示無し	○	-
			0001 階梯1	○	-
			0010 階梯2	○	-
	0011~1111 予備		-	-	
“11111101” 選択中継事業者 情報の場合 “11111110” 經由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名			
	00000000 予備	-	-		
	00000001~10000000 網固有情報	-	-		
	10000001~11111011 予備	-	-		
	11111100 POI-階梯情報	○	○		
	11111101 POI-料金区域情報	○	○		
	11111110 事業者識別コード	○	○		
	11111111 予備	-	-		
POI・階梯情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	T~Q	出側POI-階梯情報			
		0000 表示無し	○	○	
		0001 階梯1	○	○	
		0010 階梯2	○	○	
		0011~1111 予備	-	-	
	X~U	入側POI-階梯情報			
		0000 表示無し	○	○	
		0001 階梯1	○	○	
		0010 階梯2	○	○	
0011~1111 予備		-	-		
事業者識別コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
	~Y	事業者識別コード	○	○	
POI・料金区域情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
		0 POI・料金区域情報の桁数が偶数	-	-	
		1 POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○	
	~Y	POI-料金区域情報	○	○	
“11111010” SCP事業者 情報の場合	H~A	事業者情報従属パラメータ名			
	00000000 予備	-	-		
	00000001~10000000 網固有情報	-	-		
	10000001~11111011 予備	-	-		
	11111100 POI-階梯情報	-	-		
	11111101 POI-料金区域情報	-	-		
	11111110 事業者識別コード	○	-		
	11111111 予備	-	-		
事業者識別コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長			
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	-	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
	~Y	事業者識別コード	○	-	

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
	01001110	リダイレクション能力	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
リダイレクション能力	CBA	リダイレクション可能表示		
	000	未使用	-	-
	001	ACM以前、リダイレクション可能	○	○
	010	ANM以前、リダイレクション可能	-	-
	011	常時リダイレクション可能	-	-
	100~111	予備	-	-
	G~D	予備	-	-
	H	拡張表示		
	0	次オクテットに続く	-	-
	1	最終オクテット	○	○
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
	10001011	リダイレクション順方向情報	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
リダイレクション順方向情報	H~A	情報種別識別子		
	00000000	未使用	-	-
	00000001	起動交換機への切戻し可能	-	-
	00000010	起動交換機への切戻し用呼識別子	-	-
	00000011	リダイレクション実行表示	○	○
	00000100	リダイレクション起動理由	-	-
	00000101~11111111	予備	-	-
	P~I	情報種別長	○	○
	G~A	リダイレクション実行理由		
	0000000	不定/無効	-	-
	0000001	事業者間ポータビリティ (国内用)	-	-
	0000010	ロケーションポータビリティのため留保	-	-
	0000011	サービスポータビリティのため留保	-	-
	0000100~01111111	予備	-	-
	1000000~11111101	国内使用のため留保	-	-
	1111110	一般番号ポータビリティ (LNP) / 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) (国内用)	○	○
	1111111	国内使用のため留保	-	-
	H	拡張表示		
	0	次オクテットに続く	-	-
	1	最終オクテット	○	○
	K~I	実行交換機リダイレクション可能表示		
	000	表示なし	-	-
	001	ACM以前、リダイレクション可能	○	○
	010	ANM以前、リダイレクション可能	-	-
	011	常時リダイレクション可能	-	-
	100~111	予備	-	-
	P~L	予備	-	-
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
	01110111	リダイレクション回数	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
リダイレクション回数	E~A	リダイレクション回数 (リダイレクションした回数のバイナリ数)	○	○
	H~F	予備	-	-
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
	01111101	着ディレクトリ番号	○	○

リダイレクション表示の場合

表 3-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
着ディレクトリ番号			
G~A	番号種別表示		
0000000	予備	-	-
0000001	加入者番号	-	-
0000010	予備、国内使用のため留保	-	-
0000011	国内番号	○	○
0000100	国際番号	-	-
0000101~1101111	予備	-	-
1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-
1111110	網特有番号	-	-
1111111	予備	-	-
H	奇数/偶数表示		
0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
L~I	予備	-	-
O~M	番号計画表示		
000	予備	-	-
001	ISDN(電話)番号計画	○	○
010~111	予備	-	-
P	網内番号表示(INN表示)		
0	網内のルーティング可	-	-
1	網内のルーティング不可	○	○
~Q	アドレス情報	○	○
オプションパラメータ終了表示			
H~A			
00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表 3-2 ISUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
逆方向呼表示	BA	課金表示	
	00	表示なし	○ ○
	01	非課金	○ ○
	10	課金	○ ○
	11	予備	- -
	DC	着ユーザ状態表示(CLS)	
	00	表示なし	○ ○
	01	加入者空	○ ○
	10	空きのとき接続	- -
	11	予備	- -
	FE	着ユーザ種別表示	
	00	表示なし	○ ○
	01	一般ユーザ	○ ○
	10	公衆電話	○ -
	11	予備	- -
	HG注	エンド・エンド法表示(CCS網)	
	00	エンド・エンド法が利用できない	○ ○
	01~11	予備	- -
	I注	相互接続表示	
	0	相互接続なし	○ ○
	1	相互接続あり	○ ○
	J注	エンド・エンド情報表示	
	0	エンド・エンド法が利用できない	○ ○
	1	予備	- -
	K注	ISUP1リンク表示	
	0	ISUP1リンクでない	○ ○
	1	ISUP1リンクである	○ ○
	L	保留表示	
0	保留必要なし	○ ○	
1	予備	- -	
M	ISDNアクセス表示		
0	着側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○ ○	
1	着側のユーザ・網インタフェースがISDN	○ ○	
N	エコー制御回路表示		
0	入エコー制御回路挿入なし	○ ○	
1	入エコー制御回路挿入済み	- -	
PO	SCCP法表示		
00	表示なし	○ ○	
01~11	予備	- -	
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○ ○	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00101001	オプション逆方向呼表示	○ ○	
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○ ○	
オプション逆方向呼表示			
A	インバンド情報表示		
0	表示なし	○ -	
1	インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○ ○	
B	着信転送可能性表示		
0	表示なし	○ ○	
1	順方向呼発生	- -	
C	簡易分割表示		
0	付加情報が送出されない	○ ○	
1	付加情報は分割メッセージで送出される	- -	
D	MLPPユーザ表示	- -	
H~E	国内使用に留保	- -	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		

注:G~K
プロトコル
制御表示
(PCI)

表 3-2 I S U P 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
	00010010 理由表示	○	○
パラメータ長	H~A	○	○
理由表示	RELの理由表示を参照	○	○
パラメータ名	H~A		
	11111011 課金情報	○	○
パラメータ長	H~A	○	○
課金情報	H~A		
	00000000 予備	-	-
	00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111011 予備	-	-
	11111100 単位料金 100円	-	-
	11111101 単位料金 10円	○	○
	11111110 表示なし	○	○
	11111111 予備	-	-
	O~I		
	00000000 予備	-	-
	00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111011 予備	-	-
	11111100 柔軟課金レート指示 (公衆)	○	○
	11111101 柔軟課金レート指示 (一般)	○	○
	11111110 柔軟課金レート情報なし	○	○
	11111111 予備		
	P		
	0 次のオクテットに続く	○	○
	1 最終オクテット	○	○
	X~Q	○	○
	~Y	○	○
パラメータ名	H~A		
	11111010 課金情報種別	○	-
パラメータ長	H~A	○	-
課金情報種別	H~A		
	00000000~00000010 網固有情報として留保	-	-
	00000011 応用課金レート転送	-	-
	00000100~10000000 網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111101 予備	-	-
	11111110 課金レート転送	○	-
	11111111 予備	-	-
パラメータ名	H~A		
	11110010 課金情報遅延	○	○
パラメータ長	H~A	○	○
課金情報遅延	H~A		
	00000000 予備	-	-
	00000001~10000000 網固有情報	-	-
	10000001~11111100 予備	-	-
	11111101 課金レート転送	○	○
	11111110 着信地域情報	○	○
	11111111 予備	-	-
パラメータ名	H~A		
	11110011 付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長			

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
付加ユーザ種別	H~A	オクテット数で示す	○	○	
	H~A 付加ユーザ種別名				
		00000000 予備	-	-	
		00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-	
		10000001~11111010 予備	-	-	
		11111011 移動系付加ユーザ種別3	-	-	
		11111100 移動系付加ユーザ種別2	○	○	
		11111101 移動系付加ユーザ種別1	○	○	
		11111110 固定系付加ユーザ種別1	-	-	
		11111111 予備	-	-	
	H~Aが “1111 1110” の場合	P~I 固定系付加ユーザ種別1	00000000 予備	-	-
			00000001 列車公衆	-	-
			00000010 ピンク	-	-
			00000011~11111111 予備	-	-
	H~Aが “1111 1101” の場合	P~I 移動系付加ユーザ種別1	00000000 予備	-	-
			00000001 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	○	○
			00000010 移動通信 (船舶電話サービス)	○	-
			00000011 移動通信 (航空機電話サービス)	○	-
			00000100 移動通信 (無線呼び出しサービス)	-	-
			00000101 PHS通信 (PHSサービス)	-	-
00000110~11111111 予備			-	-	
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I 移動系付加ユーザ種別2	00000000 予備	-	-	
		00000001 移動通信 (大容量方式)	○	-	
		00000010 移動通信 (N/J-TACS)	○	-	
		00000011 移動通信 (PDC 800MHz)	○	-	
		00000100 移動通信 (PDC 1.5GHz)	○	-	
		00000101 移動通信 (N-STAR衛星)	○	-	
		00000110 移動通信 (cdmaOne 800MHz)	○	○	
		00000111 移動通信 (イリジウム衛星)	○	-	
		00001000 移動通信 (IMT2000)	○	-	
		00001001 PHS通信 (PHS活用型)	-	-	
		00001010~11111111 予備	-	-	
パラメータ名					
H~A		パラメータ名			
	11110001	事業者情報転送	○	○	
パラメータ長					
H~A		オクテット数で示す	○	○	
事業者情報転送					
(繰り返しあり)	B A		経由情報転送表示		
		00	転送なし	○	○
		01	順方向	-	-
		10	逆方向	-	-
		11	両方向	-	-
	H~C		予備	-	-
	P~I		事業者情報名		
		00000000	予備	-	-
		00000001~10000000	網固有情報	-	-
		10000001~11111001	予備	-	-
		11111010	SCP事業者情報	○	-
		11111011	発事業者情報	-	-
		11111100	着事業者情報	○	○
		11111101	選択中継事業者情報	○	-
11111110		経由事業者情報	○	○	
11111111	予備	-	-		
X~Q		事業者情報長	○	○	
“11111100”	H~A		事業者情報従属パラメータ名		
		00000000	予備	-	-

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
着事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11111011	予備	-	-
	11111100	POI-階梯情報	○	-
	11111101	POI-料金区域情報	-	-
	11111110	事業者識別コード	○	○
	11111111	予備	-	-
事業者識別 コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
	W~Q	予備	-	-
	X	奇数/偶数表示		
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	○
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	-	-
	~Y	事業者識別コード	○	○
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	-
	T~Q	出側POI-階梯情報		
	0000	表示無し	○	-
	0001	階梯1	○	-
	0010	階梯2	○	-
	0011~1111	予備	-	-
	X~U	入側POI-階梯情報		
	0000	表示無し	○	-
	0001	階梯1	○	-
	0010	階梯2	○	-
0011~1111	予備	-	-	
“11111101” 選択中継事業者 情報の場合 “11111110” 経由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11111011	予備	-	-
	11111100	POI-階梯情報	○	○
	11111101	POI-料金区域情報	○	○
	11111110	事業者識別コード	○	○
	11111111	予備	-	-
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
	T~Q	出側POI-階梯情報		
	0000	表示無し	○	○
	0001	階梯1	○	○
	0010	階梯2	○	○
	0011~1111	予備	-	-
	X~U	入側POI-階梯情報		
	0000	表示無し	○	○
	0001	階梯1	○	○
	0010	階梯2	○	○
0011~1111	予備	-	-	
事業者識別 コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
	W~Q	予備	-	-
	X	奇数/偶数表示		
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	○
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	○	○
	~Y	事業者識別コード	○	○
POI・料金 区域情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長		
	W~Q	予備	-	-
	X	奇数/偶数表示	○	○
	0	POI・料金区域情報の桁数が偶数	-	-
	1	POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○
	~Y	POI-料金区域情報	○	○
“11111010” SCP事業者 情報の場合	H~A	事業者情報従属パラメータ名		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11111011	予備	-	-
	11111100	POI-階梯情報	-	-
	11111101	POI-料金区域情報	-	-
	11111110	事業者識別コード	○	-

表 3-2 I S U P 一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
事業者識別 コード		11111111 予備	-	-
	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	-
	W~Q	予備	-	-
	X	奇数/偶数表示		
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	-
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-
	~Y	事業者識別コード	○	-
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
		11111101 料金区域情報	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
料金区域情報				
	G~A	情報識別表示		
		0000000 MAコード	-	-
		0000001 CAコード	○	○
		0000010~1111111 予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
		0 アドレス情報の桁数が偶数	-	-
		1 アドレス情報の桁数が奇数	○	○
	~I	情報 (3oct)	○	○
オプションパラメータ終了表示				
	H~A			
		00000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
イベント情報	G~A	イベント表示	
	0000000	予備	-
	0000001	呼出中	○
	0000010	経過表示	○
	0000011	イベント情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○
	0000100~1111111	予備	-
	H	イベント提示制限表示	
	0	表示なし	○
	1	提示制限	-
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
	00010001	逆方向呼表示	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
逆方向呼表示			
注:G~K プロトコル 制御表示 (PCI)	B A	課金表示	
	00	表示なし	○
	01	非課金	○
	10	課金	○
	11	予備	-
	D C	着ユーザ状態表示 (CLS)	
	00	表示なし	○
	01	加入者空	○
	10	空きのとき接続	-
	11	予備	-
	F E	着ユーザ種別表示	
	00	表示なし	○
	01	一般ユーザ	○
	10	公衆電話	○
	11	予備	-
	H G 注	エンド・エンド法表示 (CCS網)	
	00	エンド・エンド法が利用できない	○
	00~11	予備	-
	I 注	相互接続表示	
	0	相互接続なし	○
	1	相互接続あり	○
	J 注	エンド・エンド情報表示	
	0	エンド・エンド情報利用できない	○
	1	予備	-
	K 注	ISUP1リンク表示	
	0	ISUP1リンクでない	○
	1	ISUP1リンクである	○
	L	保留表示	
	0	保留必要なし	○
	1	保留必要	-
	M	ISDNアクセス表示	
	0	着側のユーザ・網インターフェースが非ISDN	○
	1	着側のユーザ・網インターフェースがISDN	○
N	エコー制御回路表示		
0	入エコー制御回路挿入なし	○	
1	入エコー制御回路挿入済み	-	
P O	SCCP法表示		
00	表示なし	○	
01~11	予備	-	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
	00101001	オプション逆方向呼表示	○

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
オプション逆方向呼表示			
A	インバンド情報表示		
0	表示なし	○	-
1	インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○	-
B	着信転送可能性表示		
0	表示なし	○	-
1	順方向呼発生	-	-
C	簡易分割表示		
0	付加情報が送出されない	○	-
1	付加情報は分割メッセージで送出される	-	-
D	MLPPユーザ表示	-	-
H~E	国内使用に留保	-	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00010010	理由表示	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
理由表示	RELの理由表示を参照	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00000011	アクセス転送	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
アクセス転送	JT-Q931 4.5章に記されたようにコード化される (最大80oct)	○	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11111011	課金情報	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
課金情報			
H~A	単位料金表示		
00000000	予備	-	-
00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
10000001~11111011	予備	-	-
11111100	単位料金 100円	-	-
11111101	単位料金 10円	○	○
11111110	表示なし	○	○
11111111	予備	-	-
O~I	課金レート情報種別		
00000000	予備	-	-
00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
10000001~11111011	予備	-	-
11111100	柔軟課金レート指示 (公衆)	○	○
11111101	柔軟課金レート指示 (一般)	○	○
11111110	柔軟課金レート情報なし	○	○
11111111	予備	-	-
P	拡張表示		
0	次のオクテットに続く	○	○
1	最終オクテット	○	○
X~Q	課金レート情報長 (バイナリで表示)	○	○
~Y	課金レート情報内容 (一括登算度数及び課金間隔)	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11111010	課金情報種別	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
課金情報種別			

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
	00000000~00000010	網固有情報として留保	-	-
	00000011	応用課金レート転送	-	-
	00000100~10000000	網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111101	予備	-	-
	11111110	課金レート転送	○	○
	11111111	予備	-	-
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
	11110010	課金情報遅延	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
課金情報遅延				
	H~A	パラメータ名		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11111100	予備	-	-
	11111101	課金レート転送	○	○
	11111110	着信地域情報	○	○
	11111111	予備	-	-
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
	11110011	付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
付加ユーザ種別				
	H~A	付加ユーザ種別名		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111010	予備	-	-
	11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-
	11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	○
	11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	○
	11111110	固定系付加ユーザ種別1	-	-
	11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1110” の場合	P~I	固定系付加ユーザ種別1		
	00000000	予備	-	-
	00000001	列車公衆	-	-
	00000010	ピンク	-	-
	00000011~11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1101” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別1		
	00000000	予備	-	-
	00000001	移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	○	○
	00000010	移動通信 (船舶電話サービス)	○	-
	00000011	移動通信 (航空機電話サービス)	○	-
	00000100	移動通信 (無線呼び出しサービス)	-	-
	00000101	PHS通信 (PHSサービス)	-	-
	00000110~11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別2		
	00000000	予備	-	-
	00000001	移動通信 (大容量方式)	○	-
	00000010	移動通信 (N/J-TACS)	○	-
	00000011	移動通信 (PDC 800MHz)	○	-
	00000100	移動通信 (PDC 1.5GHz)	○	-
	00000101	移動通信 (N-STAR衛星)	○	-
	00000110	移動通信 (cdmaOne 800MHz)	○	○
	00000111	移動通信 (イリジウム衛星)	○	-
	00001000	移動通信 (IMT2000)	○	-
	00001001	PHS通信 (PHS活用型)	-	-
	00001010~11111111	予備	-	-
パラメータ名				

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
パラメータ長	H~A	パラメータ名		
	11110001	事業者情報転送	○ ○	
事業者情報転送	H~A	オクテット数で示す	○ ○	
	BA	経由情報転送表示		
(繰り返しあり)	00	転送なし	○ ○	
	01	順方向	- -	
	10	逆方向	- -	
	11	両方向	- -	
	H~C	予備	- -	
	P~I	00000000	予備	- -
		00000001~10000000	網固有情報	- -
		10000001~11111001	予備	- -
		11111010	SCP事業者情報	○ -
		11111011	発事業者情報	- -
		11111100	着事業者情報	○ ○
		11111101	選択中継事業者情報	○ -
		11111110	経由事業者情報	○ ○
		11111111	予備	- -
X~Q	事業者情報長	○ ○		
“11111100” 着事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名		
	00000000	予備	- -	
	00000001~10000000	網固有情報	- -	
	10000001~11111011	予備	- -	
	11111100	POI-階梯情報	○ -	
	11111101	POI-料金区域情報	- -	
	11111110	事業者識別コード	○ ○	
11111111	予備	- -		
事業者識別 コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長		
	W~Q	予備	- -	
	X	0	奇数/偶数表示 事業者識別コードの桁数が偶数	○ ○
		1	事業者識別コードの桁数が奇数	- -
~Y	事業者識別コード	○ ○		
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○ -	
	T~Q	0000	表示無し	○ -
		0001	階梯1	○ -
		0010	階梯2	○ -
		0011~1111	予備	- -
		X~U	0000	表示無し
	0001		階梯1	○ -
	0010		階梯2	○ -
	0011~1111		予備	- -
	“11111101” 選択中継事業者 情報の場合 “11111110” 経由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)		H~A	事業者情報従属パラメータ名
00000000		予備	- -	
00000001~10000000		網固有情報	- -	
10000001~11111011		予備	- -	
11111100		POI-階梯情報	○ ○	
11111101		POI-料金区域情報	○ ○	
11111110		事業者識別コード	○ ○	
11111111	予備	- -		
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○ ○	
	T~Q	0000	表示無し	○ ○
		0001	階梯1	○ ○
		0010	階梯2	○ ○
		0011~1111	予備	- -

表 3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
事業 識別 コード	X~U	入側POI-階梯情報			
	0000	表示無し	○	○	
	0001	階梯1	○	○	
	0010	階梯2	○	○	
	0011~1111	予備	-	-	
	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	○	○	
	~Y	事業者識別コード	○	○	
	POI・料金 区域情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
		W~Q	予備	-	-
		X	奇数/偶数表示	○	○
		0	POI・料金区域情報の桁数が偶数	-	-
		1	POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○
		~Y	POI-料金区域情報	○	○
	“11111010” SCP事業者 情報の場合	H~A	事業者情報従属パラメータ名		
		00000000	予備	-	-
		00000001~10000000	網固有情報	-	-
10000001~11111011		予備	-	-	
11111100		POI-階梯情報	-	-	
11111101		POI-料金区域情報	-	-	
11111110		事業者識別コード	○	-	
11111111		予備	-	-	
事業者識別 コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	-	
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	-	
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
~Y	事業者識別コード	○	-		
パラメータ名					
H~A	パラメータ名				
11111101	料金区域情報	○	-		
パラメータ長					
H~A	オクテット数で示す	○	-		
料金区域情報					
G~A	情報識別表示				
0000000	MAコード	-	-		
0000001	CAコード	○	-		
0000010~1111111	予備	-	-		
H	奇数/偶数表示				
0	アドレス情報の桁数が偶数	-	-		
1	アドレス情報の桁数が奇数	○	-		
~I	情報 (3oct)	○	-		
オプションパラメータ終了表示					
H~A					
00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
課金情報種別				
H~A	パラメータ名			
00000000~00000010	網固有情報として留保	-	-	
00000011	応用課金レート転送	-	-	
00000100~10000000	網固有情報として留保	-	-	
10000001~11111101	予備	-	-	
11111110	課金レート転送	○	○	
11111111	予備	-	-	
課金情報パラメータのポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
オプション部開始ポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
課金情報				
課金情報種別が“11111110”の場合	H~A	単位料金表示		
	00000000	予備	-	
	00000001~10000000	網固有情報	-	
	10000001~11111011	予備	-	
	11111100	単位料金 100円	-	
	11111101	単位料金 10円	○	
	11111110	表示なし	○	
	11111111	予備	-	
	O~I	課金レート情報種別		
	00000000	予備	-	
	00000001~10000000	網固有情報	-	
	10000001~11110111	予備	-	
	11111100	柔軟課金レート指示 (公衆)	○	
	11111101	柔軟課金レート指示 (一般)	○	
	11111110	柔軟課金レート指示 情報なし	○	
	11111111	予備	-	
	P	拡張表示	-	
	0	次のオクテットに続く	○	
	1	最終オクテット	○	
	X~Q	課金レート情報長 (バイナリで表示)	○	
	~Y	課金レート情報内容 (一括登算度数及び課金間隔)	○	
	パラメータ名			
	H~A	パラメータ名		
	11111101	料金区域情報	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○		
料金区域情報				
G~A	情報識別表示			
00000000	MAコード	-		
00000001	CAコード	○		
00000010~11111111	予備	-		
H	奇数/偶数表示			
0	料金区域情報 桁数が偶数	-		
1	料金区域情報 桁数が奇数	○		
~I	情報 (3oct)	○		
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
11110011	付加ユーザ種別	○		
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○		
付加ユーザ種別				
H~A	付加ユーザ種別名	○		
00000000	予備	-		

表3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
		00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
		10000001~11111010	予備	-	-
		11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-
		11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	-
		11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	-
		11111110	固定系付加ユーザ種別1	-	-
		11111111	予備	-	-
		H~Aが “1111 1110” の場合	P~I	固定系付加ユーザ種別1	
00000000	予備			-	-
00000001	列車公衆			-	-
00000010	ピンク			-	-
00000011~11111111	予備			-	-
H~Aが “1111 1101” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別1			
		00000000	予備	-	-
		00000001	移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	○	-
		00000010	移動通信 (船舶電話サービス)	○	-
		00000011	移動通信 (航空機電話サービス)	○	-
		00000100	移動通信 (無線呼び出しサービス)	-	-
		00000101	PHS通信 (PHSサービス)	-	-
		00000101~11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別2			
		00000000	予備	-	-
		00000001	移動通信 (大容量方式)	○	-
		00000010	移動通信 (N/J-TACS)	○	-
		00000011	移動通信 (PDC 800MHz)	○	-
		00000100	移動通信 (PDC 1.5GHz)	○	-
		00000101	移動通信 (N-STAR衛星)	○	-
		00000110	移動通信 (cdmaOne 800MHz)	○	-
		00000111	移動通信 (イリジウム衛星)	○	-
		00001000	移動通信 (IMT2000)	○	-
		00001001	PHS通信 (PHS活用型)	-	-
		00001000~11111111	予備	-	-
		オプションパラメータ終了表示			
	H~A				
		00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表3-2 ISUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00010001	逆方向呼表示	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
逆方向呼表示			
BA	課金表示		
00	表示なし	-	-
01	非課金	○	○
10	課金	○	○
11	予備	-	-
DC	着ユーザ状態表示 (CLS)		
00	表示なし	○	○
01	加入者空	○	○
10	空きするとき接続	-	-
11	予備	-	-
FE	着ユーザ種別表示		
00	表示なし	○	○
01	一般ユーザ	○	○
10	公衆電話	○	-
11	予備	-	-
HG注	エンド・エンド法表示 (CCS網)		
00	エンド・エンド法が利用できない	○	○
01~11	予備		
I注	相互接続表示		
0	相互接続なし	○	○
1	相互接続あり	○	○
J注	エンド・エンド情報表示		
0	エンド・エンド情報利用できない	○	○
1	予備		
注:G~K プロトコル 制御表示 (PCI)	K注	ISUP1リンク表示	
	0	ISUP1リンクでない	○
	1	ISUP1リンクである	○
	L	保留表示	
	0	保留必要なし	○
	1	予備	-
	M	ISDNアクセス表示	
	0	着側のユーザ・網インターフェースが非ISDN	○
	1	着側のユーザ・網インターフェースがISDN	○
	N	エコー制御回路表示	
	0	入エコー制御回路挿入なし	○
	1	入エコー制御回路挿入済み	-
	PO	SCCP法表示	
	00	表示なし	○
	01~11	予備	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00000011	アクセス転送	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
アクセス転送	JT-Q931 4.5章に記されたようにコード化される (最大80oct)	○	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11111101	料金区域情報	○	-
パラメータ長			

表 3-2 I SUP 一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
H~A		オクテット数で示す	○	-
料金区域情報	G~A		情報識別表示	
		0000000 MAコード	-	-
		0000001 CAコード	○	-
		0000010~1111111 予備	-	-
	H		奇数/偶数表示	
		0 料金区域情報 桁数が偶数	-	-
		1 料金区域情報 桁数が奇数	○	-
~I		アドレス情報 (3oct)	○	-
パラメータ名				
H~A		パラメータ名		
	11110011	付加ユーザ種別	○	-
パラメータ長				
H~A		オクテット数で示す	○	-
付加ユーザ種別				
H~A		付加ユーザ種別名	○	-
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111010	予備	-	-
	11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-
	11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	-
	11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	-
	11111110	固定系付加ユーザ種別1	-	-
	11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1110” の場合	P~I 固定系付加ユーザ種別1			
		00000000 予備	-	-
		00000001 列車公衆	-	-
		00000010 ピンク	-	-
	00000011~11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1101” の場合	P~I 移動系付加ユーザ種別1			
		00000000 予備	-	-
		00000001 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	○	-
		00000010 移動通信 (船舶電話サービス)	○	-
		00000011 移動通信 (航空機電話サービス)	○	-
		00000100 移動通信 (無線呼び出しサービス)	-	-
		00000101 PHS通信 (PHSサービス)	-	-
	00000101~11111111	予備	-	-
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I 移動系付加ユーザ種別2			
		00000000 予備	-	-
		00000001 移動通信 (大容量方式)	○	-
		00000010 移動通信 (N/J-TACS)	○	-
		00000011 移動通信 (PDC 800MHz)	○	-
		00000100 移動通信 (PDC 1.5GHz)	○	-
		00000101 移動通信 (N-STAR衛星)	○	-
		00000110 移動通信 (cdmaOne 800MHz)	○	-
		00000111 移動通信 (イリジウム衛星)	○	-
		00001000 移動通信 (IMT2000)	○	-
		00001001 PHS通信 (PHS活用型)	-	-
	00001000~11111111	予備	-	-
オプションパラメータ終了表示				
H~A				
	00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表 3-2 I S U P 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
中断／再開表示			
	A	中断／再開表示	
	0	ISDNユーザ起動	○ ○
	1	網起動	○ ○
H～B	予備	— —	
オプション部開始ポインタ			
	H～A	オクテット数で示す	○ ○

表3-2 I S U P一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○

表 3-2 I SUP 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現(注2)	○	○

(注1) 状態サブフィールドは使用しない

(注2) 1~31を使用する

表 3-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)				
範囲				
	H~A	0~255のバイナリ表現 (注2)	○	○
状態				
	H~A	(最大2oct)		
	回線群リセット 確認メッセージ			
	0	保守のための閉塞ではない	○	○
	1	保守のために閉塞	○	○

(注1) 範囲コード0の場合は状態サブフィールドは使用しない
(注2) 1~31を使用する

表 3-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現(注2)	○	○

(注1) 状態サブフィールドは使用しない
(注2) 0~31を使用する

表 3-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
回線状態表示パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態 (注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現 (注2)	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
回線状態表示			
H~A	回線状態番号 (最大32oct)		
	00000000 過渡状態	○	○
	00000001 予備	-	-
	00000010 予備	-	-
	00000011 未実装	○	○
	00000100 入側回線として使用中、非閉塞 (運用中)	○	○
	00000101 入側回線として使用中、自局閉塞	○	○
	00000110 入側回線として使用中、相手局閉塞	○	○
	00000111 入側回線として使用中、両局閉塞	○	○
	00001000 出側回線として使用中、非閉塞 (運用中)	○	○
	00001001 出側回線として使用中、自局閉塞	○	○
	00001010 出側回線として使用中、相手局閉塞	○	○
	00001011 出側回線として使用中、両局閉塞	○	○
	00001100 空	○	○
	00001101 空、自局閉塞	○	○
	00001110 空、相手局閉塞	○	○
	00001111 空、自局閉塞、相手局閉塞	○	○
	00010000~11111111 予備	-	-

(注1) 状態サブフィールドは使用しない

(注2) 0~31を使用する

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
理由表示パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
理由表示			
D~Aオクテット1	生成源		
0000	ユーザ	○	○
0001	ローカルユーザ収容私設網 (自分側)	-	-
0010	ローカルユーザ収容公衆網 (自分側)	-	-
0011	中継網	○	○
0100	リモートユーザ収容公衆網 (相手側)	○	○
0101	リモートユーザ収容私設網 (相手側)	○	○
0110	予備	-	-
0111	国際網	○	-
1010	相手接続点より相手側	○	○
その他	留保	-	-
E	予備	-	-
G F	コーディング標準		
00	CCITT標準	○	○
01	他の国際標準のための留保	-	-
10	国内標準	-	-
11	生成源に対する特定の標準	-	-
H	拡張表示子		
0	次のオクテットに続く	-	-
1	最終オクテット	○	○
G~Aオクテット2	理由種別		
00X XXXX	正常・準正常クラス	○	○
000 0001	欠番	○	○
000 0010	指定中継網へのルートなし	○	○
000 0011	相手ルートなし	○	○
000 0100	特殊可聴音送出	○	○
000 0101	トランクプレフィックスの誤ダイヤル	○	○
001 0000	正常切断	○	○
001 0001	着ユーザビジジー	○	○
001 0010	着ユーザレスポンスなし	○	○
001 0011	着ユーザ応答なし (呼び出し中)	○	○
001 0100	加入者不在	○	○
001 0101	通信拒否	○	○
001 0110	相手加入者番号変更	○	○
001 0111	新着信先ヘリダイレクション	○	○
001 1011	着側インタフェース起動不可	○	○
001 1100	無効番号フォーマット (不完全番号)	○	○
001 1101	ファシリティ拒否	○	○
001 1111	その他の正常クラス	○	○
010 XXXX	網輻輳クラス	○	○
010 0010	利用可回線/チャネルなし	○	○
010 0110	網障害	○	○
010 1001	一時的失敗	○	○
010 1010	交換機輻輳	○	○
010 1011	アクセス情報破棄	○	○
010 1100	要求回線/チャネル利用不可	○	○
010 1111	その他、リソース利用不可クラス	○	○
011 XXXX	サービスあるいはオプション提供不可	○	○
011 0010	要求ファシリティ未契約	○	○
011 1001	伝達能力不許可	○	○
011 1010	現在利用不可伝達能力	○	○
011 1111	その他、サービス/オプション利用不可	○	○
100 XXXX	サービスあるいはオプションが未提供	○	○
100 0001	未提供伝達能力	○	○

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
	100 0101	未提供ファシリティ要求	○	○
	100 0110	制限デジタル情報伝達能力のみ可能	○	○
	100 1111	その他のサービス又はオプションの未提供クラス	○	○
	101 XXXX	無効信号	○	○
	101 1000	端末属性不一致	○	○
	101 1011	無効中継網選択	○	○
	101 1111	その他の無効メッセージクラス	○	○
	110 XXXX	手順誤り	○	○
	110 0001	メッセージ種別未定義又は未提供	○	○
	110 0011	情報要素/パラメータ未定義又は未提供	○	○
	110 0101	未定義又は未提供のパラメータ通過	○	○
	110 0110	タイマ満了による回復	○	○
	110 0111	未定義又は未提供のパラメータの通過	○	○
	110 1111	その他の手順誤りクラス	○	○
	111 XXXX	相互接続	○	○
	111 1111	その他のインターワーキングクラス	○	○
	H	拡張表示子		
	0	次のオクテットに続く	-	-
1	最終オクテット	○	○	
オクテット3以降	診断情報（当社網送信時必要な場合のみ着番号が含まれる）	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
00001100	転送先番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
転送先番号				
G~A	番号種別表示			
0000000	予備	-	-	
0000001	加入者番号	-	-	
0000010	予備、国内使用のため留保	-	-	
0000011	国内番号	○	○	
0000100	国際番号	-	-	
0000101~1101111	予備	-	-	
1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-	
1111110	網特有番号	-	-	
1111111	予備	-	-	
H	奇数/偶数表示			
0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○	
1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○	
L~I	予備	-	-	
O~M	番号計画表示			
000	予備	-	-	
001	ISDN(電話)番号計画	○	○	
010~111	予備	-	-	
P	網内番号表示(INN表示)			
0	網内のルーティング可	○	○	
1	網内のルーティング不可	-	-	
~Q	アドレス情報	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
10001100	リダイレクション逆方向情報	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
リダイレクション逆方向情報				
H~A	情報種別識別子			
00000000	未使用	-	-	
00000001	起動交換機への切戻し可能	-	-	
00000010	起動交換機への切戻し用呼識別子	-	-	
00000011	リダイレクション起動理由	○	○	
00000100~11111111	予備	-	-	

表 3-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
リダイレクション理由	P~I	情報種別長	○ ○
	G~A	リダイレクション起動理由	
	0000000	不定/無効	- -
	0000001	事業者間ポータビリティ (国内用)	- -
	0000010	ロケーションポータビリティのため留保	- -
	0000011	サービスポータビリティのため留保	- -
	0000100~0111111	予備	- -
	1000000~1111101	国内使用のため留保	- -
	1111110	一般番号ポータビリティ (LNP) / 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) (国内用)	○ ○
	1111111	国内使用のため留保	- -
	H	拡張表示	
	0 次オクテットに続く	- -	
	1 最終オクテット	○ ○	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
	01110111 リダイレクション回数	○ ○	
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○ ○	
リダイレクション回数			
E~A	リダイレクション回数 (リダイレクションした回数のバイナリ数)	○ ○	
H~F	予備	- -	
オプションパラメータ終了表示			
H~A			
	00000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○ ○	

表 3-2 I S U P 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプションパラメータ終了表示			
H~A			
	00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○

技術的条件集別表 4

接続シーケンス (対移動体事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－4（接続シーケンス）

1. 各種接続シーケンス

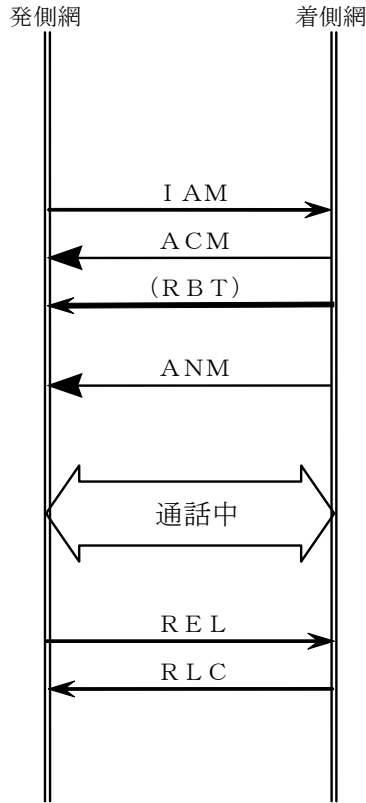
No ^{※1}	シーケンス分類
1	基本接続（パターン1）
2	基本接続（パターン2）
3	基本接続（パターン3）
4	基本接続（パターン4）
5	基本接続（不完了例パターン1） ^{※2}
6	基本接続（不完了例パターン2） ^{※2}
7	インチャネル追加ダイヤル
8	インチャネル追加ダイヤル（不完了例） ^{※2}
9	リルーチング
10	MNP接続（転送方式）
11	MNP接続（リダイレクション方式）

※1 シーケンスNo. 1～6：当社網は発側及び着側の網
 シーケンスNo. 7～9：当社網は発側網のみ対象
 シーケンスNo. 10：当社網は移転元網及び移転先網
 シーケンスNo. 11：当社網は発側網，移転元網及び移転先網

※2 不完了呼においてRELの理由表示が「#1（欠番）」の場合は、「空き番号トーキ」に接続する

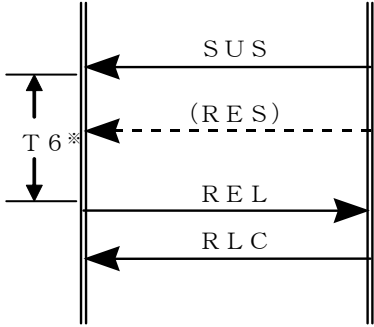
No. 1

分類 基本接続 (パターン1)

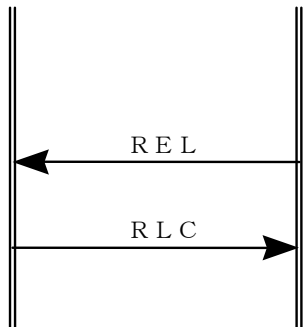


着側切断のシーケンス (SUSあり)

※T6タイムアウトは着側網でも検出する。(検出時は着信網からREL送出)



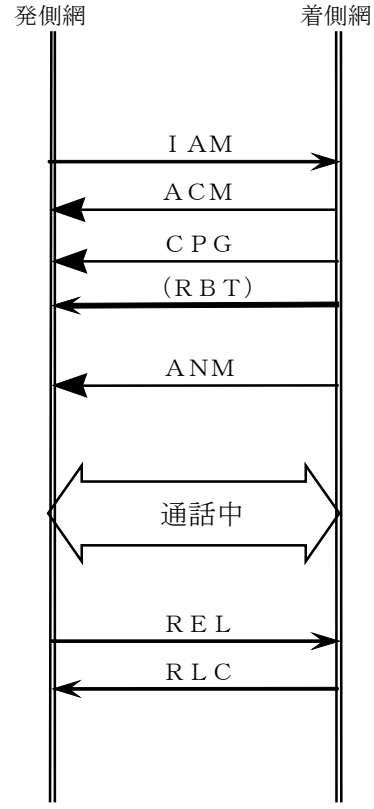
着側切断のシーケンス (SUSなし)



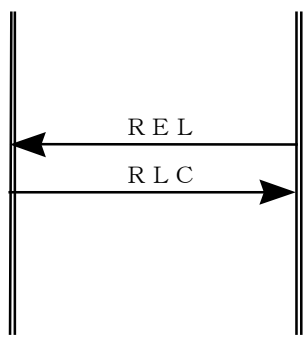
No. 2

分類

基本接続 (パターン2)



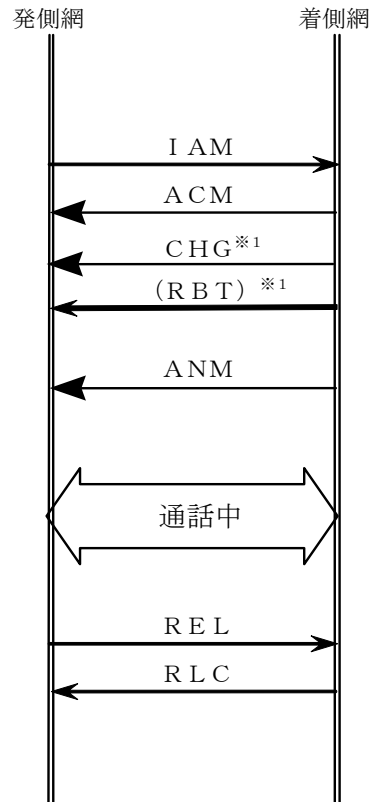
着側切断のシーケンス



No. 3

分類

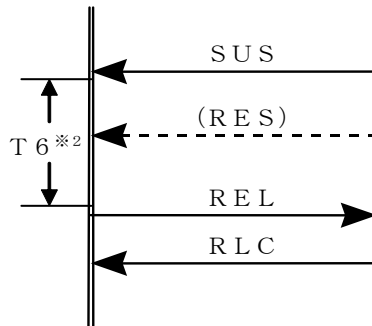
基本接続 (パターン3)



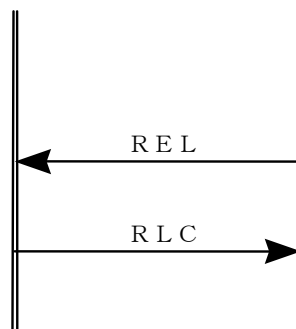
※1:「CHG」、「(RBT)」の順序性はない。

着側切断のシーケンス (SUSあり)

※2: T6タイムアウトは着側網でも検出する。(検出時は着信網からREL送出)



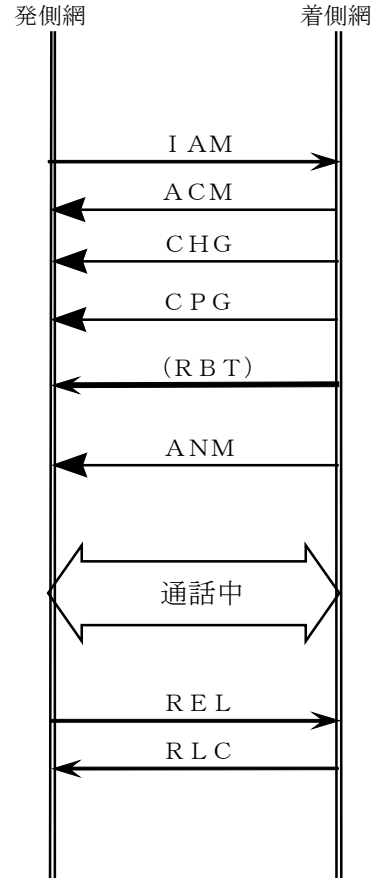
着側切断のシーケンス (SUSなし)



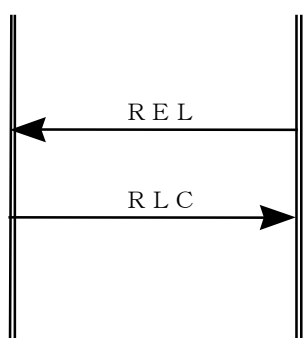
No. 4

分類

基本接続 (パターン4)

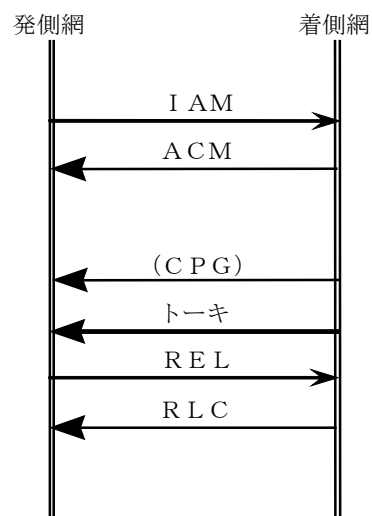
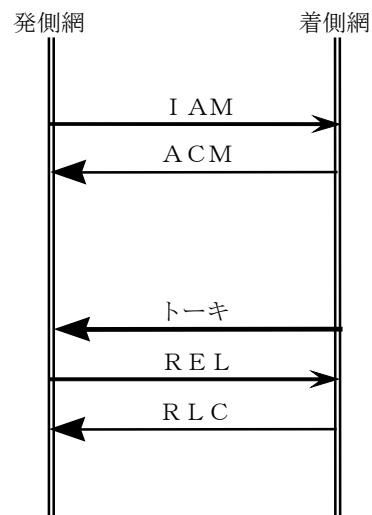
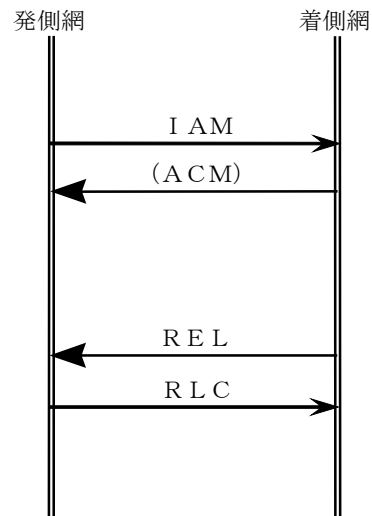


着側切断のシーケンス



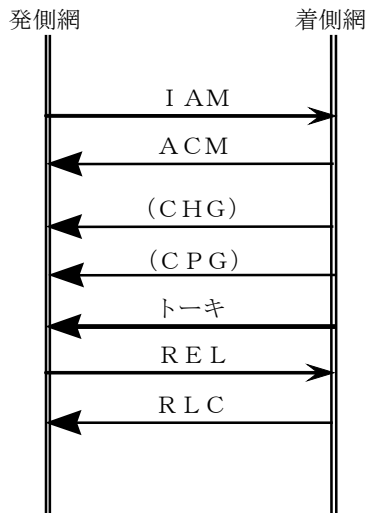
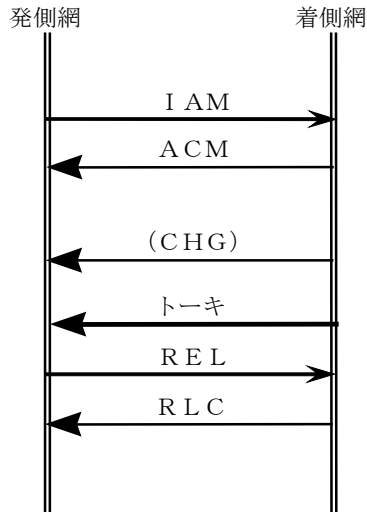
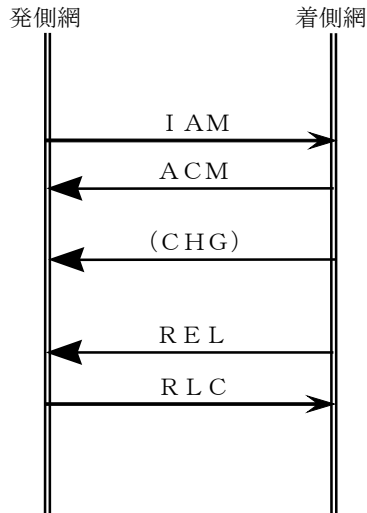
No. 5

分類 基本接続 (不完了例パターン1)

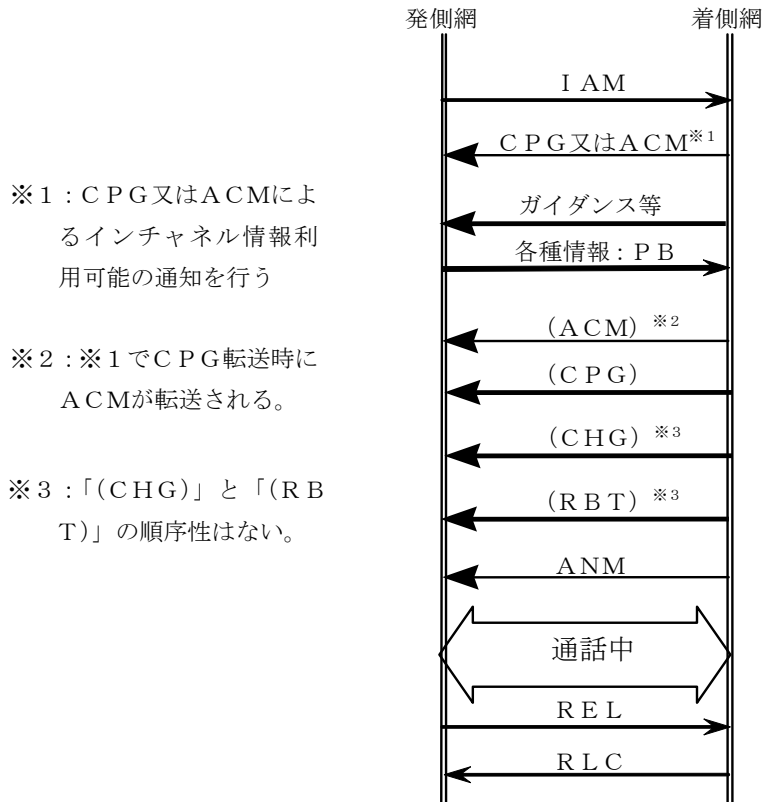


No. 6

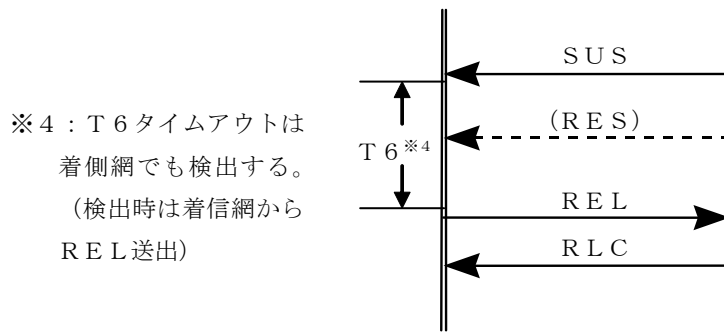
分類 基本接続 (不完了例パターン2)



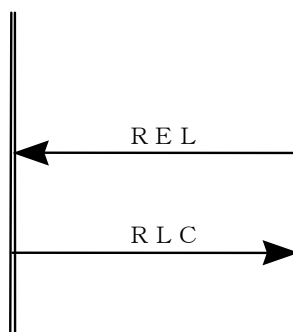
No. 7 分類 インチャネル追加ダイヤル



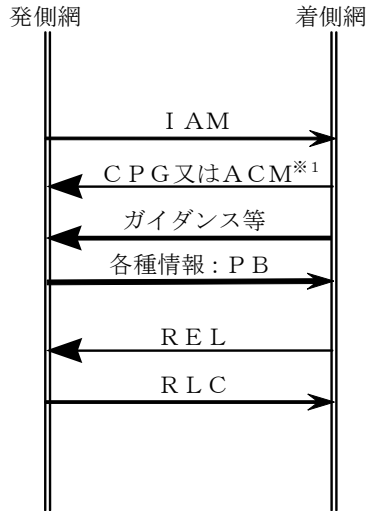
着側切断のシーケンス (SUSあり)



着側切断のシーケンス (SUSなし)

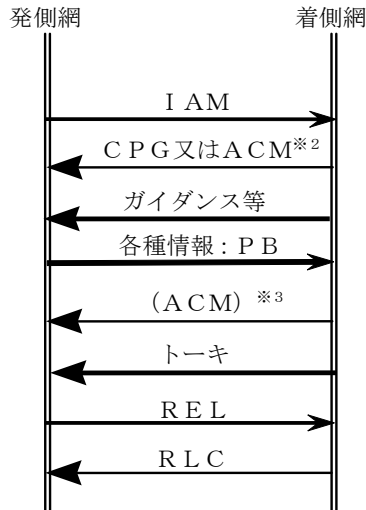


※1 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。



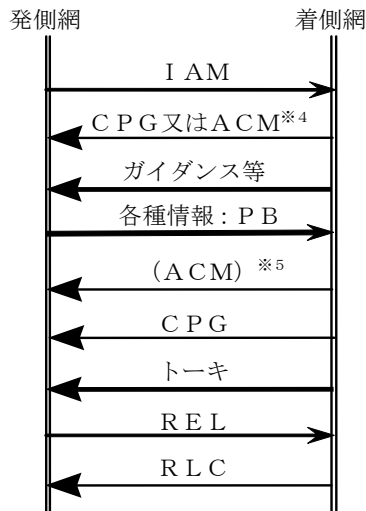
※2 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。

※3 : ※1でCPG転送時にACMが転送される。



※4 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。

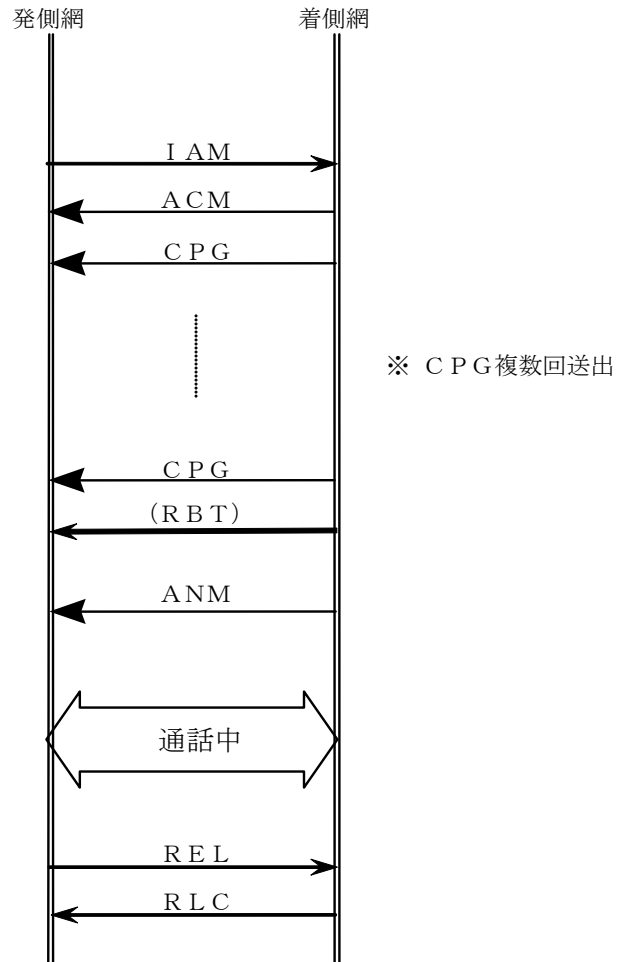
※5 : ※1でCPG転送時にACMが転送される。



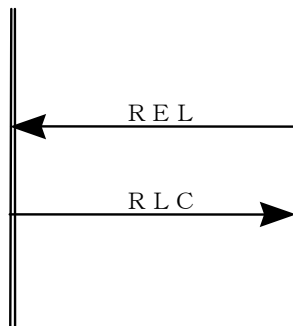
No. 9

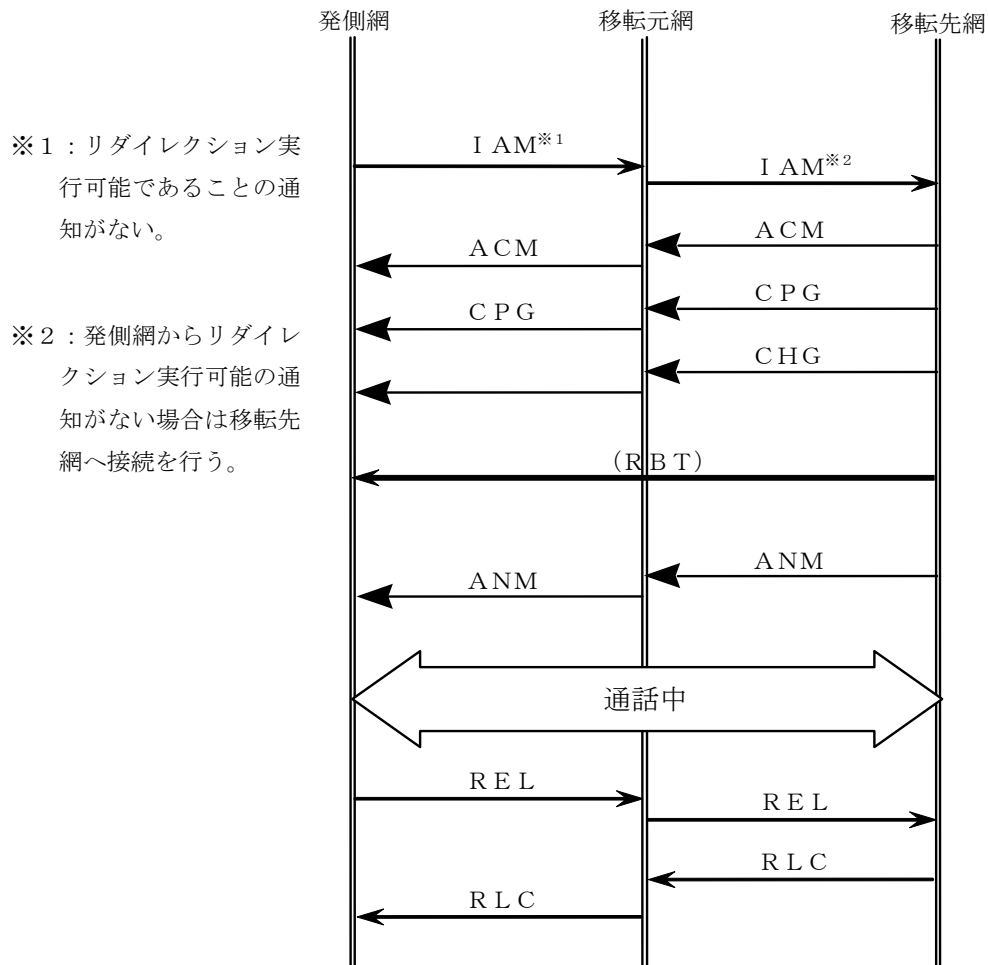
分類

リルーチング



着側切断のシーケンス

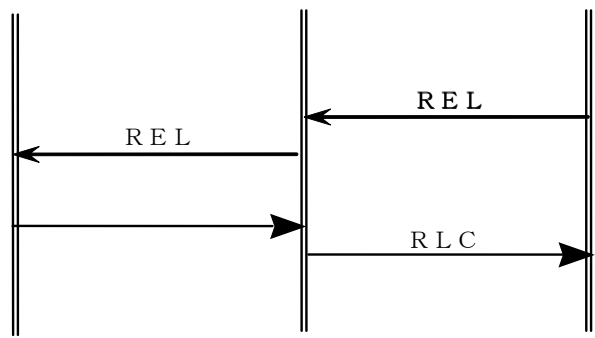




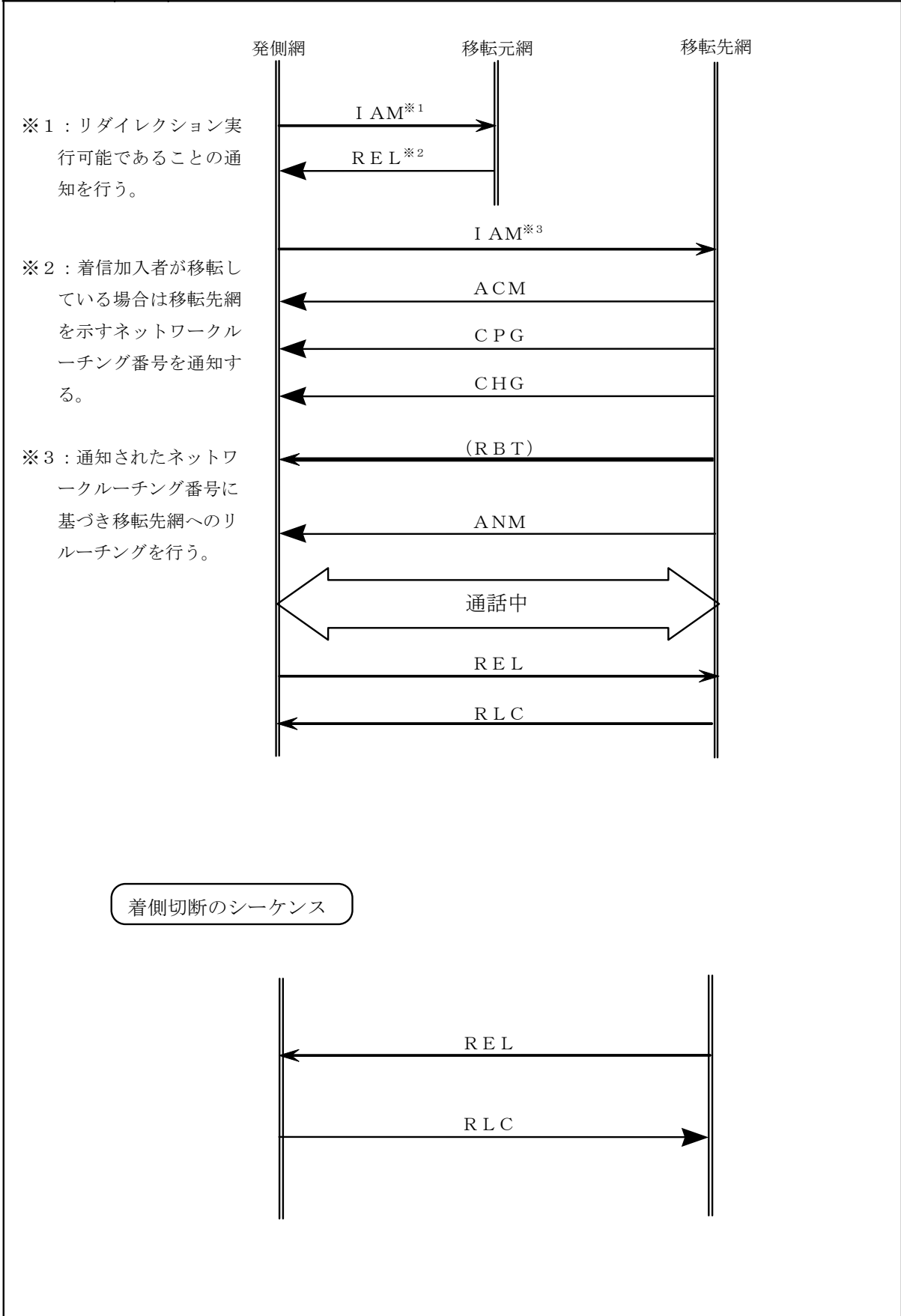
※1：リダイレクション実行可能であることの通知がない。

※2：発側網からリダイレクション実行可能の通知がない場合は移転先網へ接続を行う。

着側切断のシーケンス



No. 11	分類	MNP接続 (リダイレクション方式)
--------	----	--------------------



技術的条件集別表 5

伝送装置間インタフェース仕様
(対移動体事業者接続用インタフェース)

〔準拠した規格一覧〕

TTC標準	JT-G 707	: 第5版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G 783	: 第3版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G 957	: 第3版	2001年4月19日制定
JIS規格	JIS C 6835		1989年3月1日制定
JIS規格	JIS C 5973		1990年6月1日制定

1. インタフェース規定点

本インタフェース条件を規定するポイントは図1のとおりである。

2. 物理的条件

2. 1 ケーブル

本インタフェースに適用するケーブルは、 $1.3\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はSM型光ファイバケーブルとし、 $1.5\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はDSM型光ファイバケーブルとする。なお、SM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMA-9.5/125相当の光ファイバ素線を使用し、DSM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMB-8/125相当の光ファイバ素線を使用する。

2. 2 コネクタ

本インタフェースに適用するコネクタは、JIS C 5973 (F04 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上（マスタプラグ接続時の挿入損失が0.7dB以下）、接続時の反射減衰量は22dB以上またはJIS C 5983 (F14 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上（マスタプラグ接続時の挿入損失が0.5dB以下）、接続時の反射減衰量は22dB以上とする。

3. 光学的条件

3. 1 50M 信号局内用

光パラメータ条件を表1に示す。

3. 2 150M 信号局内用

光パラメータ条件を表2に示す。

3. 3 150M 信号 40km 局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表3に示す。

3. 4 150M 信号 80km 局間用 ($1.55\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表4に示す。

3. 5 600M 信号局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表5に示す。

3. 6 2.4G 信号局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表6に示す。

4. 論理的条件

論理的条件は以下のとおりとする。

4. 1 フレーム構成

4. 1. 1 多重化構造

本インタフェースに適用される多重化構造はTTC標準JT-G707に準拠する。

4. 1. 2 フレームフォーマット

STM-16, STM-4, STM-1, STM-0, VC-3, TUG-2, VC-2, VC-11 信号のフレームフォーマットを図5～12に示す。

4. 1. 3 オーバーヘッドバイトの定義

本インタフェースに使用するオーバーヘッドバイトの定義を表7～10に示す。

4. 2 フレーム同期方式

STM-16, STM-4, STM-1, STM-0 信号のフレーム同期方式を表11に示す。

4. 3 S1バイト処理条件

S1バイト（同期状態メッセージ）の送受信条件を表12,13に示す。

4. 4 警報インタフェース条件

4. 4. 1 警報発出解除条件

本インタフェースにおける警報発出解除条件を表14に示す。

4. 4. 2 警報転送

本インタフェースにおける警報転送機能を図14に示す。

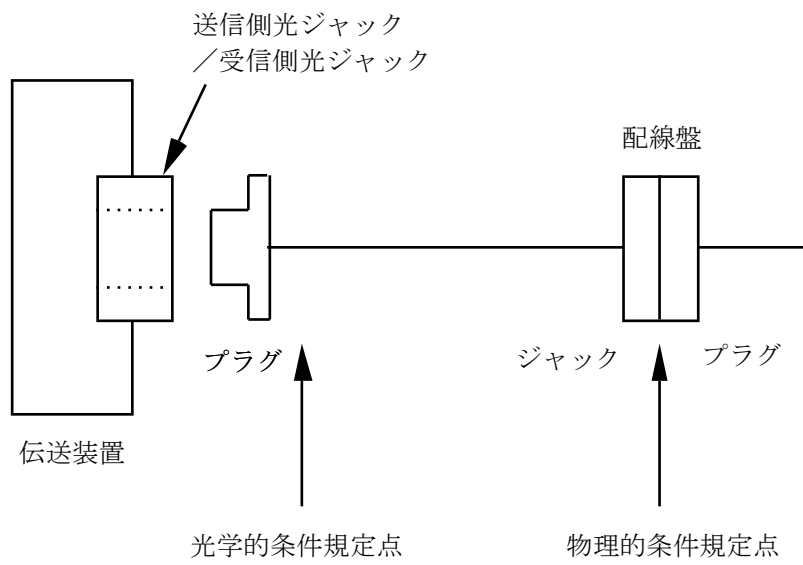


図1 インタフェース規定点

表1 50M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	51.840Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1260～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-15～ -8dBm
光出力波形	図2参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力（平均値）	-8dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表2 150M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1260～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-15～ -8dBm
光出力波形	図2参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力（平均値）	-8dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表3 150M信号40Km局間用 (1.31 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290～1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-5～ 0dBm
光出力波形	図2参照
消光比	10dB以上
最大受光電力 (平均値)	-10dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-34dBm以下
最大光路ペナルティ	1 dB以下

表4 150M信号80Km局間用 (1.55 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1530～1570nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-3～ +3dBm
光出力波形	図2参照
消光比	13dB以上
最大受光電力 (平均値)	-17dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-32dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

表5 600M信号局間用 (1.31 μm) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	622.08Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290~1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} /中継区間
平均送信電力	-3~+2dBm
光出力波形	図3参照
消光比	10dB以上
最大受光電力(平均値)	-8dBm以上
最小受光電力(平均値)	-28dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

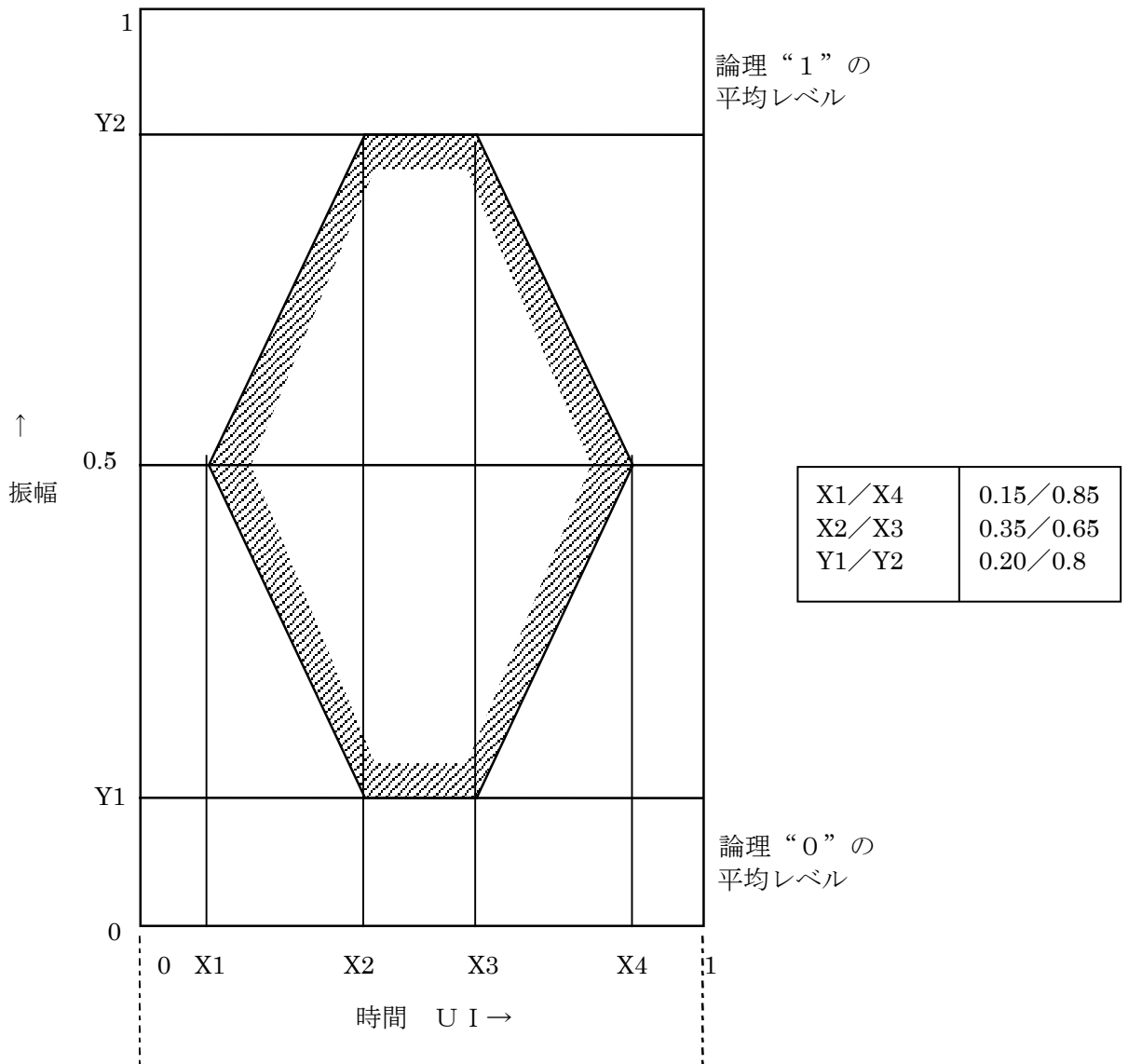
表6 2.4G信号局間用 (1.31 μm) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	2,488.32Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290~1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} /中継区間
平均送信電力	-2~+3dBm
光出力波形	図4参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力(平均値)	-9dBm以上
最小受光電力(平均値)	-27dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

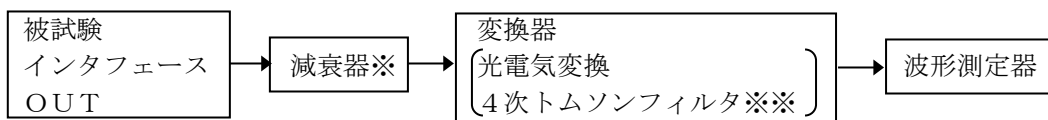
縦軸：相対値

横軸： $\times 1/155.52$ [μ s] (STM-1 の場合)

$\times 1/51.84$ [μ s] (STM-0 の場合)



【測定系】



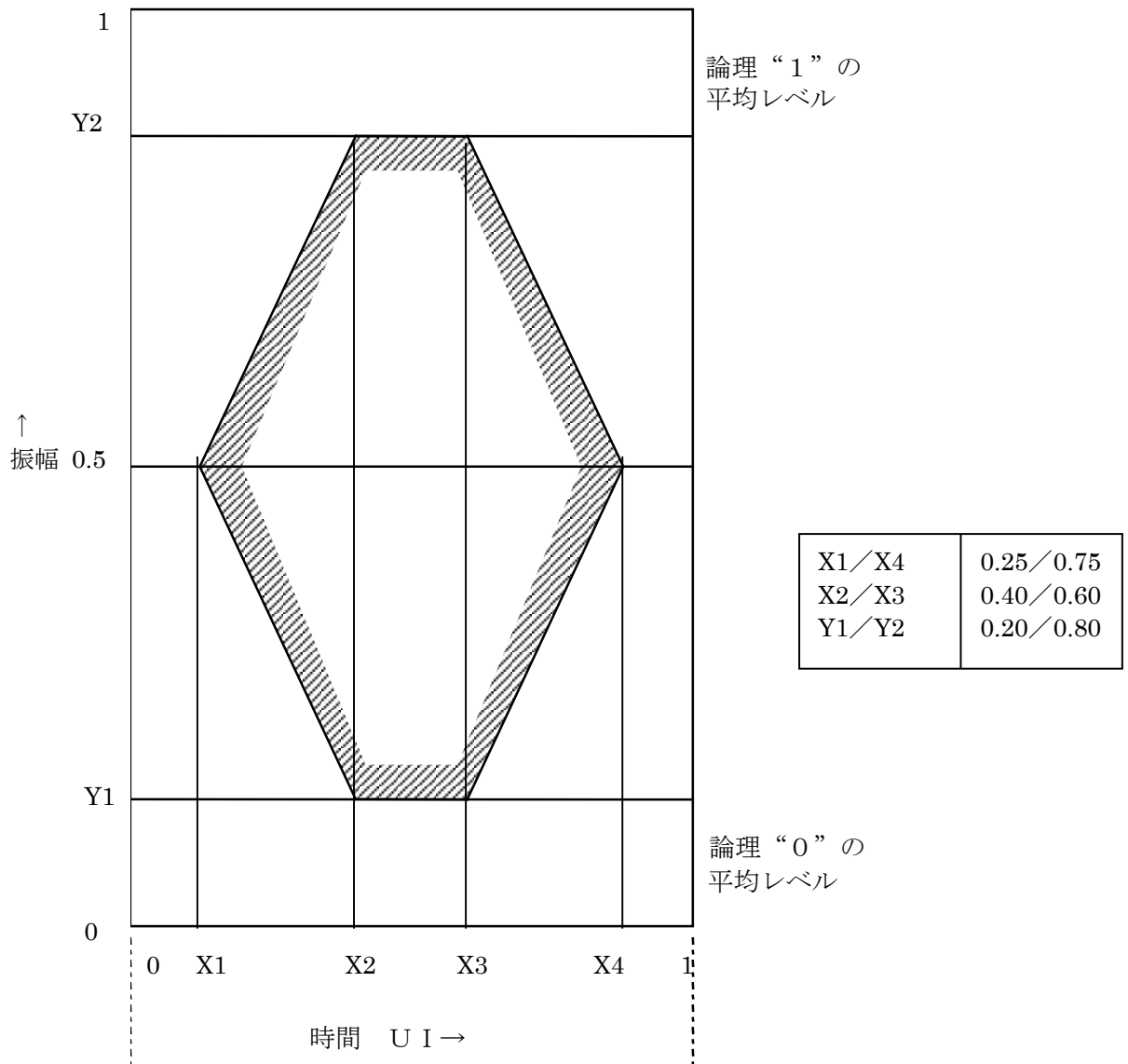
※：減衰器は必要に応じて用いる。

※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が伝送ビットレートの 0.75 倍であること。

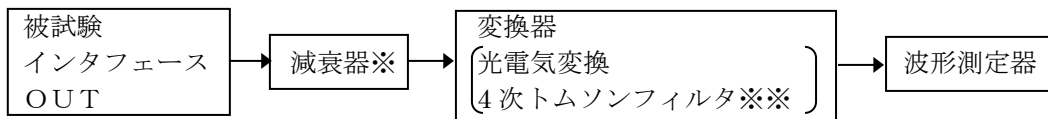
試験パターン：スクランブルド 2 値

図2 STM-1/STM-0 信号のパルスマスク

縦軸：相対値
 横軸： $\times 1/622.08$ [μs] (STM-4 の場合)



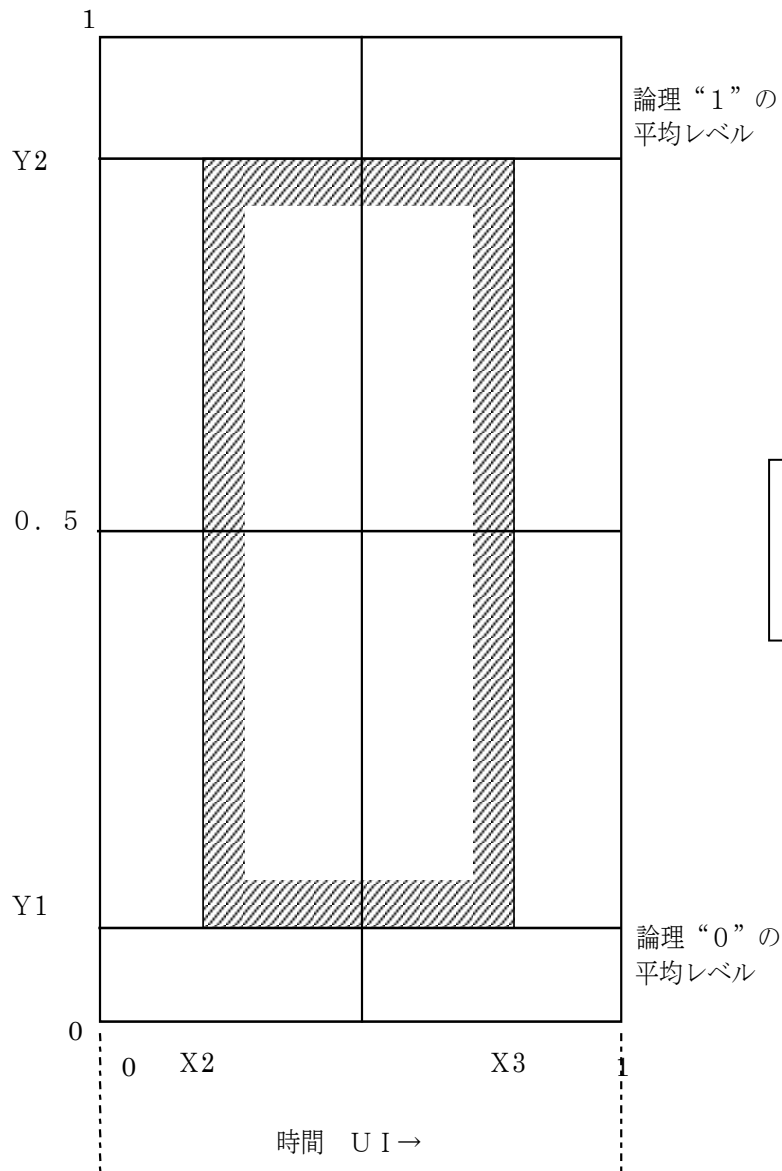
【測定系】



※：減衰器は必要に応じて用いる。
 ※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が入力公称ビットレートの 0.75 倍であること。
 試験パターン：スクランブルド 2 値

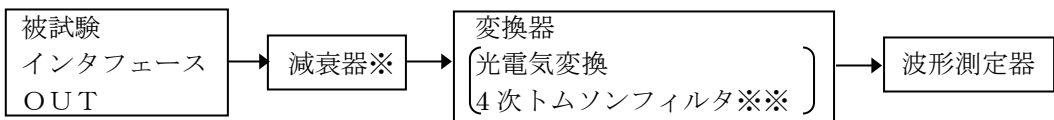
図 3 STM-4 信号のパルスマスク

縦軸：相対値
 横軸： $\times 1/2, 488.32 [\mu s]$ (STM-16 の場合)



$X3 - X2$	0.2
$Y1 / Y2$	0.25/0.75

【測定系】



※：減衰器は必要に応じて用いる。
 ※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が入力公称ビットレートの 0.75 倍であること。
 試験パターン：スクランブルド 2 値

図 4 STM-16 信号のパルスマスク

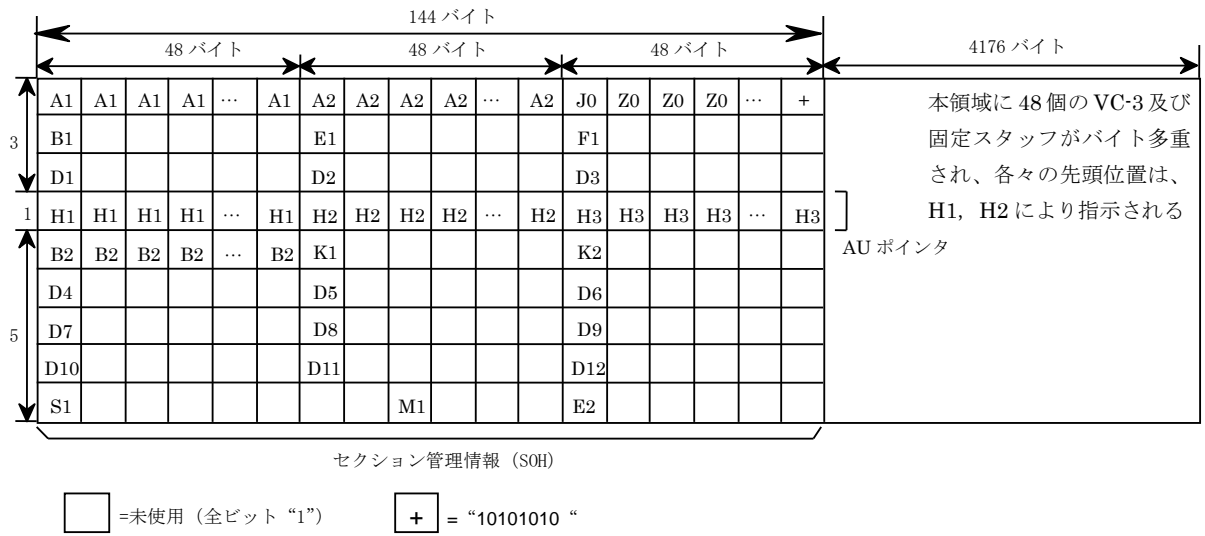


図5 STM-16 信号のフレームフォーマット

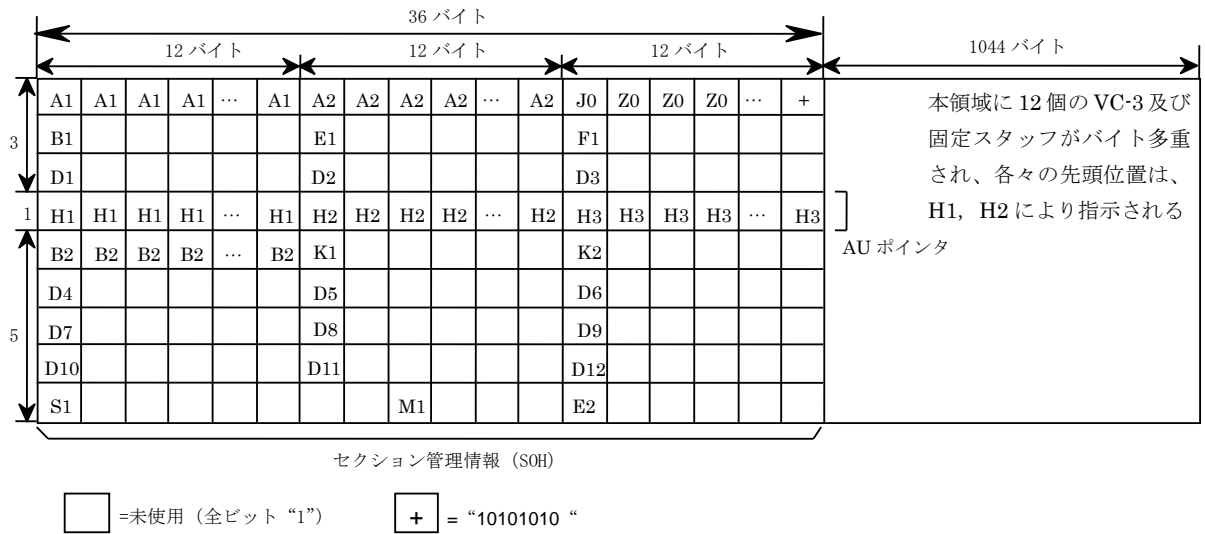
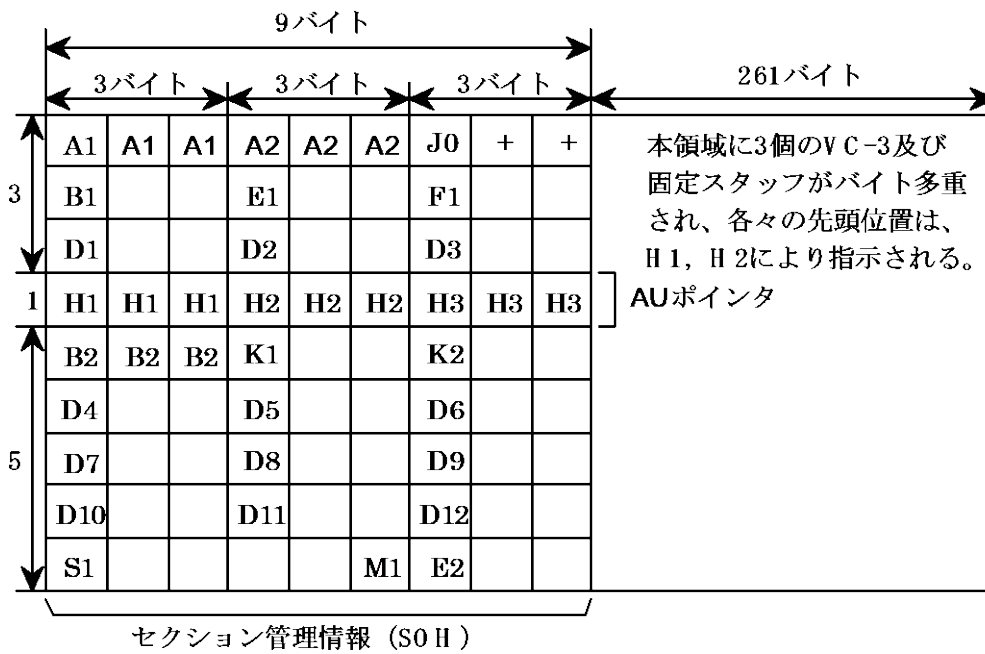
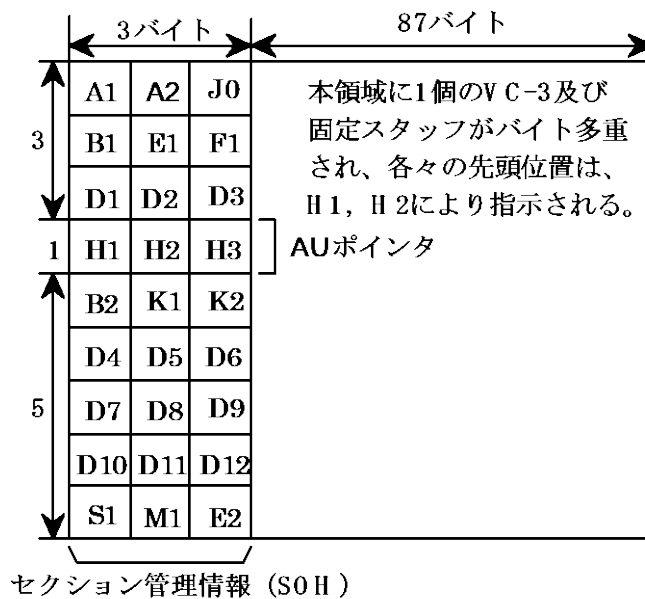


図6 STM-4 信号のフレームフォーマット



=未使用 (全ビット “1”) + = “10101010”

図7 STM-1信号のフレームフォーマット



=未使用 (全ビット “1”) + = “10101010”

図8 STM-0信号のフレームフォーマット

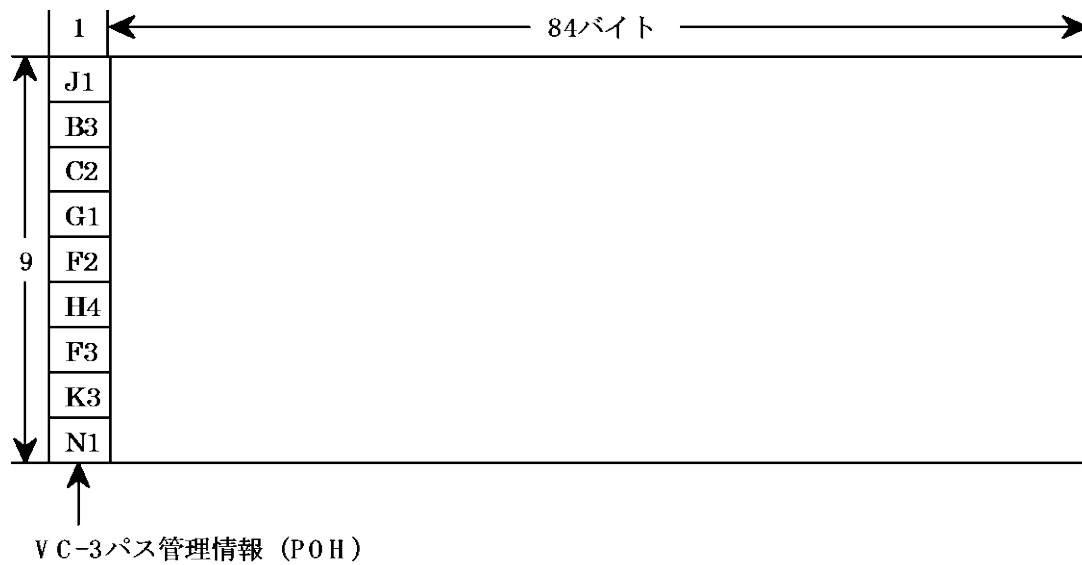
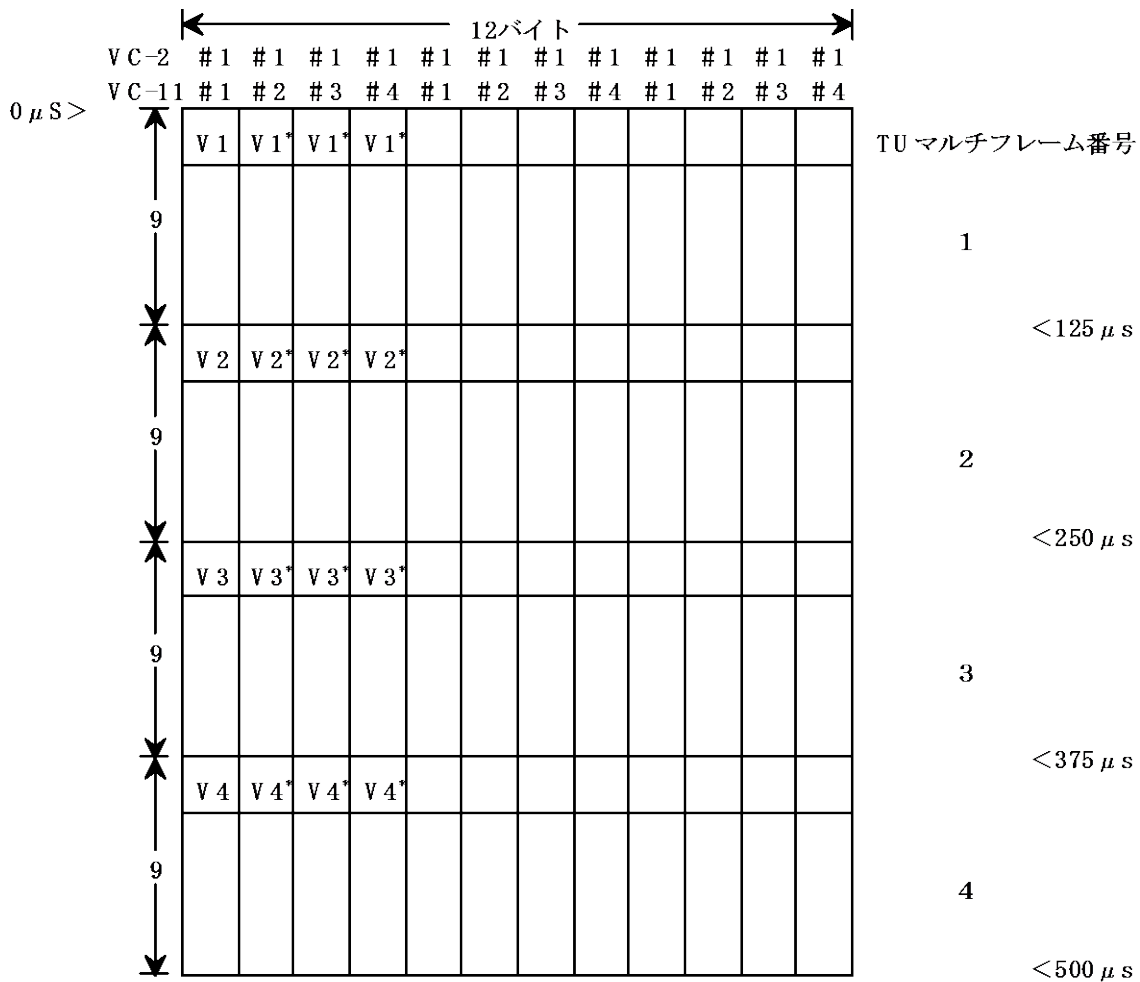


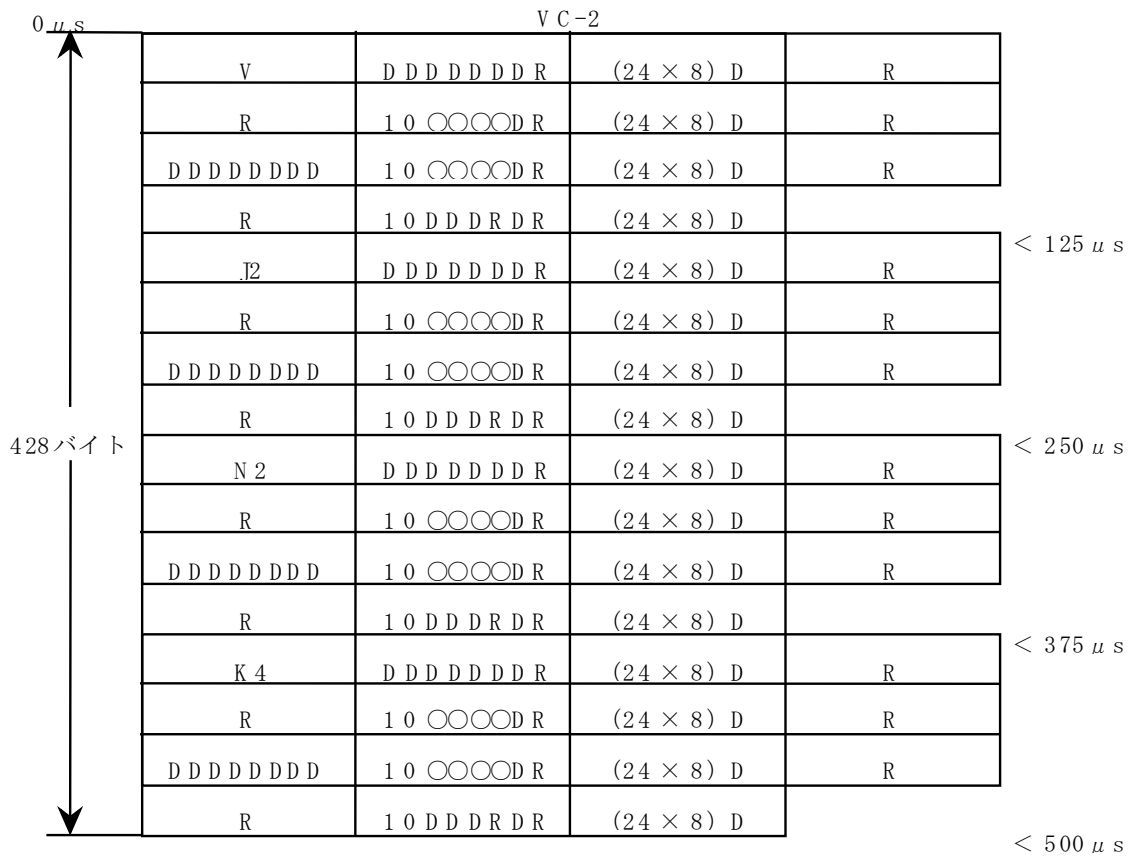
図9 VC-3信号のフレームフォーマット



(注1) VC-2の場合、V1*、V2*、V3*、V4*にVC-2データが収容される

(注2) VC-3パスオーバーヘッドのH4 (b7、b8) :
 TUマルチフレーム番号1 : '00'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号2 : '01'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号3 : '10'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号4 : '11'の現れるフレームの次のフレーム

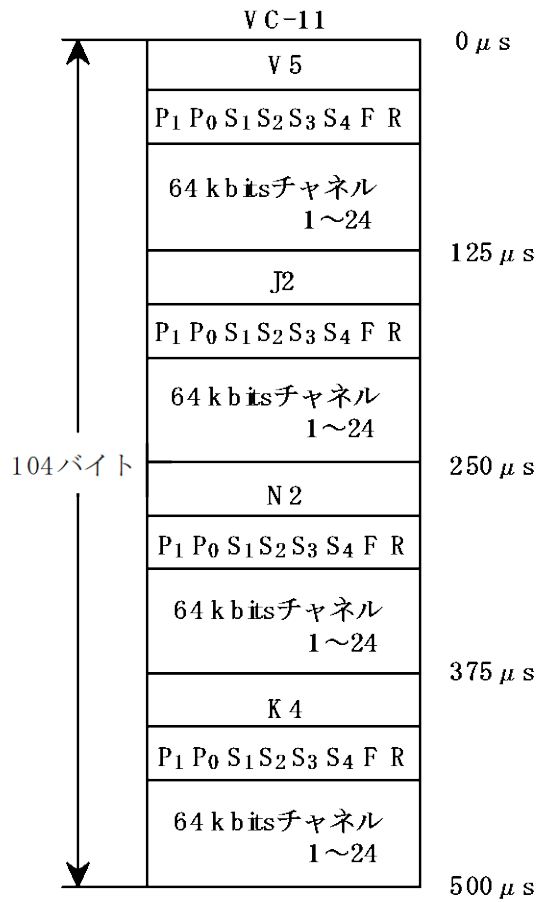
図10 TUG-2信号のフレームフォーマット



R : 固定スタッフ (“1”)
D : データビット (6.312M bit/s信号)
○ : オーバヘッド通信チャネルビット (未使用時 “1”)

- (注1) 125 μs 当たり789ビット分の領域を用いて6.312M bit/s信号を伝送するモード (ビット同期モード) である。
(注2) TUG-2に収容するVC-2の先頭位置 (V5) は、TU-2ポインタV1, V2により指示される。

図11 VC-2信号のフレームフォーマット



- R : 固定スタッフ (“1”)
- F : 1.544 M b i t / s トリビュタリフレームビット (未使用 “1”)
- P₁, P₀ : シグナリング位相表示 (未使用時 “10”)
- S₁ ~ 4 : シグナリング転送

図 12 VC-11 信号のフレームフォーマット

表7 セクションオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
セクション 管理情報 (SOH)	A1, A2	フレーム同期	A1：“11110110”， A2：“00101000”
	J0	中継セクショントレース (未使用)	送信：“00000001” (図 13 参照) 受信：無視
	Z0	予備 (未使用)	送信：STM 識別子 (図 13 参照) 受信：無視
	B1	中継セクションの誤り監視	前フレームの全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E1	中継セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	F1	中継セクションの故障特定	故障検出中間中継器番号と検出警報
	D1～D3	中継セクションのデータ通信 または未使用	192kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信 FFh，受信：無視)
	B2	端局セクションの誤り監視 (BIP-24N)	前フレームの第一行から 3 行の SOH を除く全ビッ トの BIP-24N 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K1, K2 (b1-b5)	端局セクション切替系の制御	切替動作は TTC 標準 JT-G783 付属資料 B に準拠
	K2 (b6-b8)	端局セクション状態の転送	正常：“000”， RDI：“110”， AIS：“111” TTC 標準 JT-G783 準拠
	D4-D12	端局セクションのデータ通信 または未使用	576kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	S1	同期状態メッセージまたは未使 用	同期状態，または未使用 (送信：FFh，受信：無 視)
	M1	端局セクションの対局誤り表示 (MS-REI)	対局の B2 演算結果の表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E2	端局セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
AU ポインタ	H1, H2	VC-3/4 先頭位相指示 正負スタッフ指示	VC-3/4 先頭位置，スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707/JT-G783 準拠
	H3	負スタッフ用バイト	負スタッフ時、ペイロード収容 TTC 標準 JT-G707 準拠

表8 高次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	J1	パストレース (未使用)	未使用 (送信: FFh, 受信: 無視)
	B3	パス誤り監視 (BIP-8)	前フレームの VC-3 の全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	C2	シグナルラベル (未使用)	送信: 01h (不特定パス収容) もしくは 13h (ATM マッピング) 受信: 無視
	G1 (b1-b4)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の B3 演算結果の表示 送信 BIP 誤りなし 0h BIP 誤りあり 1h-8h 受信 BIP 誤りなし 0h 及び 9h 以上 BIP 誤りあり 1h-8h TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b5)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0", 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b6-b8)	未使用	送信: "111", 受信: 無視
	F2	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	F3	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	H4	位置表示 (内部構造が規定されて いない場合は未使用)	VC-3 TU-11/2 マルチフレーム位置表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K3	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N1	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

表9 TU ポインタバイトの定義

	記号	用途	内容
TU ポインタ	V1, V2	VC-11/VC-2 先頭位相表示正負 スタッフ指示	VC-11/VC-2 種別, 先頭位置, スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V3	負スタッフ用バイト	負スタッフ TTC 標準 JT-G707 準拠
	V4	未使用	送信: FFh, 受信: 無視

表10 低次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	V5 (b1-b2)	パス誤り監視 (BIP-2)	前フレームの全ビットの BIP-2 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b3)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の V5 (BIP-2) 演算結果の表示 "1" BIP-2 に 1 以上の誤りあり "0" その他 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b4)	パス対局故障表示 (REI) (未使用)	送信: "1" 受信: 無視
	V5 (b5-b7)	シグナルラベル (未使用)	送信: "001", 受信: 無視
	V5 (b8)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0" 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	J2	パストレース (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N2	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	K4	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

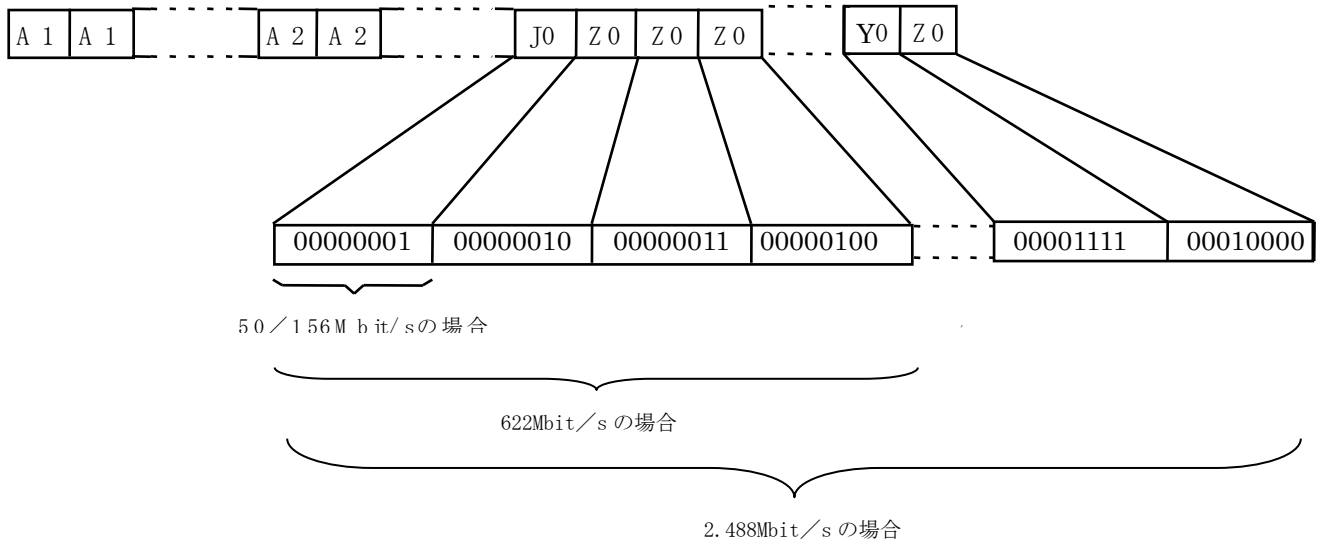


図 13 STM 識別子の定義

表 11 フレーム同期方式

項目	フレーム同期パターン	パターン探索法 パターン照合法	フレーム同期保護 (注 1, 2)
STM-16 信号 (2.488M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・連続したA1, A1, A2, A2バイトの 32ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-4 信号 (622M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS11-14のA1, A1, A2, A2バイトの 32ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-1 信号 (156M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS2-5のA1, A1, A2, A2バイトの32 ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-0 信号 (52M IF)	A1A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS1-2のA1, A2バイトの16ビット 同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段

注 1. 前方 n 段とは、フレーム同期状態においてフレーム同期パターン照合結果、n 回連続不一致を検出したとき、フレーム同期復帰過程に移ることをいう。

注 2. 後方 m 段とは、フレーム同期復帰過程においてフレーム同期パターン照合結果、m 回連続一致を検出したとき、フレーム同期状態に移ることをいう。

注 3. または、1ビット即時シフト方式と同等なフレーム同期復帰特性を有するフレーム同期方式とする。

表 12 同期状態メッセージの送信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) は未使用 (送信 : S1 ('b1, b2, b3, b4') = '1111')

表 13 同期状態メッセージの受信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) については、未使用 (受信 : 無視) とする。

表 14 警報検出解除条件 (1 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
物理 セクション	LOS	-----	-----	光入力断	光入力回復
	TF	-----	-----	光出力断	光出力回復
中継器 セクション	OOF	-----	-----	フレーム同期はずれ前方保護 4-5 段	フレーム同期復帰後 方保護 2 段
	LOF	-----	-----	OOF の 0~3m 秒継続	OOF 解除状態の 0~3m 秒継続
	RS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル前の STM-N の全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B1 との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD(B1)	-----	-----	B1 により検出した誤り率が、 10^{-5} 以上で発出	B1 により検出した誤り率が、 10^{-6} 以下で解除
	MS-AIS	LOS, LOF を検出後、スクランブル前の STM-N (RSOH を除く) に A11 "1" を送出	LOS, LOF を解除後に解除	-----	-----

表 14 警報検出解除条件 (2/4)

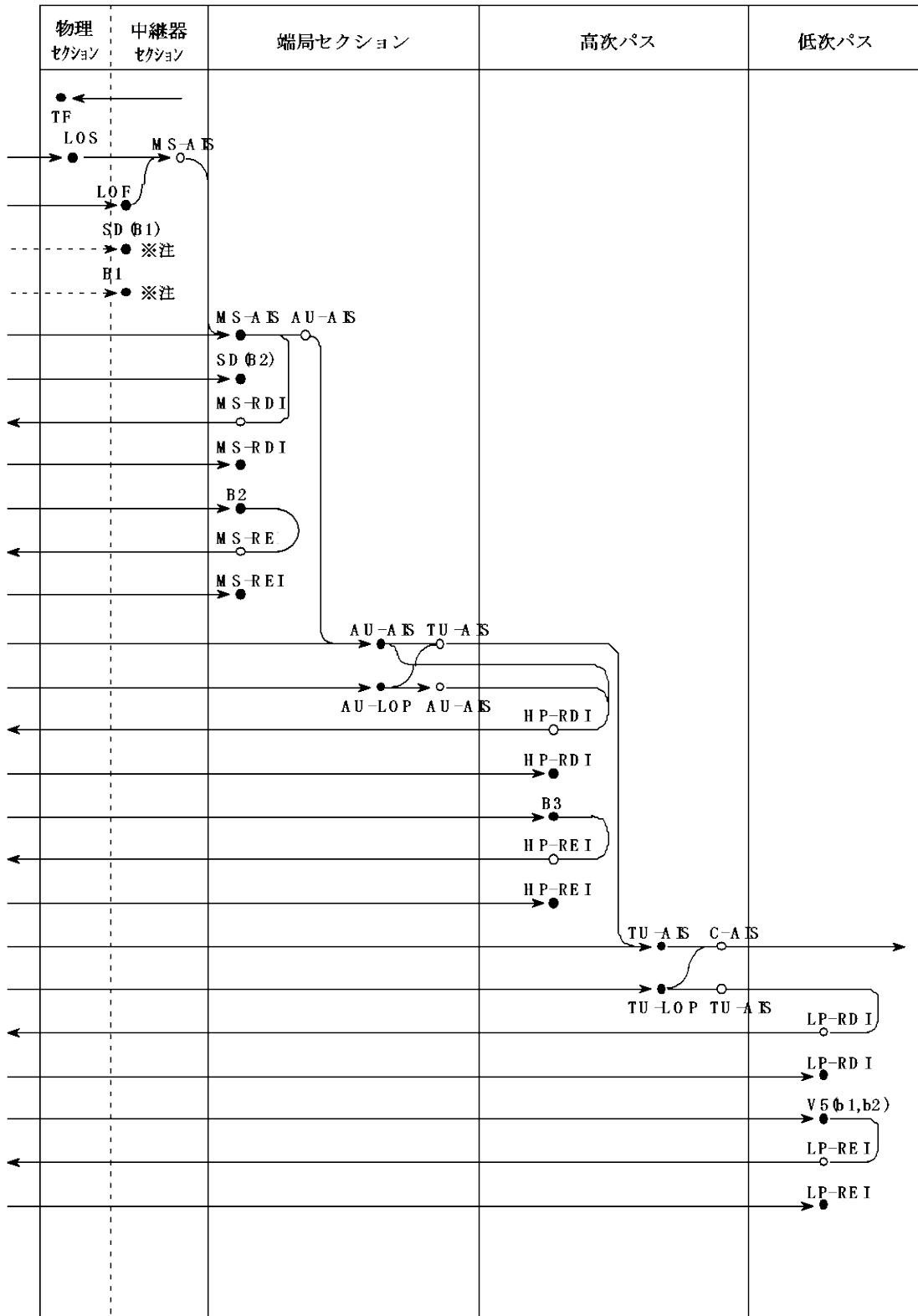
レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
端局 セクション	MS-AIS	-----	-----	デスクランブル後の K2 の b6-b8 = "111" を 3~5 回連続受信	デスクランブル後の K2 の b6-b8 ≠ "111" を 3~5 回連続受信
	MS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の STM-N の全ビット (SOH の第 1-3 を除く) に対する BIP-24×N 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B2×3N との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD (B2)	-----	-----	B2 により検出した誤り率が、10 の -5 乗以上で発出	B2 により検出した誤り率が、10 の -6 乗以下で解除
	MS-RDI	MS-AIS 検出時にスクランブル前の STM-N の K2 の b6-b8 = "110" を送出 SD (B2) 検出時は送出しない	MS-AIS 回復時に送出解除	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 = "110" を 3~10 フレーム連続受信	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 ≠ "110" を 3~10 フレーム連続受信
	MS-REI	B2 不一致時、M1 に B2 の演算結果を送出。	1 フレーム毎に解除。	M1 を検出	1 フレーム毎に解除
	AU-AIS	MS-AIS を検出後にスクランブル前の全 AU の全ビット A11 "1" を送出 (AU ポインタを含む)	MS-AIS 回復時に送出解除	-----	-----
	AU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照

表 14 警報検出解除条件 (3 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
	AU-AIS	AU-LOP 検出時に AU の全ビット A11"1"を送出 (AU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	AU-LOP, AU-AIS 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP, AU-AIS 回復時に送出解除	-----	-----

表 14 警報検出解除条件 (4 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
高次パス	HP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の VC 全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B3 との不一致	1 フレーム毎に解除
	HP-REI	B3 不一致時、G1 (b1-b4) に B3 の演算結果を送出	1 フレーム毎に解除	G1 (b1-b4) を検出	1 フレーム毎に解除
	HP-RDI	AU-LOP, AU-AIS 検出時に、G1 の b5="1"を送出。	AU-LOP, AU-AIS 回復時に、送出解除。	G1 バイトの bit 5="1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信	G1 バイトの bit 5≠"1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信
	TU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	TU-LOP 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む)	TU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
低次パス	LP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の低次 VC 全ビットに対する BIP-2 演算結果とデスクランブル後の次マルチフレーム V5 (b1, b2) との不一致	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-REI	V5 (b1, b2) 不一致時、V5 (b3) に V5 (b1, b2) の演算結果を送出	1 マルチフレーム毎に解除	V5 (b3) を検出	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-RDI	TU-LOP, TU-AIS 検出時に、V5 の b8="1"を送出	TU-LOP, TU-AIS 回復時に、送出解除	V5 バイトの bit 8="1"を 3~10 マルチフレーム連続受信	V5 バイトの bit 8≠"1"を 3~10 マルチフレーム連続受信



● : 検出 ○ : 生成

※注. B1とSD (B1)の検出はオプション

図 14 警報転送機能

技術的条件集別表 6

対地域／国際事業者接続用インタフェース

技術的条件集別表－6（対地域／国際事業者接続用インタフェース）

1. 概説

本別表は、当社網と地域／国際事業者網間の網間インタフェースについて規定する。

1. 1 規定範囲

本別表は、電気通信事業者間の相互接続を円滑に行うため、網間インタフェースに関わる接続条件について規定を行うものである。本別表は、基本サービス機能について規定している。

1. 2 規定対象

本別表は、基本サービス機能に関わる網間インタフェースを規定しており、網間インタフェースは、I SUP及びMTPに関わる事項を含む相互接続に必要な事項を規定対象としている。

2. 番号方式

- (1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号は電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとする。なお、直接協定事業者は当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要する。

- (ア) 分類7による当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号の基本構成は次のとおりとする。

0 A 0 + C D E + F G H J K
サービス識別番号 事業者識別番号 接続番号

- (イ) 分類2による当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号の基本構成は次のとおりとする。

0 + A B C D E + F G H J
国内プレフィックス 事業者識別番号(市外局番+市内番号) 接続番号

- (ウ) 分類4による当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号の基本構成は次のとおりとする。

0 0 X (Y) + X ~ X
事業者識別番号 接続番号（010から始まる番号も含む）

- (エ) 分類5による当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号の基本構成は次のとおりとする。

0 0 X Y + X ~ X
事業者識別番号 接続番号

(オ) 分類6による当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号の基本構成は次のとおりとする。

$$\begin{array}{ccccc} \underline{OABO} & + & \underline{DEF} & + & \underline{GHJ(K)} \\ \text{サービス番号} & & \text{事業者識別番号} & & \text{接続番号} \end{array}$$

(2) 発事業者網のダイヤル番号に関する機能

(ア) 番号の識別

発事業者網は原則として接続番号を意識した特別な処理は行わない。

(イ) 有効受信桁数

発事業者網は有効な受信桁数（最小受信桁数から最大受信桁数まで）の登録を可能とし、最小桁数に満たない場合、無効を検出した交換局でB T接続，トーキ接続，または切断処理（REL送出）とする。

3. 接続条件

3. 1 接続制御

(1) 基本的な接続機能

- ・ 当社網発信呼については、必要な接続制御を当社網で行う。
- ・ 当社網では、着事業者固有のサービスに対応するための発信制御は行わない。
- ・ 当社網に対する着信呼に関しては、原則として発事業者網側で接続制御を行うこととし当社網での接続制御は行わない。従って規制が必要な場合は発事業者網側で行う。

(2) 付加的な接続機能

- ・ 付加サービスへの接続に関しては、原則として当社網発信の付加サービスは当社網で発信を制御し、当社網着信の付加サービスの場合は発事業者網側で接続を制御することとする。但し、当社網着信の付加サービスに関しては当社網で必要な接続制御を行う場合がある。

当社網接続制御の考え方を表3. 1-1，表3. 1-2にまとめる。

表3. 1-1 当社網発信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	当社網	着事業者網
接続協定を締結した事業者の番号	全事業者に提供	接続	接続
	特定事業者のみ提供	接続／規制(注1)	接続／規制(注2)
上記以外	—	規制	—

注1：接続を行う特定の事業者以外との接続を規制する。

注2：基本的に発側網で規制を行うが、当該網へ接続された時の処理を示す。

表 3. 1-2 当社網着信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	発事業者網	当社網
定義された番号	全事業者に提供	接続	接続
	特定事業者のみ提供	接続/規制(注1)	接続/規制(注1)
未定義の番号	—	規制	規制(注2)

注1：接続を行う特定事業者以外は発側網で接続を規制する。

注2：基本的に発側網で規制を行うが、当該網へ接続された時の処理を示す。

3. 2 ベアラの利用条件

利用可能なベアラは、音声，3.1kHzオーディオ，64kb/s非制限とする。

3. 3 当社網発信時のサービス接続条件

当社網発信時のサービス接続条件を表3.3-1に示す。

表 3. 3-1 当社網発信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	記事
着信転送	<input type="checkbox"/>	転送接続を許容する番号は限定される
発信番号通知	<input type="radio"/>	
三者通話	<input type="radio"/>	
プリペイド	<input type="checkbox"/>	接続を許容する番号は限定される

凡例：○＝全接続に提供，□＝特定接続のみ提供

3. 4 当社網着信時のサービス接続条件

当社網着信時のサービス接続条件を表3.4-1に示す。

表 3. 4-1 当社網着信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	記事
応答保留	<input type="radio"/>	
番号通知リクエスト	<input type="radio"/>	
お留守番	<input type="radio"/>	
割り込み通話	<input type="radio"/>	
発信者番号表示	<input type="radio"/>	
迷惑電話撃退	<input type="radio"/>	
EZ待ちうた	<input type="checkbox"/>	

凡例：○＝全接続に提供，□＝特定接続のみ提供

4. 課金方式

基本的な呼の接続に関するユーザ課金方式及び事業者間料金精算方式について記述する。当社と直接協定事業者間の課金方式は、ここで述べる課金方式を原則とし、協議により決定する。

4. 1 課金表示の扱い

J T-Q 7 6 3 3. 5 節 逆方向呼表示パラメータのBAビット（課金表示）は前位網にユーザ課金（料金登算）を指示する信号とする。

課金表示の設定規則は次のとおりとする。

- (1) 前位網にユーザ課金（料金登算）を指示する場合はANMで「課金」を、ユーザ非課金を指示する場合はANMで「非課金」を送出する。
- (2) 前位網に対してユーザ課金（料金登算）／ユーザ非課金の指示を行わない場合は、着信網では「課金」（デフォルト値）を送出する。
- (3) 中継網または中継網に接続されているSCP事業者でユーザ課金（料金登算）を行う場合には、ANMで「課金」を「非課金」に変換して前位網に送出する。
- (4) ACM及びACMをインタワークしたCPG返送時点でユーザ課金の要否が確定しているならば正確な情報（課金または非課金）を設定する。
- (5) ACM／CPGで「課金」「非課金」が確定できない場合に限り、「表示なし」を設定する。

4. 2 課金表示とユーザ課金方式

(1) 当社が発事業者の場合

①当社が料金設定を行う場合

当社が独自に料金設定を行ない、発ユーザから料金回収を行う。

②当社が料金設定を行わず、後位網からユーザ課金の指示を受ける場合

i) ユーザ課金を行わない場合

後位網は逆方向呼表示の課金表示に「非課金」を設定し、課金情報種別パラメータと課金情報パラメータは次のとおり設定する。この場合、当社は発ユーザから料金回収を行わない。

- ・課金情報種別パラメータ及び課金情報パラメータそのものを設定しない。但し、CHGを送出する際には以下の情報を設定する。

課金情報種別：「課金レート転送」

課金情報の単位料金表示：「表示なし」

課金情報の課金レート情報種別：「柔軟課金レート情報なし」

ii) ユーザ課金を行う場合

後位網は逆方向呼表示の課金表示に「課金」を設定し、課金レート情報を設定する。この場合、当社は課金レート情報に従って、発ユーザから料金回収を行う。

(2) 当社が着事業者の場合

当社が料金設定を行う場合で、前位網にユーザ課金を指示する場合は、課金表示に「課金」を、ユーザ課金を指示しない場合は「非課金」を設定して返送する。当社が料金設定を行わない呼に対しては「課金」(デフォルト値)を設定して返送する。

(3) 中継事業者

中継事業者または中継網に接続されているSCP事業者が料金設定を行う呼で、前位網にユーザ課金を指示する場合は、課金表示に「課金」を、ユーザ課金を指示しない場合は「非課金」を設定して返送する。中継事業者または中継網に接続されているSCP事業者が料金設定を行わない呼に対しては原則として後位網が設定した課金表示をそのまま透過中継する。

4. 3 課金レート情報

課金レート情報の通知は次のとおりとする。

- 単位料金 : 10円 / 100円 / 表示なし (ピンク電話発信時は10円のみ設定)
- 一括登算度数 : 課金レートなし / 1 ~ 15 度数 (公衆 / ピンク電話発信時は「なし」のみ設定する)
- 課金レート (一般) : 2.5秒 ~ 499.5秒 (0.5秒単位)
- 課金レート (公衆) : 4.5秒 ~ 499.5秒 (0.5秒単位)

なお、ピンク電話発信時には「一般」「公衆」の双方の課金レートを転送する。

課金レートを設定する時間帯例を表4.3-1に示す。

表4.3-1 課金レートを設定する時間帯例

課金間隔情報	時間帯
第1課金間隔	「昼間」 午前8時～午後7時
第2課金間隔	「夜間」 午後7時～午後11時 (土日祝の昼間含む)
第3課金間隔	「深夜/早朝」 午後11時～午前8時
第4課金間隔	「予備」 第1～3課金間隔の最低レートを設定

注：第1～4課金間隔情報全てに課金レートを設定していなければならない。(全て同じ課金レートでも可能)

4. 4 網使用料

当社及び接続事業者は網使用料の課金について、次のとおり取り扱うこととする。

(1) 網使用料の課金開始・停止契機

開始契機：応答信号（ANM）を検出した時

停止契機：切断信号（REL等）を検出した時

(2) 網使用料精算対象呼

課金表示の「課金／非課金」に関わりなく、以下を除く全ての呼を精算対象とする。

- ① 試験呼（5. 2項の試験方法によるものとする）
- ② 接続が完了しなかった呼

5. 試験方式

当社網と直接協定事業者網間で使用する試験方式は次のとおりとする。

5. 1 基本的考え方

- (1) 予防保全，故障発生時の故障探索・修復確認及び増設時の機能確認等を目的とする
- (2) それぞれの事業者の設備に係わる試験は設備を所有する事業者が責任を持って実施し、他事業者の試験については原則として実施しない。但し、故障切り分け等のため当社網と直接協定事業者網間は試験可能とする。
- (3) 試験は原則として隣接の事業者間で実施する。
- (4) 試験呼はIAM信号の発ユーザ種別の「試験呼」で識別する。

5. 2 試験の種類

(1) 手動接続試験

当社網と直接協定事業者網はMGS，GSに自動応答トランク（AAT）機能を付与し手動接続試験を行うこととする。

(ア) 直接協定事業者網から当社網における手動接続試験の内容を表5. 2-1に示す。

表5. 2-1 直接協定事業者網から当社網における手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件※1	強制切断の有無
手動接続試験	MGSのAAT	A0※2 + CDE※3 + 12Y	非課金	Y=1：無し Y=5：有り Y=7：無し（課金レート有り・CHG有り）※4

※1：発ユーザ種別「試験呼」の場合は事業者間精算対象外とする。

※2：A=7，8，9、：携帯・自動車電話呼

※3：当社が使用する番号

※4：本機能を使用する場合は事前に接続事業者間との調整をすることとする。

(イ) 当社網からの直接協定事業者網に対する手動接続試験の内容を表5.2-2に示す。

表5.2-2 当社網からの直接協定事業者網に対する手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	課金条件	強制切断の有無
手動接続試験	GSのAAT	直接協定事業者が使用する代表市外局番+市内局番+0060 ^{※1} 00X1X2 ^{※2} +Y1 Y2 ^{※3} +1+121	非課金	強制切断無し 課金レート無し
		00X1X2 ^{※2} +Y1 Y2 ^{※3} +1+12Z	非課金	Z=1:無し Z=5:有り Z=6:無し(課金レート有り・CHG無し) ^{※4}

※1: 網間試験用に原則として「0060」を確保する。

※2: 0A~Jを持たない被試験事業者の番号

※3: 2桁の任意の番号

※4: 本機能を使用する場合は事前に接続事業者間との調整をすることとする。

(2) 回線開通出合試験

回線開通時において発信交換機出側と着信交換機入側との間で出合い、回線名、回線番号及び通話の良否を相互に確認する出合試験を実施する。

(3) 共通線試験

手動信号ルート試験で信号リンクの正常性を確認する機能及び回線照合試験を実施する。

(b) 課金レート無し，強制切断有り，AAT接続

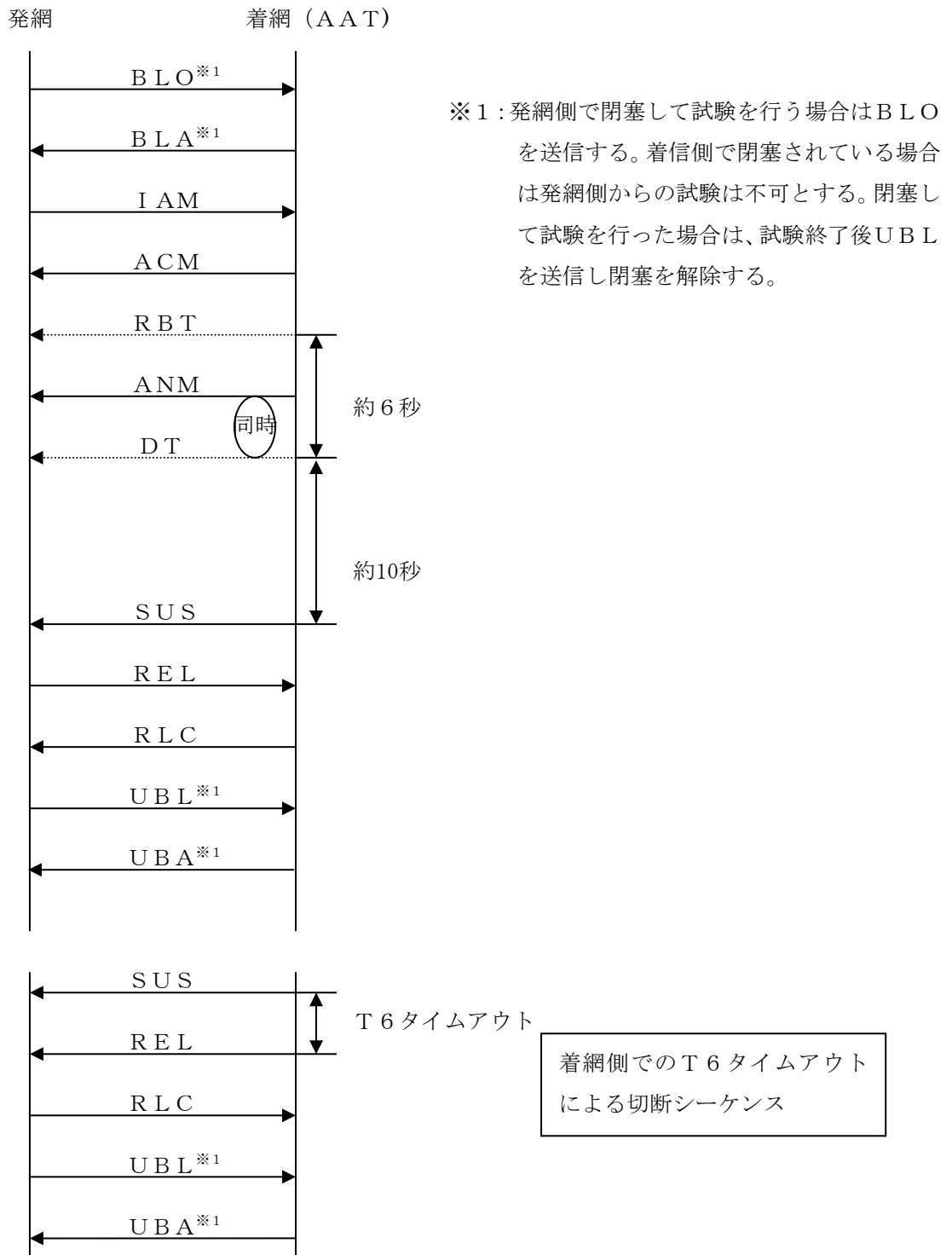


図5. 3-2 課金レート無し，強制切断有り，AAT接続の信号シーケンス

(c) 課金レート有り，強制切断無し，CHG有り，AAT接続

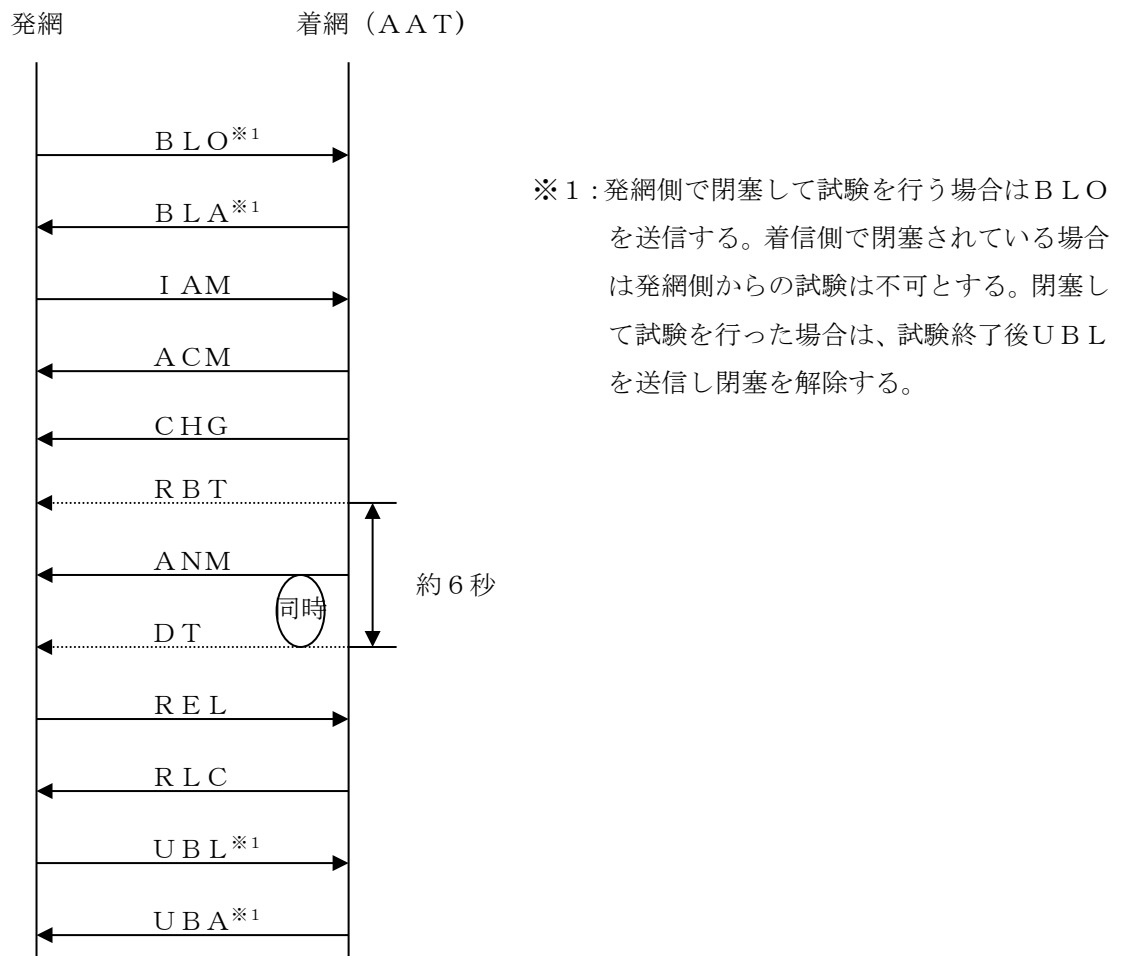


図5. 3-3 課金レート有り，強制切断無し，CHG有り，AAT接続の信号シーケンス

(d) 課金レート有り，強制切断無し，CHG無し，AAT接続

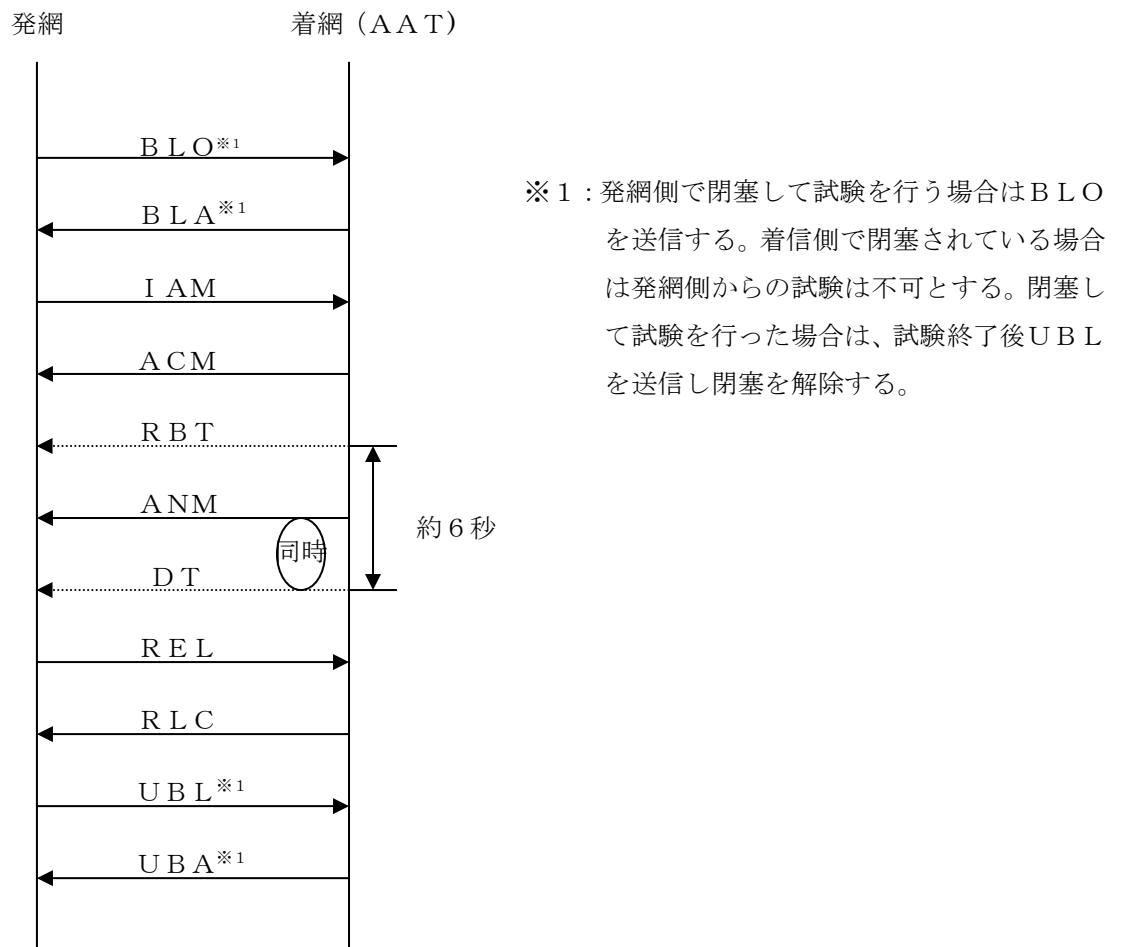


図5. 3-4 課金レート有り，強制切断無し，CHG無し，AAT接続の信号シーケンス

6. 輻輳制御方式

6. 1 非常緊急通話の取り扱い

- (1) 優先的に扱う通信の識別における優先信号とは、I AM信号上の「発ユーザ種別」に「優先発ユーザ」を設定した信号を示す。当社網が直接協定事業者網から送出された「発ユーザ種別」に基づき輻輳制御を行う場合は、制御率を当社網内に終始する呼と同等にする。直接協定事業者網も当社網からの呼の制御を行う場合は、直接協定事業者網内に終始する呼と同等にする。
- (2) 当社網と直接協定事業者網間での災害時優先電話の疎通を確保するため、当社網は優先発ユーザ回線留保機能を有し、制御を行うことができる。

6. 2 回線留保機能による制御方式

- (1) 優先発ユーザ留保回線数（一般発ユーザトラフィックが多い時に優先発ユーザのトラフィックのために留保する回線）を設定し、次の条件で回線捕捉を許可または禁止する。

発ユーザ種別	回線捕捉の許可または禁止
ア 優先発ユーザ	回線捕捉時に空きがあれば捕捉を許可する。
イ ア欄以外	空き回線数が優先発ユーザ留保回線数より大きいとき、自局の回線捕捉を許可する。
	空き回線数が優先発ユーザ留保回線数以下のとき、自局の回線捕捉を禁止する。

- (2) 直接協定事業者網は、優先発ユーザ留保回線制御を実施することの有無について、当社に通知することを要する。
- (3) 優先発ユーザ留保回線数及び使用可能回線数については当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

技術的条件集別表 7

M T P 仕様

(対地域／国際事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－7（MTP仕様）

1. MTP仕様は「TTC標準 網間インタフェース 網間信号方式（ISDN網間信号方式）」に準拠する。参照するTTC標準は次のとおりである。

TTC標準	JT-Q701	: 第2版	1990年11月28日制定
TTC標準	JT-Q702	: 第1版	1987年4月28日制定
TTC標準	JT-Q703	: 第3版	1994年4月27日制定
TTC標準	JT-Q704	: 第3版	1992年4月28日制定
TTC標準	JT-Q707	: 第2版	1990年11月28日制定

2. 下記に上記に挙げたTTC標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を記述する。

標準	番号	項目	具体的内容	
JT-Q701	3.1	信号網構成	対応網による接続とする。	
JT-Q702	2.2	信号速度	信号速度は、4.8 kbit/s, 48 kbit/s, 64 kbit/sとする。	
JT-Q703	2.3.8	信号情報部	SIFの取り得る長さの最大は272オクテットとする。	
		6	自リンク停止時	SIOSを継続的に送出
		信号リンク起動前の送出信号	SIOS送出	
		運用中SIE受信時	初期設定終了待ち（SIE送出）に遷移	
		相手局検証終了待ち状態でのタイム	8分。タイムアウト後は、SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
		検証不良／リンク障害時	SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
	11	LSSU送出周期	24 msec (SIB 200 msec)	
		FISU送出周期	運用中、検証終了待ち共に72 msec / 24 msec (4.8 kbit/s, 48 kbit/s, 64 kbit/s)	
	12	MSU送出アウトスタンディング数	40	
		信号リンク検証期間	検証期間については、T4 = 3 sec, 検出不良時においては、60 sec	
JT-Q704	2.2	ポイントコードの構成	16ビット（M = 5ビット / S = 4ビット / U = 7ビット）とする。	
	2.3	リンクセット構成とロードシェア	SLSのA/B面ビットで2面構成とし、SLS上位3ビットを使って、負荷分散を行う。	

標準	番号	項目	具体的内容
JT-Q704	4.3	過半数リンク障害の処理	全リンク障害で迂回を行う。
	6.2	切戻信号（C B D, C B A）	使用可能なリンクに対して切戻信号（C B D）を送出。未実装のリンクにはC B Aを返送しない。
		相手局非応答時の切替	他網側に未送出信号を迂回
	11.2	優先度制御	多段輻輳制御を行う。
	14.2	S I O	S S F = 0 0 0 0 S I = 0 0 0 0（信号網管理） 0 0 0 1（試験・保守） 0 0 1 1（S C C P） 0 1 0 1（I S U P）
JT-Q707	2	信号リンク試験	信号リンクが使用可となった時、自動的に信号ルーチング試験を用いて行う。

3. 本別表で用いられる用語・語句の意味は、T T C標準の内容に準拠している。

4. 本別表の項目2にて記載しているセクション番号は、T T C標準のセクション番号に対応している。但し、T T C標準のセクション番号はI T U-Tのセクション番号に対応しており、またI T U-Tでのみ規定されていて、T T C標準, 当社のどちらも規定していない事項については、その記述を全て割愛してあるため、セクション番号が連続しない場合がある。

技術的条件集別表 8

I S U P仕様

(対地域／国際事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－８（ISUP仕様）

1. ISUP仕様は「TTC標準 網間インタフェース 網間信号方式（ISDN網間信号方式）」に準拠する。ベースドキュメントとして参照するTTC標準は次のとおりである。

TTC標準 JT-Q761 : 第7版 2001年4月19日制定

TTC標準 JT-Q762 : 第20版 2002年5月30日制定

TTC標準 JT-Q763 : 第20版 2002年5月30日制定

TTC標準 JT-Q764 : 第12版 2002年5月30日制定

2. 本別表では上記に示すTTC標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を表8-1「ISUP仕様互換表」及び表8-2「ISUP信号一覧」に記述している。なお、JT-Q761及びJT-Q762に記述された用語、語句についてはTTC標準の内容に準拠しているが、表8-1「ISUP仕様互換表」に記述されていない内容については当社としては使用しないこととする。

また、表8-2「ISUP信号一覧」には、当社と直接協定事業者間において使用する信号パラメータの設定値及び信号の方向を記述している。

3. 本別表のセクション番号は、TTC標準のセクション番号に対応している。

但し、TTC標準のセクション番号はITU-Tのセクション番号に対応しており、またITU-Tでのみ規定されていて、TTC標準、当社のどちらも規定していない事項については、その記述を全て割愛してあるため、セクション番号が連続しない場合がある。

表 8-1 I S U P 仕様互換表

J T-Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考	
項番	項目			
1.	概説			
1.0	本標準の範囲、参考文献、定義、略語	ベースドキュメントどおり		
1.0.1	本標準の範囲			
1.0.2	参考文献			
1.0.3	用語と定義			
1.0.4	略語			
1.0.5	コーディング原則の概要			
1.1	ルーチングラベル			
1.2	回線番号	C I C 設定フィールドは 13 ビットとする		
1.3	メッセージ種別	ベースドキュメントどおり		
1.4	フォーマッティングの原則			
1.5	固定長必須部			
1.6	可変長必須部			
1.7	オプション部			
1.8	オプションパラメータの終了表示オクテット			
1.9	送出順序			
1.10	予備ビットのコーディング		予備ビットは送信時” 0 ”を設定し、受信時無視とする	
1.11	国内用信号種別とパラメータ		ベースドキュメントどおり	
1.12	メッセージ種別コードとパラメータコードの割当て			
1.13	「予備」コードと「留保」コードの意味			
2.	パラメータのフォーマットとコード			
2.1	メッセージ種別のコード	ベースドキュメントどおり		
2.2	長さ表示のコーディング	ベースドキュメントどおり		

J T-Q 7 6 3の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
2.3	ポインタのコーディング	ベースドキュメントどおり	
3.	I S D Nユーザ部のパラメータ		
3.1	パラメータ名	ベースドキュメントどおり	
3.2	アクセス配送情報	使用しない	
3.3	アクセス転送	ベースドキュメントどおり	
3.4	自動輻轉レベル	使用しない	
3.5	逆方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.9	着番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.10	発番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.11	発ユーザ種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.12	理由表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.13	回線群監視メッセージ種別	使用しない	
3.14	回線状態表示(国内用)	第1版をサポートするためのオプションを使用する その他はベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.15	閉域接続インタロックコード	使用しない	
3.16	接続先番号	使用しない	
3.18	導通表示	使用しない	
3.20	オプションパラメータ終了表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.21	イベント情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	

J T-Q 7 6 3の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.23	順方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.24	汎用ディジット(国内用)	使用しない	
3.25	汎用通知識別子	使用しない	
3.26	汎用番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	複数の汎用番号パラメータを受信した場合、当社は透過中継とする
3.33	メッセージコンパチビリティ情報	使用しない	
3.35	接続特性表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.36	網特有ファシリティ(国内用)	使用しない	
3.37	オプション逆方向呼表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.38	オプション順方向呼表示	使用しない	
3.39	第一着番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.41	パラメータコンパチビリティ情報	使用しない	
3.43	範囲と状態	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.44	転送元番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.45	着信転送情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.46	転送先番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.50	信号局コード(国内用)	使用しない	
3.52	中断/再開表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.53	中継網選択(国内用)	使用しない	

J T-Q 7 6 3の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.54	通信路要求表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.57	ユーザサービス情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.59	ユーザテレサービス情報	使用しない	
3.60	ユーザ・ユーザ表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	I A Mにおいてユーザ・ユーザ表示パラメータ「種別」フィールドの設定項目「要求」を受信した場合、A C Mのユーザ・ユーザ表示パラメータ「種別」フィールドの設定項目に「応答」を設定する
3.61	ユーザ・ユーザ情報	使用しない	
3.63	C C S S	使用しない	
3.65	コールトランスファ参照	使用しない	
3.67	ループ抑止表示	使用しない	
3.70	相関 i d	使用しない	
3.71	S C F i d	使用しない	
3.73	着 I N 番号	使用しない	
3.78	U I D 動作表示	使用しない	
3.79	U I D 能力表示	使用しない	
3.82	アプリケーション転送	使用しない	
3.84	ピボット能力	使用しない	
3.85	ピボットルーティング表示	使用しない	
3.86	着ディレトリ番号（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.87	第一着 I N 番号	使用しない	
3.88	発測地位置	使用しない	
3.93	ピボットルーティング回数	使用しない	
3.94	ピボットルーティング順方向情報	使用しない	

J T-Q 7 6 3の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.95	ピボットルーティング逆方向情報	使用しない	
3.96	リダイレクション能力（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.97	リダイレクション回数（国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.99	リダイレクション順方向情報 （国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.100	リダイレクション逆方向情報 （国内用）	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.102	網機能種別	使用しない	
3.103	料金区域情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.104	課金情報	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.105	課金情報種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.106	契約者番号	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.107	移動通信用エンド情報転送	使用しない	
3.108	移動通信用呼番号	使用しない	
3.109	P H S 端末識別番号	使用しない	
3.110	発信者番号非通知理由	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	本パラメータは発番号パラメータが設定されないあるいは通知不可となっている場合のみ使用する
3.111	国内用リダイレクション理由	使用しない	
3.112	付加ユーザ種別	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	

J T - Q 7 6 3 の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	項目		
3.113	課金情報遅延	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	
3.114	事業者情報転送		
	a) 経由情報転送表示	ベースドキュメントどおり 但し設定値については表8-2を参照する	設定値については、事前に接続事業者間での調整を行うこととする
	b) 事業者情報名		
	c) 事業者情報従属パラメータ名		
	d) 事業者識別コード		
	e) P O I - 料金区域情報		
	f) 発事業者情報		I A M に常に設定
	g) 着事業者情報		A C M または C P G に設定
	h) 選択中継事業者情報		中継事業者選択番号による事業者選択時に設定
	i) 経由事業者情報		経由情報転送表示の内容に従って設定。但し、6事業者以上の経由事業者情報の設定を行う場合は事前に接続事業者間で調整を行うこととする
	j) S C P 事業者情報		受信可能なS C P 事業者情報は最大2 S C P 事業者までとする
3.115	輻輳制御済み通知情報	使用しない	
3.116	発測地速度情報	使用しない	
3.117	緊急通報呼表示	ベースドキュメントどおり	
4	I S D N ユーザ部メッセージとコード	ベースドキュメントどおり	

JT-Q763の参照節		接続事業者網間仕様	備考
項番	メッセージ種別		
表 4-1	ACM	「メッセージ種別」「逆方向呼表示」「オプション逆方向呼表示」「理由表示」「ユーザ・ユーザ表示」「アクセス転送」「料金区域情報」「課金情報」「課金情報種別」「付加ユーザ種別」「課金情報遅延」「事業者情報転送」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-2	ANM	「メッセージ種別」「逆方向呼表示」「アクセス転送」「料金区域情報」「付加ユーザ種別」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-3	CPG	「メッセージ種別」「イベント情報」「理由表示」「逆方向呼表示」「アクセス転送」「料金区域情報」「課金情報」「課金情報種別」「付加ユーザ種別」「課金情報遅延」「事業者情報転送」「オプション逆方向表示」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-4	CQR	ベースドキュメントどおり	
表 4-5	GRA	ベースドキュメントどおり	
表 4-12	IAM	「メッセージ種別」「接続特性表示」「順方向呼表示」「発ユーザ種別」「通信路要求表示」「着番号」「発番号」「転送元番号」「着信転送情報」「第一着番号」「アクセス転送」「ユーザサービス情報」「汎用番号」「料金区域情報」「契約者番号」「発信者番号非通知理由」「付加ユーザ種別」「事業者情報転送」「緊急通報呼表示」「リダイレクション能力」「リダイレクション回数」「リダイレクション順方向情報」「着ディレクトリ番号」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-13	REL	「メッセージ種別」「理由表示」「転送先番号」「リダイレクション回数」「リダイレクション逆方向情報」「オプションパラメータ終了表示」を使用する	
表 4-14	RLC	「メッセージ種別」のみ使用する	
表 4-18	SUS, RES	「メッセージ種別」「中断/再開表示」のみ使用する	
表 4-19	BLO, BLA, RSC, UBL, UBA	ベースドキュメントどおり	
表 4-21	GRS, CQM	ベースドキュメントどおり	
表 4-29	SGM	使用しない	
表 4-34	CHG	ベースドキュメントどおり	

(注1) 本互換表に規定されているパラメータのみ使用することを原則とし、規定されていないパラメータを使用する場合には別途該当事業者間で協議の対象とする。

(注2) 中継事業者は原則的に受信情報を透過中継する。

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
1.	概説	
1. 1	本標準の範囲	
1. 2	参考文献	ベースドキュメントどおり
1. 3	定義	
1. 4	略語	
2.	基本呼制御と信号手順	
2. 1	完了の呼設定	
2. 1. 1	順方向アドレス信号制御—一括転送制御	ベースドキュメントどおり
2. 1. 1. 1	発交換機で必要な動作	<ul style="list-style-type: none"> ・コネクションタイプは「音声」, 「3. 1 k H z オーディオ」のみ使用する ・ユーザテレサービス情報がアドレス情報に含まれる場合でも、後位レイヤ整合性情報が含まれない場合もある (全ての項番について同様)
2. 1. 1. 2	中継交換機の動作	
2. 1. 1. 6	着交換機の動作	簡易分割手順は使用しない (全ての項番について同様)
2. 1. 3	発番号	ベースドキュメントどおり
2. 1. 4	アドレス完了メッセージ、接続メッセージ	
2. 1. 4. 1	着交換機の動作	
2. 1. 4. 2	中継交換機の動作	
2. 1. 4. 6	発交換機の動作	接続メッセージ (CON), 及びアクセス配送表示は使用しない (全ての項番について同様)
2. 1. 4. 7	着交換機におけるパス接続及び応答待表示の送出	
2. 1. 4. 8	相互接続がある場合のアドレス完了メッセージの返送	
2. 1. 4. 9	アクセス配送表示	
2. 1. 5	呼経過メッセージ (基本呼)	
2. 1. 5. 1	着交換機で必要な動作	
2. 1. 5. 2	中継交換機で必要な動作	ベースドキュメントどおり
2. 1. 5. 3	発交換機で必要な動作	

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.1.7	応答メッセージ	ベースドキュメントどおり
2.1.7.1	着交換機で必要な動作	
2.1.7.2	中継交換機で必要な動作	
2.1.7.6	発交換機で必要な動作	
2.1.7.7	自動ユーザからの応答の返送	
2.1.8	導通試験	
2.1.9	課金	ベースドキュメントどおり
2.1.11	中継網選択 (国内使用)	使用しない (全ての項番について同様)
2.1.12	簡易分割	使用しない (全ての項番について同様)
2.1.12.1	勧告 Q 7 6 7 及び I S U P ' 8 8 版 I S D N ユーザ部との相互接続	
2.2	不完了呼設定	ベースドキュメントどおり
2.2.1	切断メッセージを生成し、送信する交換機の動作	
2.2.2	中継交換機の動作	
2.2.3	制御交換機の動作	
2.2.4	トーン及びアナウンス	
2.3	正常の呼解放	ベースドキュメントどおり
2.3.1	発ユーザにより起動された切断	
2.3.2	着ユーザ起動の切断	
2.3.3	網起動の切断	
2.3.4	アドレスメッセージ内情報の保存と廃棄	
2.3.5	先行切断情報転送	
2.4	中断/再開	ベースドキュメントどおり
2.4.1	中断	また、当社網にてユーザ起動の中断、再開が起動されることはない
2.4.2	再開	
2.4.3	タイマ T 6 または T 38 のタイムアウト	切断メッセージに設定する理由表示として # 16 以外が設定される場合がある (全ての項番について同様)

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.7	エコー制御信号手順	使用しない（全ての項番について同様）
2.7.1	導入	
2.7.3	簡易エコー制御信号手順	
2.7.3.1	概説	
2.7.3.1.2	順方向	
2.7.3.1.2.1	発交換機の動作	
2.7.3.1.2.2	中継交換機の動作	
2.7.3.1.2.3	着交換機の動作	
2.7.3.1.3	逆方向	
2.7.3.1.3.1	着交換機の動作	
2.7.3.1.3.2	中継交換機の動作	
2.7.3.1.3.3	発交換機の動作	
2.8	網機能	
2.8.1	自動再試行	
2.8.2	回線及び回線群の閉塞と閉塞解除	
2.8.2.1	閉塞メッセージ受信時のその他の動作	
2.8.2.2	回線群閉塞及び閉塞解除メッセージ	
2.8.2.3	閉塞及び回線群閉塞の異常手順	
2.8.3	回線群状態要求	
2.8.3.1	概要	
2.8.3.2	回線状態の解釈	
2.8.3.2A	回線状態の解釈	使用しない
2.8.3.3A	検査手順	「呼処理状態に誤りがある場合の措置」に関する動作差分について付表1にまとめる（なお、交換機タイプにより2種類の差分内容がある）
2.8.3.3A.1	呼処理状態に誤りがある場合の措置	
2.8.3.3A.2	保守状態において誤りがあった場合の措置	

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.9	異常状態	
2.9.1	二重捕捉	
2.9.1.1	制御不可の時間	ベースドキュメントどおり
2.9.1.2	二重捕捉の検出	
2.9.1.3	防止動作	当社網は方法2を使用する
2.9.1.4	二重捕捉の検出時取るべき動作	ベースドキュメントどおり
2.9.2	交換機間デジタル回線の伝送警告処理	ベースドキュメントどおり
2.9.3	回線および回線群のリセット	
2.9.3.1	回線リセットメッセージ	マルチレートコネクションタイプは使用しない（全ての項番について同様）
2.9.3.2	回線群リセットメッセージ	
2.9.3.3	異常回線群リセットメッセージ手順	
2.9.4	閉塞/閉塞解除手順の誤り	ベースドキュメントどおり
2.9.5	不合理信号情報の受信	
2.9.5.1	予期しないメッセージの処理	基本的に資料「ISUP仕様互換表」で「使用する」としているメッセージ/パラメータ以外のものは、送信側で規制する。また、「認識不可情報と同じメッセージで受信されたコンパチビリティ情報」、及び「コンフュージョンメッセージ」を用いた手順は使用しない（全ての項番について同様）
2.9.5.2	認識不可信号情報メッセージとパラメータ受信時の一般的要求	
2.9.5.3	認識不可メッセージ又はパラメータの処理	
2.9.5.3.1	認識不可メッセージ	
2.9.5.3.2	認識不可パラメータ	
2.9.5.3.3	認識不可パラメータ値	
2.9.5.4	認識不可情報送信を通知する応答の処理手順	
2.9.5.4.1	タイプA交換機	
2.9.5.4.2	タイプB交換機	
2.9.5.5	不合理情報処理に対する手順	

J T-Q 7 6 4 の参照節		網間仕様
項番	項目	
2.9.6	復旧完了メッセージの受信不可-タイマT1及びT5	ベースドキュメントどおり
2.9.8	他の失敗状態	
2.9.8.1	切断メッセージに対して切断不可の場合	使用しない
2.9.8.2	呼失敗	
2.9.8.3	異常切断条件	ベースドキュメントどおり
2.11	自動輻輳制御	
2.11.1	輻輳レベルパラメータを含む切断メッセージの受信	使用しない (全ての項番について同様)
2.11.2	過負荷時の動作	
2.15	信号長オーバメッセージ	ベースドキュメントどおり
2.20	発測地位置手順	
2.20.1	序文	使用しない (全ての項番について同様)
2.20.2	測地情報の転送	

J T-Q 7 6 4 の参照節		仕様
項目		
付属資料A	I S D N ユーザ部のタイマ	T 2, T 8, T 10, T 11, T 18~T 21, T 34 タイマは使用しない (全ての項番について同様)
付属資料B	基本呼制御信号手順	ベースドキュメントどおり
付属資料F	理由表示値	ベースドキュメントどおり
付属資料H	状態遷移図	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のメッセージ種別に関する箇所は使用しない (全ての項番について同様) -信号手順制御 <ul style="list-style-type: none"> ・回線群閉塞 (C G B) ・回線群閉塞確認 (C G B A) ・回線群閉塞解除 (C G U) ・回線群閉塞解除確認 (C G U A) -呼処理制御 <ul style="list-style-type: none"> ・導通試験 (C O T) ・網リソース管理 (N R M) ・分割 (S G M) ・順方向転送 (F O T) ・接続 (C O N) -回線監視制御 <ul style="list-style-type: none"> ・導通試験 (C O T) ・回線群閉塞 (C G B) ・回線群閉塞確認 (C G B A) ・回線群閉塞解除 (C G U) ・回線群閉塞解除確認 (C G U A) ・入側/出側呼処理制御 S D L において、通信中に C H G を受信するケースは本仕様の規定外とする (全ての項番について同様)
付属資料 a	事業者間料金精算方式	ベースドキュメントどおり。但し、当社網では、以下の機能を具備しない (全ての項番について同様) <ul style="list-style-type: none"> ・選択中継事業者情報の設定 ・リダイレクション機能
付属資料 b	輻輳制御に対する二重制御の抑止	使用しない
付属資料 c	優先接続における固定塗替で選択された事業者名の音声通知手順	使用しない
付属資料 d	緊急通報呼の発信手順	ベースドキュメントどおり

付表1 呼処理状態に誤りがある場合の措置について（差異がある箇所のみ記述）

呼処理状態に誤りがある場合	措置－交換機（タイプ1）	措置－交換機（タイプ2）
自局が出側回線使用中または入り側回線使用中で、相手局が未実装の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・相手局閉塞とする ・回線を空にする ・保守システムへ通報する 	ベースドキュメントどおり
自局が回線空きで、相手局が出側回線使用中または入側回線使用中の場合	ベースドキュメントどおり	<ul style="list-style-type: none"> ・相手局側で回線を空にするため切断メッセージを送出する ・復旧完了メッセージ受信回線を空にする
自局が回線使用中で、相手局が回線空きの場合	ベースドキュメントどおり	<ul style="list-style-type: none"> ・切断メッセージを送出する ・復旧完了メッセージ受信回線を空にする

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
接続特性表示				
B A	衛星回線表示			
	00 接続において衛星回線なし	○	○	
	01 接続において衛星1回線あり	○	○	
	10 接続において衛星2回線あり	○	○	
	11 予備	-	-	
	D C	導通試験表示		
		00 導通試験不要	○	○
		01 導通試験必要	-	-
		10 前位で導通試験実施	-	-
		11 予備	-	-
	E	エコー制御回路表示		
		0 出回線にハーフエコー制御回路を挿入せず	○	○
		1 出回線にハーフエコー制御回路を挿入	-	-
H~F	予備	-	-	
順方向呼表示				
A	国内/国際呼表示			
	0 国内呼として処理される呼	○	○	
	1 国際呼として処理される呼	○	-	
C B	エンド・エンド法表示 (CCS網)			
	00 エンド・エンド法が利用できない	○	○	
	01~11 予備	-	-	
D	相互接続表示			
	0 相互接続なし	○	○	
	1 相互接続あり	○	○	
E	エンド・エンド情報表示			
	0 エンド・エンド情報利用できない	○	○	
	1 予備	-	-	
F	ISUP1リンク表示			
	0 ISUP1リンクでない	○	○	
	1 ISUP1リンクである	○	○	
H G	ISUP1リンク希望表示			
	00 ISUP1リンクを希望するが必須でない	○	○	
	01 ISUP1リンクを希望しない	○	○	
	10 ISUP1リンクを希望し必須である	○	○	
	11 予備	-	-	
I	ISDNアクセス表示			
	0 発側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○	○	
	1 発側のユーザ・網インタフェースがISDN	○	○	
K J	SCCP法表示			
	00 表示なし	○	○	
	01~11 予備	-	-	
L	予備	-	-	
P~M	国内使用に留保	-	-	
発ユーザ種別				
H~A	発ユーザ種別			
	00000000 発ユーザ種別不明	-	-	
	00000001~00000101 予備	-	-	
	00000110, 111, 1000 相互協定によって選ばれた特別の言語を管理するのに利用	○	-	
	00001001 国内台	○	-	
	00001010 一般発ユーザ	○	○	
	00001011 優先発ユーザ	○	○	
	00001100 データ呼 (音声帯域データ)	-	-	
	00001101 試験呼	○	○	
	00001110 予備	-	-	
	00001111 公衆電話	○	○	
	00010000~11110000 予備	-	-	
	11110001~11111110 国内使用のため留保	-	-	
	11111111 予備	-	-	
	通信路要求表示			

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
H~A	通信路要求表示			
	0000000 音声	○	○	
	0000001 予備	-	-	
	0000010 64kbit/s非制限	○	○	
	0000011 3.1kHzオーディオ	○	○	
	0000100~0000111 予備	-	-	
	00001000 384kbit/s非制限	-	-	
	00001001~1111111 予備	-	-	
着番号パラメータのポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
オプション部開始ポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
着番号				
G~A	番号種別表示			
	0000000 予備	-	-	
	0000001 加入者番号	-	-	
	0000010 予備、国内使用のため留保	-	-	
	0000011 国内番号	○	○	
	0000100 国際番号	-	-	
	0000101~1101111 予備	-	-	
	1110000~1111101 国内使用のため留保	-	-	
	1111110 網特有番号	-	○	
	1111111 予備	-	-	
	H	奇数/偶数表示		
		0 番号ディジットの桁数が偶数	○	○
		1 番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	L~I	予備	-	-
	O~M	番号計画表示		
		000 予備	-	-
		001 ISDN(電話)番号計画	○	○
		010~111 予備	-	-
P	網内番号表示(INN表示)			
	0 網内のルーティング可	○	○	
	1 網内のルーティング不可	-	-	
~Q	アドレス情報(最大13oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00001010 発番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
発番号				
G~A	番号種別表示			
	0000000 予備	-	-	
	0000001 加入者番号	-	-	
	0000010 予備、国内使用のため留保	-	-	
	0000011 国内番号	○	○	
	0000100 国際番号	○	○	
	0000101~1101111 予備	-	-	
	1110000~1111101 国内使用のため留保	-	-	
	1111110 網特有番号	○	○	
	1111111 予備	-	-	
	H	奇数/偶数表示		
		0 番号ディジットの桁数が偶数	○	○
		1 番号ディジットの桁数が奇数	○	○
	J I	網検証識別		
		00 予備	-	-
		01 ユーザ投入、網検証あり、成功	○	○
		10 留保	-	-
		11 網投入	○	○

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
LK	表示識別			
	00 表示可	○	○	
	01 表示不可	○	○	
	10 使用不可	—	—	
	11 予備	—	—	
	O~M	番号計画表示		
		000 予備	—	—
		001 ISDN (電話) 番号計画	○	○
		010 予備	—	—
		011 予備	—	—
		その他 予備	—	—
	P	発番号不完全表示 (NI 表示)		
		0 完全	○	○
		1 不完全	—	—
	~Q	アドレス情報 (最大8oct)	○	○
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00000011 アクセス転送	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
アクセス転送	JT-Q931 4.5章に記述されたようにコード化される (最大80oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00011101 ユーザ・サービス情報	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
ユーザ・サービス情報	JT-Q931に記された伝達機能情報エレメントと同一にコード化される (最大11oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	11000000 汎用番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
汎用番号				
H~A	番号情報識別子			
	00000000~00000101 留保	—	—	
	00000110 付加発番号	○	○	
	00000111 付加第一着番号	○	○	
	00001000~00001001 留保	—	—	
	00001010~01111111 予備	—	—	
	10000000~11111110 国内使用のため留保	—	—	
	11111111 拡張のため留保	—	—	
	O~I	番号種別表示		
		00000000 予備	—	—
		00000001 加入者番号	—	—
		00000010 不定	—	—
		00000011 国内番号	○	○
		0000100 国際番号	—	—
		0000101~1101111 予備	—	—
1110000~1111101 国内使用のため留保		—	—	
1111110 網特有番号		—	—	
1111111 予備		—	—	
P	奇数/偶数表示			
	0 番号ディジットの桁数が偶数	○	○	
	1 番号ディジットの桁数が奇数	○	○	
RQ	網検証識別			
	00 留保	—	—	
	01 ユーザ投入、網検証あり、成功	○	○	
	10 留保	—	—	
	11 網投入	○	○	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
T S	表示識別			
	00 表示可	○	○	
	01 表示不可	○	○	
	10 使用不可	—	—	
	11 予備	—	—	
	W~U	番号計画表示		
		000 予備	—	—
		001 ISDN (電話) 番号計画	○	○
		010 予備	—	—
		011~101 留保	—	—
		110 国内使用のため留保	—	—
	X	番号不完全表示		
		0 完全	○	○
	1 不完全	—	—	
~Y	アドレス情報(最大8oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00001011 転送元番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
転送元番号				
G~A	番号種別表示			
	0000000 予備	—	—	
	0000001 加入者番号	—	—	
	0000010 予備、国内使用のため留保	—	—	
	0000011 国内番号	○	○	
	0000100 国際番号	—	—	
	0000101~1101111 予備	—	—	
	1110000~1111101 国内使用のため留保	—	—	
	1111110 網特有番号	—	—	
	1111111 予備	—	—	
	H	奇数/偶数表示		
0 番号ディジットの桁数が偶数		○	○	
1 番号ディジットの桁数が奇数	○	○		
J I	予備	—	—	
L K	表示識別			
	00 表示可	○	○	
	01 表示不可	○	○	
	10 使用不可	—	—	
	11 予備	—	—	
O~M	番号計画表示			
	000 予備	—	—	
	001 ISDN (電話) 番号計画	○	○	
	010 予備	—	—	
	011 データ番号計画	—	—	
	100 テレックス番号計画	—	—	
	101 国内使用のため留保 (私設番号計画)	—	—	
	110 国内使用のため留保	—	—	
111 予備	—	—		
P	予備	—	—	
~Q	アドレス情報 (最大8oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00010011 着信転送情報	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
着信転送情報				
C~A	転送表示			
	000 転送なし (国内使用)	—	—	
	001 転送呼	—	—	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
	010	転送呼、全ての転送情報規制	-	-
	011	着信転送呼	○	○
	100	着信転送呼、全ての転送情報規制	○	○
	101	転送呼、着信転送番号規制	-	-
	110	着信転送呼、全ての着信転送番号規制	-	-
	111	予備	-	-
	D	予備	-	-
	H~E	第一転送理由		
	0000	不定/使用不可	-	-
	0001	話中	○	○
	0010	無応答	○	○
	0011	無条件	○	○
	0100	呼び出し中呼毎着信転送	○	○
	0101	即時レスポンス呼毎着信転送	○	○
	0110	移動端末着信不可	○	○
	0111~1111	予備	-	-
	K~I	転送回数 (1から5の間のバイナリ数)	○	○
	L	予備	-	-
	P~M	転送理由		
	0000	不定/使用不可	-	-
	0001	話中	○	○
0010	無応答	○	○	
0011	無条件	○	○	
0100	呼び出し中呼毎着信転送	○	○	
0101	即時レスポンス呼毎着信転送	○	○	
0110	移動端末着信不可	○	○	
0111~1111	予備	-	-	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
00101000	第一着番号	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
第一着番号				
G~A	番号種別表示			
0000000	予備	-	-	
0000001	加入者番号	-	-	
0000010	国内番号	○	○	
0000100	国際番号	-	-	
0000101~1101111	予備	-	-	
1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-	
1111110	網特有番号	-	-	
1111111	予備	-	-	
H	奇数/偶数表示			
0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○	
1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○	
J I	予備	-	-	
L K	表示識別			
00	表示可	○	○	
01	表示不可	○	○	
10	使用不可	-	-	
11	予備	-	-	
O~M	番号計画表示			
000	留保 (不定)	-	-	
001	ISDN (電話) 番号計画	○	○	
010	予備	-	-	
011	データ番号計画	-	-	
100	テレックス番号計画	-	-	
101	国内使用のため留保 (私設番号計画)	-	-	
110	国内使用のため留保	-	-	
111	予備	-	-	
P	予備	-	-	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
～Q	アドレス情報(最大8oct)	○	○
パラメータ名			
H～A	パラメータ名		
1111101	料金区域情報	○	○
パラメータ長			
H～A	オクテット数で示す	○	○
料金区域情報			
G～A	情報識別表示		
0000000	MAコード	—	—
0000001	CAコード	○	○
0000010～1111111	予備	—	—
H	奇数/偶数表示		
0	アドレス情報の桁数が偶数	—	—
1	アドレス情報の桁数が奇数	○	○
～I	情報 (3oct)	○	○
パラメータ名			
H～A	パラメータ名		
11111001	契約者番号	○	○
パラメータ長			
H～A	オクテット数で示す	○	○
契約者番号			
G～A	番号種別		
0000000	予備	—	—
0000001	加入者番号	—	—
0000010	予備	—	—
0000011	国内番号	○	○
その他	予備	—	—
H	奇数/偶数表示		
0	番号ディジットの桁数が偶数	○	○
1	番号ディジットの桁数が奇数	○	○
L～I	予備	—	—
O～M	番号計画表示		
000	予備	—	—
001	ISDN (電話) 番号計画	○	○
その他	予備	—	—
P	予備	—	—
～Q	アドレス情報(最大8oct)	○	○
パラメータ名			
H～A	パラメータ名		
11110101	発信者番号非通知理由	○	○
パラメータ長			
H～A	オクテット数で示す	○	○
発信者番号非通知理由			
G～A	発番号非通知理由		
0000000	予備	—	—
0000001	ユーザ拒否のため通知不可	○	○
0000010	サービス競合のため通知不可	○	○
0000011	公衆電話発信のため通知不可	○	○
0000100～1111110	予備	—	—
1111111	拡張のため留保	—	—
H	拡張表示		
0	留保	—	—
1	最終オクテット	○	○
パラメータ名			
H～A	パラメータ名		
11110011	付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長			
H～A	オクテット数で示す	○	○
付加ユーザ種別			
H～A	付加ユーザ種別名		
00000000	予備	—	—

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信		
H～Aが “1111 1110” の場合	P～I	0000001～1000000	網固有情報として留保	-	-	
		1000001～1111101	予備	-	-	
		1111101	移動系付加ユーザ種別3	-	-	
		1111100	移動系付加ユーザ種別2	○	○	
		1111101	移動系付加ユーザ種別1	○	○	
		1111110	固定系付加ユーザ種別1	○	-	
		1111111	予備	-	-	
	H～Aが “1111 1101” の場合	P～I	固定系付加ユーザ種別1			
			0000000	予備	-	-
			0000001	列車公衆	○	-
			0000010	ピンク	○	-
			0000011～1111111	予備	-	-
			移動系付加ユーザ種別1			
			0000000	予備	-	-
0000001	移动通信 (自動車・携帯電話サービス)	-	○			
0000010	移动通信 (船舶電話サービス)	-	-			
0000011	移动通信 (航空機電話サービス)	-	-			
0000100	移动通信 (無線呼び出しサービス)	○	-			
0000101	PHS通信 (PHSサービス)	○	-			
0000101～1111111	予備	-	-			
H～Aが “1111 1100” の場合	P～I	移動系付加ユーザ種別2				
		0000000	予備	-	-	
		0000001	移动通信 (大容量方式)	-	-	
		0000010	移动通信 (N/J-TACS)	-	-	
		0000011	移动通信 (PDC 800MHz)	-	-	
		0000100	移动通信 (PDC 1.5GHz)	-	-	
		0000101	移动通信 (N-STAR衛星)	-	-	
		0000110	移动通信 (cdmaOne 800MHz)	-	○	
		0000111	移动通信 (イリジウム衛星)	-	-	
		00001000	移动通信 (IMT2000)	-	-	
		00001001	PHS通信 (PHS活用型)	○	-	
		00001000～1111111	予備	-	-	
		パラメータ名				
H～A		パラメータ名				
	11110001	事業者情報転送	○	○		
パラメータ長						
H～A		オクテット数で示す	○	○		
事業者情報転送						
(繰り返しあり)	B A		経由情報転送表示			
		00	転送なし	○	○	
		01	順方向	○	○	
		10	逆方向	○	○	
		11	両方向	○	○	
	H～C		予備	-	-	
	P～I		事業者情報名			
		0000000	予備	-	-	
		0000001～1000000	網固有情報	-	-	
		1000001～1111101	予備	-	-	
1111101		SCP事業者情報	○	-		
1111101		発事業者情報	○	○		
1111100		着事業者情報	-	-		
1111101		選択中継事業者情報	○	-		
1111110	経由事業者情報	○	○			
1111111	予備	-	-			
X～Q		事業者情報長	○	○		
“11111011” 発事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	H～A		事業者情報従属パラメータ名			
		0000000	予備	-	-	
		0000001～1000000	網固有情報	-	-	
		1000001～1111101	予備	-	-	
		1111100	POI-階梯情報	○	-	
1111101	POI-料金区域情報	-	-			

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
事業者識別コード		11111110 事業者識別コード	○	○	
		11111111 予備	-	-	
	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W~Q	予備	○	○	
	X	奇数/偶数表示			
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
	~Y	事業者識別コード	○	○	
	POI・階梯情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	-
		T~Q	出側POI-階梯情報		
		0000 表示無し	○	-	
		0001 階梯1	○	-	
		0010 階梯2	○	-	
		0011~1111 予備	-	-	
X~U		入側POI-階梯情報			
		0000 表示無し	○	-	
		0001 階梯1	○	-	
		0010 階梯2	○	-	
	0011~1111 予備	-	-		
“11111101” 選択中継事業者 情報の場合 “11111110” 経由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名			
		00000000 予備	-	-	
		00000001~10000000 網固有情報	-	-	
		10000001~11111011 予備	-	-	
		11111100 POI-階梯情報	○	○	
		11111101 POI-料金区域情報	○	○	
		11111110 事業者識別コード	○	○	
	11111111 予備	-	-		
POI・階梯情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	T~Q	出側POI-階梯情報			
		0000 表示無し	○	○	
		0001 階梯1	○	○	
		0010 階梯2	○	○	
		0011~1111 予備	-	-	
	X~U	入側POI-階梯情報			
		0000 表示無し	○	○	
		0001 階梯1	○	○	
		0010 階梯2	○	○	
	0011~1111 予備	-	-		
事業者識別コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
	~Y	事業者識別コード	○	○	
	POI・料金区域情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
W~Q		予備	-	-	
X		奇数/偶数表示			
		0 POI・料金区域情報の桁数が偶数	-	-	
		1 POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○	
~Y		POI-料金区域情報	○	○	
“11111010” SCP事業者 情報の場合		H~A	事業者情報従属パラメータ名		
		00000000 予備	-	-	
		00000001~10000000 網固有情報	-	-	
		10000001~11111011 予備	-	-	
		11111100 POI-階梯情報	-	-	
		11111101 POI-料金区域情報	-	-	
		11111110 事業者識別コード	○	-	
	11111111 予備	-	-		
事業者識別コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長			
	W~Q	予備	-	-	
	X	奇数/偶数表示			

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
		0 事業者識別コードの桁数が偶数	○	-	
		1 事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
		~Y 事業者識別コード	○	-	
パラメータ名					
	H~A	パラメータ名			
		11010111 緊急通報呼表示	-	○	
パラメータ長					
	H~A	オクテット数で示す	-	○	
緊急通報呼表示					
	B A	緊急通報呼種別			
		00 種別を特定しない	-	○	
		01 予備	-	-	
		10 予備	-	-	
		11 予備	-	-	
	H~C	予備	-	-	
パラメータ名					
	H~A	パラメータ名			
		01001110 リダイレクション能力	○	-	
パラメータ長					
	H~A	オクテット数で示す	○	-	
リダイレクション能力					
	C B A	リダイレクション可能表示			
		000 未使用	-	-	
		001 ACM以前、リダイレクション可能	○	-	
		010 ANM以前、リダイレクション可能	-	-	
		011 常時リダイレクション可能	-	-	
		100~111 予備	-	-	
	G~D	予備	-	-	
	H	拡張表示			
		0 次オクテットに続く	-	-	
		1 最終オクテット	○	-	
パラメータ名					
	H~A	パラメータ名			
		10001011 リダイレクション順方向情報	○	-	
パラメータ長					
	H~A	オクテット数で示す	○	-	
リダイレクション順方向情報					
	H~A	情報種別識別子			
		00000000 未使用	-	-	
		00000001 起動交換機への切戻し可能	-	-	
		00000010 起動交換機への切戻し用呼識別子	-	-	
		00000011 リダイレクション実行表示	○	-	
		00000100 リダイレクション起動理由	-	-	
		00000101~11111111 予備	-	-	
	P~I	情報種別長	○	-	
リダイレクション実行表示の場合	G~A	リダイレクション実行理由			
		00000000 不定/無効	-	-	
		00000001 事業者間ポータビリティ (国内用)	-	-	
		00000010 ロケーションポータビリティのため留保	-	-	
		00000011 サービスポータビリティのため留保	-	-	
		0000100~01111111 予備	-	-	
		1000000~11111101 国内使用のため留保	-	-	
		11111110 一般番号ポータビリティ (LNP) / 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) (国内用)	○	-	
		11111111 国内使用のため留保	-	-	
		H	拡張表示		
			0 次オクテットに続く	-	-
			1 最終オクテット	○	-
K~I	実行交換機リダイレクション可能表示				
		000 表示なし	-	-	
		001 ACM以前、リダイレクション可能	○	-	
		010 ANM以前、リダイレクション可能	-	-	

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
		011 常時リダイレクション可能	-	-
		100~111 予備	-	-
	P~L	予備	-	-
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
		01110111 リダイレクション回数	○	-
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	-
リダイレクション回数				
	E~A	リダイレクション回数 (リダイレクションした回数のバイナリ数)	○	-
	H~F	予備	-	-
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
		01111101 着ディレクトリ番号	○	-
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	-
着ディレクトリ番号				
	G~A	番号種別表示		
		0000000 予備	-	-
		0000001 加入者番号	-	-
		0000010 予備、国内使用のため留保	-	-
		0000011 国内番号	○	-
		0000100 国際番号	-	-
		0000101~1101111 予備	-	-
		1110000~1111101 国内使用のため留保	-	-
		1111110 網特有番号	-	-
		1111111 予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
		0 番号ディジットの桁数が偶数	○	-
		1 番号ディジットの桁数が奇数	○	-
	L~I	予備	-	-
	O~M	番号計画表示		
		000 予備	-	-
		001 ISDN(電話)番号計画	○	-
		010~111 予備	-	-
	P	網内番号表示(INN表示)		
		0 網内のルーティング可	-	-
		1 網内のルーティング不可	○	-
	~Q	アドレス情報	○	-
オプションパラメータ終了表示				
	H~A			
		00000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表 8-2 ISUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
逆方向呼表示 注:G~K プロトコル 制御表示 (PCI)	BA	課金表示	
	00	表示なし	○ ○
	01	非課金	○ ○
	10	課金	○ ○
	11	予備	- -
	DC	着ユーザ状態表示 (CLS)	
	00	表示なし	○ ○
	01	加入者空	○ ○
	10	空きのとき接続	- -
	11	予備	- -
	FE	着ユーザ種別表示	
	00	表示なし	○ ○
	01	一般ユーザ	○ ○
	10	公衆電話	○ -
	11	予備	- -
	HG注	エンド・エンド法表示 (CCS網)	
	00	エンド・エンド法が利用できない	○ ○
	01~11	予備	- -
	I注	相互接続表示	
	0	相互接続なし	○ ○
	1	相互接続あり	○ ○
	J注	エンド・エンド情報表示	
	0	エンド・エンド法が利用できない	○ ○
	1	予備	- -
	K注	ISUP1リンク表示	
	0	ISUP1リンクでない	○ ○
	1	ISUP1リンクである	○ ○
	L	保留表示	
0	保留必要なし	○ ○	
1	予備	- -	
M	ISDNアクセス表示		
0	着側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○ ○	
1	着側のユーザ・網インタフェースがISDN	○ ○	
N	エコー制御回路表示		
0	入エコー制御回路挿入なし	○ ○	
1	入エコー制御回路挿入済み	- -	
PO	SCCP法表示		
00	表示なし	○ ○	
01~11	予備	- -	
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○ ○	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00101001	オプション逆方向呼表示	○ ○	
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○ ○	
オプション逆方向呼表示			
A	インバンド情報表示		
0	表示なし	○ -	
1	インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○ ○	
B	着信転送可能性表示		
0	表示なし	○ ○	
1	順方向呼発生	- -	
C	簡易分割表示		
0	付加情報が送出されない	○ ○	
1	付加情報は分割メッセージで送出される	- -	
D	MLPPユーザ表示	- -	
H~E	国内使用に留保	- -	
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
	00010010	理由表示	○	○	
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○	
理由表示		RELの理由表示を参照	○	○	
パラメータ名	H~A	パラメータ名			
	00101010	ユーザ・ユーザ表示	-	○	
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	-	○	
ユーザ・ユーザ表示	A	種別			
	0	要求	-	-	
	1	応答	-	○	
Aが'0'の 場合	C B	サービス1			
		00	情報なし	-	-
		01	予備	-	-
		10	要求、必須でない	-	-
		11	要求、必須	-	-
	E D	サービス2			
		00	情報なし	-	-
		01	予備	-	-
		10	要求、必須でない	-	-
		11	要求、必須	-	-
	G F	サービス3			
		00	情報なし	-	-
01		予備	-	-	
10		要求、必須でない	-	-	
	11	要求、必須	-	-	
H	予備	-	-		
Aが'1'の 場合	C B	サービス1			
		00	情報なし	-	○
		01	提供しない	-	-
		10	提供	-	-
		11	予備	-	-
	E D	サービス2			
		00	情報なし	-	○
		01	提供しない	-	-
		10	提供	-	-
		11	予備	-	-
	G F	サービス3			
		00	情報なし	-	○
01		提供しない	-	-	
10		提供	-	-	
	11	予備	-	-	
H	網破棄表示				
	0	情報なし	-	-	
	1	UUIは網によって破棄された	-	○	
パラメータ名	H~A	パラメータ名			
	00000011	アクセス転送	○	-	
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	-	
アクセス転送		JT-Q931 4.5章に記されたようにコード化される (最大80oct)	○	-	
パラメータ名	H~A	パラメータ名			
	11111011	課金情報	○	○	
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○	
課金情報	H~A	単位料金表示			

表 8 - 2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
	00000000 予備	-	-
	00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111011 予備	-	-
	11111100 単位料金 100円	○	-
	11111101 単位料金 10円	○	○
	11111110 表示なし	○	○
	11111111 予備	-	-
	O~I 課金レート情報種別		
	00000000 予備	-	-
	00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111011 予備	-	-
	11111100 柔軟課金レート指示 (公衆)	○	○
	11111101 柔軟課金レート指示 (一般)	○	○
	11111110 柔軟課金レート情報なし	○	○
	11111111 予備	-	-
	P 拡張表示		
	0 次のオクテットに続く	○	○
	1 最終オクテット	○	○
	X~Q 課金レート情報長 (バイナリで表示)	○	○
	~Y 課金レート情報内容 (一括登算度数及び課金間隔)	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11111010	課金情報種別	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
課金情報種別			
H~A	パラメータ名		
00000000~00000010	網固有情報として留保	-	-
00000011	応用課金レート転送	-	-
00000100~10000000	網固有情報として留保	-	-
10000001~11111011	予備	-	-
11111110	課金レート転送	○	-
11111111	予備	-	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11110010	課金情報遅延	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
課金情報遅延			
H~A	パラメータ名		
00000000	予備	-	-
00000001~10000000	網固有情報	-	-
10000001~11111100	予備	-	-
11111101	課金レート転送	○	○
11111110	着信地域情報	○	○
11111111	予備	-	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11110011	付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
付加ユーザ種別			
H~A 付加ユーザ種別名			
00000000	予備	-	-
00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-
10000001~11111010	予備	-	-
11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-
11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	○
11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	○
11111110	固定系付加ユーザ種別1	○	-
11111111	予備	-	-

表8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
H～Aが “1111 1110” の場合	P～I 固定系付加ユーザ種別1	00000000 予備	-	-	
		00000001 列車公衆	○	-	
		00000010 ビンク	○	-	
		00000011～11111111 予備	-	-	
	H～Aが “1111 1101” の場合	P～I 移動系付加ユーザ種別1	00000000 予備	-	-
			00000001 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	-	○
			00000010 移動通信 (船舶電話サービス)	-	-
			00000011 移動通信 (航空機電話サービス)	-	-
			00000100 移動通信 (無線呼び出しサービス)	○	-
			00000101 PHS通信 (PHSサービス)	○	-
	H～Aが “1111 1100” の場合	P～I 移動系付加ユーザ種別2	00000000 予備	-	-
			00000001 移動通信 (大容量方式)	-	-
00000010 移動通信 (N/J-TACS)			-	-	
00000011 移動通信 (PDC 800MHz)			-	-	
00000100 移動通信 (PDC 1.5GHz)			-	-	
00000101 移動通信 (N-STAR衛星)			-	-	
00000110 移動通信 (cdmaOne 800MHz)			-	○	
00000111 移動通信 (イリジウム衛星)			-	-	
00001000 移動通信 (IMT2000)			-	-	
00001001 PHS通信 (PHS活用型)			○	-	
パラメータ名					
	H～A	パラメータ名			
	11110001	事業者情報転送	○	○	
パラメータ長					
	H～A	オクテット数で示す	○	○	
事業者情報転送					
	B A	経路情報転送表示			
	00	転送なし	○	○	
	01	順方向	-	-	
	10	逆方向	-	-	
	11	両方向	-	-	
	H～C	予備	-	-	
(繰り返しあり)	P～I	事業者情報名			
		00000000 予備	-	-	
		00000001～10000000 網固有情報	-	-	
		10000001～11111001 予備	-	-	
		11111010 SCP事業者情報	○	-	
		11111011 発事業者情報	-	-	
		11111100 着事業者情報	○	○	
		11111101 選択中継事業者情報	○	-	
		11111110 経路事業者情報	○	○	
		11111111 予備	-	-	
		X～Q	事業者情報長	○	○
“11111100” 着事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	H～A	事業者情報従属パラメータ名			
		00000000 予備	-	-	
		00000001～10000000 網固有情報	-	-	
		10000001～11111011 予備	-	-	
		11111100 POI-階梯情報	○	-	
		11111101 POI-料金区域情報	-	-	
		11111110 事業者識別コード	○	○	
		11111111 予備	-	-	
事業者識別 コード	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
		W～Q	予備	-	-
		X	奇数/偶数表示		
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信	
POI・階梯 情報	～Y	事業者識別コード	○	○	
	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	—	
	T～Q	出側POI-階梯情報			
	0000	表示無し	○	—	
	0001	階梯1	○	—	
	0010	階梯2	○	—	
	0011～1111	予備	—	—	
	X～U	入側POI-階梯情報			
	0000	表示無し	○	—	
	0001	階梯1	○	—	
	0010	階梯2	○	—	
	0011～1111	予備	—	—	
	“1111101” 選択中継事業者 情報の場合 “1111110” 経由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)	H～A	事業者情報従属パラメータ名	○	○
		00000000	予備	—	—
00000001～10000000		網固有情報	—	—	
10000001～11111011		予備	—	—	
11111100		POI-階梯情報	○	○	
11111101		POI-料金区域情報	○	○	
11111110		事業者識別コード	○	○	
POI・階梯 情報	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	T～Q	出側POI-階梯情報			
	0000	表示無し	○	○	
	0001	階梯1	○	○	
	0010	階梯2	○	○	
	0011～1111	予備	—	—	
	X～U	入側POI-階梯情報			
	0000	表示無し	○	○	
	0001	階梯1	○	○	
	0010	階梯2	○	○	
	0011～1111	予備	—	—	
	事業者識別 コード	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	○
		W～Q	予備	—	—
		X	奇数/偶数表示		
0		事業者識別コードの桁数が偶数	○	○	
1		事業者識別コードの桁数が奇数	○	○	
～Y	事業者識別コード	○	○		
POI・料金 区域情報	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	○	
	W～Q	予備	—	—	
	X	奇数/偶数表示	○	○	
	0	POI・料金区域情報の桁数が偶数	—	—	
	1	POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○	
～Y	POI-料金区域情報	○	○		
“11111010” SCP事業者 情報の場合	H～A	事業者情報従属パラメータ名	○	—	
	00000000	予備	—	—	
	00000001～10000000	網固有情報	—	—	
	10000001～11111011	予備	—	—	
	11111100	POI-階梯情報	—	—	
	11111101	POI-料金区域情報	—	—	
	11111110	事業者識別コード	○	—	
事業者識別 コード	P～I	事業者情報従属パラメータ長	○	—	
	W～Q	予備	—	—	
	X	奇数/偶数表示			
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	—	
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	—	—	
～Y	事業者識別コード	○	—		
パラメータ名	H～A	パラメータ名			
	11111101	料金区域情報	○	○	
パラメータ長					

表 8-2 I S U P 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
料金区域情報	H~A	オクテット数で示す	○	○
	G~A	情報識別表示		
		0000000 MAコード	-	-
		0000001 CAコード	○	○
	0000010~1111111 予備	-	-	
	H	奇数/偶数表示		
		0 アドレス情報の桁数が偶数	-	-
		1 アドレス情報の桁数が奇数	○	○
~I	情報 (3oct)	○	○	
オプションパラメータ終了表示				
	H~A			
	00000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
イベント情報			
G~A	イベント表示		
0000000	予備	-	-
0000001	呼出中	○	○
0000010	経過表示	○	○
0000011	インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○	○
0000100~1111111	予備	-	-
H	イベント提示制限表示		
0	表示なし	○	○
1	提示制限	-	-
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00010001	逆方向呼表示	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
逆方向呼表示			
B A	課金表示		
00	表示なし	○	-
01	非課金	○	-
10	課金	○	-
11	予備	-	-
D C	着ユーザ状態表示 (CLS)		
00	表示なし	○	-
01	加入者空	○	-
10	空きのとき接続	-	-
11	予備	-	-
F E	着ユーザ種別表示		
00	表示なし	○	-
01	一般ユーザ	○	-
10	公衆電話	○	-
11	予備	-	-
H G 注	エンド・エンド法表示 (CCS網)		
00	エンド・エンド法が利用できない	○	-
00~11	予備	-	-
I 注	相互接続表示		
0	相互接続なし	○	-
1	相互接続あり	○	-
J 注	エンド・エンド情報表示		
0	エンド・エンド情報利用できない	○	-
1	予備	-	-
K 注	ISUP1リンク表示		
0	ISUP1リンクでない	○	-
1	ISUP1リンクである	○	-
L	保留表示		
0	保留必要なし	○	-
1	保留必要	-	-
M	ISDNアクセス表示		
0	着側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○	-
1	着側のユーザ・網インタフェースがISDN	○	-
N	エコー制御回路表示		
0	入エコー制御回路挿入なし	○	-
1	入エコー制御回路挿入済み	-	-
P O	SCCP法表示		
00	表示なし	○	-
01~11	予備	-	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00101001	オプション逆方向呼表示	○	-
パラメータ長			

注:G~K
プロトコル
制御表示
(PCI)

表8-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
オプション逆方向呼表示	H~A	オクテット数で示す	○	-
	A	インバンド情報表示		
		0 表示なし	○	-
	1 インバンド情報あるいは適当なパターンが現在利用可能	○	-	
	B	着信転送可能性表示		
		0 表示なし	○	-
	1 順方向呼発生	-	-	
	C	簡易分割表示		
		0 付加情報が送出されない	○	-
	1 付加情報は分割メッセージで送出される	-	-	
D	MLPPユーザ表示	-	-	
H~E	国内使用に留保	-	-	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00010010 理由表示	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
理由表示	RELの理由表示を参照	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	00000011 アクセス転送	○	-	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	-	
アクセス転送	JT-Q931 4.5章に記されたようにコード化される (最大80oct)	○	-	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	11111011 課金情報	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
課金情報				
H~A	単位料金表示			
	00000000 予備	-	-	
	00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-	
	10000001~11111011 予備	-	-	
	11111100 単位料金 100円	○	-	
	11111101 単位料金 10円	○	○	
	11111110 表示なし	○	○	
	11111111 予備	-	-	
	O~I	課金レート情報種別		
		00000000 予備	-	-
		00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
		10000001~11111011 予備	-	-
		11111100 柔軟課金レート指示 (公衆)	○	○
		11111101 柔軟課金レート指示 (一般)	○	○
	11111110 柔軟課金レート情報なし	○	○	
	11111111 予備	-	-	
	P	拡張表示		
		0 次のオクテットに続く	○	○
1 最終オクテット	○	○		
X~Q	課金レート情報長 (バイナリで表示)	○	○	
~Y	課金レート情報内容 (一括登算度数及び課金間隔)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
	11111010 課金情報種別	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
課金情報種別				
H~A	パラメータ名			
	00000000~00000010 網固有情報として留保	-	-	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
		00000011 応用課金レート転送	-	-
		00000100~10000000 網固有情報として留保	-	-
		10000001~11111101 予備	-	-
		11111110 課金レート転送	○	○
		11111111 予備	-	-
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11110010 課金情報遅延	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
課金情報遅延	H~A	パラメータ名		
		00000000 予備	-	-
		00000001~10000000 網固有情報	-	-
		10000001~11111100 予備	-	-
		11111101 課金レート転送	○	○
		11111110 着信地域情報	○	○
		11111111 予備	-	-
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11110011 付加ユーザ種別	○	○
パラメータ長	H~A	オクテット数で示す	○	○
付加ユーザ種別	H~A	付加ユーザ種別名		
		00000000 予備	-	-
		00000001~10000000 網固有情報として留保	-	-
		10000001~11111010 予備	-	-
		11111011 移動系付加ユーザ種別3	-	-
		11111100 移動系付加ユーザ種別2	○	○
		11111101 移動系付加ユーザ種別1	○	○
		11111110 固定系付加ユーザ種別1	○	-
		11111111 予備	-	-
H~Aが “1111 1110” の場合	P~I	固定系付加ユーザ種別1		
		00000000 予備	-	-
		00000001 列車公衆	○	-
		00000010 ピンク	○	-
		00000011~11111111 予備	-	-
H~Aが “1111 1101” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別1		
		00000000 予備	-	-
		00000001 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	-	○
		00000010 移動通信 (船舶電話サービス)	-	-
		00000011 移動通信 (航空機電話サービス)	-	-
		00000100 移動通信 (無線呼び出しサービス)	○	-
		00000101 PHS通信 (PHSサービス)	○	-
		00000110~11111111 予備	-	-
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別2		
		00000000 予備	-	-
		00000001 移動通信 (大容量方式)	-	-
		00000010 移動通信 (N/J-TACS)	-	-
		00000011 移動通信 (PDC 800MHz)	-	-
		00000100 移動通信 (PDC 1.5GHz)	-	-
		00000101 移動通信 (N-STAR衛星)	-	-
		00000110 移動通信 (cdmaOne 800MHz)	-	○
		00000111 移動通信 (イリジウム衛星)	-	-
		00001000 移動通信 (IMT2000)	-	-
		00001001 PHS通信 (PHS活用型)	○	-
		00001010~11111111 予備	-	-
パラメータ名	H~A	パラメータ名		
		11110001 事業者情報転送	○	○

表8-2 I S U P一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
事業者情報転送			
	BA	経由情報転送表示	
	00	転送なし	○ ○
	01	順方向	- -
	10	逆方向	- -
	11	両方向	- -
	H~C	予備	- -
(繰り返しあり)	P~I	事業者情報名	
	00000000	予備	- -
	00000001~10000000	網固有情報	- -
	10000001~11111001	予備	- -
	11111010	SCP事業者情報	○ -
	11111011	発事業者情報	- -
	11111100	着事業者情報	○ ○
	11111101	選択中継事業者情報	○ -
	11111110	経由事業者情報	○ ○
	11111111	予備	- -
	X~Q	事業者情報長	○ ○
“11111100” 着事業者 情報の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名	
	00000000	予備	- -
	00000001~10000000	網固有情報	- -
	10000001~11111011	予備	- -
	11111100	POI-階梯情報	○ -
	11111101	POI-料金区域情報	- -
	11111110	事業者識別コード	○ ○
	11111111	予備	- -
事業者識別 コード	P~I	事業者情報従属パラメータ長	
	W~Q	予備	- -
	X	奇数/偶数表示	
	0	事業者識別コードの桁数が偶数	○ ○
	1	事業者識別コードの桁数が奇数	- -
	~Y	事業者識別コード	○ ○
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○ -
	T~Q	出側POI-階梯情報	
	0000	表示無し	○ -
	0001	階梯1	○ -
	0010	階梯2	○ -
	0011~1111	予備	- -
	X~U	入側POI-階梯情報	
	0000	表示無し	○ -
	0001	階梯1	○ -
	0010	階梯2	○ -
	0011~1111	予備	- -
“1111101” 選択中継事業者 情報の場合 “1111110” 経由事業者情報 の場合 (繰り返しあり)	H~A	事業者情報従属パラメータ名	
	00000000	予備	- -
	00000001~10000000	網固有情報	- -
	10000001~11111011	予備	- -
	11111100	POI-階梯情報	○ ○
	11111101	POI-料金区域情報	○ ○
	11111110	事業者識別コード	○ ○
	11111111	予備	- -
POI・階梯 情報	P~I	事業者情報従属パラメータ長	○ ○
	T~Q	出側POI-階梯情報	
	0000	表示無し	○ ○
	0001	階梯1	○ ○
	0010	階梯2	○ ○
	0011~1111	予備	- -
	X~U	入側POI-階梯情報	
	0000	表示無し	○ ○

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信		
事業 識別 コード	0001	階段1	○	○		
		0010	階段2	○	○	
		0011~1111	予備	-	-	
	P~I	事業者情報従属パラメータ長		○	○	
		W~Q		-	-	
		X	奇数/偶数表示			
			0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	○
			1	事業者識別コードの桁数が奇数	○	○
	~Y	事業者識別コード		○	○	
	POI・料金 区域情報	事業者情報従属パラメータ長				
		W~Q		-	-	
		X	奇数/偶数表示		○	○
			0	POI・料金区域情報の桁数が偶数	-	-
			1	POI・料金区域情報の桁数が奇数	○	○
	~Y	POI-料金区域情報		○	○	
	“11111010” SCP事業者 情報の場合	H~A		事業者情報従属パラメータ名		
		00000000		予備		
		00000001~10000000		網固有情報		
		10000001~11111011		予備		
		11111100		POI-階段情報		
11111101		POI-料金区域情報				
11111110		事業者識別コード				
11111111		予備				
事業者識別 コード		P~I		事業者情報従属パラメータ長		
		W~Q		予備		
	X	奇数/偶数表示				
		0	事業者識別コードの桁数が偶数	○	-	
		1	事業者識別コードの桁数が奇数	-	-	
~Y	事業者識別コード		○	-		
パラメータ名						
H~A		パラメータ名				
11111101		料金区域情報		○		
パラメータ長						
H~A		オクテット数で示す		○		
料金区域情報						
G~A		情報識別表示				
0000000		MAコード		-		
0000001		CAコード		○		
0000010~1111111		予備		-		
H	奇数/偶数表示					
	0	アドレス情報の桁数が偶数	-	-		
	1	アドレス情報の桁数が奇数	○	-		
~I	情報 (3oct)		○	-		
オプションパラメータ終了表示						
H~A						
00000000		すべてのオプションパラメータ送出終了		○		

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信	
課金情報種別				
H~A	パラメータ名			
	00000000~00000010	網固有情報として留保	-	-
	00000011	応用課金レート転送	-	-
	00000100~10000000	網固有情報として留保	-	-
	10000001~11111101	予備	-	-
	11111110	課金レート転送	○	○
11111111	予備	-	-	
課金情報パラメータのポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
オプション部開始ポインタ				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	○	
課金情報				
課金情報種別が“11111110”の場合	H~A	単位料金表示		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11111011	予備	-	-
	11111100	単位料金 100円	○	-
	11111101	単位料金 10円	○	○
	11111110	表示なし	○	○
	11111111	予備	-	-
	O~I	課金レート情報種別		
	00000000	予備	-	-
	00000001~10000000	網固有情報	-	-
	10000001~11110111	予備	-	-
	11111100	柔軟課金レート指示 (公衆)	○	○
	11111101	柔軟課金レート指示 (一般)	○	○
	11111110	柔軟課金レート指示 情報なし	○	○
	11111111	予備	-	-
	P	拡張表示	-	-
	0	次のオクテットに続く	○	○
	1	最終オクテット	○	○
	X~Q	課金レート情報長 (バイナリで表示)	○	○
	~Y	課金レート情報内容 (一括登録回数及び課金間隔)	○	○
	パラメータ名			
	H~A	パラメータ名		
	11111101	料金区域情報	○	○
	パラメータ長			
	H~A	オクテット数で示す	○	○
	料金区域情報			
G~A	情報識別表示			
00000000	MAコード	-	-	
00000001	CAコード	○	○	
00000010~11111111	予備	-	-	
H	奇数/偶数表示			
0	料金区域情報 桁数が偶数	-	-	
1	料金区域情報 桁数が奇数	○	○	
~I	情報 (3oct)	○	○	
パラメータ名				
H~A	パラメータ名			
11110011	付加ユーザ種別	○	-	
パラメータ長				
H~A	オクテット数で示す	○	-	
付加ユーザ種別				
H~A	付加ユーザ種別名	○	-	
00000000	予備	-	-	
00000001~10000000	網固有情報として留保	-	-	
10000001~11111010	予備	-	-	
11111011	移動系付加ユーザ種別3	-	-	

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信		
H～Aが “1111 1110” の場合	P～I	11111100	移動系付加ユーザ種別2	○	—	
		11111101	移動系付加ユーザ種別1	○	—	
		11111110	固定系付加ユーザ種別1	○	—	
		11111111	予備	—	—	
	H～Aが “1111 1101” の場合	P～I	固定系付加ユーザ種別1			
			00000000	予備	—	—
			00000001	列車公衆	○	—
			00000010	ピンク	○	—
			00000011～11111111	予備	—	—
			移動系付加ユーザ種別1			
	H～Aが “1111 1100” の場合	P～I	00000000	予備	—	—
			00000001	移動通信（自動車・携帯電話サービス）	—	—
			00000010	移動通信（船舶電話サービス）	—	—
			00000011	移動通信（航空機電話サービス）	—	—
			00000100	移動通信（無線呼び出しサービス）	○	—
00000101			PHS通信（PHSサービス）	○	—	
00000101～11111111			予備	—	—	
移動系付加ユーザ種別2						
00000000			予備	—	—	
00000001			移動通信（大容量方式）	—	—	
00000010			移動通信（N/J-TACS）	—	—	
00000011			移動通信（PDC 800MHz）	—	—	
00000100			移動通信（PDC 1.5GHz）	—	—	
00000101			移動通信（N-STAR衛星）	—	—	
00000110	移動通信（cdmaOne 800MHz）	—	—			
00000111	移動通信（イリジウム衛星）	—	—			
00001000	移動通信（IMT2000）	—	—			
00001001	PHS通信（PHS活用型）	○	—			
00001000～11111111	予備	—	—			
オプションパラメータ終了表示						
H～A						
	00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○		

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00010001	逆方向呼表示	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
逆方向呼表示			
B A	課金表示		
00	表示なし	-	-
01	非課金	○	○
10	課金	○	○
11	予備	-	-
D C	着ユーザ状態表示 (CLS)		
00	表示なし	○	○
01	加入者空	○	○
10	空きのとき接続	-	-
11	予備	-	-
F E	着ユーザ種別表示		
00	表示なし	○	○
01	一般ユーザ	○	○
10	公衆電話	○	-
11	予備	-	-
H G 注	エンド・エンド法表示 (CCS網)		
00	エンド・エンド法が利用できない	○	○
01~11	予備	-	-
I 注	相互接続表示		
0	相互接続なし	○	○
1	相互接続あり	○	○
J 注	エンド・エンド情報表示		
0	エンド・エンド情報利用できない	○	○
1	予備	-	-
K 注	ISUP1リンク表示		
0	ISUP1リンクでない	○	○
1	ISUP1リンクである	○	○
L	保留表示		
0	保留必要なし	○	○
1	予備	-	-
M	ISDNアクセス表示		
0	着側のユーザ・網インタフェースが非ISDN	○	○
1	着側のユーザ・網インタフェースがISDN	○	○
N	エコー制御回路表示		
0	入エコー制御回路挿入なし	○	○
1	入エコー制御回路挿入済み	-	-
P O	SCCP法表示		
00	表示なし	○	○
01~11	予備	-	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
00000011	アクセス転送	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
アクセス転送	JT-Q931 4.5章に記されたようにコード化される (最大80oct)	○	-
パラメータ名			
H~A	パラメータ名		
11111101	料金区域情報	○	-
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	-
料金区域情報			
G~A	情報識別表示		

注:G~K
プロトコル
制御表示
(PCI)

表 8-2 I S U P 一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信		
		0000000 MAコード	-	-		
		0000001 CAコード	○	-		
		0000010~1111111 予備	-	-		
	H	奇数/偶数表示				
		0 料金区域情報 桁数が偶数	-	-		
		1 料金区域情報 桁数が奇数	○	-		
	~I	アドレス情報 (3oct)	○	-		
パラメータ名						
	H~A	パラメータ名				
		11110011 付加ユーザ種別	○	-		
パラメータ長						
	H~A	オクテット数で示す	○	-		
付加ユーザ種別						
	H~A	付加ユーザ種別名	○	-		
		0000000 予備	-	-		
		0000001~1000000 網固有情報として留保	-	-		
		1000001~11111010 予備	-	-		
		11111011 移動系付加ユーザ種別3	-	-		
		11111100 移動系付加ユーザ種別2	○	-		
		11111101 移動系付加ユーザ種別1	○	-		
		11111110 固定系付加ユーザ種別1	○	-		
		11111111 予備	-	-		
H~Aが “1111 1110” の場合	P~I	固定系付加ユーザ種別1				
		0000000 予備	-	-		
		0000001 列車公衆	○	-		
		0000010 ピンク	○	-		
		0000011~11111111 予備	-	-		
H~Aが “1111 1101” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別1				
		0000000 予備	-	-		
		0000001 移動通信 (自動車・携帯電話サービス)	-	-		
		0000010 移動通信 (船舶電話サービス)	-	-		
		0000011 移動通信 (航空機電話サービス)	-	-		
		0000100 移動通信 (無線呼び出しサービス)	○	-		
		0000101 PHS通信 (PHSサービス)	○	-		
		0000101~11111111 予備	-	-		
H~Aが “1111 1100” の場合	P~I	移動系付加ユーザ種別2				
		0000000 予備	-	-		
		0000001 移動通信 (大容量方式)	-	-		
		0000010 移動通信 (N/J-TACS)	-	-		
		0000011 移動通信 (PDC 800MHz)	-	-		
		0000100 移動通信 (PDC 1.5GHz)	-	-		
		0000101 移動通信 (N-STAR衛星)	-	-		
		0000110 移動通信 (cdmaOne 800MHz)	-	-		
		0000111 移動通信 (イリジウム衛星)	-	-		
		00001000 移動通信 (IMT2000)	-	-		
		00001001 PHS通信 (PHS活用型)	○	-		
				00001000~11111111 予備	-	-
		オプションパラメータ終了表示				
	H~A					
		0000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○		

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
中断／再開表示	A		
	0	ISDNユーザ起動	○ ○
	1	網起動	○ ○
	H～B	予備	— —
オプション部開始ポインタ			
	H～A	オクテット数で示す	○ ○

表 8-2 I S U P一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現(注2)	○	○

(注1) 状態サブフィールドは使用しない
(注2) 1~11を使用する

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)				
範囲				
	H~A	0~255の ⁶ 付リ表現(注2)	○	○
状態				
	H~A	(最大2oct)		
	回線群リセット 確認メッセージ			
	0	保守のための閉塞ではない	○	○
	1	保守のために閉塞	○	○

(注1) 範囲コード0の場合は状態サブフィールドは使用しない
(注2) 1~11を使用する

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態(注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現(注2)	○	○

(注1) 状態サブフィールドは使用しない
(注2) 0~31を使用する

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
範囲と状態パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
回線状態表示パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
範囲と状態 (注1)			
範囲			
H~A	0~255のバイナリ表現 (注2)	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
回線状態表示			
H~A	回線状態番号 (最大32oct)		
	0000000 過渡状態	○	○
	0000001 予備	-	-
	0000010 予備	-	-
	0000011 未実装	○	○
	0000100 入側回線として使用中、非閉塞 (運用中)	○	○
	0000101 入側回線として使用中、自局閉塞	○	○
	0000110 入側回線として使用中、相手局閉塞	○	○
	0000111 入側回線として使用中、両局閉塞	○	○
	0001000 出側回線として使用中、非閉塞 (運用中)	○	○
	0001001 出側回線として使用中、自局閉塞	○	○
	0001010 出側回線として使用中、相手局閉塞	○	○
	0001011 出側回線として使用中、両局閉塞	○	○
	0001100 空	○	○
	0001101 空、自局閉塞	○	○
	0001110 空、相手局閉塞	○	○
	0001111 空、自局閉塞、相手局閉塞	○	○
	0001000~1111111 予備	-	-

(注1) 状態サブフィールドは使用しない

(注2) 0~31を使用する

表 8-2 I S U P 一 覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
理由表示パラメータのポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
パラメータ長			
H~A	オクテット数で示す	○	○
理由表示			
D~Aオクテット1	生成源		
0000	ユーザ	○	○
0001	ローカルユーザ収容私設網 (自分側)	—	—
0010	ローカルユーザ収容公衆網 (自分側)	—	—
0011	中継網	○	○
0100	リモートユーザ収容公衆網 (相手側)	○	○
0101	リモートユーザ収容私設網 (相手側)	○	○
0110	予備	—	—
0111	国際網	○	—
1010	相手接続点より相手側	○	○
その他	留保	—	—
E	予備	—	—
G F	コーディング標準		
00	CCITT標準	○	○
01	他の国際標準のための留保	—	—
10	国内標準	—	—
11	生成源に対する特定の標準	—	—
H	拡張表示子		
0	次のオクテットに続く	—	—
1	最終オクテット	○	○
G~Aオクテット2	理由種別		
00X XXXX	正常・準正常クラス	○	○
000 0001	欠番	○	○
000 0010	指定中継網へのルートなし	○	○
000 0011	相手ルートなし	○	○
000 0100	特殊可聴音送出	○	○
000 0101	トランクプレフィックスの誤ダイヤル	○	○
001 0000	正常切断	○	○
001 0001	着ユーザビジー	○	○
001 0010	着ユーザレスポンスなし	○	○
001 0011	着ユーザ応答なし (呼び出し中)	○	○
001 0100	加入者不在	○	○
001 0101	通信拒否	○	○
001 0110	相手加入者番号変更	○	○
001 0111	新着信先へリダイレクション	○	○
001 1011	着側インタフェース起動不可	○	○
001 1100	無効番号フォーマット (不完全番号)	○	○
001 1101	ファシリティ拒否	○	○
001 1111	その他の正常クラス	○	○
010 XXXX	網輻輳クラス	○	○
010 0010	利用可回線/チャンネルなし	○	○
010 0110	網障害	○	○
010 1001	一時的失敗	○	○
010 1010	交換機輻輳	○	○
010 1011	アクセス情報破棄	○	○
010 1100	要求回線/チャンネル利用不可	○	○
010 1111	その他、リソース利用不可クラス	○	○
011 XXXX	サービスあるいはオプション提供不可	○	○
011 0010	要求ファシリティ未契約	○	○
011 1001	伝達能力不許可	○	○
011 1010	現在利用不可伝達能力	○	○
011 1111	その他、サービス/オプション利用不可	○	○
100 XXXX	サービスあるいはオプションが未提供	○	○
100 0001	未提供伝達能力	○	○

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
	100 0101	未提供ファシリティ要求	○	○
	100 0110	制限デジタル情報伝達能力のみ可能	○	○
	100 1111	その他のサービス又はオプションの未提供クラス	○	○
	101 XXXX	無効信号	○	○
	101 1000	端末属性不一致	○	○
	101 1011	無効中継網選択	○	○
	101 1111	その他の無効メッセージクラス	○	○
	110 XXXX	手順誤り	○	○
	110 0001	メッセージ種別未定義又は未提供	○	○
	110 0011	情報要素/パラメータ未定義又は未提供	○	○
	110 0110	タイマ満了による回復	○	○
	110 0111	未定義又は未提供のパラメータの通過	○	○
	110 1111	その他の手順誤りクラス	○	○
	111 XXXX	相互接続	○	○
	111 1111	その他のインタワーキングクラス	○	○
	H		拡張表示子	
	0	次のオクテットに続く	-	-
	1	最終オクテット	○	○
	オクテット3以降	診断情報（当社網送信時必要な場合のみ、着番号が含まれる）	○	○
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
	00001100	転送先番号	-	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	-	○
転送先番号				
	G~A	番号種別表示		
	0000000	予備	-	-
	0000001	加入者番号	-	-
	0000010	予備、国内使用のため留保	-	-
	0000011	国内番号	-	○
	0000100	国際番号	-	-
	0000101~1101111	予備	-	-
	1110000~1111101	国内使用のため留保	-	-
	1111110	網特有番号	-	-
	1111111	予備	-	-
	H	奇数/偶数表示		
	0	番号ディジットの桁数が偶数	-	○
	1	番号ディジットの桁数が奇数	-	○
	L~I	予備	-	-
	O~M	番号計画表示		
	000	予備	-	-
	001	ISDN(電話)番号計画	-	○
	010~111	予備	-	-
	P	網内番号表示(INN表示)		
	0	網内のルーティング可	-	○
	1	網内のルーティング不可	-	-
	~Q	アドレス情報	-	○
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
	10001100	リダイレクション逆方向情報	-	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	-	○
リダイレクション逆方向情報				
	H~A	情報種別識別子		
	00000000	未使用	-	-
	00000001	起動交換機への切戻し可能	-	-
	00000010	起動交換機への切戻し用呼識別子	-	-
	00000011	リダイレクション起動理由	-	○
	00000100~11111111	予備	-	-
	P~I	情報種別長	-	○

表 8-2 I SUP一覧

フィールド略称		フィールド名	当社網受信	当社網送信
リダイレクション起動理由	G~A	リダイレクション起動理由		
		0000000 不定/無効	-	-
		0000001 事業者間ポータビリティ (国内用)	-	-
		0000010 ロケーションポータビリティのため留保	-	-
		0000011 サービスポータビリティのため留保	-	-
		0000100~0111111 予備	-	-
		1000000~1111101 国内使用のため留保	-	-
		1111110 一般番号ポータビリティ (LNP) / 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) (国内用)	-	○
		1111111 国内使用のため留保	-	-
		H	拡張表示	
		0 次オクテットに続く	-	-
		1 最終オクテット	-	○
パラメータ名				
	H~A	パラメータ名		
		01110111 リダイレクション回数	-	○
パラメータ長				
	H~A	オクテット数で示す	-	○
リダイレクション回数				
	E~A	リダイレクション回数 (リダイレクションした回数のバイナリ数)	-	○
	H~F	予備	-	-
オプションパラメータ終了表示				
	H~A			
		00000000 すべてのオプションパラメータ送出終了	○	○

表 8-2 I S U P 一覧

フィールド略称	フィールド名	当社網受信	当社網送信
オプション部開始ポインタ			
H~A	オクテット数で示す	○	○
オプションパラメータ終了表示			
H~A			
	00000000	すべてのオプションパラメータ送出終了	○

技術的条件集別表 9

接続シーケンス
(対地域／国際事業者接続用インタフェース)

技術的条件集別表－9（接続シーケンス）

1. 各種接続シーケンス

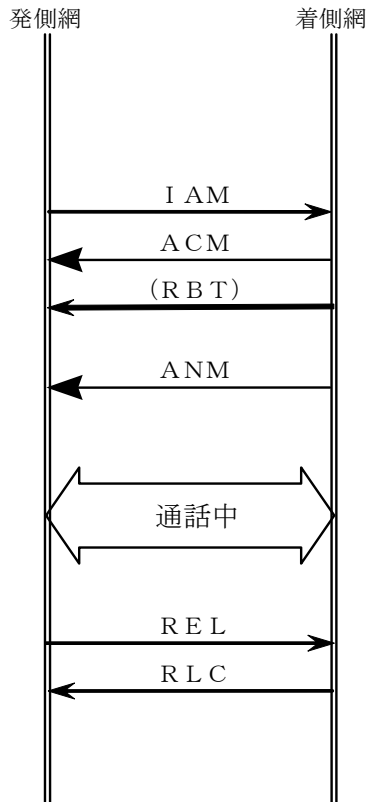
No ^{※1}	シーケンス分類
1	基本接続（パターン1）
2	基本接続（パターン2）
3	基本接続（パターン3）
4	基本接続（パターン4）
5	基本接続（不完了例パターン1） ^{※2}
6	基本接続（不完了例パターン2） ^{※2}
7	インチャネル追加ダイヤル
8	インチャネル追加ダイヤル（不完了例） ^{※2}
9	リルーチング
10	MNP接続（転送方式）
11	MNP接続（リダイレクション方式）

- ※1 シーケンスNo. 1～6：当社網は発側及び着側の網
 シーケンスNo. 7～9：当社網は発側網のみ対象
 シーケンスNo. 10：当社網は移転元網及び移転先網
 シーケンスNo. 11：当社網は発側網，移転元網及び移転先網

- ※2 不完了呼においてRELの理由表示が「#1（欠番）」の場合は、「空き番号トーキ」に接続する

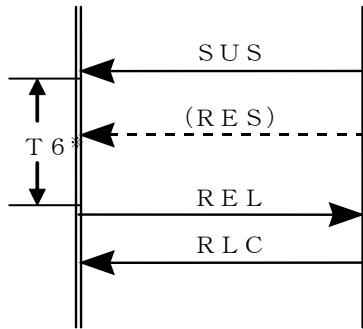
No. 1

分類 基本接続 (パターン1)

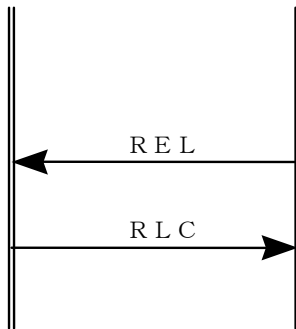


着側切断のシーケンス (SUSあり)

※T6タイムアウトは着側網でも検出する。(検出時は着信網からREL送出)



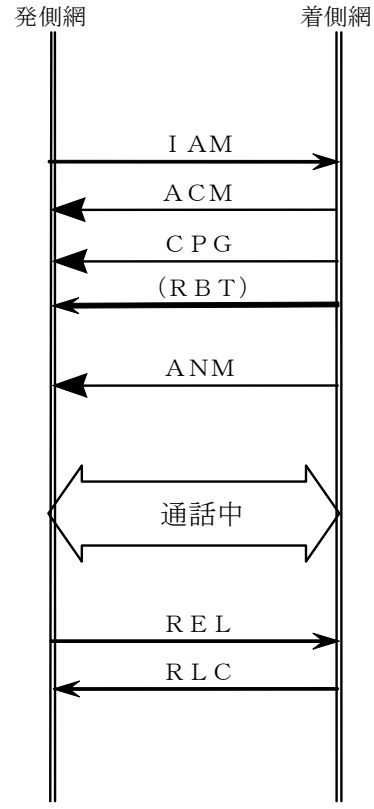
着側切断のシーケンス (SUSなし)



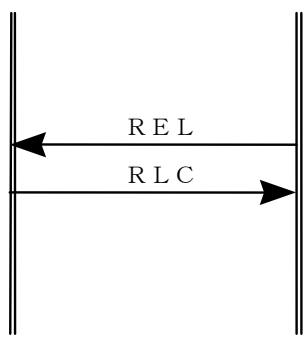
No. 2

分類

基本接続 (パターン2)



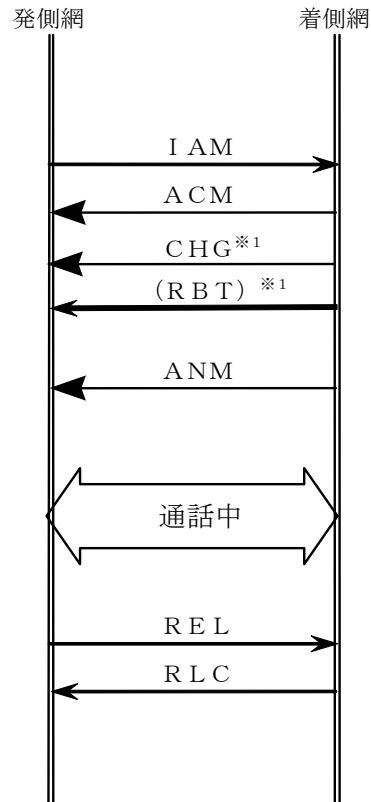
着側切断のシーケンス



No. 3

分類

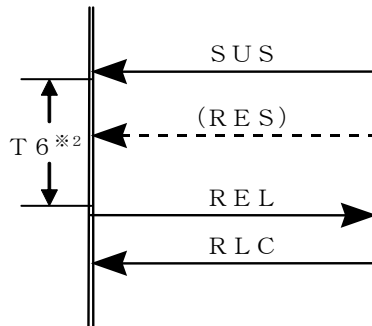
基本接続 (パターン3)



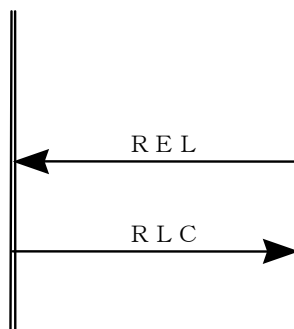
※1:「CHG」、「(RBT)」
の順序性はない。

着側切断のシーケンス (SUSあり)

※2: T6タイムアウトは
着側網でも検出する。
(検出時は着信網から
REL送出)



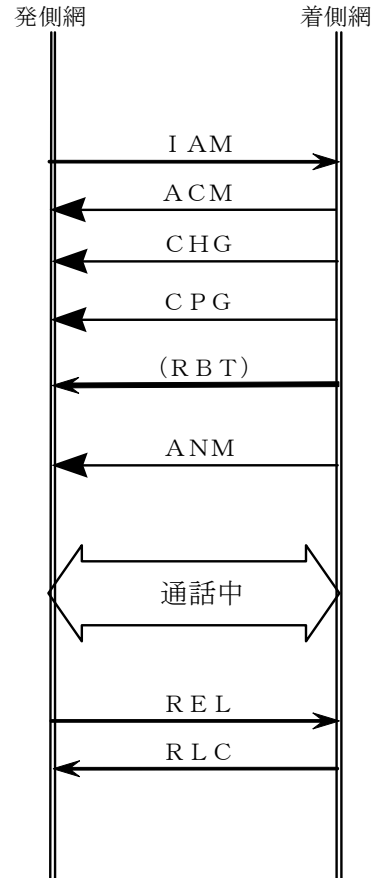
着側切断のシーケンス (SUSなし)



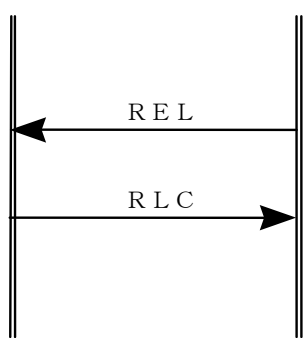
No. 4

分類

基本接続 (パターン4)

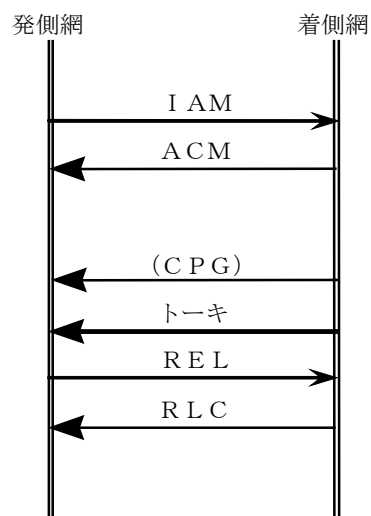
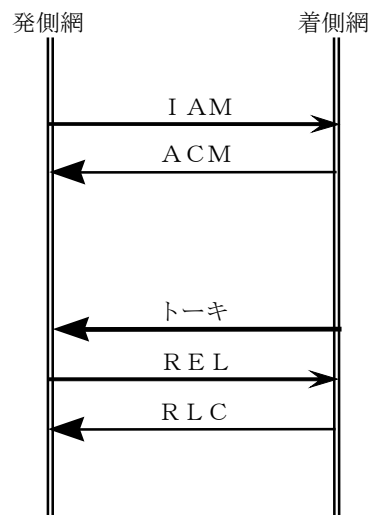
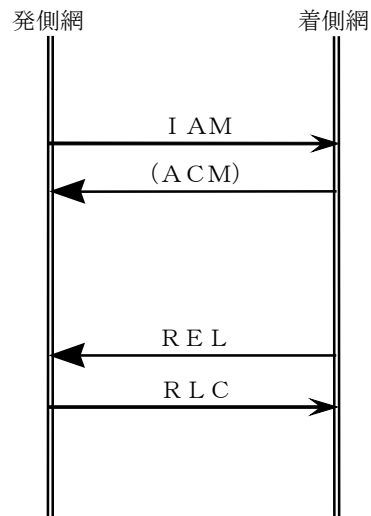


着側切断のシーケンス



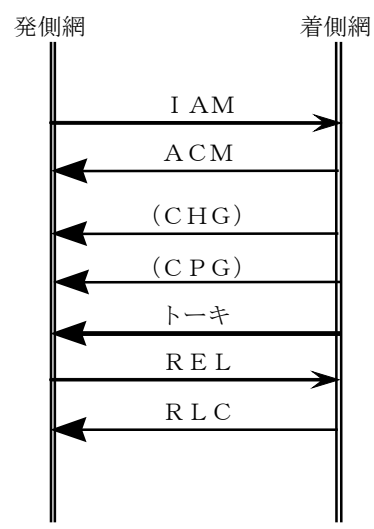
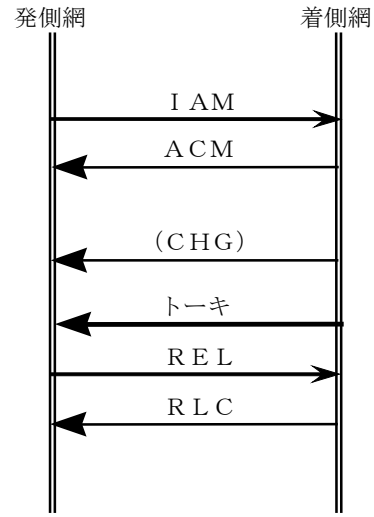
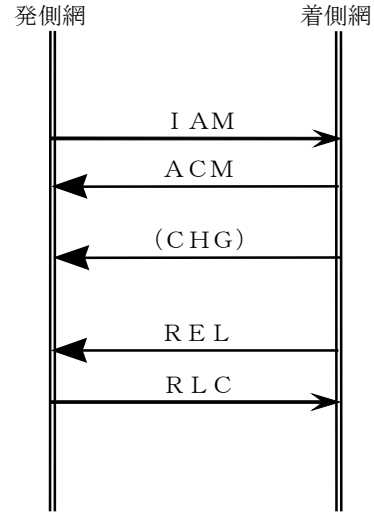
No. 5

分類 基本接続（不完了例パターン1）

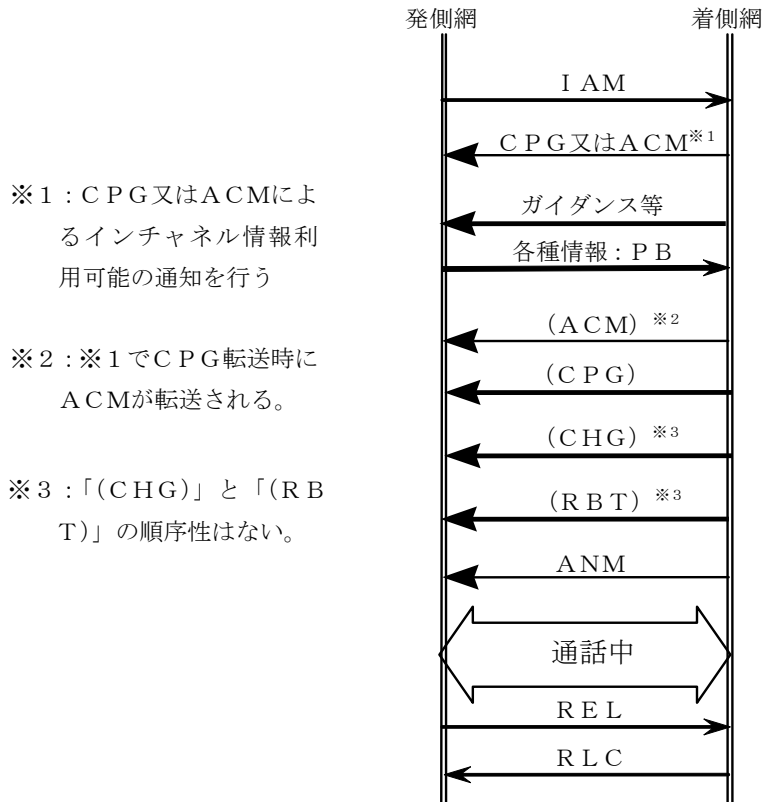


No. 6

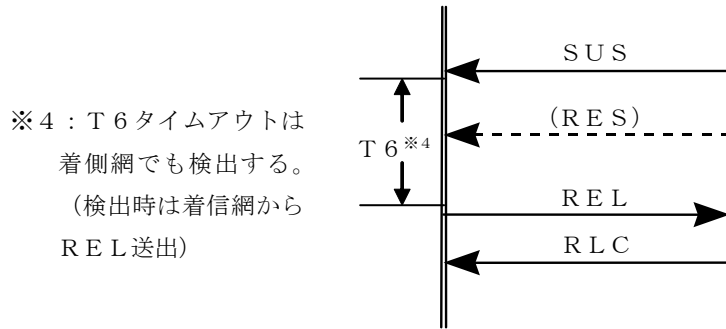
分類 基本接続 (不完了例パターン2)



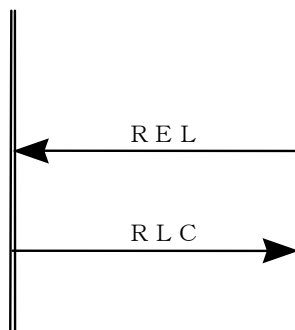
No. 7 分類 インチャネル追加ダイヤル



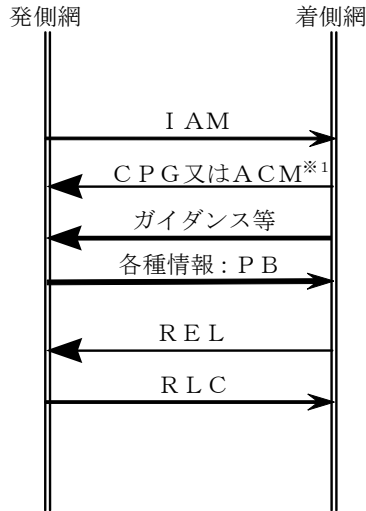
着側切断のシーケンス (SUSあり)



着側切断のシーケンス (SUSなし)

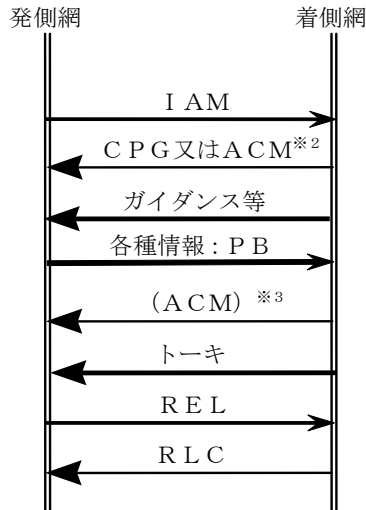


※1 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。



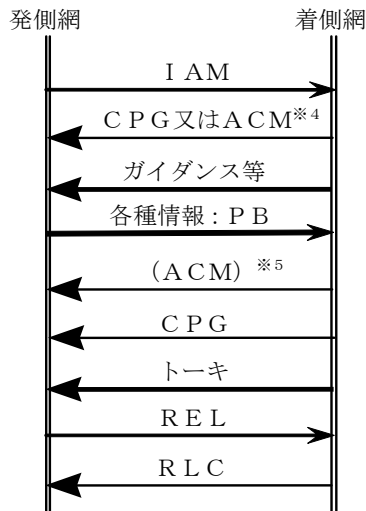
※2 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。

※3 : ※1でCPG転送時にACMが転送される。



※4 : CPG又はACMによるインチャネル情報利用可能の通知を行う。

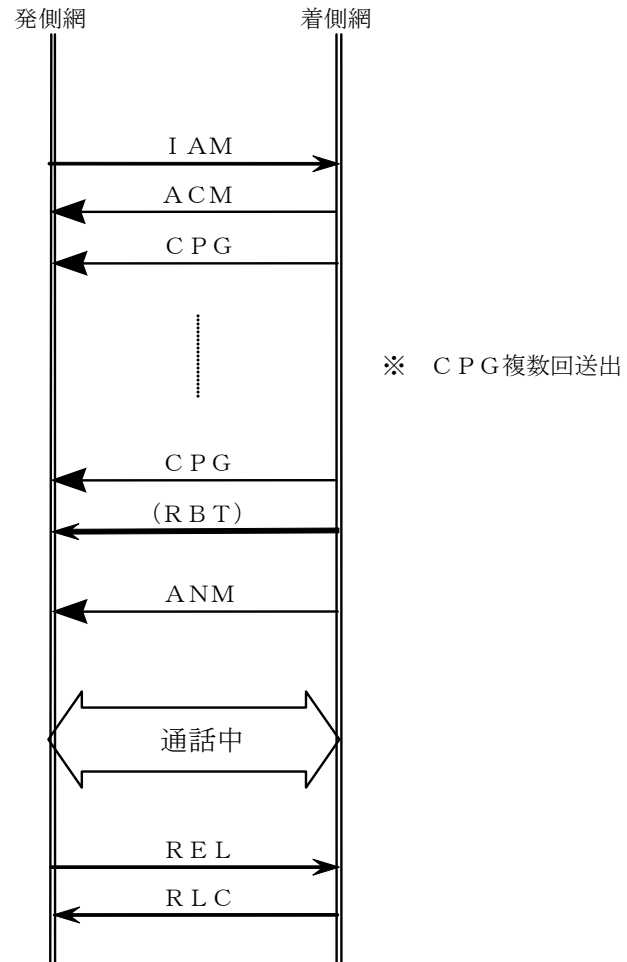
※5 : ※1でCPG転送時にACMが転送される。



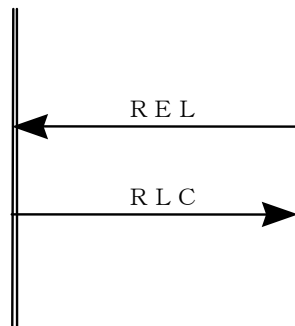
No. 9

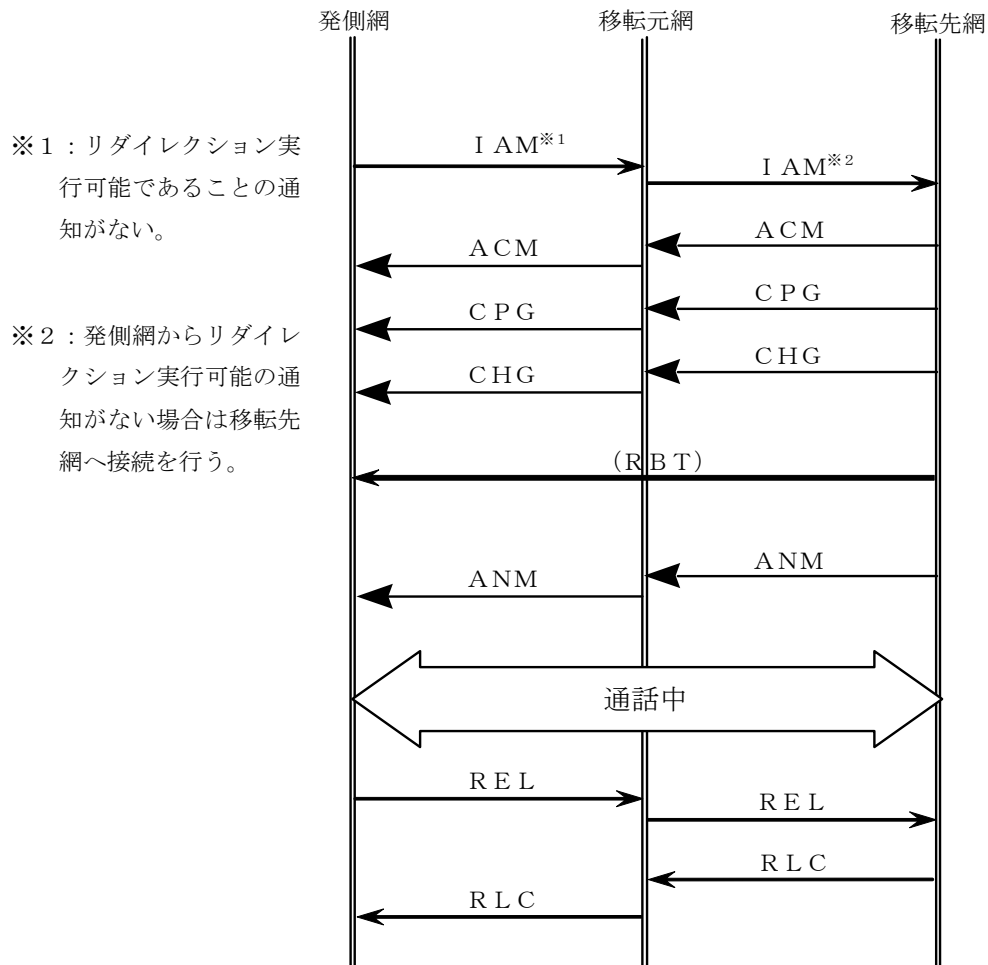
分類

リルーチング



着側切断のシーケンス

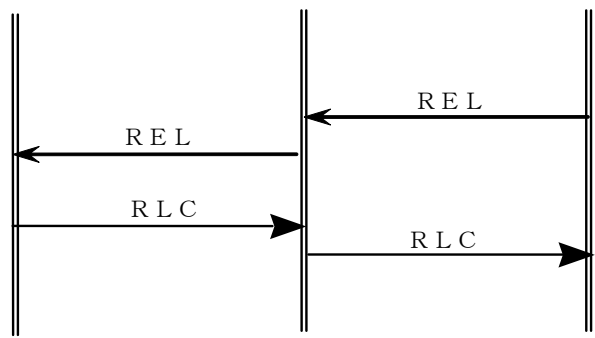


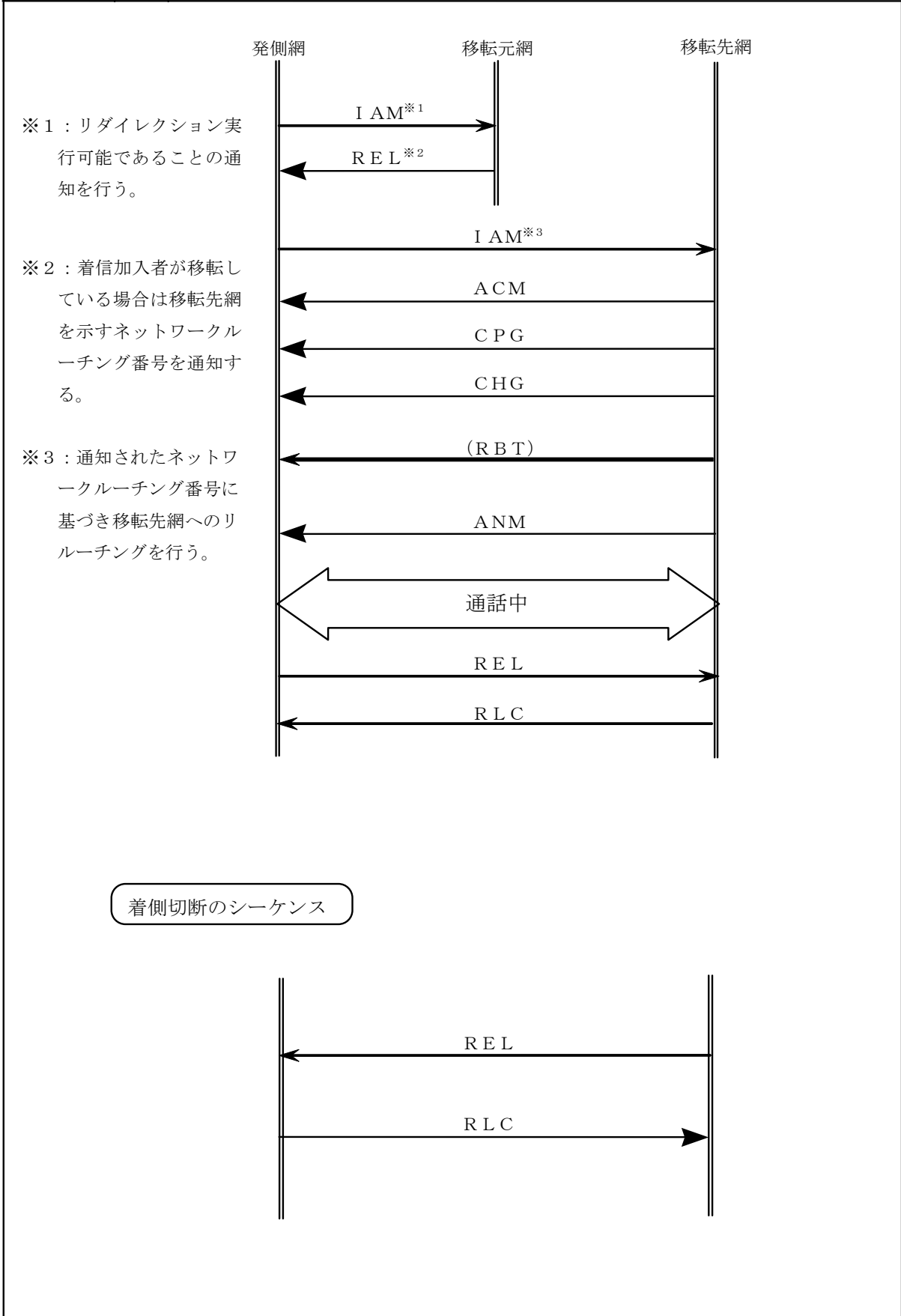


※1：リダイレクション実行可能であることの通知がない。

※2：発側網からリダイレクション実行可能の通知がない場合は移転先網へ接続を行う。

着側切断のシーケンス





技術的条件集別表 10

伝送装置間インタフェース仕様
(対地域／国際事業者接続用インタフェース)

[準拠した規格一覧]

TTC標準	JT-G707	: 第5版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G783	: 第3版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G957	: 第3版	2001年4月19日制定
JIS規格	JIS C 6835		1989年3月1日制定
JIS規格	JIS C 5973		1990年6月1日制定

1. インタフェース規定点

本インタフェース条件を規定するポイントは図1のとおりである。

2. 物理的条件

2. 1 ケーブル

本インタフェースに適用するケーブルは、 $1.3\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はSM型光ファイバケーブルとし、 $1.5\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はDSM型光ファイバケーブルとする。なお、SM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMA-9.5/125 相当の光ファイバ素線を使用し、DSM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMB-8/125 相当の光ファイバ素線を使用する。

2. 2 コネクタ

本インタフェースに適用するコネクタは、JIS C 5973 (F04 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上 (マスタプラグ接続時の挿入損失が 0.7dB 以下)、接続時の反射減衰量は 22dB 以上または JIS C 5983 (F14 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上 (マスタプラグ接続時の挿入損失が 0.5dB 以下)、接続時の反射減衰量は 22dB 以上とする。

3. 光学的条件

3. 1 50M 信号局内用

光パラメータ条件を表1に示す。

3. 2 150M 信号局内用

光パラメータ条件を表2に示す。

3. 3 150M 信号 40km 局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表3に示す。

3. 4 150M 信号 80km 局間用 ($1.55\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表4に示す。

4. 論理的条件

論理的条件は以下のとおりとする。

4. 1 フレーム構成

4. 1. 1 多重化構造

本インタフェースに適用される多重化構造はTTC標準JT-G707に準拠する。

4. 1. 2 フレームフォーマット

STM-1, STM-0, VC-3, TUG-2, VC-2, VC-11 信号のフレームフォーマットを図3～8に示す。

4. 1. 3 オーバーヘッドバイトの定義

本インタフェースに使用するオーバーヘッドバイトの定義を表5～8に示す。

4. 2 フレーム同期方式

STM-1, STM-0 信号のフレーム同期方式を表9に示す。

4. 3 S1バイト処理条件

S1バイト（同期状態メッセージ）の送受信条件を表10,11に示す。

4. 4 警報インタフェース条件

4. 4. 1 警報発出解除条件

本インタフェースにおける警報発出解除条件を表12に示す。

4. 4. 2 警報転送

本インタフェースにおける警報転送機能を図10に示す。

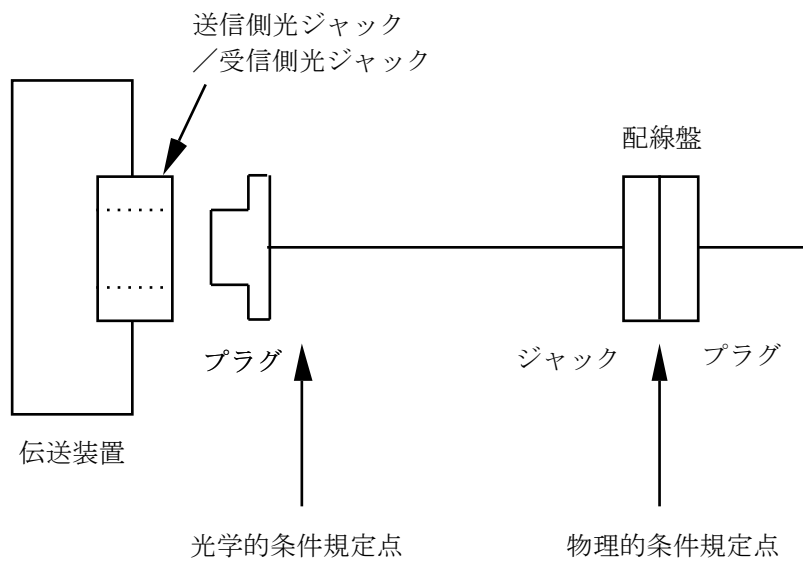


図1 インタフェース規定点

表1 50M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	51.840Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1270～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-17～ -11dBm
光出力波形	図2参照
消光比	11dB以上
最大受光電力（平均値）	-11dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表2 150M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1270～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-17～ -11dBm
光出力波形	図2参照
消光比	11dB以上
最大受光電力（平均値）	-11dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表3 150M信号40Km局間用 (1.31 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290～1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-3～ +3dBm
光出力波形	図2参照
消光比	13dB以上
最大受光電力 (平均値)	-17dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-32dBm以下
最大光路ペナルティ	1 dB以下

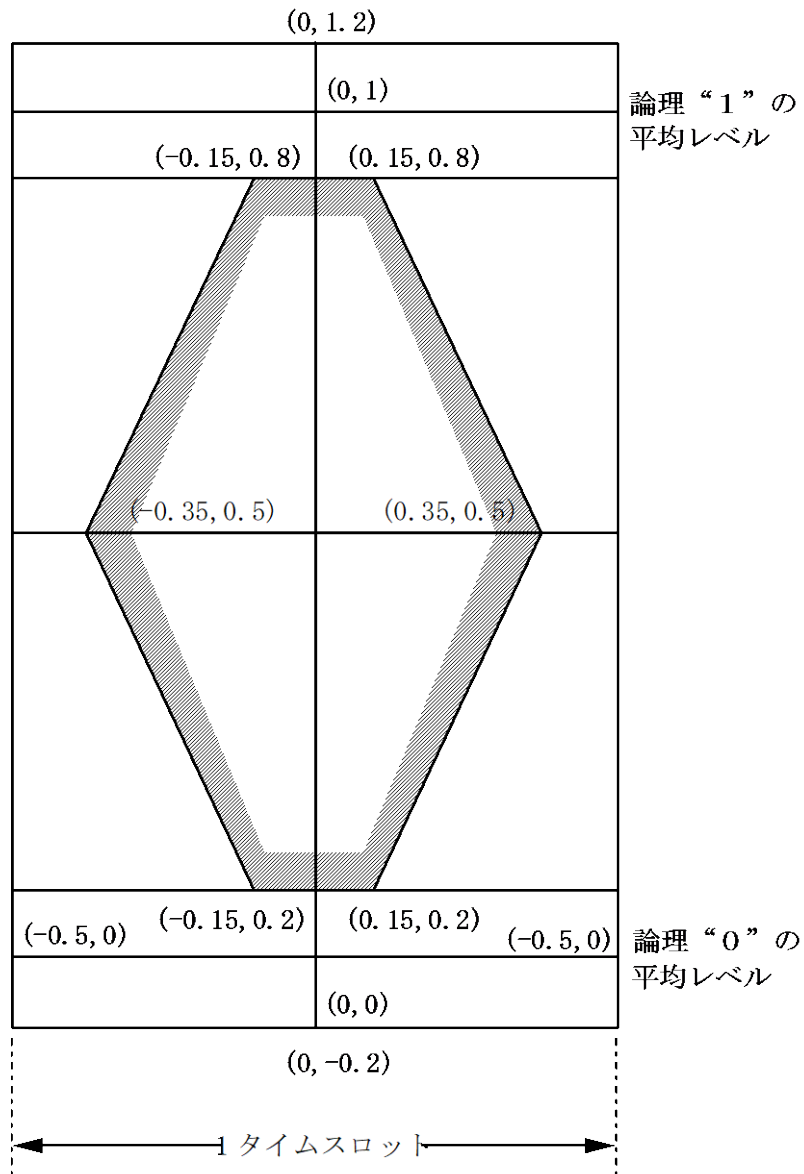
表4 150M信号80Km局間用 (1.55 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1530～1570nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-3～ +3dBm
光出力波形	図2参照
消光比	13dB以上
最大受光電力 (平均値)	-17dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-32dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

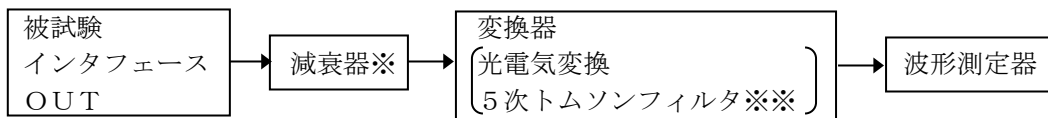
縦軸：相対値

横軸： $\times 1/155.52$ [μs] (STM-1 の場合)

$\times 1/51.84$ [μs] (STM-0 の場合)



【測定系】



※：減衰器は必要に応じて用いる。

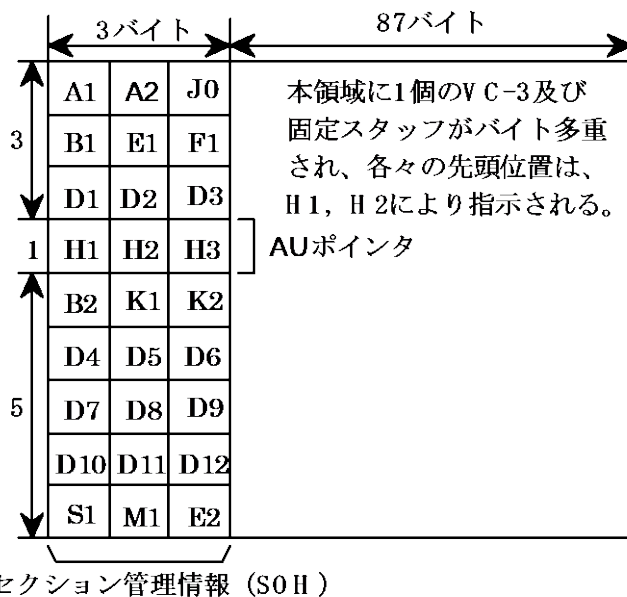
※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が入力公称ビットレートの 0.75 倍であること。

図2 STM-1/STM-0 信号のパルスマスク



□ = 未使用 (全ビット "1") + = "10101010"

図3 STM-1信号のフレームフォーマット



□ = 未使用 (全ビット "1") + = "10101010"

図4 STM-0信号のフレームフォーマット

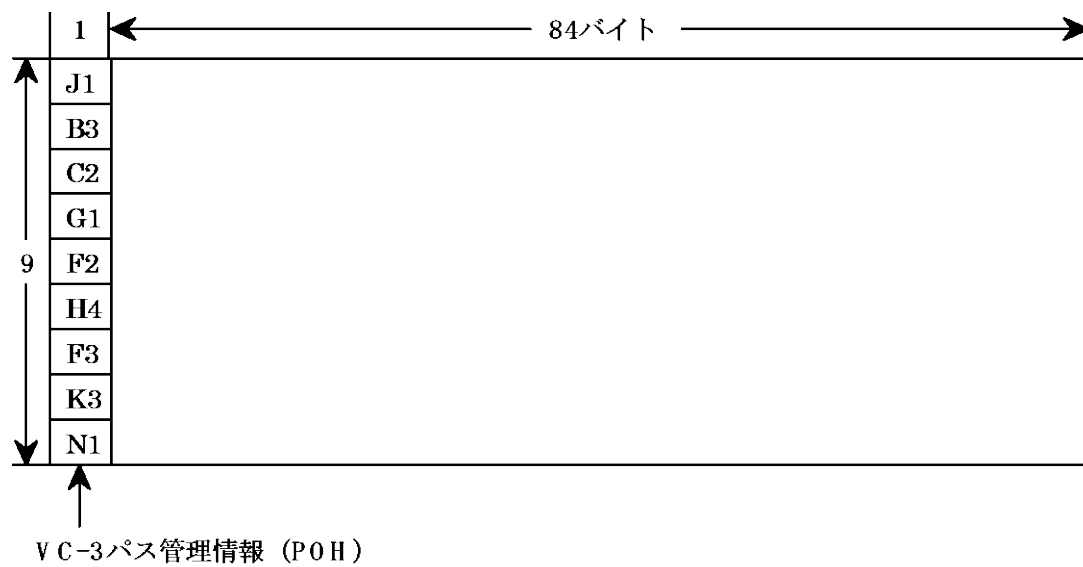
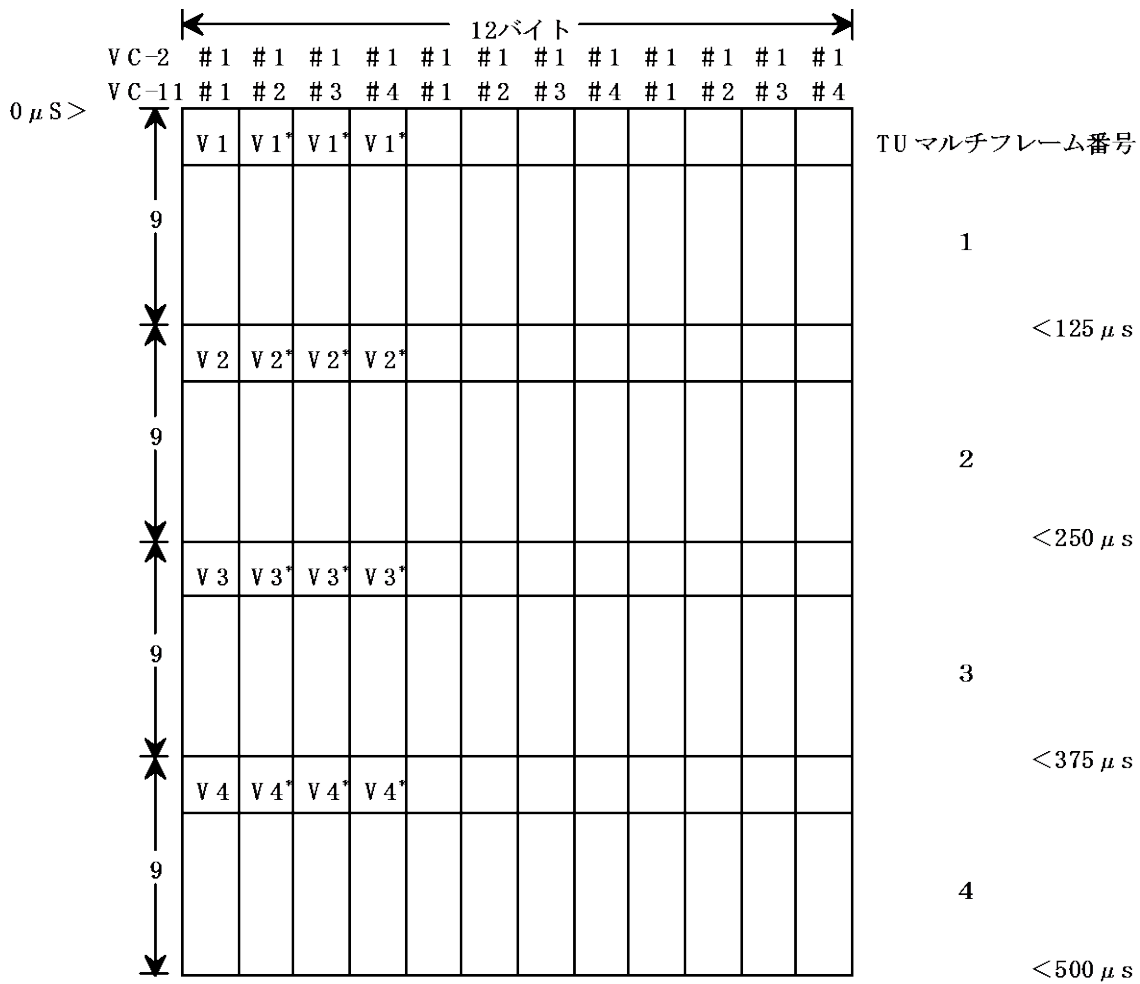


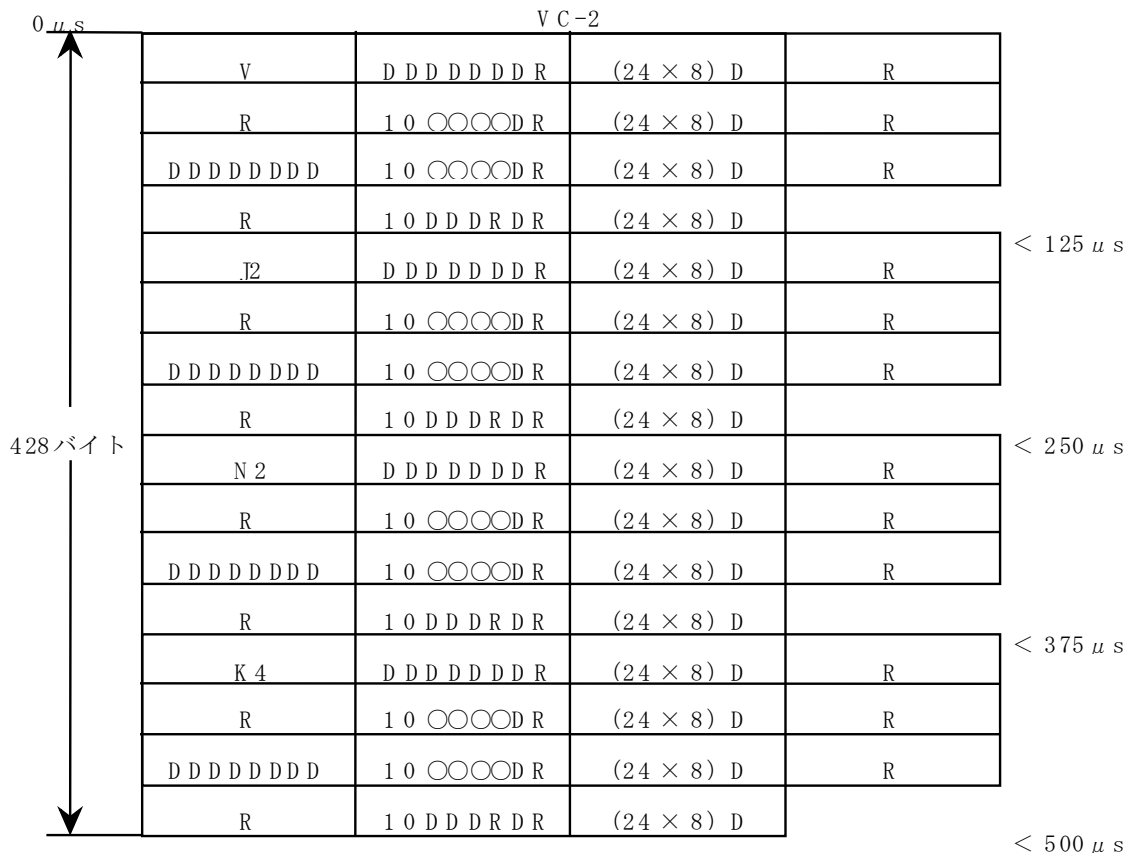
図5 VC-3信号のフレームフォーマット



(注1) VC-2の場合、V1*、V2*、V3*、V4*にVC-2データが収容される

(注2) VC-3パスオーバーヘッドのH4 (b7、b8) :
 TUマルチフレーム番号1 : '00'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号2 : '01'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号3 : '10'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号4 : '11'の現れるフレームの次のフレーム

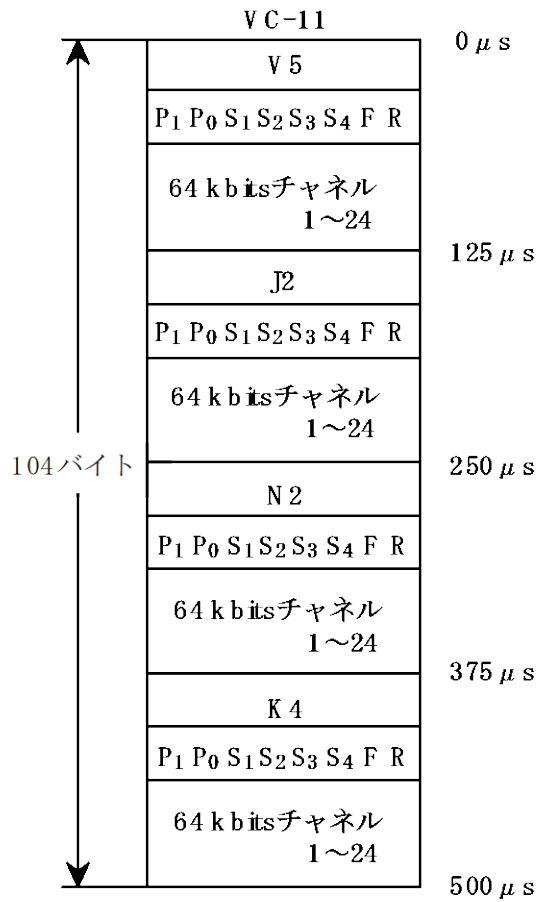
図6 TUG-2信号のフレームフォーマット



R : 固定スタッフ (“1”)
D : データビット (6.312M bit/s信号)
○ : オーバヘッド通信チャンネルビット (未使用時 “1”)

- (注1) 125 μs 当たり789ビット分の領域を用いて6.312M bit/s信号を伝送するモード (ビット同期モード) である。
(注2) TUG-2に収容するVC-2の先頭位置 (V5) は、TU-2ポインタV1, V2により指示される。

図7 VC-2信号のフレームフォーマット



- R : 固定スタッフ (“1”)
- F : 1.544 M bit/sトリビュタリフレームビット (未使用 “1”)
- P₁,P₀ : シグナリング位相表示 (未使用時 “10”)
- S₁~4 : シグナリング転送

図8 VC-11 信号のフレームフォーマット

表5 セクションオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
セクション 管理情報 (SOH)	A1, A2	フレーム同期	A1：“11110110”， A2：“00101000”
	J0	中継セクショントレース (未使用)	送信：“00000001” (図9参照) 受信：無視
	Z0	予備 (未使用)	送信：STM 識別子 (図9参照) 受信：無視
	B1	中継セクションの誤り監視	前フレームの全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E1	中継セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	F1	中継セクションの故障特定	故障検出中間中継器番号と検出警報
	D1～D3	中継セクションのデータ通信 または未使用	192kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信 FFh，受信：無視)
	B2	端局セクションの誤り監視 (BIP-24N)	前フレームの第一行から3行の SOH を除く全ビッ トの BIP-24N 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K1, K2 (b1-b5)	端局セクション切替系の制御	切替動作は TTC 標準 JT-G783 付属資料 B に準拠
	K2 (b6-b8)	端局セクション状態の転送	正常：“000”， RDI：“110”， AIS：“111” TTC 標準 JT-G783 準拠
	D4-D12	端局セクションのデータ通信 または未使用	576kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	S1	同期状態メッセージまたは未使 用	同期状態，または未使用 (送信：FFh，受信：無 視)
	M1	端局セクションの対局誤り表示 (MS-REI)	対局の B2 演算結果の表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E2	端局セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
AU ポインタ	H1, H2	VC-3/4 先頭位相指示 正負スタッフ指示	VC-3/4 先頭位置，スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707/JT-G783 準拠
	H3	負スタッフ用バイト	負スタッフ時、ペイロード収容 TTC 標準 JT-G707 準拠

表6 高次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	J1	パストレース (未使用)	未使用 (送信: FFh, 受信: 無視)
	B3	パス誤り監視 (BIP-8)	前フレームの VC-3 の全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	C2	シグナルラベル (未使用)	送信: 01h (不特定パス収容) もしくは 13h (ATM マッピング) 受信: 無視
	G1 (b1-b4)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の B3 演算結果の表示 送信 BIP 誤りなし 0h BIP 誤りあり 1h-8h 受信 BIP 誤りなし 0h 及び 9h 以上 BIP 誤りあり 1h-8h TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b5)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0", 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b6-b8)	未使用	送信: "111", 受信: 無視
	F2	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	F3	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	H4	位置表示 (内部構造が規定されて いない場合は未使用)	VC-3 TU-11/2 マルチフレーム位置表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K3	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N1	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

表7 TU ポインタバイトの定義

	記号	用途	内容
TU ポインタ	V1, V2	VC-11/VC-2 先頭位相表示正負 スタッフ指示	VC-11/VC-2 種別, 先頭位置, スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V3	負スタッフ用バイト	負スタッフ TTC 標準 JT-G707 準拠
	V4	未使用	送信: FFh, 受信: 無視

表8 低次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	V5 (b1-b2)	パス誤り監視 (BIP-2)	前フレームの全ビットの BIP-2 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b3)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の V5 (BIP-2) 演算結果の表示 "1" BIP-2 に 1 以上の誤りあり "0" その他 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b4)	パス対局故障表示 (REI) (未使用)	送信: "1" 受信: 無視
	V5 (b5-b7)	シグナルラベル (未使用)	送信: "001", 受信: 無視
	V5 (b8)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0" 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	J2	パストレース (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N2	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	K4	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

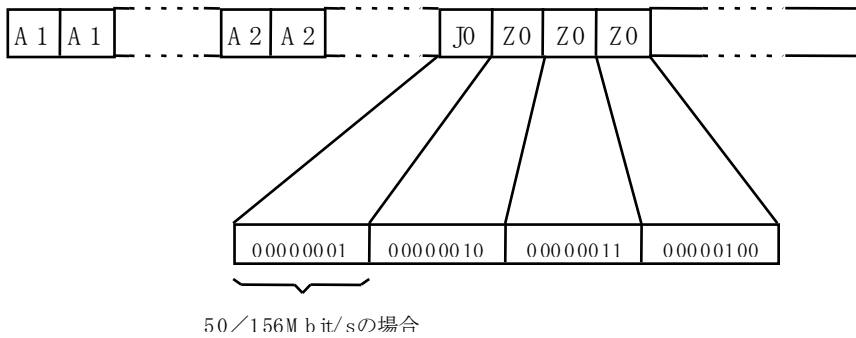


図9 STM識別子の定義

表9 フレーム同期方式

項目	フレーム同期パターン	パターン探索法 パターン照合法	フレーム同期保護 (注1, 2)
STM-1信号 (156M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	<ul style="list-style-type: none"> 1ビット即時シフト方式 (注3) TS2-5のA1, A1, A2, A2バイトの32ビット同時照合方式 	<ul style="list-style-type: none"> リセット方式 前方保護：5段 後方保護：2段
STM-0信号 (52M IF)	A1A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	<ul style="list-style-type: none"> 1ビット即時シフト方式 (注3) TS1-2のA1, A2バイトの16ビット同時照合方式 	<ul style="list-style-type: none"> リセット方式 前方保護：5段 後方保護：2段

注1. 前方 n 段とは、フレーム同期状態においてフレーム同期パターン照合結果、n 回連続不一致を検出したとき、フレーム同期復帰過程に移ることをいう。

注2. 後方 m 段とは、フレーム同期復帰過程においてフレーム同期パターン照合結果、m 回連続一致を検出したとき、フレーム同期状態に移ることをいう。

注3. または、1ビット即時シフト方式と同等なフレーム同期復帰特性を有するフレーム同期方式とする。

表 10 同期状態メッセージの送信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) は未使用 (送信 : S1 ('b1, b2, b3, b4') = '1111')

表 11 同期状態メッセージの受信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) については、未使用 (受信 : 無視) とする。

表 12 警報検出解除条件 (1 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
物理 セクション	LOS	-----	-----	光入力断	光入力回復
	TF	-----	-----	光出力断	光出力回復
中継器 セクション	OOF	-----	-----	フレーム同期はずれ前方保護 4-5 段	フレーム同期復帰後 方保護 2 段
	LOF	-----	-----	OOF の 0~3m 秒継続	OOF 解除状態の 0~3m 秒継続
	RS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル前の STM-N の全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B1 との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD(B1)	-----	-----	B1 により検出した誤り率が、 10^{-5} 以上で発出	B1 により検出した誤り率が、 10^{-6} 以下で解除
	MS-AIS	LOS, LOF を検出後、スクランブル前の STM-N (RSOH を除く) に A11 "1" を送出	LOS, LOF を解除後に解除	-----	-----

表 12 警報検出解除条件 (2 / 4)

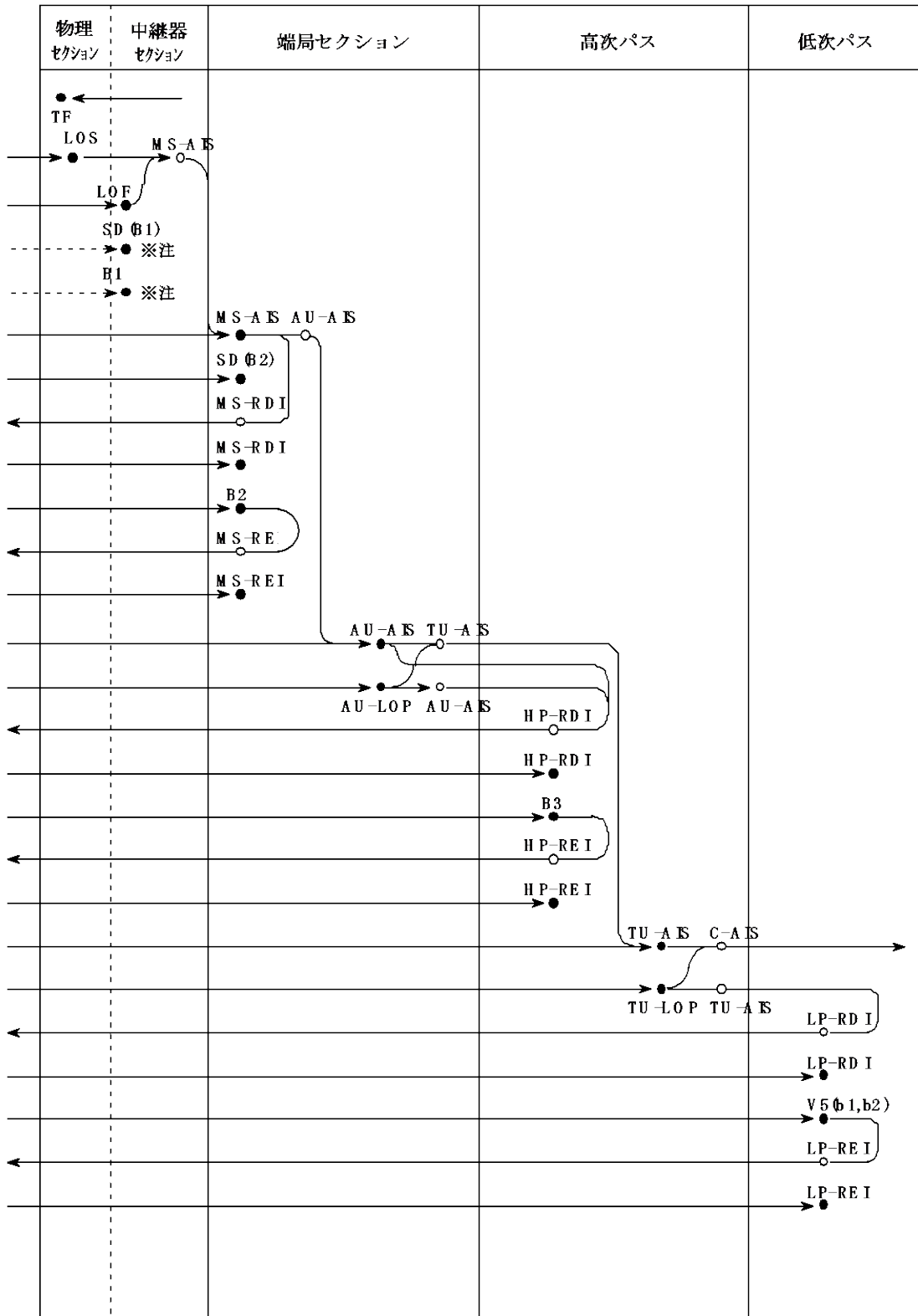
レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
端局 セクション	MS-AIS	-----	-----	デスクランブル後の K2 の b6-b8 = "111" を 3~5 回連続受信	デスクランブル後の K2 の b6-b8 ≠ "111" を 3~5 回連続受信
	MS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の STM-N の全ビット (SOH の第 1-3 を除く) に対する BIP-24×N 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B2×3N との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD(B2)	-----	-----	B2 により検出した誤り率が、10 ⁻⁵ 乗以上で発出	B2 により検出した誤り率が、10 ⁻⁶ 乗以下で解除
	MS-RDI	MS-AIS 検出時にスクランブル前の STM-N の K2 の b6-b8 = "110" を送出 SD(B2) 検出時は送出しない	MS-AIS 回復時に送出解除	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 = "110" を 3~10 フレーム連続受信	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 ≠ "110" を 3~10 フレーム連続受信
	MS-REI	B2 不一致時、M1 に B2 の演算結果を送出。	1 フレーム毎に解除。	M1 を検出	1 フレーム毎に解除
	AU-AIS	MS-AIS を検出後にスクランブル前の全 AU の全ビット A11 "1" を送出 (AU ポインタを含む)	MS-AIS 回復時に送出解除	-----	-----
	AU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照

表 12 警報検出解除条件 (3 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
	AU-AIS	AU-LOP 検出時に AU の全ビット A11"1"を送出 (AU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	AU-LOP, AU-AIS 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP, AU-AIS 回復時に送出解除	-----	-----

表 12 警報検出解除条件 (4 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
高次パス	HP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の VC 全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B3 との不一致	1 フレーム毎に解除
	HP-REI	B3 不一致時、G1 (b1-b4) に B3 の演算結果を送出	1 フレーム毎に解除	G1 (b1-b4) を検出	1 フレーム毎に解除
	HP-RDI	AU-LOP, AU-AIS 検出時に、G1 の b5="1"を送出。	AU-LOP, AU-AIS 回復時に、送出解除。	G1 バイトの bit 5="1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信	G1 バイトの bit 5≠"1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信
	TU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	TU-LOP 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む)	TU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
低次パス	LP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の低次 VC 全ビットに対する BIP-2 演算結果とデスクランブル後の次マルチフレーム V5 (b1, b2) との不一致	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-REI	V5 (b1, b2) 不一致時、V5 (b3) に V5 (b1, b2) の演算結果を送出	1 マルチフレーム毎に解除	V5 (b3) を検出	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-RDI	TU-LOP, TU-AIS 検出時に、V5 の b8="1"を送出	TU-LOP, TU-AIS 回復時に、送出解除	V5 バイトの bit 8="1"を 3~10 マルチフレーム連続受信	V5 バイトの bit 8≠"1"を 3~10 マルチフレーム連続受信



● : 検出 ○ : 生成

※注. B1とSD (B1)の検出はオプション

図 10 警報転送機能

技術的条件集別表 11

対パケットデータ直収ユーザインタフェース仕様
(WIN方式)

1. 概説

本別表 11 は、本則のWIN直取パケット接続機能によるパケットデータ直取接続に関する直接協定事業者（以下、「WIN直取パケット接続事業者」という。）との基本的なインタフェースについて規定するものです。

2. 機器・システム構成

WIN直取パケット接続事業者との接続に係る基本的な機器・システム構成の概要図は以下になります。

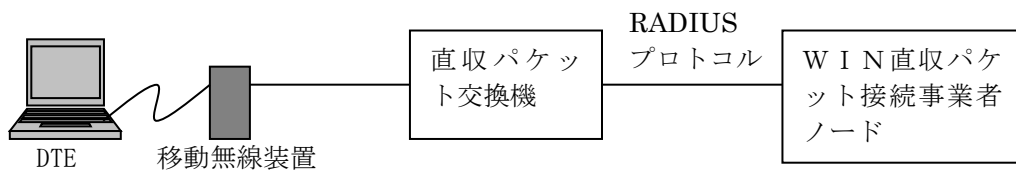


図 2-1 システム構成概要図

※DTE : Data Terminal Equipment

※WIN直取パケット接続事業者ノード : RADIUS Server/Accounting Server の機能を有する RADIUS プロトコル終端ノード

表 2-1 WIN直取パケット接続事業者ノード概要

	RADIUS Server	Accounting Server
準拠規格	RFC2865	RFC2866
構成	Primary/Secondary 構成が可能	Primary/Secondary 構成が可能

※直取パケット交換機とWIN直取パケット接続事業者ノードは、WAN によって接続されます。

3. IP アドレス

基本的な IP アドレス付与方式は以下のとおりです。

3. 1 DTE IP アドレス

DTE に割当て IP アドレスとして、プライベート IP アドレス又はグローバル IP アドレスを設定できます。なお、プライベート IP アドレスは区分毎に利用条件が異なります。

表 3-1 プライベート IP アドレス利用条件

区分	29 単位	252 単位
概要	直収パケット交換機または W I N 直収パケット接続事業者ノードにサブネットマスク/27 単位で設定し、直収パケット交換機または W I N 直収パケット接続事業者ノードから DTE への割当を行います。	W I N 直収パケット接続事業者ノードにサブネットマスク/24 単位で設定し、W I N 直収パケット接続事業者ノードから DTE への割当を行います。
IP アドレス領域の指定	当社から指定	W I N 直収パケット接続事業者から指定※
利用単位	IP アドレス数は 29 単位で設定・追加が可能です	IP アドレス数は 252 単位で設定・追加が可能です。
備考	—	グローバル IP アドレスの場合は W I N 直収パケット接続事業者にて正規に取得することが必要です。

※指定ができない領域は以下になります。

172. 31. 0. 0/16、172. 23. 0. 0/16、172. 21. 0. 0/16

3. 2 WAN IP アドレス

- 直収パケット交換機～W I N 直収パケット接続事業者ノード間の WAN の IP アドレスは、サブネットマスク/30 のアドレス単位で設定します。
- プライベート IP アドレスまたはグローバル IP アドレスを利用できます。
- プライベート IP アドレス領域は当社から指定いたします。
- グローバル IP アドレスの場合は W I N 直収パケット接続事業者にて正規に取得することが必要です。

3. 3 W I N 直収パケット接続事業者ノード IP アドレス

- W I N 直収パケット接続事業者ノードの IP アドレスは、グローバル IP アドレスまたはプライベート IP アドレスを利用できます。
- プライベート IP アドレスのアドレス単位はサブネットマスク/29 またはサブネットマスク/32 のアドレス単位で設定します。

3. 4 DTE IP アドレス割当方法

DTE への IP アドレスの割当方法として、動的割当 (Dynamic Assign) と静的割当 (Static Assign) があります。

表 3-2 DTE IP アドレス割当方法

	動的割当	静的割当
概要	W I N直収パケット接続事業者ノードから認証成功の応答パケットを直収パケット交換機が受け、利用可能 IP アドレスの範囲内から空き IP アドレスを直収パケット交換機から DTE に割当てます	W I N直収パケット接続事業者ノードから指定された IP アドレスを直収パケット交換機が中継して DTE に割当てます。W I N直収パケット接続事業者ノードから指定する IP アドレスは利用可能 IP アドレスの範囲内でユニークである必要があります
DTE IP アドレスの割当	直収パケット交換機	W I N直収パケット接続事業者ノード
備考	空き IP アドレスがない場合は、直収パケット交換機から認証失敗 (Access-Reject) を返送します	利用可能 IP アドレスの範囲外の場合は、直収パケット交換機から認証失敗 (Access-Reject) を返送します

4. PPP 認証方式

PPP 認証方式として PAP 認証/CHAP 認証が利用できます。

表 4-1 PPP 認証方式

DTE 設定	接続ネットワーク	接続時の PPP 認証プロトコル	認証代行 RADIUS の仕様	接続可否
PAP/CHAP 共に許可	CDMA20001xEVDO 網	CHAP	PAP/CHAP 共に有効	○
PAP/CHAP 共に許可	CDMA20001x/cdmaOne 網	PAP	PAP/CHAP 共に有効	○
PAP のみ許可	CDMA20001xEVDO 網	PAP	PAP/CHAP 共に有効	○
PAP のみ許可	CDMA20001x/cdmaOne 網	PAP	PAP/CHAP 共に有効	○
CHAP のみ許可	CDMA20001xEVDO 網	CHAP	PAP/CHAP 共に有効	○
CHAP のみ許可	CDMA20001x/cdmaOne 網	CHAP	PAP/CHAP 共に有効	○

(1) CDMA20001xEVDO 網での接続

直収パケット交換機からは CHAP で DTE に要求 (LCP-Configure-Request) を行います。直収パケット交換機で Nack を受けた場合、PAP で DTE に要求 (LCP-Configure-Request) を行います。

(2) CDMA20001x/cdmaOne 網での接続

直収パケット交換機からは PAP で DTE に要求 (LCP-Configure-Request) を行います。直収パケット交換機で Nack を受けた場合、CHAP で DTE に要求 (LCP-Configure-Request) を行います。

5. 基本的な接続シーケンス

直取パケット交換機とW I N直取パケット接続事業者ノード間の基本的な接続シーケンスは以下のとおりとなります。

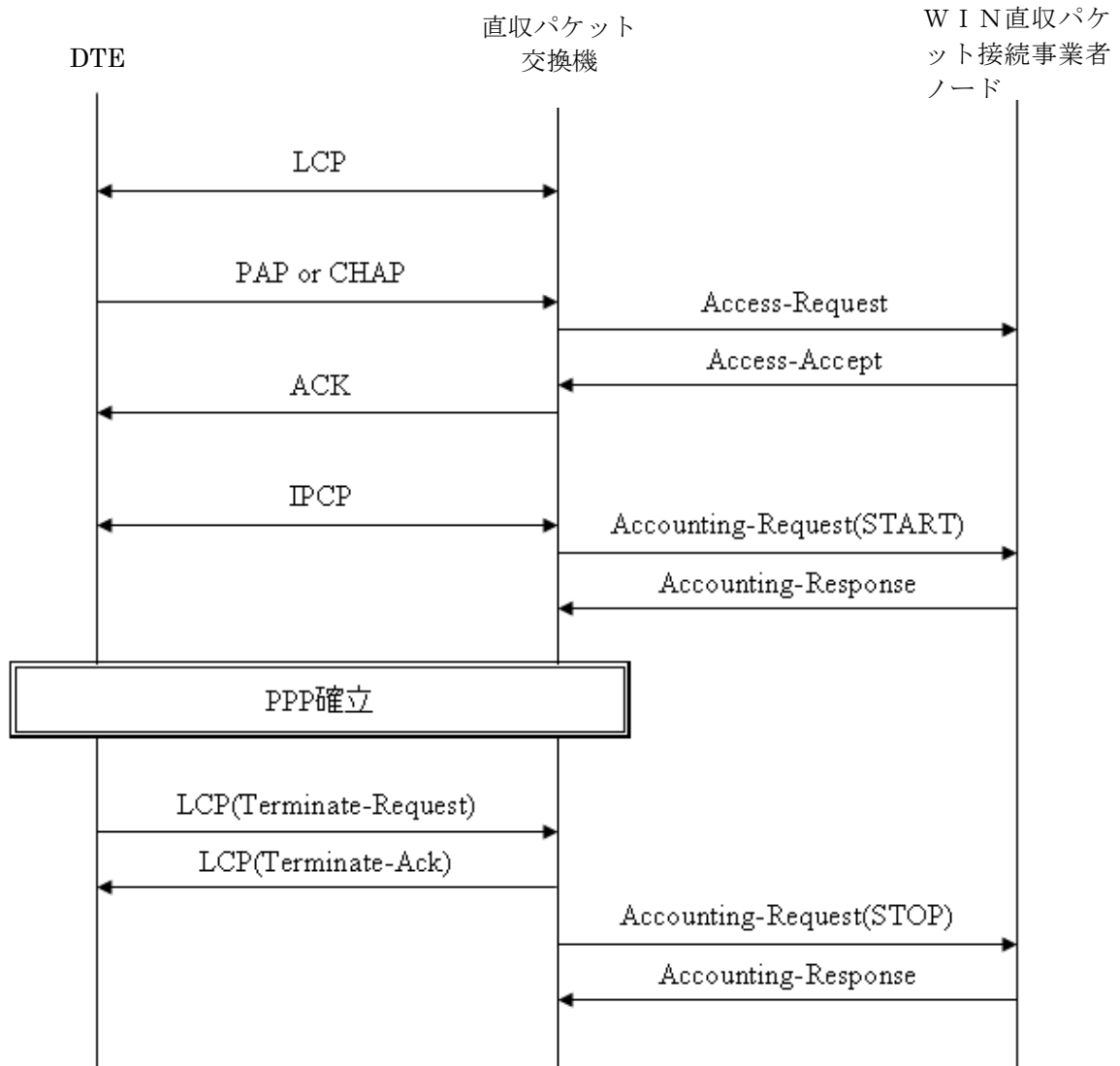


図 5-1 基本的な接続シーケンス

6. ユーザ ID、ドメイン名、パスワードの制限事項

ユーザ ID、ドメイン名、パスワードで使用するキャラクタ等には以下の制限が生じます。

表 6-1 ユーザ ID、ドメイン名、パスワードの制限事項

	長さ	使用可能なキャラクタ
ユーザ ID	1～24 文字の範囲内 (@の前)	半角数字「0～9」、半角英小文字「a～z」、半角英大文字「A～Z」、次の半角記号 ピリオド「.」、ハイフン「-」、アンダースコア「_」 ※但し、半角記号は先頭、末尾で使用不可
ドメイン名	3～20 文字の範囲内 (@の後)	半角数字「0～9」、半角英小文字「a～z」、次の半角記号 ピリオド「.」、ハイフン「-」 ※但し、半角記号は先頭または末尾での使用不可。数字のみの設定不可
パスワード	1～16 文字の範囲内	半角数字「0～9」、半角英小文字「a～z」、半角英大文字「A～Z」、次の半角記号 「!」、「#」、「\$」、「%」、「&」、「(」、「)」、「*」、「+」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「>」、「=」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

7. RADIUS SecretKey の制限事項

- 長さ： 1～15 文字の範囲内
- 使用可能なキャラクタ：
 - (1) 半角数字「0～9」、半角英小文字「a～z」、半角英大文字「A～Z」
 - (2) ダブルクォーテーション「"」、番号記号「#」、アポストロフィー「'」、コンマ「,」、円記号「¥」を除く半角記号

8. RADIUS の UDP ポート番号

- 直収パケット交換機から W I N 直収パケット接続事業者ノード向けパケットの送信元ポート番号はランダム、宛先ポート番号は指定になります。
- W I N 直収パケット接続事業者ノードから直収パケット交換機への応答パケットのポート番号は、直収パケット交換機から受信したパケットの送信元ポート番号と宛先ポート番号を入れ替えて送信を行います。

9. 認証 packets/課金 packetsの再送

9. 1 認証 packets (Authentication)

9. 1. 1 再送制御

認証 packetsの再送制御については、以下のとおりとなります。

表 9-1 認証 packetsの再送制御

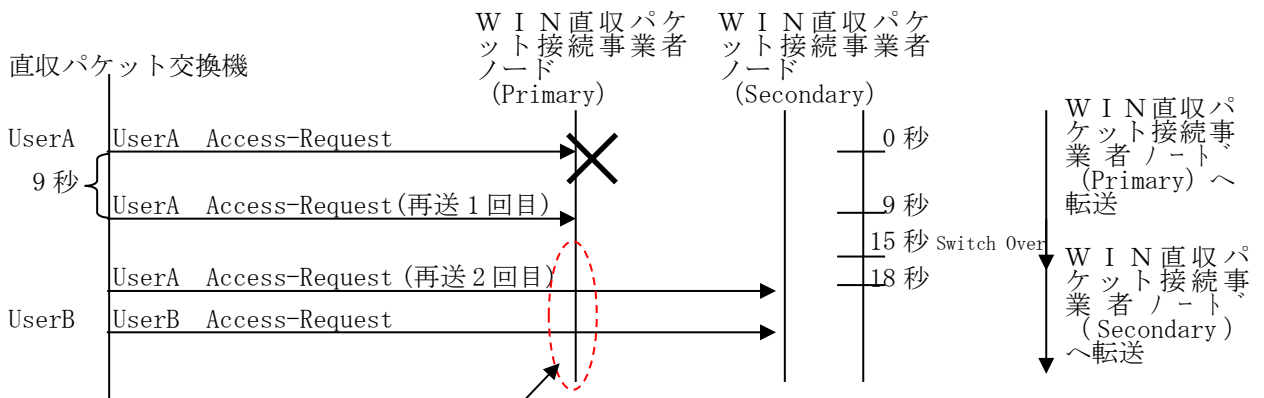
再送間隔 /回数 (呼 毎)	Switch Over の動 作 (ドメイン毎・ 直収 packets交換 機毎)	Primary への自動復 帰 (ドメイン毎・直 収 packets交換機 毎)	Out of Service の動 作 (ドメイン毎・直 収 packets交換機 毎)	Out of Service の自動解除(ドメイ ン毎・直収 packets 交換機毎)
9 秒/2 回	15 秒	Secondary から の応答を受信し てから 60 分後	無応答の状態が 9 分以上継続し た時	認証 packetsを 転送し、その 応答を受信し た時※

- 再送は 9 秒間隔で 2 回。
- Switch Over time (Primary⇔Secondary へ切り替る時間) は 15 秒。
- Secondary の設定がない場合には、切り替わらず常に Primary へ送出します。
- 9 分間 Home RADIUS からの無応答が継続すると、Out of Service となり、それ以降の認証 packetsは送出しません。
- 一旦、W I N直収 packets接続事業者ノード (Secondary) から認証 packets (応答) を受けると、60 分間はW I N直収 packets接続事業者ノード (Secondary) に認証 packetsを送出します。60 分経過後の認証 packetsはW I N直収 packets接続事業者ノード (Primary) に対して送出します。
- 再送間隔および再送回数については変更する場合があります。

※Out of Service 状態になってから 3 分経過後に受信した認証 packetsをW I N直収 packets接続事業者ノードに転送します。これに応答があった場合に Out of Service 状態を解除します。応答がない場合は Out of Service 状態を継続します。

9. 1. 2 再送シーケンス

認証 packetsの再送シーケンスは以下のとおりとなります。



再送 packetsや別の新規呼 (UserB) は、15 秒以降に受信する事で Switch Over します。この時、W I N直収 packets接続事業者ノード (Secondary) から応答があれば、認証可能になります。(再送 packetsは上図のとおり、設定により 18 秒後にW I N直収 packets接続事業者ノード (Secondary) へ送出します)

図 9-1 認証 packetsの再送シーケンス

9. 2 課金パケット (Accounting)

9. 2. 1 再送制御

課金パケットの再送制御については、以下のとおりとなります。

表 9-2 課金パケットの再送制御

再送間隔 /回数 (呼毎)	Switch Over の動作 (ドメイン毎・直収パケット交換機毎)	Primary への自動復帰 (ドメイン毎・直収パケット交換機毎)	Out of Service の動作 (ドメイン毎・直収パケット交換機毎)	Out of Service の自動解除 (ドメイン毎・直収パケット交換機毎)
60 秒/ 60 回	100 秒	Secondary からの応答を受信してから 62 分後	無応答の状態が 60 分以上継続した時	課金パケットを転送し、その応答を受信した時※

- ・再送は 60 秒間隔 60 回行います。
 - ・Switch Over time (Primary⇔Secondary へ切り替る時間) は 100 秒です。
 - ・60 分間 Home RADIUS からの無応答が継続すると、Out of Service となり、それ以降の課金パケットは送出しません。
 - ・一旦、WIN直収パケット接続事業者ノード (Secondary) から認証パケット (応答) を受けると、62 分間はWIN直収パケット接続事業者ノード (Secondary) に認証パケットを送出します。62 分経過後の認証パケットはWIN直収パケット接続事業者ノード (Primary) に対して送出します。
- ※Out of Service 状態になってから 3 分経過後に受信した課金パケットをWIN直収パケット接続事業者ノードに転送します。これに応答があった場合に Out of Service 状態を解除します。応答がない場合は Out of Service 状態を継続します。

9. 2. 2 再送シーケンス

課金パケットの再送シーケンスは以下のとおりとなります。

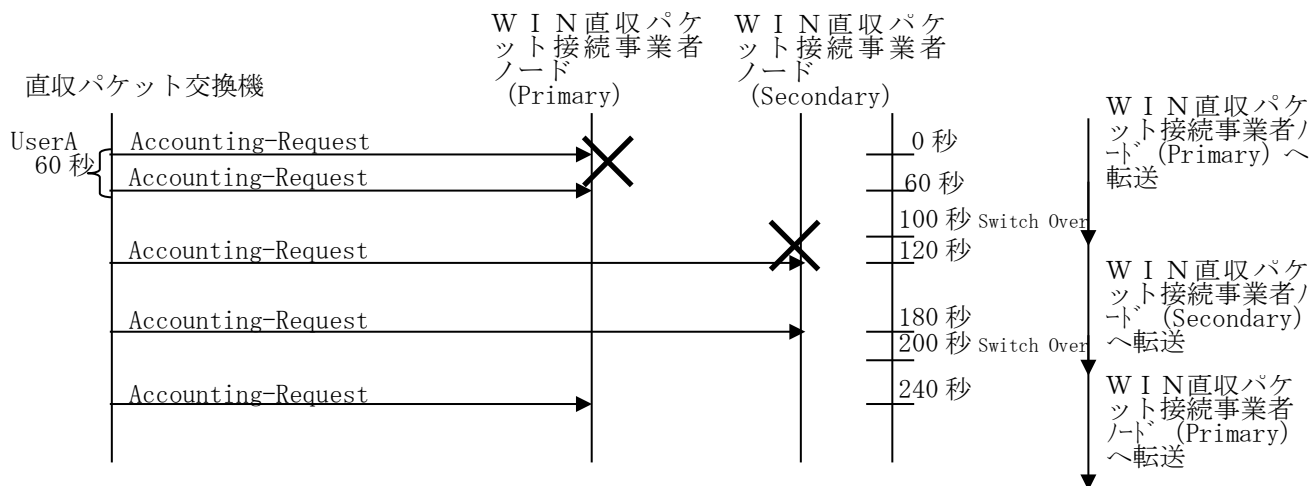


図 9-2 課金パケットの再送シーケンス

10. WIN直収パケット接続事業者ノードからの応答パケットの待ち時間

10.1 認証パケットの応答遅延

直収パケット交換機からの認証パケットに対して、WIN直収パケット接続事業者ノードからの応答が最初の認証パケット送信から 22 秒を超える場合、その応答は無効となります。(DTE 側に Reject を返します)

10.2 課金パケットの応答遅延

直収パケット交換機からの課金パケットに対して、WIN直収パケット接続事業者ノードからの応答が最初の課金パケット送信から 60 秒を超える場合、その応答は無効となります。

1 1. Attribute

基本的な Attribute 及び Attribute サンプルは以下のとおりとなります。

1 1. 1 Access-Request (1)

表 11-1 Access-Request Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
User-Name (1)	2865	3 以上 45 以下	文字列	PAP: Authenticator-Request の Peer-ID を設定 CHAP: Response の Name を設定
User-Password (2)	2865	18 以上 130 以下	文字列	PAP: Authenticator-Request の Password を暗号化して設定
CHAP-Password (3)	2865	19	文字列	CHAP: Response の Value を設定
NAS-IP-Address (4)	2865	6	IP アドレス	当社網における設定値
NAS-Port (5)	2865	6	整数	当社網における設定値
Service-Type (6)	2865	6	選択肢	2: Framed
Framed-Protocol (7)	2865	6	選択肢	1: PPP
Called Station ID (30)	2865	2 以上	文字列	
Calling Station ID (31)	2865	3 以上	文字列	
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	
Acct Session ID (44)	2866	3 以上	文字列	
CHAP-Challenge (60)	2865	7 以上	文字列	CHAP: Challenge の Value を設定(※) CDMA20001x/cdmaOne 網では設定なし
NAS-Port-Type (61)	2865	6	選択肢	[CDMA20001x/cdmaOne 網] 5: Virtual [CDMA20001xEVDO 網] 24: HRPD/18: Wireless-other

(※) CHAP: Challenge の Value は、Authenticator へ設定される場合があります。

1 1. 2 Access-Accept (2)

表 11-2 Access-Accept Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
Service-Type (6)	2865	6	選択肢	2: Framed
Framed-Protocol (7)	2865	6	選択肢	1: PPP
Framed- IP Address (8)	2865	6	IP アドレス	動的割当時: 255.255.255.254 を設定 静的割当時: 利用可能 IP アドレスを設定
Framed- IP Netmask (9)	2865	6	IP アドレス	255.255.255.255
Session Timeout (27)	2865	6	整数	オプション
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	Access-Request で受信した値を設定

1 1. 3 Access-Reject (3)

表 11-3 Access-Reject Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	Access-Request で受信した値を設定

1 1. 4 Accounting-Request (4)

1 1. 4. 1 Start

表 11-4-1 Accounting-Request (Start) Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
User-Name (1)	2865	3 以上 45 以下	文字列	PAP: Authenticator-Request の Peer-ID を設定 CHAP: Response の Name を設定
NAS-IP-Addres (4)	2865	6	IP アドレス	当社網における設定値
NAS-Port (5)	2865	6	整数	当社網における設定値
Service-Type (6)	2865	6	選択肢	2:Framed
Framed-Protocol (7)	2865	6	選択肢	1:PPP
Framed-IP-Address (8)	2865	6	IP アドレス	DTE に設定される IP アドレス
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	
Acct-Status-Type (40)	2866	6	選択肢	1:start
Acct-Delay-Time (41)	2866	6	整数	タイムラグ (秒) を設定
Acct-Session-ID (44)	2866	3 以上	文字列	当社網における設定値
Acct-Authentic (45)	2866	6	選択肢	1:RADIUS
NAS-Port-Type (61)	2865	6	選択肢	[CDMA20001x/cdmaOne 網] 5:Virtual [CDMA20001xEVDO 網] 24:HRPD/18:Wireless-other

1 1. 4. 2 Stop

表 11-4-2 Accounting-Request (Stop) Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
User-Name (1)	2865	3 以上 45 以下	文字列	PAP: Authenticator-Request の Peer-ID を設定 CHAP: Response の Name を設定
NAS-IP-Addres (4)	2865	6	IP アドレス	当社網における設定値
NAS-Port (5)	2865	6	整数	当社網における設定値
Service-Type (6)	2865	6	選択肢	2:Framed
Framed-Protocol (7)	2865	6	選択肢	1:PPP
Framed-IP-Address (8)	2865	6	IP アドレス	DTE に設定される IP アドレス
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	
Acct-Status-Type (40)	2866	6	選択肢	2:stop
Acct-Delay-Time (41)	2866	6	整数	タイムラグ (秒) を設定
Acct-Input-Octets (42)	2866	6	整数	DTE から送信されたパケットの 総オクテット
Acct-Output-Octets (43)	2866	6	整数	DTE に送信されたパケットの総 オクテット数
Acct-Session-ID (44)	2866	3 以上	文字列	当社網における設定値
Acct-Authentic (45)	2866	6	選択肢	1:RADIUS
Acct-Session-Time (46)	2866	6	整数	Start から Stop までの時間 (秒) を設定
Acct-Input-Packets (47)	2866	6	整数	DTE から送信された総パケット 数
Acct-Outpur-Packets (48)	2866	6	整数	DTE に送信された総パケット数
NAS-Port-Type (61)	2865	6	選択肢	[CDMA20001x/cdmaOne 網] 5:Virtual [CDMA20001xEVDO 網] 24:HRPD/18:Wireless-other

1 1 . 5 Accounting-Response(5)

表 11-5 Accounting-Response Attribute

	RFC	Length (octets)	Format	備考
Proxy State (33)	2865	3 以上	文字列	Accounting-Request で受信した値を設定

1 1. 6 Attribute サンプル

(1) Access-Request (CDMA20001xEVDO 網)

```
-----  
Code : 1 (Access-Request)  
Authenticator: 43ED1DA35F1574C517CBDED0724132D5  
-----  
User-Name(1) = cpatest@kdditest  
User-Password(2) = xxxxx  
NAS-IP-Address(4) = 210.251.2.236  
NAS-Port(5) = 50002  
Service-Type(6) = 2 (Framed)  
Framed-Protocol(7) = 1 (PPP)  
Called-Station-Id(30) = 00  
Calling-Station-Id(31) = 000000352c8be2  
Acct-Session-Id(44) = 23EB6E2F  
NAS-Port-Type(61) = 18 (Wireless-other)  
Proxv-State(33) = 657070726F78793038612F3030313133334
```

(2) Accounting-Request (Start) (CDMA20001xEVDO 網)

```
-----  
Code : 4 (Accounting-Request)  
Authenticator: C8B5E84472DA9001C6940EDCDE42A4F3  
-----  
User-Name(1) = cpatest@kdditest  
NAS-IP-Address(4) = 210.251.2.236  
NAS-Port(5) = 50004  
Service-Type(6) = 2 (Framed)  
Framed-Protocol(7) = 1 (PPP)  
Framed-IP-Address(8) = 10.1.1.54  
Called-Station-Id(30) = 00  
Calling-Station-Id(31) = 000000352c8be2  
Acct-Status-Type(40) = 1 (Start)  
Acct-Delay-Time(41) = 0  
Acct-Session-Id(44) = 4066AA84  
Acct-Authentic(45) = 1 (RADIUS)  
Event-Timestamp(55) = Mar 13, 2008 14:51:56.000000000  
NAS-Port-Type(61) = 18 (Wireless-other)  
Proxv-State(33) = 657070726F78793034612F3031303333535
```

(3) Accounting-Request (Stop) (CDMA20001xEVDO 網)

```
-----  
Code : 4 (Accounting-Request)  
Authenticator: C6542E70F8708EC1B44D0AFB495E3856  
-----  
User-Name(1) = cpatest@kdditest  
NAS-IP-Address(4) = 210.251.2.236  
NAS-Port(5) = 50004  
Service-Type(6) = 2 (Framed)  
Framed-Protocol(7) = 1 (PPP)  
Framed-IP-Address(8) = 10.1.1.54  
Called-Station-Id(30) = 00  
Calling-Station-Id(31) = 000000352c8be2  
Acct-Status-Type(40) = 2 (Stop)  
Acct-Delay-Time(41) = 0  
Acct-Input-Octets(42) = 240  
Acct-Output-Octets(43) = 240  
Acct-Session-Id(44) = 4066AA84  
Acct-Authentic(45) = 1 (RADIUS)  
Acct-Session-Time(46) = 74  
Acct-Input-Packets(47) = 4  
Acct-Output-Packets(48) = 4  
Acct-Terminate-Cause(49) = 18 (Host-Request)  
Event-Timestamp(55) = Mar 13, 2008 14:53:10.000000000  
NAS-Port-Type(61) = 18 (Wireless-other)  
Proxv-State(33) = 657070726F78793038612F3030313133335
```

技術的条件集別表 11 の 2

対パケットデータ直収ユーザインタフェース仕様
(LTE 方式)

技術的条件集別表-11 の 2 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様 (LTE 方式)

1 概説

本別表は、当社若しくは当社及び特定BWA事業者の網とLTE直取パケット接続事業者網間インタフェースにおけるプロトコル仕様を規定する。

1.1 規定範囲

本別表は、対パケットデータ直取LTE接続に関する当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動無線パケット交換～LTE直取パケット接続事業者ノード間のプロトコルに関する仕様を規定する。

1.2 システム構成

対パケットデータ直取LTE接続に関するシステム構成図(概略)を以下に示す。接続プロトコルとしてGTPv2-Cを使用する場合を図1.2-1に示す。

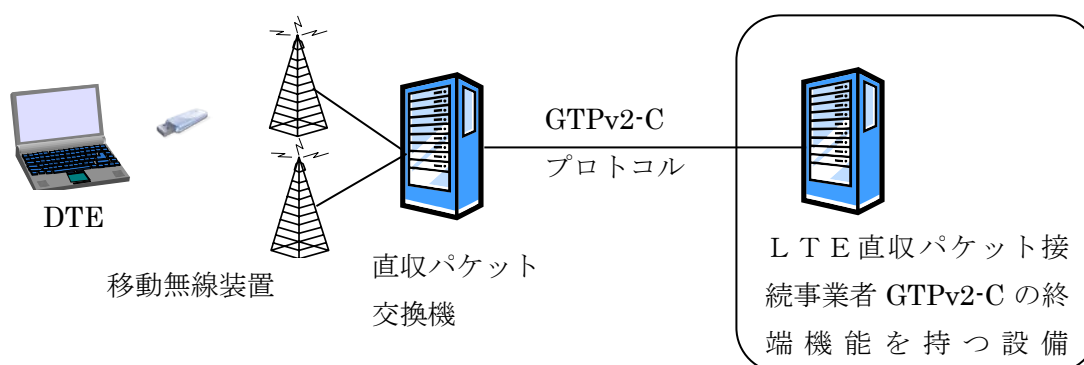


図 1.2-1 システム構成図 (GTPv2-C 接続)

1.3 プロトコルスタック

1.2に示したシステム構成におけるプロトコルスタックを以下に示す。

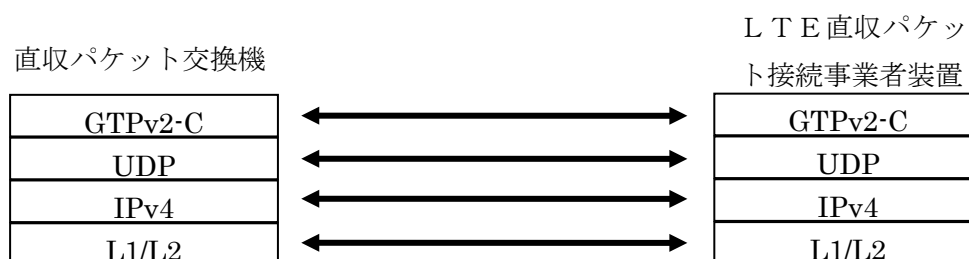


図 1.3-2 直取パケット交換機—LTE直取パケット接続事業者装置間のプロトコルスタック (GTPv2-C)

1.4 プロトコル適用規定

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者の設置する装置間で使用するプロトコルは以下の表 1.4-1 に示す標準に準拠しています。

表 1.4-1 直取パケット交換機－LTE直取パケット接続事業者設備間の通信プロトコル

システム構成	プロトコル
GTPv2-C 接続	3GPP TS29.274 v10.5.0

※当社若しくは当社及び特定BWA事業者の網では GTPv1-C での接続は提供しない。

2 GTPv2-C 接続

2.1 概説

本章では当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者装置間の接続プロトコルとしてGTPv2-Cを使用する場合のメッセージ処理を規定する。GTPv2-C接続では以下の7つの機能で構成される。

- (ア)セッション設定機能(Create Session Request/Create Session Response)
- (イ)セッション削除機能>Delete Session Request/Delete Session Response)
- (ウ)ベアラ更新機能(Modify Bearer Request/Modify Bearer Response)
- (エ)ベアラ切断機能>Delete Bearer Request/Delete Bearer Response)
- (オ)ノード監視機能(Echo Request/Echo Response)
- (カ)サスペンド通知機能 (Suspend Notification/Acknowledge)
- (キ)レジューム通知機能 (Resume Notification/Acknowledge)

2.2 コネクション

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直収パケット交換機—LTE直収パケット接続事業者設備間でGTPv2-Cプロトコルを用いる場合、下位層にUDPを使用する。このため、コネクションの確立・切断は行わない。

(1) タイマ及びリクエスト送信回数

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者設備間で送受するGTPv2-Cプロトコルのタイマ、メッセージ再送回数は協議の上、決定することとする。

2.3 セッション設定機能(Create Session Request/Create Session Response)

(1) 処理概要

移動無線装置より接続要求された場合、直収パケット交換機より、LTE直収パケット接続事業者設備に対してCreate Session Requestを送信する。Create Session Requestを受信したLTE直収パケット接続事業者設備は、Create Session Requestの情報要素により、接続可否判定を行う。接続を許容する場合には、LTE直収パケット接続事業者設備より直収パケット交換機に対してCreate Session Responseを送信する。Create Session Responseを受信した直収パケット交換機では接続応答を移動無線装置へ送信することにより、回線を接続する。接続を非許容にする場合には接続非許容を示すCause Valueを設定したCreate Session Responseを送信する。

(2) セッション設定処理対象メッセージ

直収パケット交換機—LTE直収パケット接続事業者設備間で使用するセッション設定処理対象メッセージを表2.3-1に示す。

表 2.3-1 セッション設定処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Create Session Request	直取パケット交換機→L T E直取パケット接続事業者設備	
Create Session Response	直取パケット交換機←L T E直取パケット接続事業者設備	

2. 4 セッション削除機能(Delete Session Request/Delete Session Response)

(1) 処理概要

移動無線装置より回線切断が要求された場合、直取パケット交換機より、L T E直取パケット接続事業者設備に対して Delete Session Request を送信する。Delete Session Request を受信したL T E直取パケット接続事業者設備は、切断に必要な処理を実施し、直取パケット交換機に対し、Delete Session Response を送信する。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、L T E直取パケット接続事業者設備に対して Delete Session Request を送信後、L T E直取パケット接続事業者設備より Delete Session Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Delete Session Request の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止し、移動無線装置との回線を切断する。

(3) セッション削除処理メッセージ

直取パケット交換機—L T E直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.4-1 に示す。

表 2.4-1 セッション削除処理メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Delete Session Request	直取パケット交換機→L T E直取パケット接続事業者設備	
Delete Session Response	直取パケット交換機←L T E直取パケット接続事業者設備	

2. 5 ベアラ更新機能(Modify Bearer Request/Modify Bearer Response)

(1) 処理概要

通信中に移動無線装置の移動に伴いベアラ情報が変更された場合、直取パケット交換機からL T E直取パケット接続事業者設備に対し、Modify Bearer Request を送信し、ベアラ情報が更新されたことを通知する。L T E直取パケット接続事業者設備は、変更

処理を実施直後直取パケット交換機に対し、Modify Bearer Responseを返信する。また、ベアラ更新通知は移動無線装置が音声通信機能を有し、音声通話が終了したことを契機にLTE網へアクセスする場合に送信される場合がある。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、LTE直取パケット接続事業者設備に対して Modify Bearer Request を送信後、LTE直取パケット接続事業者設備より Modify Bearer Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Modify Bearer Request の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止し、移動無線装置との回線を切断する。

(3) ベアラ更新処理メッセージ

直取パケット交換機—LTE直取パケット接続事業者設備間で使用するベアラ更新処理対象メッセージを表 2.5-1 に示す。

表 2.5-1 ベアラ更新処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Modify Bearer Request	直取パケット交換機→LTE直取パケット接続事業者設備	
Modify Bearer Response	直取パケット交換機←LTE直取パケット接続事業者設備	

2. 6 ベアラ切断機能>Delete Bearer Request/Delete Bearer Response)

(1) 処理概要

LTE直取パケット接続事業者設備より接続終了を要求する場合、LTE直取パケット接続事業者設備より直取パケット交換機に対して Delete Bearer Request を送信する。Delete Bearer Request を受信した直取パケット交換機は、切断に必要な処理を実施し、LTE直取パケット接続事業者設備に対し、Delete Bearer Response を送信する。

(2) ベアラ切断処理対象メッセージ

直取パケット交換機—LTE直取パケット接続事業者設備間で使用するベアラ切断処理メッセージを表 2.6-1 に示す。

表 2.6-1 ベアラ切断処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Delete Bearer Request	直取パケット交換機←LTE直取パケット接続事業者設備	
Delete Bearer Response	直取パケット交換機→LTE直取パケット接続事業者設備	

2. 7 ノード監視機能(Echo Request/Echo Response)

(1) 処理概要

直取パケット交換機—L T E直取パケット接続事業者設備間で双方向に相手ノードの正常性確認のため GTP Echo を使用してヘルスチェックを行う。GTPv2-C 処理部の正常性を確認する為、GTPv2-C 用のノード IP アドレスを使用して信号送受信を行う。双方向で確認を行う為、双方のノードがそれぞれ Echo Request を送信し、受信側は正常であれば、Echo Response を返信する。

(ア) 直取パケット交換機が L T E直取パケット接続事業者設備を監視

直取パケット交換機は、L T E直取パケット接続事業者設備の正常性を確認する為、L T E直取パケット接続事業者設備への接続を 1 つ以上保持している場合に Echo Request を送信する。送信間隔は別途協議の上、決定することとする。

(イ) L T E直取パケット接続事業者ノードが直取パケット交換機を監視

L T E直取パケット接続事業者設備は、直取パケット交換機の正常性を確認する為、Echo Request を送信する。送信間隔は別途協議の上、決定することとする。

(2) タイムアウト処理

(ア) L T E直取パケット接続事業者設備から Echo Response が返信されなかった場合
直取パケット交換機から、L T E直取パケット接続事業者設備に対して Echo Request を送信後、L T E直取パケット接続事業者設備より Echo Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、当該 L T E直取パケット接続事業者設備と通信中の回線を切断する。再度当該設備へ Echo Request を送信再開する契機は、当該ノードへの新たな回線接続が行われたときとなる。

(イ) 直取パケット交換機から Echo Response が返信されなかった場合

L T E直取パケット接続事業者設備から直取パケット交換機に対して Echo Request を送信後、直取パケット交換機より Echo Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、別途協議したリトライを実施する。さらにリトライアウト後は当該 L T E直取パケット接続事業者設備内で当該直取パケット交換機と接続を行っている回線を切断する。

(3) ノード監視処理メッセージ

直取パケット交換機—L T E直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.7-1 に示す。

表 2.7-1 ノード監視処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Echo Request	直取パケット交換機⇄L T E直取パケット接続事業者設備	

Echo Response	直収パケット交換機⇔L T E直収パケット接続事業者設備	
---------------	------------------------------	--

2. 8 サスペンド通知機能(Suspend Notification/Suspend Acknowledge)

(1) 処理概要

移動無線装置が音声通信機能を有し、音声発着信が発生した場合に直収パケット交換機からL T E直収パケット接続事業者設備にデータ転送を一時的に停止することを指示する機能。L T E直収パケット接続事業者設備はサスペンド通知を受信した場合は、直ちに移動無線装置へのパケット送信を停止し、直収パケット交換機に対して Suspend Acknowledge を送信する。

(2) タイムアウト処理

直収パケット交換機から、L T E直収パケット接続事業者設備に対して Suspend Notification を送信後、L T E直収パケット接続事業者設備より Suspend Acknowledge が返信されないことにより、直収パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Suspend Notification の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止する。

(3) サスペンド通知対象メッセージ

直収パケット交換機—L T E直収パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.8-1 に示す。

表 2.8-1 サスペンド通知対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Suspend Notification	直収パケット交換機→L T E直収パケット接続事業者設備	
Suspend Acknowledge	直収パケット交換機←L T E直収パケット接続事業者設備	

2. 9 レジューム通知機能(Resume Notification/Resume Acknowledge)

(1) 処理概要

移動無線装置が音声通信機能を有し、音声通話が終了した場合に直収パケット交換機からL T E直収パケット接続事業者設備にデータ転送を復帰することを指示する機能。L T E直収パケット接続事業者設備はレジューム通知を受信した場合は、直ちにサスペンド状態を解除し、直収パケット交換機に対して Resume Acknowledge を送信する。

(2) タイムアウト処理

直収パケット交換機から、L T E直収パケット接続事業者設備に対して Resume Notification を送信後、L T E直収パケット接続事業者設備より Resume Acknowledge が返

信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、**Resume Notification** の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止する。

(3) レジューム通知対象メッセージ

直取パケット交換機←L T E直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.9-1 に示す。

表 2.9-1 レジューム通知対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Resume Notification	直取パケット交換機→L T E直取パケット接続事業者設備	
Resume Acknowledge	直取パケット交換機←L T E直取パケット接続事業者設備	

3 GTPv2-C パケット

本章記載において、特に記述が無い場合は GTPv2-C 標準 3GPP TS29.274 v10.5.0 に準拠するものとする。

3.1 GTPv2-C パケット構成

GTPv2-C パケットは、Version、Protocol Type、TEID flag、Message Type、Message Length、TEID、Sequence Number からなる共通部分と、信号毎に異なるパラメータを設定する情報要素部分から構成される。GTPv2-C パケットの構成を図 3.1-1 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Version		P	T	Spare	Spare	Spare	
2	Message Type							
3	Message Length (1 st Octet)							
4	Message Length (2 nd Octet)							
5	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
6	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
7	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
8	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							
9	Sequence Number (1 st Octet)							
10	Sequence Number (2 nd Octet)							
11	Sequence Number (3 rd Octet)							
12	Spare							
13	Payload							

図 3.1-1 GTPv2-C のパケット構成

(1) Version (バージョン)

直収パケット交換機と LTE 直収パケット接続事業者設備で使用される GTP のバージョンを示す。GTP version2 のみ使用可能である。Version 設定値を表 3.1-1 に示す。

表 3.1-1 Version 設定値

Bit 位置			情報内容	備考
8	7	6		
0	0	0	GTP version0	非サポート
0	0	1	GTP version1	非サポート
0	1	0	GTP version2	サポート

(2) P(Piggybacking flag)

直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者設備で使用されるGTPプロトコルでのPiggybackingの有無を示す。本インタフェース仕様では0のみ使用する。P(Piggybacking flag)設定値を表3.1-2に示す。

表 3.1-2 P(Piggybacking flag)設定値

Bit 位置	情報内容	備考
5		
0	Piggybacking なし	サポート
1	Piggybacking あり	非サポート

(3) T(TEID flag)

TEIDの有無を示す。直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者設備間では、Echo Request、Echo Response、Version Not Supported IndicationメッセージのGTPヘッダにはTEIDは設定されない。T(TEID flag)設定値を表3.1-3に示す。

表 3.1-3 T(TEID flag)設定値

Bit 位置	情報内容	備考
4		
0	TEID なし	サポート
1	TEID あり	サポート

(4) Message Type

Message Type フィールドはGTPv2-Cパケットのタイプを識別する。直収パケット交換機はサポート外のMessage Typeが設定されたGTPv2-Cを受信した場合、信号を破棄或いはエラー応答する。直収パケット交換機でサポートするGTPv2-CパケットのMessage Typeを表3.1-4(次ページ)に示す。

(5) Message Length

Length フィールドはGTPv2-Cヘッダのmandatory part(最初の4octets)を除くパケットのPayload長を示す。

(6) TEID

TEID フィールドは回線接続時もしくは直収パケット交換機変更時に直収パケット交換機及びLTE直収パケット接続事業者設備でユニークに払出される回線を識別する番号である。直収パケット交換機で払出したGTPv2-C用のTEIDは、Create Session RequestのPayload部の「Sender F-TEID for Control Plane」に、直収パケット交換機変更時は、Modify Bearer RequestのPayload部の「Sender F-TEID for Control Plane」に設定され、LTE直収パケット接続事業者ノードに送られる。

L T E直取パケット接続事業者設備で払出された GTPv2-C 用の TEID は、Create Session Response の Payload 部の「PGW S5/S8 F-TEID for PMIP based interface or for GTP based Control Plane interface」に設定し、直取パケット交換機に送られる。TEID の構成を図 3.1-2 に設定値を表 3.1-5 に示す。

表 3.1-4 GTPv2-C Message Type の一覧

Message Type value	Message Name	備考
1	Echo Request	サポート
2	Echo Response	サポート
3	Version Not Supported Indication	サポート
32	Create Session Request	サポート
33	Create Session Response	サポート
34	Modify Bearer Request	サポート
35	Modify Bearer Response	サポート
36	Delete Session Request	サポート
37	Delete Session Response	サポート
38	Change Notification Request	非サポート
39	Change Notification Response	非サポート
64	Modify Bearer Command	非サポート
65	Modify Bearer Failure Indication	非サポート
66	Delete Bearer Command	非サポート
67	Delete Bearer Failure Indication	非サポート
68	Bearer Resource Command	非サポート
69	Bearer Resource Failure Indication	非サポート
71	Trace Session Activation	非サポート
72	Trace Session Deactivation	非サポート
95	Create Bearer Request	非サポート
96	Create Bearer Response	非サポート
97	Update Bearer Request	非サポート
98	Update Bearer Response	非サポート
99	Delete Bearer Request	サポート
100	Delete Bearer Response	サポート
101	Delete PDN Connection Set Request	非サポート
102	Delete PDN Connection Set Response	非サポート
162	Suspend Notification	サポート
163	Suspend Acknowledge	サポート
164	Resume Notification	サポート
165	Resume Acknowledge	サポート
200	Update PDN Connection Set Request	非サポート
201	Update PDN Connection Set Response	非サポート

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
2	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
3	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
4	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							

図 3.1-2 TEID の構成

表 3.1-5 TEID 設定値

メッセージ名	設定値
Create Session Request	0 が設定
Create Session Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Session Request	L T E 直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Delete Session Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Modify Bearer Request	L T E 直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Modify Bearer Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Bearer Request	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Bearer Response	L T E 直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Echo Request	フィールド自体設定なし
Echo Response	フィールド自体設定なし
Suspend Notification	フィールド自体設定なし
Suspend Acknowledge	フィールド自体設定なし
Resume Notification	フィールド自体設定なし
Resume Acknowledge	フィールド自体設定なし

(7) Sequence Number

Sequence Number フィールドは GTPv2-C の Request Message と Response Message を対応付けるために使用される。Request を受信した装置は Response を返信する際に Request に設定された Sequence Number をコピーし、Response の Sequence Number に設定する。Sequence Number の構成を図 3.1-3 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Sequence Number (1 st Octet)							
2	Sequence Number (2 nd Octet)							
3	Sequence Number (3 rd Octet)							

図 3.1-3 Sequence Number の構成

3. 2 GTPv2-C パケット Payload

GTPv2-C の各 Message Type の Payload に設定されるパラメータを以下に示す表 3.2-1 の形式で表現する。

表 3.2-1 GTPv2-C の各 Message Type の Payload に設定されるパラメータの説明

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
パラメータ名を記載	以下の何れかを記載する M:(Mandatory) C:(Conditional) O:(Optional)	以下の何れかを記載する。 F:固定長(Fixed) V:可変長(Variable)	パラメータ情報長をオクテット数で記載する	

(1) Create Session Request

Create Session Request は、直取パケット交換機に対して移動無線装置から接続要求があった際に回線接続を行う為に LTE 直取パケット接続事業者設備へ送信される。

Create Session Request のパラメータを表 3.2-2 に示す。

表 3.2-2 Create Session Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→LTE直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
IMSI	M	F	8	接続要求を行ったユーザの IMSI が設定される
MSISDN	C	F	6	接続要求を行ったユーザの MSISDN が設定される
Mobile Equipment Identity (MEI)	C	F	8	接続要求を行ったユーザの IMEISV が設定される
User Location Information	C	F	13	TAI と ECGI が設定される。
Serving Network	C	F	3	MCC 及び MNC が設定される
RAT Type	M	F	1	移動無線装置が捕捉している RAT Type が設定される
Indication Flags	C	F	3	IPv4 と IPv6 アドレス両方使用時に DAF(Dual Address Bearer)が設定される
Sender F-TEID for Control Plane	M	V	—	直取パケット交換機が GTPv2-C 用に割当てた TEID が設定される
PGW S5/S8 F-TEID for PMIP	C	V	—	未設定
Access Point Name(APN)	M	V	—	移動無線装置がセッション設定処理(Create Session Request)で設定した APN が設

				定される
Selection Mode	C	F	1	移動無線装置が指定した APN を選択したかどうかを設定される
PDN Type	C	F	1	IPv4 IPv6 IPv4v6 の何れかが設定される
PDN Address Allocation(PAA)	C	V		割当てた PDN アドレスが設定される
Maximum APN Restriction	M	F	1	APN の最大規制レベルが設定される
Aggregate MAX Bit Rate(APN-AMBR)	C	F	8	最大転送速度の総計が設定される
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	未設定
Protocol Configuration Options(PCO)	C	V	—	移動無線装置が接続開始時に設定した情報が設定される。
Bearer Contexts to be created	M	V	—	セットアップするベアラ情報が設定される
Bearer Contexts to be removed	C	V	—	未設定
Trace Information	C	F	—	未設定
Recovery	C	F	1	直取パケット交換機が再開した場合にインクリメントして設定される
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
UE Time Zone	C	F	—	未設定
User CSG Information (UCI)	C	V	—	未設定
Charging Characteristics	C	F	—	固定値が設定される。
MME/SGSN LDN	O	V	—	未設定
SGW Local Distinguished Name (LDN)	O	V	—	未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(2) Create Session Response

Create Session Response は、LTE 直取パケット接続事業者設備が直取パケット交換機へ送信するメッセージであり、直取パケット交換機が送信した Create Session Request の返信メッセージとして LTE 直取パケット接続事業者設備から送信される。Create Session Response のパラメータを表 3.2-3 に示す。

表 3.2-3 Create Session Response

方向:LTE直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Requestメッセージ受付結果(許容・非許容)が設定される。
Change Reporting Action	C	F	—	Don't Care
Sender F-TEID for Control Plane	C	V	—	Don't Care
PGW S5/S8 F-TEID for PMIP based interface or for GTP based Control Plane interface	C	V	—	LTE直取パケット接続事業者設備が割当てたGTPv2-C用のTEIDが設定される。但しCauseがRequest Acceptedの場合
PDN Address Allocation (PAA)	C	V	—	割当てたPDNアドレスが設定される
APN Restriction	M	F	1	APNの最大規制レベルが設定される
Aggregate Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	8	最大転送速度の総計が設定される。Create Session Requestで設定した値以外は許容されない。
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	LTE直取パケット接続事業者設備が移動無線装置に対し通知する必要がある情報が設定される。直取パケット交換機は、移動無線装置に対しセッション設定メッセージ(Create Session Response)送信時に透過的に設定する
Bearer Contexts created	M	V	—	セットアップするベアラ情報が設定される。Create Session Requestで設定したQoS情報の変更は許容しない
Bearer Contexts marked for removal	C	V	—	Don't Care
Recovery	C	F	1	設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Charging Gateway Name	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Address	C	V	—	Don't Care
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(3) Delete Session Request

Delete Session Request は、直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者設備間の回線切断を行う為に送信される。移動無線装置主導で回線切断を行う場合、直収パケット交換機からLTE直収パケット接続事業者設備へ Delete Session Request が送信される。Delete Session Request のパラメータを表 3.2-4 に示す。

表 3.2-4 Delete Session Request のパラメータ
(直収パケット交換機→LTE直収パケット接続事業者設備)

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	C	V	—	未設定
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	1	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
User Location (ULI)	C	V	—	未設定
Indication Flags	C	F	—	All ゼロで設定する。
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V	—	移動無線装置が設定した場合は設定される。
Originating Node	C	V	—	未設定
Sender F-TEID for control Plane	O	V	—	未設定
UE Time ZONE	O	F	—	未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(4) Delete Session Response

Delete Session Response は、直収パケット交換機から送信された Delete Session Request に対する応答メッセージである。Delete Session Response のパラメータを表 3.2-5 に示す。

表 3.2-5 Delete Session Response のパラメータ
(LTE直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機)

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Recovery	C	F	1	交換機・設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V	—	LTE直収パケット接続事業者設備が移動無線装置に対し、渡す必要がある情報が設定される。直収パケット交換機は移動無線装置に対してセッション削除処理 (Delete Session

				Response)送信時に透過に設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(5) Delete Bearer Response

Delete Bearer Response は、直収パケット交換機から送信された Delete Bearer Request に対する応答メッセージである。Delete Session Response/Delete Bearer のパラメータを表 3.2-6 に示す。

表 3.2-6 Delete Bearer Response のパラメータ

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	1	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
Bearer Contexts	C	V	—	未設定
Recovery	C	F	1	交換機・設備が再開した場合にインクリメントして設定される
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V		未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(6) Modify Bearer Request

Modify Bearer Request は、通信中に移動無線装置の移動に伴いベアラ情報に変更された場合、直収パケット交換機から LTE 直収パケット接続事業者設備に対し、Modify Bearer Request を送信し、ベアラ情報に変更されたことを通知する。Modify Bearer Request のパラメータを表 3.2-7 に示す。

表 3.2-7 Modify Bearer Request のパラメータ

方向:直収パケット交換機→LTE直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
ME Identity (MEI)	C	V	—	未設定
User Location Information (ULI)	C	V	—	未設定
Serving Network	C	F	3	MCC 及び MNC が設定される
RAT Type	C	F	1	移動無線装置が捕捉している RAT Type が設定される

				る
Indication Flags	C	F	—	All ゼロで設定する。
Sender F-TEID for Control Plane	C	V	—	直収パケット交換機が GTPv2-C 用に割当てた TEID が設定される
Aggregate Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	—	未設定
Delay Downlink Packet Notification Request	C	F	—	未設定
Bearer Contexts to be modified	C	V	—	変更するベアラ情報が設定される
Bearer Contexts to be removed	C	V	—	未設定
Recovery	C	F	1	交換機が再開した場合にインクリメントされる
UE Time Zone	C	F	—	未設定
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
Charging Characteristics	C	F	—	固定値が設定される。
Private Extension	O	V	—	未設定

(7) Modify Bearer Response

Modify Bearer Response は、LTE 直収パケット接続事業者設備が直収パケット交換機へ送信するメッセージであり、直収パケット交換機が送信した Modify Bearer Request の返信メッセージとして LTE 直収パケット接続事業者設備から送信される。Modify Bearer Response のパラメータを表 3.2-8 に示す。

表 3.2-8 Modify Bearer Response のパラメータ

方向: LTE 直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
MSISDN	C	F	6	変更要求を行ったユーザの MSISDN が設定される
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	Don't Care
Aggregated Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	—	Don't Care
APN Restriction	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	移動無線装置へベアラ更新処理(Modify Bearer Response)時に透過で設定される
Bearer Contexts modified	C	V	—	変更するベアラ情報が設定される。Modify Bearer Request

				で設定した QoS 情報の変更は許容しない
Bearer Contexts marked for removal	C	V	—	Don't Care
Change Reporting Action	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Name	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Address	C	V	—	Don't Care
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Recovery	C	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(8) Delete Bearer Request

Delete Bearer Request は、直取パケット交換機と LTE 直取パケット接続事業者設備間の回線切断を行う為に送信される。LTE 直取パケット接続事業者設備主導で回線切断を行う場合、LTE 直取パケット接続事業者設備から直取パケット交換機へ送信される。Delete Bearer Request のパラメータを表 3.2-9 に示す。

表 3.2-9 Delete Bearer Request のパラメータ

方向: LTE 直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	—	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
EPS Bearer IDs	C	F	—	Don't Care
Failed Bearer Contexts	O	V	—	Don't Care
Procedure Transaction Id (PTI)	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	LTE 直取パケット接続事業者設備が、移動無線装置に対し渡す必要がある情報が設定される。直取パケット交換機は、移動無線装置に対し、ベアラ切断処理>Delete Bearer Request)送信時に透過で設定される
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Cause	C	V	—	Don't Care

Private Extension	O	V	—	Don't Care
-------------------	---	---	---	------------

(9) Echo Request

Echo Request は、直取パケット交換機と L T E 直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される。Echo Request のパラメータを表 3.2-10 及び表 3.2-11 に示す。

表 3.2-10 Echo Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→L T E 直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

表 3.2-11 Echo Request のパラメータ

方向:L T E 直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(10) Echo Response

Echo Response は、直取パケット交換機と L T E 直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される Echo Request の応答メッセージである。Echo Response のパラメータを表 3.2-12 及び表 3.2-13 に示す。

表 3.2-12 Echo Response のパラメータ

方向:直取パケット交換機→L T E 直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Cause	O	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

表 3.2-13 Echo Response のパラメータ

方向:L T E直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Cause	O	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(1 1) Suspend Notification

Suspend Notification は直取パケット交換機からL T E直取パケット接続事業者設備へユーザデータの転送の一時停止を指示するメッセージである。メッセージにはGTPv2ヘッダのみが設定される。

(1 2) Suspend Acknowledge

Suspend Acknowledge はL T E直取パケット接続事業者設備が直取パケット交換機から受信した Suspend Notification への応答を明示するメッセージである。表 3.2-14 に Suspend Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2-14 Suspend Acknowledge のパラメータ

方向:L T E直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Suspend Notification メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(1 3) Resume Notification

Resume Notification は直取パケット交換機からL T E直取パケット接続事業者設備へユーザデータの転送の再開を指示するメッセージである。表 3.2-15 に Suspend Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2.15 Resume Notification のパラメータ

方向: 直収パケット交換機→L T E直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
IMSI	M	F	8	接続要求を行ったユーザのIMSIが設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(14) Resume Acknowledge

Resume Acknowledge はL T E直収パケット接続事業者設備が直収パケット交換機から受信した Resume Notification への応答を明示するメッセージである。表 3.2-16 に Resume Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2-16 Resume Acknowledge のパラメータ

方向:L T E直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Resume Notification メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(15) Version Not Supported Indication

Version Not Supported Indication は、直収パケット交換機とL T E直収パケット接続事業者設備間で送信側がサポートする最新の GTP v 2 バージョン情報を通知するため双方から GTP v 2 ヘッダのみを送信する。

4 GTPv1-U 接続

4.1 概説

本章では当社直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者装置間のユーザデータ転送プロトコルに関する仕様を規定する。直収パケット交換機～LTE直収パケット接続事業者設備間のユーザデータ転送プロトコルはGTPv1-Uプロトコルを用いてデータ転送を行います。本プロトコルはアクセス制御としてGTPv2-Cプロトコルを用いた場合のユーザデータ転送接続で使用される。

4.2 プロトコルスタック

直収パケット交換機～LTE直収パケット接続事業者設備間のプロトコルスタックを図4.2-1に示す。

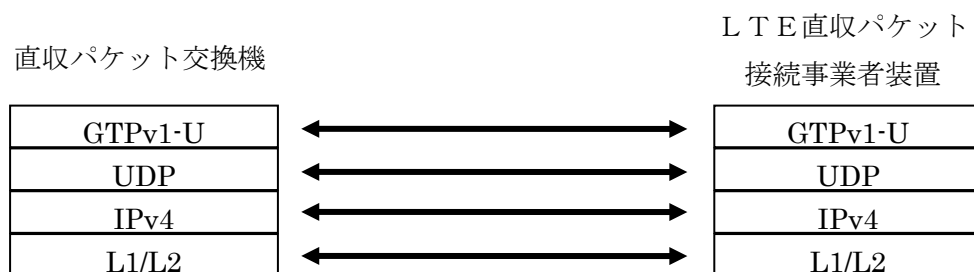


図 4.2-1 直収パケット交換機～LTE直収パケット接続事業者設備間のプロトコルスタック

4.3 適用規定

直収パケット交換機～LTE直収パケット接続事業者設備間で使用するGTPv1-Uは3GPP TS.29.281 v9.3.0に準拠する。

5 ユーザデータ転送機能概要

5.1 概説

ユーザデータ転送プロトコルは、直取パケット交換機～L T E直取パケット接続事業者装置において GTPv1-U プロトコルを用いてユーザデータの転送を行う為のメッセージを規定する。ユーザデータ転送に関する機能は以下の3つの機能で構成される。

- (ア) ユーザデータ転送処理
- (イ) エラーデータ処理
- (ウ) ノード監視処理

5.2 コネクション

直取パケット交換機～L T E直取パケット接続事業者装置間で規定するユーザデータ転送プロトコルは GTPv1-U プロトコルを用いる為、下位層に UDP を使用する。その為、コネクションの確立・切断は行わない。

(1) タイマ、メッセージ再送回数

GTPv1-U インタフェースのタイマ、メッセージ再送回数は協議の上決定することとする。

5.3 ユーザデータ転送処理

(1) 処理概要

GTPv2-C を使用して回線接続を行った後、直取パケット交換機は、移動無線装置からユーザデータを受信すると接続処理においてL T E直取パケット接続事業者設備に払出された GTPv1-U 用の TEID を付与した G-PDU メッセージにカプセル化を行いL T E直取パケット接続事業者設備に転送する。また、L T E直取パケット接続事業者設備から接続処理において直取パケットで払出した GTPv1-U 用の TEID を付与した G-PDU メッセージでカプセル化されたユーザデータを受信すると移動無線装置との間に接続処理時に設定された回線に対してユーザデータを転送する。

(2) ユーザデータ転送処理対象メッセージ

直取パケット交換機～L T E直取パケット接続事業者設備間で使用するユーザデータ転送処理対象メッセージを表 5.3-1 に示す。

表 5.3-1 ユーザデータ転送対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
G-PDU	直取パケット交換機⇄L T E直取パケット接続事業者設備	

5. 4 エラーデータ処理

(1) 処理概要

直収パケット交換機は、G-PDU 受信時に送信元 IP アドレスと TEID の組合せが、記憶した組合せと同じかをチェックする。記憶した内容と異なれば回線を切断済みと判断し、G-PDU の送信元 IP アドレスに対して Error indication を送信する。Error Indication を受信した L T E 直収パケット接続事業者設備は、Error Indication 受信時に該当 IP アドレスと TEID の組合せを持つ回線を切断する。

L T E 直収パケット接続事業者設備は、G-PDU 受信時に送信元 IP アドレスと TEID の組合せが記憶した組合せと同じかチェックを行う。記憶した内容と異なれば回線を切断済みと判断し、G-PDU の送信元 IP アドレスに対して Error Indication を送信する。Error Indication を受信した直収パケット交換機は、Error Indication 受信時に当該 IP アドレスと TEID の組合せ持つ回線を切断する。

(2) エラーデータ処理対象メッセージ

直収パケット交換機～L T E 直収パケット接続事業者設備間で使用するエラーデータ処理対象メッセージを表 5.4-1 に示す。

表 5.4-1 エラーデータ処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Error Indication	直収パケット交換機⇄L T E 直収パケット接続事業者設備	

5. 5 ノード監視処理

(1) 処理概要

直収パケット交換機～L T E 直収パケット接続事業者設備間で双方向に相手ノードの正常性確認の為、GTP Echo を使用してヘルスチェックを行う。GTPv1-U 処理部の正常性を確認する為、GTPv1-U 用のノード IP アドレスを使用してメッセージ送受を行う。双方向で確認を行うため、双方のノードがそれぞれ Echo Request を送信し、受信側は正常であれば、Echo Response を返信する。GTP-U Echo の送受は当社若しくは当社及び特定 BWA 事業者と L T E 直収パケット接続事業者との協議で決定する。

(ア) 直収パケット交換機が L T E 直収パケット接続事業者設備を監視

直収パケット交換機は、L T E 直収パケット接続事業者設備の正常性を確認する為、L T E 直収パケット接続事業者設備への接続が確立したことを契機に Echo Request の送信を開始する。送信間隔は別途協議の上、決定する。

(イ) L T E 直収パケット接続事業者設備が直収パケット交換機を監視

L T E 直収パケット接続事業者設備は、直収パケット交換機の正常性を確認する為

Echo Request の送信を行う。送信間隔は別途協議の上、決定する。

(2) タイムアウト時の処理

(ア) L T E直取パケット接続事業者設備から Echo Request が返信されなかった場合
直取パケット交換機は、別途協議の上決定した回数の Echo Request 再送を行う。
リトライアウト後は、該当のL T E直取パケット接続事業者設備と通信中の回線を切
断する。また、以降該当設備への Echo Request 送信を停止する。再度該当設備への
Echo Request を送信契機は、該当ノードへの新たな回線接続が行われ、GTPv1-U
パケットが疎通した時となる。

(イ) 直取パケット交換機から Echo Response が返信されなかった場合
必要回数リトライを行いリトライアウト後にL T E直取パケット接続事業者設備内
で該当直取パケット交換機と接続を行っている回線を切断する。

(3) ノード監視処理対象メッセージ

直取パケット交換機～L T E直取パケット接続事業者設備間で使用するノード監視処理対
象メッセージを表 5.5-1 に示す。

表 5.5-1 ノード監視処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Echo Request	直取パケット交換機⇄L T E直取パケット接続事業 者設備	
Echo Response	直取パケット交換機⇄L T E直取パケット接続事業 者設備	

6 GTPv1-U パケット

本章記載において特に記述が無い場合は GTPv1-U 標準 3GPP TS29.281v9.3.0 に準拠する。

6.1 GTPv1-U パケット構成

GTPv1-U パケットは、Version、Protocol Type、Extension Header flag、Sequence number flag、N-PDU Number flag、MessageType、Length、TEID、Sequence Number、N-PDU Number、Next Extension Header からなる共通部分と、信号毎に異なるパラメータを設定する情報要素部分から構成される。

GTPv1-U パケットの構成を図 6.1-1 に示す。

Octets	Bits						
	8	7	6	5	4	3	2
1	Version		PT	(*)	E	S	PN
2	Message Type						
3	Length (1 st Octet)						
4	Length (2 nd Octet)						
5	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)						
6	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)						
7	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)						
8	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)						
9	Sequence Number (1 st Octet) ^{1) 4)}						
10	Sequence Number (2 nd Octet) ^{1) 4)}						
11	N-PDU Number ^{2) 4)}						
12	Next Extension Header Type ^{3) 4)}						
13	Payload						

図 6.1-1 GTP-U パケットの構成

(*) 予備ビット。“0”で設定される。受信側では Don't Care

- 1) “S” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 2) “PN” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 3) “E” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 4) “S”、“PN”、“E” フラグの何れか一つ以上でもセットされる場合に限り、このフィールドは存在する。

(1) Version(バージョン)

直収パケット交換機とLTE直収パケット接続事業者設備間で使用されるGTPノード監視処理対象メッセージを表 6.1-1 に示す。

表 6.1-1 Version 設定値

Bit 位置			情報内容	備考
8	7	6		
0	0	0	GTP version0	非サポート
0	0	1	GTP version1	サポート

(2) PT(プロトコルタイプ)

直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者設備間で使用されるGTPのプロトコルタイプを示す。GTPのみをサポートする。PT設定値を表6.1-2に示す。

表 6.1-2 PT 設定値

Bit 位置	情報内容	備考
5		
0	GTP'	非サポート
1	GTP	サポート

(3) E(拡張ヘッダフラグ)

拡張ヘッダフラグの有無を示す。直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者設備間では拡張ヘッダを使用しない。拡張ヘッダ設定値を表6.1-3に示す。

表 6.1-3 拡張ヘッダフラグ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
3		
0	拡張ヘッダが存在しない	サポート
1	拡張ヘッダが存在する	非サポート

(4) S(シーケンスナンバフラグ)

シーケンスナンバの有無を示す。直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者設備間ではシーケンスナンバを使用しない。但し、Echo Request, Echo Response, Error Indication メッセージでは“1”を使用する。シーケンスナンバフラグ設定値を表6.1-4に示す。

表 6.1-4 シーケンスナンバ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
2		
0	シーケンスナンバが存在しない	サポート
1	シーケンスナンバが存在する	サポート

(5) PN(N-PDU ナンバフラグ)

N-PDU ナンバフラグの有無を示す。直取パケット交換機とLTE直取パケット接続事業者設備間ではN-PDU ナンバを使用しない。N-PDU ナンバフラグ設定値を表6.1-5に示す。

表 6.1-5 N-PDU ナンバ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
1		
0	N-PDU ナンバが存在しない	サポート

1	N-PDU ナンバが存在する	非サポート
---	----------------	-------

(6) Message Type

Message Type フィールドは、GTPv1-U パケットタイプを識別する。直収パケット交換機はサポート外の Message Type を持つ GTPv1-U パケットを受信した場合、信号を破棄する。直収パケット交換機でサポートする GTPv1-U パケットメッセージ種別を表 6.1-6 に示す。

表 6.1-6 GTPv1-U パケットの Message Type 一覧

Message Type value (Decimal)	Message	備考
1	Echo Request	サポート
2	Echo Response	サポート
26	Error Indication	サポート
31	Supported Extension Headers Notification	サポート
255	G-PDU	サポート

(7) Length

Length フィールドは Payload 長を示す。

(8) TEID

TEID フィールドは回線接続時もしくは直収パケット交換機変更時に直収パケット交換機及びLTE直収パケット接続事業者設備でユニークに払出される回線を識別する番号である。直収パケット交換機で払出した GTPv1-U 用の TEID は、Create Session Request の Payload 部の「S5/S8-U SGW F-TEID」に、直収パケット交換機変更時は、Modify Bearer Request の Payload 部の「S5/S8-U SGW F-TEID」に設定され、LTE直収パケット接続事業者ノードに送られる。

LTE直収パケット接続事業者設備で払出された GTPv1-U 用の TEID は、Create Session Response の Payload 部の「S5/S8-U PGW F-TEID」に、直収パケット交換機変更時は Modify Bearer Response の Payload 部の「S5/S8-U PGW F-TEID」に設定し、直収パケット交換機に送られる。TEID の構成を図 6.1-2 に設定値を表 6.1-7 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
2	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
3	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
4	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							

図 6.1-2 TEID の構成図

表 6.1-7 TEID の設定値

メッセージ名	設定値
G-PDU	送信先のノードが回線接続処理時に払出した GTPv1-U 用 TEID が設定される
Error indication	0 が設定される
Echo Request	0 が設定される
Echo Response	0 が設定される

(9) Sequence Number

Sequence Number フィールドは、GTPv1-U の Echo Request Message と Response Message を対応付けさせる為にトランザクション ID として使用される。Request 受信後に Response を返信する際に Request に設定された Sequence Number をコピーして Response の Sequence Number に設定する。Sequence Number の構成を図 6.1-3 に示す。

		Bits							
Octets		8	7	6	5	4	3	2	1
1		Sequence Number (1 st Octet)							
2		Sequence Number (2 nd Octet)							

図 6.1-3 Sequence Number の構成

(10) N-PDU Number

N-PDU Number フィールドは、使用しない為 “0” を設定する。Sequence Number が設定されていない場合は、本フィールド自体が存在しない。

(11) Next Extension Header Type

Next Extension Header Type フィールドは、Extension フィールドを設定しない為、“0” を設定する。Sequence Number が設定されていない場合は、本フィールド自体が存在しない。

6. 2 GTPv1-U パケット Payload

GTPv1-U の Payload に設定されるパラメータを以下に示す表 6.2-1 の形式で表現する。

表 6.2-1 GTPv1-U の Payload に設定されるパラメータの説明

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
パラメータ名を記載	以下の何れかを記載する M:(Mandatory) C:(Conditional) O:(Optional)	以下の何れかを記載する。 F:固定長(Fixed) V:可変長(Variable)	パラメータ情報長をオクテット数で記載する	

(1) Echo Request

Echo Request は、直取パケット交換機と L T E 直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される。Echo Request のパラメータを表 6.2-2 及び表 6.2-3 に示す。

表 6.2-2 Echo Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→L T E 直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Private Extension	0	V		未設定

表 6.2-3 Echo Request のパラメータ

方向:L T E 直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Private Extension	0	V		Don't Care

(2) Echo Response

Echo Response は、直取パケット交換機と L T E 直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される Echo Request の応答メッセージである。Echo Response のパラメータを表 6.2-4 及び表 6.2-5 に示す。

表 6.2-4 Echo Response のパラメータ

方向:直取パケット交換機→L T E 直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	0 が設定される
Private Extension	0	V		未設定

表 6.2-5 Echo Response のパラメータ

方向:L T E直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	Don't Care
Private Extension	0	V		Don't Care

(3) Supported Extension Headers Notification

Supported Extension Headers Notification は、サポートする Extension ヘッダのリストを通知する為に使用される。Supported Extension Headers Notification のパラメータを表 6.2-6 に示す。

表 6.2-6 Supported Extension Headers Notification のパラメータ

方向:直取パケット交換機⇔L T E直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Supported Extension Headers Notification	M	V		Extension ヘッダタイプのリストが設定される。

(4) Error indication

Error indication は、回線接続時に記憶した接続先ノードの IP アドレスと TEID の組合せと異なる G-PDU メッセージを受信した場合に G-PDU 送信ノードに対して送信される。Error indication のパラメータを表 6.2-7 に示す。

表 6.2-7 Error indication のパラメータ

方向:直取パケット交換機⇔L T E直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Tunnel Endpoint Identifier Data I	M	F	4	G-PDU 受信時に設定されていた TEID が設定される
GTP-U Peer Address	M	F	4	G-PDU 受信時に設定されていた宛先 IP アドレスが設定される
Private Extension	0	V		未設定

(5) G-PDU

G-PDU は、接続した回線でユーザデータをカプセル化して転送する為に使用される。G-PDU のパラメータを表 6.2-8 に示す。

表 6.2-8 G-PDU のパラメータ

方向:直収パケット交換機⇔L T E直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定 種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
ユーザデータ	M	V		移動無線装置が送受信する IP パケットがカプセル化されて設 定される

技術的条件集別表 11 の 3

対パケットデータ直収ユーザインタフェース仕様
(5G(NSA)方式)

技術的条件集別表-11の3 対パケットデータ直取ユーザインタフェース仕様 (5G(NSA)方式)

1 概説

本別表は、当社若しくは当社及び特定BWA事業者の網と5G(NSA方式)直取パケット接続事業者網間インタフェースにおけるプロトコル仕様を規定する。

1.1 規定範囲

本別表は、対パケットデータ直取5G(NSA方式)接続に関する当社若しくは当社及び特定BWA事業者の移動無線パケット交換～5G(NSA方式)直取パケット接続事業者ノード間のプロトコルに関する仕様を規定する。

1.2 システム構成

対パケットデータ直取5G(NSA方式)接続に関するシステム構成図(概略)を以下に示す。接続プロトコルとしてGTPv2-Cを使用する場合を図1.2-1に示す。

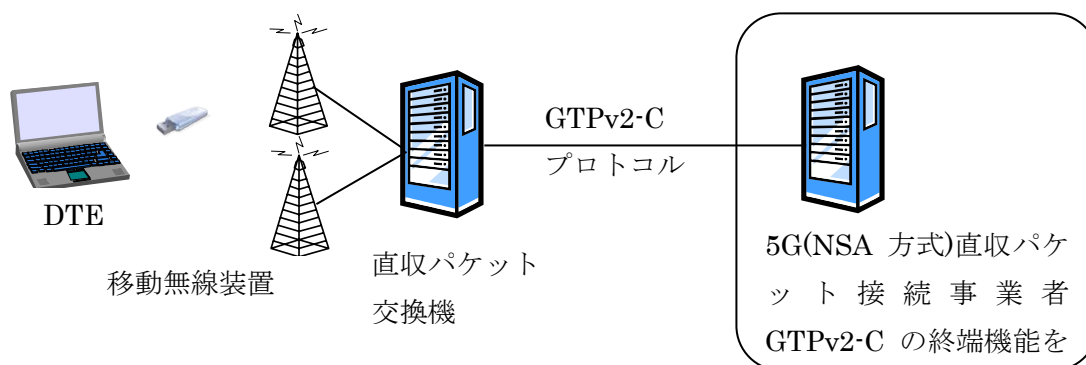


図 1.2-1 システム構成図 (GTPv2-C 接続)

1.3 プロトコルスタック

1.2に示したシステム構成におけるプロトコルスタックを以下に示す。

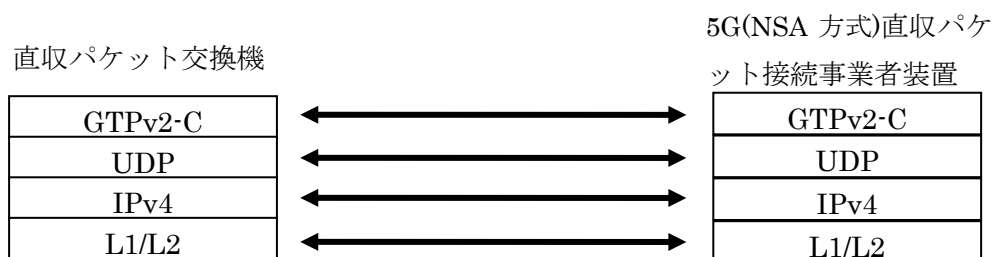


図 1.3-2 直取パケット交換機-5G(NSA方式)直取パケット接続事業者装置間のプロトコルスタック (GTPv2-C)

1. 4 プロトコル適用規定

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直収パケット交換機と5G(NSA)直収パケット接続事業者の設置する装置間で使用するプロトコルは以下の表 1.4-1 に示す標準に準拠しています。

表 1.4-1 直収パケット交換機－5G(NSA)直収パケット接続事業者設備間の通信プロトコル

システム構成	プロトコル
GTPv2-C 接続	3GPP TS29.274 v15.3.0
GTPv1-U 接続	3GPP TS29.281v 15.2.0

※当社若しくは当社及び特定BWA事業者の網では GTPv1-C での接続は提供しない。

GTPv2-C 接続においては TS 29.212 Rel.15 のビットレート拡張 (AMBR/MBR/GBR) をサポートしています。

2 GTPv2-C 接続

2.1 概説

本章では当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直取パケット交換機と5G(NSA方式)直取パケット接続事業者装置間の接続プロトコルとしてGTPv2-Cを使用する場合のメッセージ処理を規定する。GTPv2-C接続では以下の7つの機能で構成される。

- (ア)セッション設定機能(Create Session Request/Create Session Response)
- (イ)セッション削除機能>Delete Session Request/Delete Session Response)
- (ウ)ベアラ更新機能(Modify Bearer Request/Modify Bearer Response)
- (エ)ベアラ切断機能>Delete Bearer Request/Delete Bearer Response)
- (オ)ノード監視機能(Echo Request/Echo Response)
- (カ)サスペンド通知機能 (Suspend Notification/Acknowledge)
- (キ)レジューム通知機能 (Resume Notification/Acknowledge)

2.2 コネクション

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直取パケット交換機—5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備間でGTPv2-Cプロトコルを用いる場合、下位層にUDPを使用する。このため、コネクションの確立・切断は行わない。

(1) タイマ及びリクエスト送信回数

当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直取パケット交換機と5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備間で送受するGTPv2-Cプロトコルのタイマ、メッセージ再送回数は協議の上、決定することとする。

2.3 セッション設定機能(Create Session Request/Create Session Response)

(1) 処理概要

移動無線装置より接続要求された場合、直取パケット交換機より、5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備に対してCreate Session Requestを送信する。Create Session Requestを受信した5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備は、Create Session Requestの情報要素により、接続可否判定を行う。接続を許容する場合には、5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備より直取パケット交換機に対してCreate Session Responseを送信する。Create Session Responseを受信した直取パケット交換機では接続応答を移動無線装置へ送信することにより、回線を接続する。接続を非許容にする場合には接続非許容を示すCause Valueを設定したCreate Session Responseを送信する。

(2) セッション設定処理対象メッセージ

直取パケット交換機—5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション設

定処理対象メッセージを表 2.3-1 に示す。

表 2.3-1 セッション設定処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Create Session Request	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	
Create Session Response	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	

2. 4 セッション削除機能>Delete Session Request/Delete Session Response)

(1) 処理概要

移動無線装置より回線切断が要求された場合、直取パケット交換機より、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Delete Session Request を送信する。Delete Session Request を受信した 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、切断に必要な処理を実施し、直取パケット交換機に対し、Delete Session Response を送信する。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Delete Session Request を送信後、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より Delete Session Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Delete Session Request の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止し、移動無線装置との回線を切断する。

(3) セッション削除処理メッセージ

直取パケット交換機-5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.4-1 に示す。

表 2.4-1 セッション削除処理メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Delete Session Request	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	
Delete Session Response	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	

2. 5 ベアラ更新機能(Modify Bearer Request/Modify Bearer Response)

(1) 処理概要

通信中に移動無線装置の移動に伴いベアラ情報が変更された場合、直取パケット交換機から 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対し、Modify Bearer Request を送

信し、ベアラ情報が更新されたことを通知する。5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、変更処理を実施直後直取パケット交換機に対し、Modify Bearer Response を返信する。また、ベアラ更新通知は移動無線装置が音声通信機能を有し、音声通話が終了したことを契機に 5G(NSA 方式)網へアクセスする場合に送信される場合がある。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Modify Bearer Request を送信後、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より Modify Bearer Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Modify Bearer Request の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止し、移動無線装置との回線を切断する。

(3) ベアラ更新処理メッセージ

直取パケット交換機—5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するベアラ更新処理対象メッセージを表 2.5-1 に示す。

表 2.5-1 ベアラ更新処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Modify Bearer Request	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	
Modify Bearer Response	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	

2. 6 ベアラ切断機能>Delete Bearer Request/Delete Bearer Response)

(1) 処理概要

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より接続終了を要求する場合、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より直取パケット交換機に対して Delete Bearer Request を送信する。Delete Bearer Request を受信した直取パケット交換機は、切断に必要な処理を実施し、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対し、Delete Bearer Response を送信する。

(2) ベアラ切断処理対象メッセージ

直取パケット交換機—5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するベアラ切断処理メッセージを表 2.6-1 に示す。

表 2.6-1 ベアラ切断処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Delete Bearer Request	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット	

	接続事業者設備	
Delete Bearer Response	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	

2. 7 ノード監視機能(Echo Request/Echo Response)

(1) 処理概要

直取パケット交換機—5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で双方向に相手ノードの正常性確認のため GTP Echo を使用してヘルスチェックを行う。GTPv2-C 処理部の正常性を確認する為、GTPv2-C 用のノード IP アドレスを使用して信号送受信を行う。双方向で確認を行う為、双方のノードがそれぞれ Echo Request を送信し、受信側は正常であれば、Echo Response を返信する。

(ア) 直取パケット交換機が 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備を監視

直取パケット交換機は、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備の正常性を確認する為、5G(NSA

方式)直取パケット接続事業者設備への接続を 1 つ以上保持している場合に Echo Request を送信する。

送信間隔は別途協議の上、決定することとする。

(イ) 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者ノードが直取パケット交換機を監視

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、直取パケット交換機の正常性を確認する為、Echo Request を送信する。送信間隔は別途協議の上、決定することとする。

(2) タイムアウト処理

(ア) 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備から Echo Response が返信されなかった場合

直取パケット交換機から、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Echo Request を送信後、

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より Echo Response が返信されないことにより、直取パケット

交換機にてタイムアウトが発生した場合、当該 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備と通信中の回線

を切断する。再度当該設備へ Echo Request を送信再開する契機は、当該ノードへの新たな回線接続が行わ

れたときとなる。

(イ) 直取パケット交換機から Echo Response が返信されなかった場合

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備から直取パケット交換機に対して Echo Request を送信後、

直取パケット交換機より Echo Response が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウト

が発生した場合、別途協議したリトライを実施する。さらにリトライアウト後は当該 5G(NSA 方式)直取

パケット接続事業者設備内で当該直取パケット交換機と接続を行っている回線を切断する。

(3) ノード監視処理メッセージ

直取パケット交換機–5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション 削除処理対象メッセージを表 2.7-1 に示す。

表 2.7-1 ノード監視処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Echo Request	直取パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	
Echo Response	直取パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	

2. 8 サスペンド通知機能 (Suspend Notification/Suspend Acknowledge)

(1) 処理概要

移動無線装置が音声通信機能を有し、音声発着信が発生した場合に直取パケット交換機から 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備にデータ転送を一時的に停止することを指示する機能。5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備はサスペンド通知を受信した場合は、直ちに移動無線装置へのパケット送信を停止し、直取パケット交換機に対して Suspend Acknowledge を送信する。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Suspend Notification を送信後、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より Suspend Acknowledge が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Suspend Notification の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止する。

(3) サスペンド通知対象メッセージ

直取パケット交換機–5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション 削除処理対象メッセージを表 2.8-1 に示す。

表 2.8-1 サスペンド通知対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Suspend Notification	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット	

	接続事業者設備	
Suspend Acknowledge	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	

2. 9 レジューム通知機能(Resume Notification/Resume Acknowledge)

(1) 処理概要

移動無線装置が音声通信機能を有し、音声通話が終了した場合に直取パケット交換機から5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備にデータ転送を復帰することを指示する機能。5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備はレジューム通知を受信した場合は、直ちにサスペンド状態を解除し、直取パケット交換機に対して Resume Acknowledge を送信する。

(2) タイムアウト処理

直取パケット交換機から、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備に対して Resume Notification を送信後、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備より Resume Acknowledge が返信されないことにより、直取パケット交換機にてタイムアウトが発生した場合、Resume Notification の再送を実施する。さらにリトライアウトした場合は送信を停止する。

(3) レジューム通知対象メッセージ

直取パケット交換機—5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するセッション削除処理対象メッセージを表 2.9-1 に示す。

表 2.9-1 レジューム通知対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Resume Notification	直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	
Resume Acknowledge	直取パケット交換機←5G(NSA 方式)直取パケット 接続事業者設備	

3 GTPv2-C パケット

本章記載において、特に記述が無い場合は GTPv2-C 標準 3GPP TS29.274 v15.3.0 に準拠するものとする。

3.1 GTPv2-C パケット構成

GTPv2-C パケットは、Version、Protocol Type、TEID flag、Message Type、Message Length、TEID、Sequence Number からなる共通部分と、信号毎に異なるパラメータを設定する情報要素部分から構成される。GTPv2-C パケットの構成を図 3.1-1 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Version		P	T	Spare	Spare	Spare	
2	Message Type							
3	Message Length (1 st Octet)							
4	Message Length (2 nd Octet)							
5	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
6	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
7	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
8	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							
9	Sequence Number (1 st Octet)							
10	Sequence Number (2 nd Octet)							
11	Sequence Number (3 rd Octet)							
12	Spare							
13	Payload							

図 3.1-1 GTPv2-C のパケット構成

(1) Version (バージョン)

直収パケット交換機と 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備で使用される GTP のバージョンを示す。GTP version2 のみ使用可能である。Version 設定値を表 3.1-1 に示す。

表 3.1-1 Version 設定値

Bit 位置			情報内容	備考
8	7	6		
0	0	0	GTP version0	非サポート
0	0	1	GTP version1	非サポート
0	1	0	GTP version2	サポート

(2) P(Piggybacking flag)

直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備で使用される GTP プロトコルでの Piggybacking 有無を示す。本インタフェース仕様では 0 のみ使用する。P(Piggybacking flag)設定値を表 3.1-2 に示す。

表 3.1-2 P(Piggybacking flag)設定値

Bit 位置	情報内容	備考
5		
0	Piggybacking なし	サポート
1	Piggybacking あり	非サポート

(3) T(TEID flag)

TEID の有無を示す。直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間では、Echo Request、Echo Response、Version Not Supported Indication メッセージの GTP ヘッダには TEID は設定されない。T(TEID flag)設定値を表 3.1-3 に示す。

表 3.1-3 T(TEID flag)設定値

Bit 位置	情報内容	備考
4		
0	TEID なし	サポート
1	TEID あり	サポート

(4) Message Type

Message Type フィールドは GTPv2-C パケットのタイプを識別する。直取パケット交換機はサポート外の Message Type が設定された GTPv2-C を受信した場合、信号を破棄或いはエラー応答する。直取パケット交換機でサポートする GTPv2-C パケットの Message Type を表 3.1-4(次ページ)に示す。

(5) Message Length

Length フィールドは GTPv2-C ヘッダの mandatory part(最初の 4octets)を除くパケットの Payload 長を示す。

(6) TEID

TEID フィールドは回線接続時もしくは直取パケット交換機変更時に直取パケット交換機及び 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備でユニークに払出される回線を識別する番号である。直取パケット交換機で払出した GTPv2-C 用の TEID は、Create Session Request の Payload 部の「Sender F-TEID for Control Plane」に、直取パケット交換機変更時は、Modify Bearer Request の Payload 部の「Sender F-TEID for Control Plane」に設定され、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者ノードに送られる。

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備で払出された GTPv2-C 用の TEID は、Create Session Response の Payload 部の「PGW S5/S8 F-TEID for PMIP based interface or for GTP based Control Plane interface」に設定し、直取パケット交換機に送られる。TEID の構成を図 3.1-2 に設定値を表 3.1-5 に示す。

表 3.1-4 GTPv2-C Message Type の一覧

Message Type value	Message Name	備考
1	Echo Request	サポート
2	Echo Response	サポート
3	Version Not Supported Indication	サポート
32	Create Session Request	サポート
33	Create Session Response	サポート
34	Modify Bearer Request	サポート
35	Modify Bearer Response	サポート
36	Delete Session Request	サポート
37	Delete Session Response	サポート
38	Change Notification Request	非サポート
39	Change Notification Response	非サポート
64	Modify Bearer Command	非サポート
65	Modify Bearer Failure Indication	非サポート
66	Delete Bearer Command	非サポート
67	Delete Bearer Failure Indication	非サポート
68	Bearer Resource Command	非サポート
69	Bearer Resource Failure Indication	非サポート
71	Trace Session Activation	非サポート
72	Trace Session Deactivation	非サポート
95	Create Bearer Request	非サポート
96	Create Bearer Response	非サポート
97	Update Bearer Request	非サポート
98	Update Bearer Response	非サポート
99	Delete Bearer Request	サポート
100	Delete Bearer Response	サポート
101	Delete PDN Connection Set Request	非サポート
102	Delete PDN Connection Set Response	非サポート
162	Suspend Notification	サポート
163	Suspend Acknowledge	サポート
164	Resume Notification	サポート
165	Resume Acknowledge	サポート
200	Update PDN Connection Set Request	非サポート
201	Update PDN Connection Set Response	非サポート

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
2	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
3	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
4	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							

図 3.1-2 TEID の構成

表 3.1-5 TEID 設定値

メッセージ名	設定値
Create Session Request	0 が設定
Create Session Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Session Request	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Delete Session Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Modify Bearer Request	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Modify Bearer Response	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Bearer Request	直収パケット交換機が払出した TEID が設定
Delete Bearer Response	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が払出した TEID が設定
Echo Request	フィールド自体設定なし
Echo Response	フィールド自体設定なし
Suspend Notification	フィールド自体設定なし
Suspend Acknowledge	フィールド自体設定なし
Resume Notification	フィールド自体設定なし
Resume Acknowledge	フィールド自体設定なし

(7) Sequence Number

Sequence Number フィールドは GTPv2-C の Request Message と Response Message を対応付けるために使用される。Request を受信した装置は Response を返信する際に Request に設定された Sequence Number をコピーし、Response の Sequence Number に設定する。Sequence Number の構成を図 3.1-3 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Sequence Number (1 st Octet)							
2	Sequence Number (2 nd Octet)							
3	Sequence Number (3 rd Octet)							

図 3.1-3 Sequence Number の構成

3. 2 GTPv2-C パケット Payload

GTPv2-C の各 Message Type の Payload に設定されるパラメータを以下に示す表 3.2-1 の形式で表現する。

表 3.2-1 GTPv2-C の各 Message Type の Payload に設定されるパラメータの説明

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
パラメータ名を記載	以下の何れかを記載する M:(Mandatory) C:(Conditional) O:(Optional)	以下の何れかを記載する。 F:固定長(Fixed) V:可変長(Variable)	パラメータ情報長をオクテット数で記載する	

(1) Create Session Request

Create Session Request は、直取パケット交換機に対して移動無線装置から接続要求があった際に回線接続を行う為に 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備へ送信される。Create Session Request のパラメータを表 3.2-2 に示す。

表 3.2-2 Create Session Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
IMSI	M	F	8	接続要求を行ったユーザの IMSI が設定される
MSISDN	C	F	6	接続要求を行ったユーザの MSISDN が設定される
Mobile Equipment Identity (MEI)	C	F	8	接続要求を行ったユーザの IMEISV が設定される
User Location Information	C	F	13	TAI と ECGI が設定される。
Serving Network	C	F	3	MCC 及び MNC が設定される
RAT Type	M	F	1	移動無線装置が捕捉している RAT Type が設定される
Indication Flags	C	F	3	IPv4 と IPv6 アドレス両方使用時に DAF(Dual Address Bearer)が設定される
Sender F-TEID for Control Plane	M	V	—	直取パケット交換機が GTPv2-C 用に割当てた TEID が設定される
PGW S5/S8 F-TEID for PMIP	C	V	—	未設定
Access Point Name(APN)	M	V	—	移動無線装置がセッション設定処理(Create Session Request)で設定した APN が設

				定される
Selection Mode	C	F	1	移動無線装置が指定した APN を選択したかどうかを設定される
PDN Type	C	F	1	IPv4 IPv6 IPv4v6 の何れかが設定される
PDN Address Allocation(PAA)	C	V		割当てた PDN アドレスが設定される
Maximum APN Restriction	M	F	1	APN の最大規制レベルが設定される
Aggregate MAX Bit Rate(APN-AMBR)	C	F	8	最大転送速度の総計が設定される
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	未設定
Protocol Configuration Options(PCO)	C	V	—	移動無線装置が接続開始時に設定した情報が設定される。
Bearer Contexts to be created	M	V	—	セットアップするベアラ情報が設定される
Bearer Contexts to be removed	C	V	—	未設定
Trace Information	C	F	—	未設定
Recovery	C	F	1	直取パケット交換機が再開した場合にインクリメントして設定される
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
UE Time Zone	C	F	—	未設定
User CSG Information (UCI)	C	V	—	未設定
Charging Characteristics	C	F	—	固定値が設定される。
MME/SGSN LDN	O	V	—	未設定
SGW Local Distinguished Name (LDN)	O	V	—	未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(2) Create Session Response

Create Session Response は、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備が直取パケット交換機へ送信するメッセージであり、直取パケット交換機が送信した Create Session Request の返信メッセージとして 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備から送信される。Create Session Response のパラメータを表 3.2-3 に示す。

表 3.2-3 Create Session Response

方向: 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージ受付結果(許容・非許容)が設定される。
Change Reporting Action	C	F	—	Don't Care
Sender F-TEID for Control Plane	C	V	—	Don't Care
PGW S5/S8 F-TEID for PMIP based interface or for GTP based Control Plane interface	C	V	—	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が割当てた GTPv2-C 用の TEID が設定される。但し Cause が Request Accepted の場合
PDN Address Allocation (PAA)	C	V	—	割当てた PDN アドレスが設定される
APN Restriction	M	F	1	APN の最大規制レベルが設定される
Aggregate Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	8	最大転送速度の総計が設定される。Create Session Request で設定した値以外は許容されない。
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が移動無線装置に対し通知する必要がある情報が設定される。直収パケット交換機は、移動無線装置に対しセッション設定メッセージ(Create Session Response)送信時に透過的に設定する
Bearer Contexts created	M	V	—	セットアップするベアラ情報が設定される。Create Session Request で設定した QoS 情報の変更は許容しない
Bearer Contexts marked for removal	C	V	—	Don't Care
Recovery	C	F	1	設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Charging Gateway Name	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Address	C	V	—	Don't Care
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(3) Delete Session Request

Delete Session Request は、直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間の回線切断を行う為に送信される。移動無線装置主導で回線切断を行う場合、直取パケット交換機から 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備へ Delete Session Request が送信される。Delete Session Request のパラメータを表 3.2-4 に示す。

表 3.2-4 Delete Session Request のパラメータ

(直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備)

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	C	V	—	未設定
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	1	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
User Location (ULI)	C	V	—	未設定
Indication Flags	C	F	—	All ゼロで設定する。
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V	—	移動無線装置が設定した場合は設定される。
Originating Node	C	V	—	未設定
Sender F-TEID for control Plane	O	V	—	未設定
UE Time ZONE	O	F	—	未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(4) Delete Session Response

Delete Session Response は、直取パケット交換機から送信された Delete Session Request に対する応答メッセージである。Delete Session Response のパラメータを表 3.2-5 に示す。

表 3.2-5 Delete Session Response のパラメータ

(5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機)

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Recovery	C	F	1	交換機・設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V	—	5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備が移動無線装置に対し、渡す必要がある情報が設定される。直取パケット交換機は移動無線装置に対してセッション削除処理>Delete Session

				Response)送信時に透過に設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(5) Delete Bearer Response

Delete Bearer Response は、直収パケット交換機から送信された Delete Bearer Request に対する応答メッセージである。Delete Session Response/Delete Bearer のパラメータを表 3.2-6 に示す。

表 3.2-6 Delete Bearer Response のパラメータ

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	1	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
Bearer Contexts	C	V	—	未設定
Recovery	C	F	1	交換機・設備が再開した場合にインクリメントして設定される
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
Protocol Configuration Option (PCO)	C	V		未設定
Private Extension	O	V	—	未設定

(6) Modify Bearer Request

Modify Bearer Request は、通信中に移動無線装置の移動に伴いベアラ情報が変更された場合、直収パケット交換機から 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備に対し、Modify Bearer Request を送信し、ベアラ情報が変更されたことを通知する。Modify Bearer Request のパラメータを表 3.2-7 に示す。

表 3.2-7 Modify Bearer Request のパラメータ

方向:直収パケット交換機→5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
ME Identity (MEI)	C	V	—	未設定
User Location Information (ULI)	C	V	—	未設定
Serving Network	C	F	3	MCC 及び MNC が設定される
RAT Type	C	F	1	移動無線装置が捕捉している RAT Type が設定される

				る
Indication Flags	C	F	—	All ゼロで設定する。
Sender F-TEID for Control Plane	C	V	—	直収パケット交換機が GTPv2-C 用に割当てた TEID が設定される
Aggregate Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	—	未設定
Delay Downlink Packet Notification Request	C	F	—	未設定
Bearer Contexts to be modified	C	V	—	変更するベアラ情報が設定される
Bearer Contexts to be removed	C	V	—	未設定
Recovery	C	F	1	交換機が再開した場合にインクリメントされる
UE Time Zone	C	F	—	未設定
MME-FQ-CSID	C	V	—	未設定
SGW-FQ-CSID	C	V	—	未設定
Charging Characteristics	C	F	—	固定値が設定される。
Private Extension	O	V	—	未設定

(7) Modify Bearer Response

Modify Bearer Response は、5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が直収パケット交換機へ送信するメッセージであり、直収パケット交換機が送信した Modify Bearer Request の返信メッセージとして 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備から送信される。Modify Bearer Response のパラメータを表 3.2-8 に示す。

表 3.2-8 Modify Bearer Response のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
MSISDN	C	F	6	変更要求を行ったユーザの MSISDN が設定される
Linked EPS Bearer ID	C	F	—	Don't Care
Aggregated Maximum Bit Rate (APN-AMBR)	C	F	—	Don't Care
APN Restriction	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	移動無線装置へベアラ更新処理(Modify Bearer Response)時に透過で設定される
Bearer Contexts modified	C	V	—	変更するベアラ情報が設定される。Modify Bearer Request

				で設定した QoS 情報の変更は許容しない
Bearer Contexts marked for removal	C	V	—	Don't Care
Change Reporting Action	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Name	C	V	—	Don't Care
Charging Gateway Address	C	V	—	Don't Care
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Recovery	C	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(8) Delete Bearer Request

Delete Bearer Request は、直収パケット交換機と 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備間の回線切断を行う為に送信される。5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備主導で回線切断を行う場合、5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備から直収パケット交換機へ送信される。Delete Bearer Request のパラメータを表 3.2-9 に示す。

表 3.2-9 Delete Bearer Request のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Linked EPS Bearer ID (LBI)	C	F	—	削除対象の EPS Bearer ID が設定される
EPS Bearer IDs	C	F	—	Don't Care
Failed Bearer Contexts	O	V	—	Don't Care
Procedure Transaction Id (PTI)	C	F	—	Don't Care
Protocol Configuration Options (PCO)	C	V	—	5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が、移動無線装置に対し渡す必要がある情報が設定される。直収パケット交換機は、移動無線装置に対し、ベアラ切断処理 (Delete Bearer Request) 送信時に透過で設定される
PGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
SGW-FQ-CSID	C	V	—	Don't Care
Cause	C	V	—	Don't Care

Private Extension	O	V	—	Don't Care
-------------------	---	---	---	------------

(9) Echo Request

Echo Request は、直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される。Echo Request のパラメータを表 3.2-10 及び表 3.2-11 に示す。

表 3.2-10 Echo Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

表 3.2-11 Echo Request のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(10) Echo Response

Echo Response は、直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される Echo Request の応答メッセージである。Echo Response のパラメータを表 3.2-12 及び表 3.2-13 に示す。

表 3.2-12 Echo Response のパラメータ

方向:直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Cause	O	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

表 3.2-13 Echo Response のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	交換機/設備が再開した場合にインクリメントして設定される
Cause	O	V	2~6	Request メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	Don't Care

(1 1) Suspend Notification

Suspend Notification は直取パケット交換機から 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備へユーザデータの転送の一時停止を指示するメッセージである。メッセージには GTPv2 ヘッダのみが設定される。

(1 2) Suspend Acknowledge

Suspend Acknowledge は 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備が直取パケット交換機から受信した Suspend Notification への応答を明示するメッセージである。表 3.2-14 に Suspend Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2-14 Suspend Acknowledge のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Suspend Notification メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(1 3) Resume Notification

Resume Notification は直取パケット交換機から 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備へユーザデータの転送の再開を指示するメッセージである。表 3.2-15 に Suspend Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2.15 Resume Notification のパラメータ

方向: 直収パケット交換機→5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
IMSI	M	F	8	接続要求を行ったユーザの IMSI が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(14) Resume Acknowledge

Resume Acknowledge は 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備が直収パケット交換機から受信した Resume Notification への応答を明示するメッセージである。表 3.2-16 に Resume Acknowledge のパラメータを示す。

表 3.2-16 Resume Acknowledge のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Cause	M	V	2~6	Resume Notification メッセージの許容・非許容が設定される
Private Extension	O	V	—	未設定

(15) Version Not Supported Indication

Version Not Supported Indication は、直収パケット交換機と 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備間で送信側がサポートする最新の GTP v2 バージョン情報を通知するため双方から GTP v2 ヘッダのみを送信する。

4 GTPv1-U 接続

4.1 概説

本章では当社若しくは当社及び特定BWA事業者の直収パケット交換機と5G(NSA方式)直収パケット接続事業者装置間のユーザデータ転送プロトコルに関する仕様を規定する。直収パケット交換機～5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備間のユーザデータ転送プロトコルはGTPv1-Uプロトコルを用いてデータ転送を行います。本プロトコルはアクセス制御としてGTPv2-Cプロトコルを用いた場合のユーザデータ転送接続で使用される。

4.2 プロトコルスタック

直収パケット交換機～5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備間のプロトコルスタックを図4.2-1に示す。

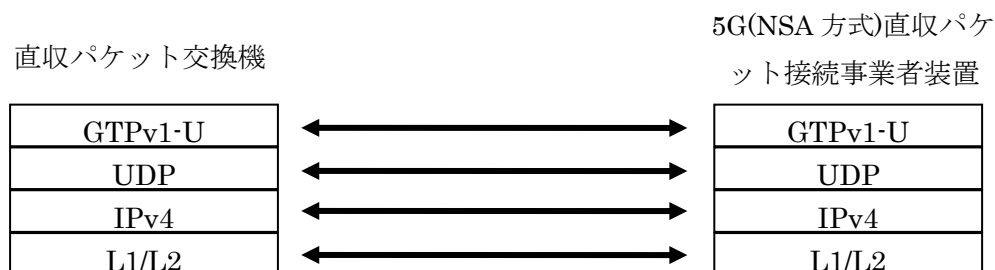


図 4.2-1 直収パケット交換機～5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備間のプロトコルスタック

4.3 適用規定

直収パケット交換機～5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備間で使用するGTPv1-Uは3GPP TS.29.281 v15.2.0に準拠する。

5 ユーザデータ転送機能概要

5.1 概説

ユーザデータ転送プロトコルは、直取パケット交換機～5G(NSA方式)直取パケット接続事業者装置において GTPv1-U プロトコルを用いてユーザデータの転送を行う為のメッセージを規定する。ユーザデータ転送に関する機能は以下の3つの機能で構成される。

- (ア) ユーザデータ転送処理
- (イ) エラーデータ処理
- (ウ) ノード監視処理

5.2 コネクション

直取パケット交換機～5G(NSA方式)直取パケット接続事業者装置間で規定するユーザデータ転送プロトコルは GTPv1-U プロトコルを用いる為、下位層に UDP を使用する。その為、コネクションの確立・切断は行わない。

(1) タイマ、メッセージ再送回数

GTPv1-U インタフェースのタイマ、メッセージ再送回数は協議の上決定することとする。

5.3 ユーザデータ転送処理

(1) 処理概要

GTPv2-C を使用して回線接続を行った後、直取パケット交換機は、移動無線装置からユーザデータを受信すると接続処理において 5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備に払出された GTPv1-U 用の TEID を付与した G-PDU メッセージにカプセル化を行い 5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備に転送する。また、5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備から接続処理において直取パケットで払出した GTPv1-U 用の TEID を付与した G-PDU メッセージでカプセル化されたユーザデータを受信すると移動無線装置との間に接続処理時に設定された回線に対してユーザデータを転送する。

(2) ユーザデータ転送処理対象メッセージ

直取パケット交換機～5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するユーザデータ転送処理対象メッセージを表 5.3-1 に示す。

表 5.3-1 ユーザデータ転送対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
G-PDU	直取パケット交換機⇄5G(NSA方式)直取パケット接続事業者設備	

5. 4 エラーデータ処理

(1) 処理概要

直取パケット交換機は、G-PDU 受信時に送信元 IP アドレスと TEID の組合せが、記憶した組合せと同じかをチェックする。記憶した内容と異なれば回線を切断済みと判断し、G-PDU の送信元 IP アドレスに対して Error indication を送信する。Error Indication を受信した 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、Error Indication 受信時に該当 IP アドレスと TEID の組合せを持つ回線を切断する。

5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、G-PDU 受信時に送信元 IP アドレスと TEID の組合せが記憶した組合せと同じかチェックを行う。記憶した内容と異なれば回線を切断済みと判断し、G-PDU の送信元 IP アドレスに対して Error Indication を送信する。Error Indication を受信した直取パケット交換機は、Error Indication 受信時に当該 IP アドレスと TEID の組合せ持つ回線を切断する。

(2) エラーデータ処理対象メッセージ

直取パケット交換機～5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するエラーデータ処理対象メッセージを表 5.4-1 に示す。

表 5.4-1 エラーデータ処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Error Indication	直取パケット交換機⇄5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	

5. 5 ノード監視処理

(1) 処理概要

直取パケット交換機～5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で双方向に相手ノードの正常性確認の為、GTP Echo を使用してヘルスチェックを行う。GTPv1-U 処理部の正常性を確認する為、GTPv1-U 用のノード IP アドレスを使用してメッセージ送受を行う。双方向で確認を行うため、双方のノードがそれぞれ Echo Request を送信し、受信側は正常であれば、Echo Response を返信する。GTP-U Echo の送受は当社若しくは当社及び特定 BWA 事業者と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者との協議で決定する。

(ア) 直取パケット交換機が 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備を監視
直取パケット交換機は、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備の正常性を確認する為、5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備への接続が確立したことを契機に Echo Request の送信を開始する。送信間隔は別途協議の上、決定する。

(イ) 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備が直取パケット交換機を監視
5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備は、直取パケット交換機の正常性を確認

する為 Echo Request の送信を行う。送信間隔は別途協議の上、決定する。

(2) タイムアウト時の処理

(ア) 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備から Echo Request が返信されなかった場合

直取パケット交換機は、別途協議の上決定した回数の Echo Request 再送を行う。

リトライアウト後は、該当の 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備と通信中の回線を切断する。また、以降該当設備への Echo Request 送信を停止する。再度該当設備への Echo Request を送信契機は、該当ノードへの新たな回線接続が行われ、GTPv1-U パケットが疎通した時となる。

(イ) 直取パケット交換機から Echo Response が返信されなかった場合

必要回数リトライを行いリトライアウト後に 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備内で該当直取パケット交換機と接続を行っている回線を切断する。

(3) ノード監視処理対象メッセージ

直取パケット交換機～5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間で使用するノード監視処理対象メッセージを表 5.5-1 に示す。

表 5.5-1 ノード監視処理対象メッセージ

メッセージ	メッセージ方向	備考
Echo Request	直取パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	
Echo Response	直取パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備	

6 GTPv1-U パケット

本章記載において特に記述が無い場合は GTPv1-U 標準 3GPP TS29.281v15.2.0 に準拠する。

6.1 GTPv1-U パケット構成

GTPv1-U パケットは、Version、Protocol Type、Extension Header flag、Sequence number flag、N-PDU Number flag、MessageType、Length、TEID、Sequence Number、N-PDU Number、Next Extension Header からなる共通部分と、信号毎に異なるパラメータを設定する情報要素部分から構成される。

GTPv1-U パケットの構成を図 6.1-1 に示す。

Octets	Bits						
	8	7	6	5	4	3	2
1	Version		PT	(*)	E	S	PN
2	Message Type						
3	Length (1 st Octet)						
4	Length (2 nd Octet)						
5	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)						
6	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)						
7	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)						
8	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)						
9	Sequence Number (1 st Octet) ^{1) 4)}						
10	Sequence Number (2 nd Octet) ^{1) 4)}						
11	N-PDU Number ^{2) 4)}						
12	Next Extension Header Type ^{3) 4)}						
13	Payload						

図 6.1-1 GTP-U パケットの構成

(*) 予備ビット。“0”で設定される。受信側では Don't Care

- 1) “S” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 2) “PN” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 3) “E” フラグが“1”の場合、このフィールドは設定される。
- 4) “S”、“PN”、“E” フラグの何れか一つ以上でもセットされる場合に限り、このフィールドは存在する。

(1) Version(バージョン)

直収パケット交換機と 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備間で使用される GTP ノード監視処理対象メッセージを表 6.1-1 に示す。

表 6.1-1 Version 設定値

Bit 位置			情報内容	備考
8	7	6		
0	0	0	GTP version0	非サポート
0	0	1	GTP version1	サポート

(2) PT(プロトコルタイプ)

直収パケット交換機と **5G(NSA 方式)**直収パケット接続事業者設備間で使用される GTP のプロトコルタイプを示す。GTP のみサポートする。PT 設定値を表 6.1-2 に示す。

表 6.1-2 PT 設定値

Bit 位置	情報内容	備考
5		
0	GTP'	非サポート
1	GTP	サポート

(3) E(拡張ヘッダフラグ)

拡張ヘッダフラグの有無を示す。直収パケット交換機と **5G(NSA 方式)**直収パケット接続事業者設備間では拡張ヘッダを使用しない。拡張ヘッダ設定値を表 6.1-3 に示す。

表 6.1-3 拡張ヘッダフラグ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
3		
0	拡張ヘッダが存在しない	サポート
1	拡張ヘッダが存在する	非サポート

(4) S(シーケンスナンバフラグ)

シーケンスナンバの有無を示す。直収パケット交換機と **5G(NSA 方式)**直収パケット接続事業者設備間ではシーケンスナンバを使用しない。但し、Echo Request, Echo Response, Error Indication メッセージでは“1”を使用する。シーケンスナンバフラグ設定値を表 6.1-4 に示す。

表 6.1-4 シーケンスナンバ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
2		
0	シーケンスナンバが存在しない	サポート
1	シーケンスナンバが存在する	サポート

(5) PN(N-PDU ナンバフラグ)

N-PDU ナンバフラグの有無を示す。直収パケット交換機と **5G(NSA 方式)**直収パケット接続事業者設備間では N-PDU ナンバを使用しない。N-PDU ナンバフラグ設定値を表 6.1-5 に示す。

表 6.1-5 N-PDU ナンバ設定値

Bit 位置	情報内容	備考
1		

0	N-PDU ナンバが存在しない	サポート
1	N-PDU ナンバが存在する	非サポート

(6) Message Type

Message Type フィールドは、GTPv1-U パケットタイプを識別する。直収パケット交換機はサポート外の Message Type を持つ GTPv1-U パケットを受信した場合、信号を破棄する。直収パケット交換機でサポートする GTPv1-U パケットメッセージ種別を表 6.1-6 に示す。

表 6.1-6 GTPv1-U パケットの Message Type 一覧

Message Type value (Decimal)	Message	備考
1	Echo Request	サポート
2	Echo Response	サポート
26	Error Indication	サポート
31	Supported Extension Headers Notification	サポート
255	G-PDU	サポート

(7) Length

Length フィールドは Payload 長を示す。

(8) TEID

TEID フィールドは回線接続時もしくは直収パケット交換機変更時に直収パケット交換機及び5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備でユニークに払出される回線を識別する番号である。直収パケット交換機で払出した GTPv1-U 用の TEID は、Create Session Request の Payload 部の「S5/S8-U SGW F-TEID」に、直収パケット交換機変更時は、Modify Bearer Request の Payload 部の「S5/S8-U SGW F-TEID」に設定され、5G(NSA方式)直収パケット接続事業者ノードに送られる。

5G(NSA方式)直収パケット接続事業者設備で払出された GTPv1-U 用の TEID は、Create Session Response の Payload 部の「S5/S8-U PGW F-TEID」に、直収パケット交換機変更時は Modify Bearer Response の Payload 部の「S5/S8-U PGW F-TEID」に設定し、直収パケット交換機に送られる。TEID の構成を図 6.1-2 に設定値を表 6.1-7 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Tunnel Endpoint Identifier (1 st Octet)							
2	Tunnel Endpoint Identifier (2 nd Octet)							
3	Tunnel Endpoint Identifier (3 rd Octet)							
4	Tunnel Endpoint Identifier (4 th Octet)							

図 6.1-2 TEID の構成図

表 6.1-7 TEID の設定値

メッセージ名	設定値
G-PDU	送信先のノードが回線接続処理時に払出した GTPv1-U 用 TEID が設定される
Error indication	0 が設定される
Echo Request	0 が設定される
Echo Response	0 が設定される

(9) Sequence Number

Sequence Number フィールドは、GTPv1-U の Echo Request Message と Response Message を対応付けさせる為にトランザクション ID として使用される。Request 受信後に Response を返信する際に Request に設定された Sequence Number をコピーして Response の Sequence Number に設定する。Sequence Number の構成を図 6.1-3 に示す。

Octets	Bits							
	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Sequence Number (1 st Octet)							
2	Sequence Number (2 nd Octet)							

図 6.1-3 Sequence Number の構成

(10) N-PDU Number

N-PDU Number フィールドは、使用しない為 “0” を設定する。Sequence Number が設定されていない場合は、本フィールド自体が存在しない。

(11) Next Extension Header Type

Next Extension Header Type フィールドは、Extension フィールドを設定しない為、“0” を設定する。Sequence Number が設定されていない場合は、本フィールド自体が存在しない。

6. 2 GTPv1-U パケット Payload

GTPv1-U の Payload に設定されるパラメータを以下に示す表 6.2-1 の形式で表現する。

表 6.2-1 GTPv1-U の Payload に設定されるパラメータの説明

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
パラメータ名を記載	以下の何れかを記載する M:(Mandatory) C:(Conditional) O:(Optional)	以下の何れかを記載する。 F:固定長(Fixed) V:可変長(Variable)	パラメータ情報長をオクテット数で記載する	

(1) Echo Request

Echo Request は、直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される。Echo Request のパラメータを表 6.2-2 及び表 6.2-3 に示す。

表 6.2-2 Echo Request のパラメータ

方向:直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Private Extension	0	V		未設定

表 6.2-3 Echo Request のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備→直取パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Private Extension	0	V		Don't Care

(2) Echo Response

Echo Response は、直取パケット交換機と 5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備間でヘルスチェックを行う為に双方から送信される Echo Request の応答メッセージである。Echo Response のパラメータを表 6.2-4 及び表 6.2-5 に示す。

表 6.2-4 Echo Response のパラメータ

方向:直取パケット交換機→5G(NSA 方式)直取パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	0 が設定される
Private Extension	0	V		未設定

表 6.2-5 Echo Response のパラメータ

方向: 5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備→直収パケット交換機

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Recovery	M	F	1	Don't Care
Private Extension	0	V		Don't Care

(3) Supported Extension Headers Notification

Supported Extension Headers Notification は、サポートする Extension ヘッダのリストを通知する為に使用される。Supported Extension Headers Notification のパラメータを表 6.2-6 に示す。

表 6.2-6 Supported Extension Headers Notification のパラメータ

方向:直収パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Supported Extension Headers Notification	M	V		Extension ヘッダタイプのリストが設定される。

(4) Error indication

Error indication は、回線接続時に記憶した接続先ノードの IP アドレスと TEID の組合せと異なる G-PDU メッセージを受信した場合に G-PDU 送信ノードに対して送信される。Error indication のパラメータを表 6.2-7 に示す。

表 6.2-7 Error indication のパラメータ

方向:直収パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
Tunnel Endpoint Identifier Data I	M	F	4	G-PDU 受信時に設定されていた TEID が設定される
GTP-U Peer Address	M	F	4	G-PDU 受信時に設定されていた宛先 IP アドレスが設定される
Private Extension	0	V		未設定

(5) G-PDU

G-PDU は、接続した回線でユーザデータをカプセル化して転送する為に使用される。G-PDU のパラメータを表 6.2-8 に示す。

表 6.2-8 G-PDU のパラメータ

方向:直収パケット交換機⇔5G(NSA 方式)直収パケット接続事業者設備

パラメータ名	設定 種別	情報長		備考
		固定/可変	Octets	
ユーザデータ	M	V		移動無線装置が送受信する IP パケットがカプセル化されて設 定される

技術的条件集別表 12

対移動体事業者SMS接続用インタフェース

技術的条件集別表－12（対移動体事業者SMS接続用インタフェース）

1. 概説

本別表は、当社網と移動体事業者網間のSMSの相互接続に関する接続条件（以下、「網間インタフェース」という。）について規定する。

SMSの相互接続により当社Cメール機能を利用した通信との相互通信を可能とする。

2. 番号方式

- (1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとする。なお、直接協定事業者は当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要する。

分類1による当社網と直接協定事業者網間で使用する電話番号の基本構成は次のとおりとする。

0 A 0	+	C D E	+	F G H J K
サービス識別番号		事業者識別番号		接続番号

- (2) 発事業者網のダイヤル番号に関する機能

(ア) 番号の識別

発事業者網は原則として接続番号を識別した特別な処理は行わない。

(イ) 有効受信桁数

発事業者網は有効な受信桁数の登録を可能とし、無効を検出した場合は発事業者網側にて切断する。

3. 接続条件

3.1 制御プロトコル

3 G P P T S 2 9 . 0 0 2 : M o b i l e A p p l i c a t i o n P a r t (M A P)
s p e c i f i c a t i o n (R e l e a s e 6) を採用する。

なお、当社網内における信号方式は、3 G P P 2 方式を採用しているが、3 G P P 方式を利用している直接協定事業者との相互接続のために I W S G を介すことで網間インタフェースは3 G P P 方式に対応している。（本別表では当社網内信号については記載せず、参考扱いとする。）

3.2 サービス対象移動無線装置

SMS が送受信可能な移動無線装置を対象とする。

但し、当社プリペイド電話の契約者回線から直接協定事業者宛への発信については、非許容とする。

3.3 送受信対象SMS

送受信の対象とするSMSは、3GPP TS23.040: Technical realization of the short Message Service (SMS)に準拠し、「一般テキストSMS」に限定する。本別表では以下の全ての条件を満たすものを「一般テキストSMS」と定義する。

一般テキストSMS以外のSMSメッセージについては、相互接続の対象外とし発事業者網で規制する。

コンカチSMS (※) については事業者間での使用するIEIは0x00のみとし、送信事業者側で制限する。また、IEIが0x00以外のSMSを受信した場合の動作は各事業者の仕様に準ずるものとする。

※コンカチSMS: 140オクテット以上の文字データを一つのメッセージとして移動機が表現できる連結SMS

なお、受信側事業者のユーザがモバイルナンバーポータビリティでの移動により相互接続になった場合も、当該送受信対象SMSの規定に適用する。

- TP-UDHI = 0
- TP-UDHI = 1 (コンカチSMSの場合)
- TP-UDH
IEI = 0x00 (コンカチSMSの場合)
- TP-DCS
bit 765 : 000
bit 4 : 0
bit 32 : 00 (default alphabet)
10 (UCS2)
bit 10 : **
- 移動無線装置から送信されたもの (SMSが利用できるデータ通信端末を含む)

一般テキストSMSに該当しないSMSの例を以下に示す。

表 3. 3-1 一般テキストSMSに該当しない例

名称	内容
制御SMS	アプリケーションの動作起動など移動無線装置の制御に利用されるSMS
特殊なメッセージデータ	音源や静止画像など文字情報以外のデータ
圧縮SMS	3GPP TS 23.042で定義される圧縮アルゴリズムにて、規定以上の文字データを表現できる圧縮SMS

8 b i t D a t a S M S	音源や静止画像、アプリケーションデータなどの送受信において、自由にデータコーディングできるSMS
サーバ発のSMS	ユーザが移動無線装置で作成したものではなく、エラーメッセージや配信確認メッセージ、広告メッセージなど事業者のネットワークシステムで生成配信されるSMS（発事業者のユーザがポートアウトした場合の配信確認メッセージも含む。）

3.4 無効SMS

- ・契約者が割当てられていない番号宛の配信やSMS受信機能を具備していない移動無線装置への配信など、SMSが正常に配信できない状況にある場合、着事業者網はそれら配信不能なSMSを「無効SMS」としてエラー応答を行う。
- ・無効SMSは、下記2種類に大別される。
 - 配信センター蓄積前にエラーとなるもの
 - 配信センター蓄積後にエラーとなるもの
- ・着事業者網は無効SMSと判断した時点でエラー応答を行ない、上記2種類の無効SMSの最終判定は、着事業者網からの応答結果を元に発事業者網が実施する。また、SMS蓄積前の無効SMSの判定のためのSRIFORSMの送信は発事業者網の判断とする。
- ・無効SMSとなる事象及びエラーコードについては当社と直接協定事業者間で事前に協議の上、決定することとする。
- ・着事業者網の仕様のうち、当社と直接協定事業者間で事前に合意したものについては、宛先に配信されないケースであってもエラー応答を行わないことを許容する。当社網着においては、Cメールブロック機能とする。

3.5 宛先指定

SMSの相互接続における宛先指定は2項に定める電話番号を用いることとする。

3.6 特定電子メール等の取り扱い

当社及び直接協定事業者は、特定電子メール等によるSMSの送受信上の支障の防止を目的に表3.6-1を実施するものとする。制限機能については、当社と直接協定事業者で別途協議の上、決定することとします。

表3.6-1 特定電子メール等に係る制限機能

制限機能	内容	実施事業者	記事
送信通数制限	送信通数を制限する機能	発事業者	制限条件及び期間は当社と協議の上、決定することとする。 なお、運用開始後、制限条件等

			を変更する場合は当社と直接協定事業者間で協議の上、変更することができるものとする。
ネットワーク設定による受信フィルタ（ユーザー向け機能）	他移動体網着信時に着事業者網の受信ユーザーが任意に設定することができる受信フィルタ	着事業者	着事業者網の応答により、発事業者網に影響があるため、着事業者は発事業者の合意を得るものとする。
	当社網着信時に受信ユーザーが任意に設定することができる受信フィルタ（Cメールブロック機能）	当社	以下の動作を許容する必要があります。 ・当社網が正常応答の場合、着事業者網のユーザー課金が発生すること ・当社網がエラー応答の場合、応答内容によっては発事業者網が再送処理を実施してしまうこと等
移動無線装置による受信フィルタ	着事業者網でSMSを受信し正常応答と処理されるが、移動無線装置の画面上には表示されない、移動無線装置に実装する受信フィルタ	着事業者	移動無線装置依存機能として、着事業者の仕様に準じるものとする。但し、受信フィルタの有無について、事前に当社に通知することを要する。

3.7 SMS送受信における文字数

3.7.1 送信文字数

送信文字数については、発事業者の仕様に準じるものとするが、当社網と直接協定事業者網間においては1SMSの最大データ長は140オクテット（UCS2で70文字もしくはGSMデフォルトアルファベットで160文字）とする。

また、コンカチSMSの場合は1コンカチパートあたりの最大データ長は140オクテットとし、最大10連結まで送信可能とする。

3.7.2 受信文字数

受信文字数については、着事業者の仕様に準じるものとする。3GPP仕様の範囲外については受信Capacityを各事業者間で情報共有する。

3.8 文字コード

当社網と直接協定事業者網間では、UCS2及びGSM 7bitデフォルトアルファベットのサポートを必須とする。また、Unicodeで規定された絵文字の対応として、網間トラフィックにおいて、各事業者はUTF-16を許容する。UTF-16を用いる場合のTP-DCSは、UCS2を用いる場合に設定する値と同じとする。但し、文字コード変換及び移動無線装置上での表示については着事業者網の設備及び移動無線装置の仕様に依存する。

3.9 接続事業者間の機能分担

発事業者と着事業者との機能分担を表3.9-1に示す。

表 3.9-1 処理機能と接続事業者分担

	処理機能	概要	分担
事業者共通			
A	メッセージ蓄積	メッセージを配信有効期限まで蓄積する機能	発事業者
B	配信管理	蓄積されたメッセージの配信リトライを管理	発事業者
C	絵文字変換	独自文字コードの変換	発事業者
接続事業者（3GPP2 ⇔ KDDI（3GPP））			
D	フォーマット変換	3GPP⇔3GPP2信号 フォーマット相互変換	当社
E	文字コード変換	3GPP⇔3GPP2 文字コード相互変換 (UCS2⇔S-JIS) (default alphanabet⇔S-JIS)	当社
F	メッセージ長変換 (メッセージ分割)	3GPP⇔3GPP2 メッセージ長相互変換	当社
G		多重配信回避のためのTP-MR情報の付与	接続事業者

3.10 事業者独自絵文字の変換

絵文字コードについては、当社と直接協定事業者間で合意した絵文字コードに発事業者網が変換して送信する。変換規則は表3.10-1に示すとおりとする。

UCS2の拡張領域の使用は、当社と直接協定事業者間で事前に協議の上、決定することとする。

表3.10-1 絵文字コードの変換規則

発事業者		着事業者	
他移動体網 (3GPP)	絵文字変換 UCS2発事業者絵文字 ⇒ UCS2当社絵文字	当社網	文字コード変換 UCS2 ⇒ SJIS
当社網	絵文字変換 SJIS当社絵文字 ⇒ UCS2着事業者絵文字	他移動体網 (3GPP)	変換処理なし

3.11 Unicodeで規定された絵文字

SMS相互接続におけるUnicodeで規定された絵文字の送信については、送信事業者は変換せずに送信し、受信側事業者において移動無線装置の絵文字受信Capabilityに応じた変換処理を行うこととする。但し、絵文字変換及び移動無線装置上での表示については着事業者網の設備及び移動無線装置の仕様に依存する。

3.12 蓄積・配信試行（期間/タイミング）、配信有効期限

SMSの蓄積は発事業者網で行うこととし、配信試行及び配信有効期限は発事業者網の仕様に準じるものとする。但し、配信有効期限については、当社と直接協定事業者間で事前に協議の上、決定することとする。

3.13 移動無線装置及び交換機のエラーとその動作について

着事業者網のエラー発生事由と、発事業者網によるエラー受信時の振舞いについては、当社と直接協定事業者間で事前に協議し合意することとする。

3.14 海外事業者の契約者回線とのSMS相互接続

海外事業者の契約者回線が当社又は他移動体網に在圏している場合のSMS相互接続については、本別表の規定対象外とする。

4. 課金方式

基本的な呼の接続に関するユーザ課金方式及び事業者間料金精算方式について記述する。当社と接続事業者間の課金方式は、ここで述べる課金方式を原則とし、協議により決定する。

4.1 ユーザ課金方式

(1) 当社が発事業者の場合

当社が独自に料金設定を行い、発ユーザから料金回収を行う。

(2) 当社が着事業者の場合

当社が料金設定を行う場合は、当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

4.2 網使用料

当社及び接続事業者は網使用料の課金について、以下のとおり取り扱うこととする。

(1) 網使用料の課金対象と契機

配信完了呼を精算対象とし以下のとおりとする。

①配信完了

i) ii) iii) 以外の場合

SMS配信処理が正常終了し移動無線装置に受信した時

ii) 他移動体網発当社網宛の1のSMSを当社がメッセージ長変換を行い2分割して当社網内を配信した場合

分割して送信したSMSを配信先の移動無線装置が全て受信した時

iii) 当社網発他移動体網宛の1のSMSを当社がメッセージ長変換を行い2分割して網間を送信した場合

分割したSMSを配信先の移動無線装置がそれぞれ受信した時

②課金契機

配信完了信号 (MT__F o r w a r d S M __A c k) を検出した時

(2) 網使用料精算対象通数

当社網と直接協定事業者網間を疎通した通数を精算対象通数とする。コンカチSMSの場合、網間における各コンカチパートの通数を精算対象通数とする。

他移動体網発当社網宛の1のSMSを当社がメッセージ長変換を行い2分割し当社網内を配信した場合の精算対象通数は1通とする。

また、当社網発他移動体宛の1のSMSを当社がメッセージ長変換を行い2分割して網間を送信した場合の精算対象通数は2通とする。

技術的条件集別表 13

MT P仕様

(対移動体事業者SMS接続用インタフェース)

技術的条件集別表-13 (MTP仕様)

1. MTP仕様は「TTC標準 網間インタフェース 網間信号方式 (ISDN網間信号方式)」に準拠する。参照するTTC標準は次のとおりである。

TTC標準	JT-Q701	: 第2版	1990年11月28日制定
TTC標準	JT-Q702	: 第1版	1987年4月28日制定
TTC標準	JT-Q703	: 第3版	1994年4月27日制定
TTC標準	JT-Q704	: 第3版	1992年4月28日制定
TTC標準	JT-Q707	: 第2版	1990年11月28日制定

2. 下記に上記に挙げたTTC標準の規定と当社の規定に差分がある場合についてのみ、その具体的内容を記述する。

標準	番号	項目	具体的内容	
JT-Q701	3.1	信号網構成	対応網による接続とする。	
JT-Q702	2.2	信号速度	信号速度は、48 kbit/s, 64 kbit/sとする。	
JT-Q703	2.3.8	信号情報部	SIFの取り得る長さの最大は272オクテットとする。	
		6	自リンク停止時	SIOSを継続的に送出
		信号リンク起動前の送出信号	SIOS送出	
		運用中SIE受信時	初期設定終了待ち(SIE送出)に遷移	
		相手局検証終了待ち状態でのタイム	8分。タイムアウト後は、SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
	11	検証不良/リンク障害時	SIOS送出後、レベル3からの起動によりSIOを送出	
		LSSU送出周期	24 msec (SIB 200 msec)	
	12	FISU送出周期	運用中、検証終了待ち共に72 msec / 24 msec (48 kbit/s, 64 kbit/s)	
		MSU送出アウトスタンディング数	40	
		信号リンク検証期間	検証期間については、T4 = 3 sec, 検出不良時においては、60 sec	
JT-Q704	2.2	ポイントコードの構成	16ビット (M = 5ビット / S = 4ビット / U = 7ビット)とする。	
	2.3	リンクセット構成とロードシェア	SLSのA/B面ビットで2面構成とし、SLS上位3ビットを使って、負荷分散を行う。	

標準	番号	項目	具体的内容
JT-Q704	4.3	過半数リンク障害の処理	全リンク障害で迂回を行う。
	6.2	切戻信号（C B D, C B A）	使用可能なリンクに対して切戻信号（C B D）を送出。未実装のリンクにはC B Aを返送しない。
		相手局非応答時の切替	他網側に未送出信号を迂回
	11.2	優先度制御	多段輻輳制御を行う。
	14.2	S I O	S S F = 0 0 0 0 S I = 0 0 0 0（信号網管理） 0 0 0 1（試験・保守） 0 0 1 1（S C C P）
JT-Q707	2	信号リンク試験	信号リンクが使用可となった時、自動的に信号ルーチング試験を用いて行う。

3. 本別表で用いられる用語・語句の意味は、TTC標準の内容に準拠している。

4. 本別表の項目2にて記載しているセクション番号は、TTC標準のセクション番号に対応している。但し、TTC標準のセクション番号はITU-Tのセクション番号に対応しており、またITU-Tでのみ規定されていて、TTC標準、当社のどちらも規定していない事項については、その記述を全て割愛してあるため、セクション番号が連続しない場合がある。

技術的条件集別表 14

制御プロトコル仕様

(対移動体事業者SMS接続用インタフェース)

技術的条件集別表-14 (制御プロトコル仕様)

1. 制御プロトコル仕様

「3GPP TS 29.002: Mobile Application Part (MAP) specification (Release 6)」に準拠する。

2. プロトコルスタック

本別表にて規定するインタフェースにおけるプロトコルスタックを図2-1に示す。

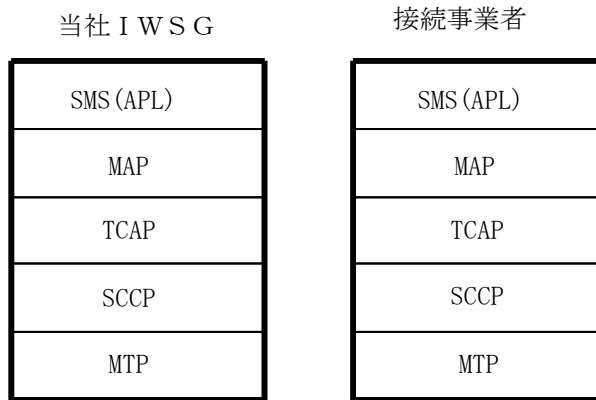


図 2-1 IWSG～他事業者網GS間プロトコルスタック

3. 3GPP MAP信号構成

3.1 MTPオペレーション

別表 13 を参照。

3.2 SCCPオペレーション

SCCPのオペレーションについて以下に示す。

3.2.1 SRIforSM

SRIforSMのフォーマットについて表 3. 2-1 に示す。

表 3. 2-1 SRIforSM

Calling Party Address (発番)		SRIforSM	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSCノード番号	MSC (SMSC) アドレス
Called Party Address (着番)		SRIforSM	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x06	HLR
Global Title			
	Translation Type	0xDF	転送仕様
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000011 (bit)	国内番号
	Address information	AOCDE+MSN (NDC+SN)	転送仕様

3.2.2 SRIforSM_Ack (InformSC)

SRIforSM_Ack (InformSC) のフォーマットについて表 3. 2-2 に示す。

表 3. 2-2 SRIforSM_Ack (InformSC)

Calling Party Address (発番)		SRIforSM_ack, InformSC	
		適用	補足

Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x06	HLR
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	HLR ノード番号	HLR アドレス
Called Party Address (着番)		SRIforSM_ack, InformSC	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC (SMSC) アドレス

3.2.3 MT_ForwardSM

MT_ForwardSMのフォーマットについて表3.2-3に示す。

表3.2-3 MT_ForwardSM

Calling Party Address (発番)		MT_forwardSM	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC (SMSC) アドレス

Called Party Address (着番)		MT_forwardSM	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08 または 0x95	MSC または SGSN
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC または SGSN アドレス

3.2.4 MT_ForwardSM_Ack

MT_ForwardSM_Ack のフォーマットについて表 3. 2-4 に示す。

表 3. 2-4 MT_ForwardSM_Ack

Calling Party Address (発番)		MT_forwardSM_ack	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08 または 0x95	MSC または SGSN
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC または SGSN アドレス
Called Party Address (着番)		MT_forwardSM_ack	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGT に基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC (SMSC) アドレス

3.2.5 AlertSC

AlertSCのフォーマットについて表 3.2-5に示す。

表 3.2-5 AlertSC

Calling Party Address (発番)		AlertSC	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x06	HLR
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	HLR ノード番号	HLR アドレス
Called Party Address (着番)		AlertSC	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	SC (SMSC) アドレス

3.2.6 AlertSC_Ack

AlertSC_Ackのフォーマットについて表 3.2-6に示す。

表 3.2-6 AlertSC_Ack

Calling Party Address (発番)		AlertSC_ack	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし

PC	設定なし	
SSN	0x08	MSC
Global Title		
Translation Type	0x00	未使用
Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
Address information	MSC ノード番号	SC (SMSC) アドレス
Called Party Address (着番)	AlertSC_ack	
	適用	補足
Address Indicator		
Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングは GT に基づく
Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC	設定なし	
SSN	0x06	HLR
Global Title		
Translation Type	0x00	未使用
Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
Address information	HLR ノード番号	HLR アドレス

3.2.7 ReportSMDeliveryStatus

ReportSMDeliveryStatusのフォーマットについて表 3.2-7 に示す。

表 3.2-7 ReportSMDeliveryStatus

Calling Party Address (発番)	ReportSMDeliveryStatus	
	適用	補足
Address Indicator		
Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングは GT に基づく
Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC	設定なし	
SSN	0x08	MSC
Global Title		
Translation Type	0x00	未使用
Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
Address information	MSC ノード番号	MSC (SMSC) アドレス
Called Party Address (着番)	ReportSMDeliveryStatus	
	適用	補足
Address Indicator		
Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングは GT に基づく
Global Title Indicator	0100 (bit)	GT は、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む

	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x06	HLR
Global Title			
	Translation Type	0xDF	転送仕様
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000011 (bit)	国内番号
	Address information	AOCDE+MSN (NDC+SN)	転送仕様

3.2.8 ReportSMDeliveryStatus_Ack

ReportSMDeliveryStatus_Ackのフォーマットについて表3.2-8に示す。

表3.2-8 ReportSMDeliveryStatus_Ack

Calling Party Address (発番)		ReportSMDeliveryStatus_ack	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x06	HLR
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	HLR ノード番号	HLR アドレス
Called Party Address (着番)		ReportSMDeliveryStatus_ack	
		適用	補足
Address Indicator			
	Routing Indicator	0 (bit)	ルーチングはGTに基づく
	Global Title Indicator	0100 (bit)	GTは、翻訳タイプ、番号計画、コーディング体系、アドレス識別子の種別を含む
	SSN Indicator	1 (bit)	サブシステム番号が含まれる
	Point Code Indicator	0 (bit)	信号局コードなし
PC		設定なし	
SSN		0x08	MSC
Global Title			
	Translation Type	0x00	未使用
	Numbering Plan	0001 (bit)	ISDN/電話番号計画 (勧告 E.163 と E.164)
	Encoding Scheme	0001 or 0010 (bit)	BCD, 数字が奇数個 or BCD, 数字が偶数個
	Nature of Address Indicator	0000100 (bit)	国際番号
	Address information	MSC ノード番号	MSC (SMSC) アドレス

3.3 TCAP オペレーション

TCAPのオペレーションについて以下に示す。

3.3.1 TC-BEGIN

TC-BEGINのフォーマットについて表 3.3.1-1に示す。

表 3.3.1-1 TC-BEGIN

Begin message type	M/O	値	補足
Message Type Tag	M	0x62	TC-BEGIN
Total message Length		可変	
Originating Transaction ID Tag	M	0x48	発トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	発トランザクション ID
Dialogue Portion	O	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ
Dialogue Portion Length		可変	
External Tag	M	0x28	外部タグ
External Length		可変	
Structured dialogue	M	可変	構造化対話
Object Identifier Tag		0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Dialogue-as-ID value	M	0x00	ccitt recommendation
		0x11	q
		0x86	773 (X' 305)
		0x05	固定
		0x01	as(1)
		0x01	dialoguePDU(1)
		0x01	version1(1)
Single-ANS.1-type Tag	M	0xA0	Single-ASN.1 タイプタグ
Single-ASN.1-type length		可変	
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU
Dialogue Request Tag	M	0x60	AARQ-apdu : 対話要求
Dialogue Request Length		可変	
Protocol Version Tag		0x80	プロトコルバージョン
Protocol Version Length	O	可変	
Protocol Version		可変	値がセットされない場合は Version1 となる
Application Context Name Tag	M	0xA1	応用コンテキストタグ
Application Context Name Length		可変	
Object Identifier Tag		0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Application Context Name	M	0x04	ccitt recommendation(4)
		0x00	etsi(0)
		0x00	mobileDomain(0)
		0x01	gsm-Network(1)
		0x00	ac_id(0)
		0x19	dialoguePDU=shortMsgMT-Relay(25)
		0x14	または dialoguePDU=shortMsgGateway(20)
		0x17	または dialoguePDU=shortMsgAlert(23)
		0x03	AC version3
0x02	AC version2 (AlerSC のみ)		

		User Information Tag	0	0xBE	ユーザ情報タグ	
		User Information Length		可変		
		User Information		可変	ユーザ情報	
	Component Portion			0	可変	コンポーネント部
	Component Type Tag			M	0x6C	コンポーネントタイプタグ
	Component Length				可変	
	Component Type				0xA1	起動コンポーネント
	Invoke ID Tag			M	0x02	起動 ID タグ
	Invoke ID Length				0x01	
	Invoke ID				可変	起動 ID
	Linked ID Tag			0	0x80	関連 ID タグ
	Linked ID Length				0x01	
	Linked ID				可変	関連 ID
	Operation Code Tag			M	0x02	ローカルオペレーションコードタグ
	Operation Code Length				0x01	
	Operation Code				可変	オペレーション依存
	Parameter Tag			0	可変	パラメータタグ
Parameter Length			可変			
Parameters			可変		本パラメータ以降は、3GPP MAP パラメータがセットされる	

3.3.2 TC-END

TC-ENDのフォーマットについて表3.3.2-1、表3.3.2-2に示す。

表 3.3.2-1 TC-END (結果応答)

End message type (結果応答)	M/O	値	補足
Message Type Tag	M	0x64	TC-END
Total message Length		可変	
Destination Transaction ID Tag		0x49	着トランザクション ID タグ
Transaction ID Length	M	可変	
Transaction ID		可変	着トランザクション ID
Dialogue Portion	O	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ
Dialogue Portion Length		可変	
External Tag	M	0x28	外部タグ
External Length		可変	
Structured dialogue	M	可変	構造化対話
Object Identifier Tag		0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Dialogue-as-ID value		0x00	ccitt recommendation
		0x11	q
		0x86	773 (X' 305)
		0x05	固定
		0x01	as(1)
		0x01	dialoguePDU(1)
		0x01	version1(1)
Single-ANS.1-type Tag	M	0xA0	Single-ASN.1 タイプタグ
Single-ASN.1-type length		可変	
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU
Dialogue Response Tag	M	0x61	AARE-apdu : 対話応答
Dialogue Response Length		可変	
Protocol Version Tag		0x80	プロトコルバージョンタグ
Protocol Version Length	O	可変	
Protocol Version		可変	値がセットされない場合はVersion1となる
Application Context Name Tag		0xA1	応用コンテキストタグ
Application Context Name Length	M	可変	
Object Identifier Tag		0x06	
Object Identifier Length		0x07	オブジェクト識別タグ
Application Context Name		0x04	ccitt recommendation(4)
		0x00	etsi(0)
		0x00	mobileDomain(0)
		0x01	gsm-Network(1)
		0x00	ac_id(0)
		0x19	dialoguePDU=shortMsgMT-Relay(25)
		0x14	または dialoguePDU=shortMsgGateway(20)
		0x17	または dialoguePDU=shortMsgAlert(23)
		0x03	AC version3
		0x02	AC version2 (AlerSC のみ)
Result Tag		0xA2	結果タグ
Result Length		可変	
Integer Tag	M	0x02	整数タグ
Integer Length		0x01	
Result		0x00	受諾

		Result Source Diagnostic Tag	M	0xA3		
		Result Source Diagnostic Length		可変		
		Dialogue Service User Tag		0xA1	ダイアログサービスユーザタグ	
		Dialogue Service User Length		可変		
		Integer Tag		0x02	整数タグ	
		Integer Length		0x01		
		Service User Value		0x00	Null	
		User Information Tag		0xBE	ユーザ情報タグ	
		User Information Length		0	可変	
		User Information		可変	ユーザ情報	
		Component Portion		0	可変	コンポーネント部
		Component Type Tag	M	0x6C	コンポーネントタイプタグ	
		Component Length		可変		
		Component Type		0xA2	結果応答 (最終) コンポーネント	
		Invoke ID Tag	M	0x02	起動 ID タグ	
		Invoke ID Length		0x01		
		Invoke ID		可変	起動 ID	
		Sequence Tag	0	0x30		
		Sequence Length		可変	パラメータに情報要素がない場合が省略される	
		Operation Code Tag	M	0x02	ローカルオペレーションコードタグ	
		Operation Code Length		0x01		
		Operation Code		可変	オペレーション依存	
		Parameter Tag	0	可変		
Parameter Length	可変					
Parameters	可変	本パラメータ以降は、MAP パラメータがセットされる				

表 3. 3. 2-2 TC-END (エラー応答)

End message type (エラー応答)	M/O	値	補足	
Message Type Tag	M	0x64	TC-END	
Total message Length		可変		
Destination Transaction ID Tag	M	0x49	着トランザクション ID タグ	
Transaction ID Length		可変		
Transaction ID		可変	着トランザクション ID	
Dialogue Portion		0	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ	
Dialogue Portion Length		可変		
External Tag	M	0x28	外部タグ	
External Length		可変		
Structured dialogue	M	可変	構造化対話	
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ	
Object Identifier Length		0x07		
Dialogue-as-ID value		0x00	ccitt recommendation	
		0x11	q	
		0x86	773 (X' 305)	
		0x05	固定	
		0x01	as(1)	
		0x01	dialoguePDU(1)	
		0x01	version1(1)	
		0x01	version1(1)	
Single-ANS.1-type Tag	M	0xA0	Single-ASN.1 タイプタグ	

Single-ASN.1-type length		可変	
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU
Dialogue Response Tag	M	0x61	AARE-apdu : 対話応答
Dialogue Response Length		可変	
Protocol Version Tag	O	0x80	プロトコルバージョンタグ
Protocol Version Length		可変	
Protocol Version		可変	値がセットされない場合は Version1 となる
Application Context Name Tag	M	0xA1	応用コンテキストタグ
Application Context Name Length		可変	
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Application Context Name		0x04	ccitt recommendation(4)
		0x00	etsi(0)
		0x00	mobileDomain(0)
		0x01	gsm-Network(1)
		0x00	ac_id(0)
		0x19	dialoguePDU=shortMsgMT-Relay(25)
		0x14	または dialoguePDU=shortMsgGateway(20)
		0x17	または dialoguePDU=shortMsgAlert(23)
0x03	AC version3		
0x02	AC version2 (AlerSC のみ)		
Result Tag	M	0xA2	結果タグ
Result Length		可変	
Integer Tag		0x02	整数タグ
Integer Length		0x01	
Result		0x01	拒否
Result Source Diagnostic Tag	M	0xA3	
Result Source Diagnostic Length		可変	
Dialogue Service User Tag		0xA1	ダイアログサービスユーザタグ
Dialogue Service User Length		可変	
Integer Tag		0x02	整数タグ
Integer Length		0x01	
Service User Value		0x00	Null
User Information Tag	O	0xBE	ユーザ情報タグ
User Information Length		可変	
User Information		可変	ユーザ情報
Component Portion	O	可変	コンポーネント部
Component Type Tag	M	0x6C	コンポーネントタイプタグ
Component Length		可変	
Component Type		0xA3	結果応答(最終)コンポーネント
Invoke ID Tag	M	0x02	起動 ID タグ
Invoke ID Length		0x01	
Invoke ID		可変	起動 ID
Error Code Tag	M	0x02	ローカルエラーコードタグ
Error Code Length		0x01	
Error Code		可変	エラーコード依存
Parameter Tag	O	可変	パラメータタグ
Parameter Length		可変	
Parameters		可変	本パラメータ以降は、MAP パラメータがセットされる

3.3.3 TC-CONTINUE

TC-CONTINUEのフォーマットについて表3.3.3-1に示す。

表 3.3.3-1 TC-CONTINUE

Continue message type	M/O	値	補足
Message Type Tag	M	0x65	TC-CONTINUE
Total message Length		可変	
Originating Transaction ID Tag	M	0x48	発トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	発トランザクション ID
Destination Transaction ID Tag	M	0x49	着トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	着トランザクション ID
Dialogue Portion	O	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ
Dialogue Portion Length		可変	
External Tag	M	0x28	外部タグ
External Length		可変	
Structured dialogue	M	可変	構造化対話
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Dialogue-as-ID value		0x00	ccitt recommendation
		0x11	q
		0x86	773 (X' 305)
		0x05	固定
		0x01	as(1)
		0x01	dialoguePDU(1)
0x01		version1(1)	
Single-ANS.1-type Tag		M	0xA0
Single-ASN.1-type Length	可変		
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU
Dialogue Response Tag	M	0x61	AARE-apdu : 対話応答
Dialogue Response Length		可変	
Protocol Version Tag	O	0x80	プロトコルバージョンタグ
Protocol Version Length		可変	
Protocol Version		可変	値がセットされない場合は Version1 となる
Application Context Name Tag	M	0xA1	応用コンテキストタグ
Application Context Name Length		可変	
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Application Context Name		0x04	ccitt recommendation(4)
		0x00	etsi(0)
		0x00	mobileDomain(0)
		0x01	gsm-Network(1)
		0x00	ac_id(0)
		0x19	dialoguePDU=shortMsgMT-Relay(25)
		0x14	または dialoguePDU=shortMsgGateway(20)
		0x17	または dialoguePDU=shortMsgAlert(23)
0x03	AC version3		
0x02	AC version2 (AlerSC のみ)		
Result Tag	M	0xA2	結果タグ

			Result Length	M	可変		
			Integer Tag		0x02	整数タグ	
			Integer Length		0x01		
			Result		0x00	受諾	
			Result Source Diagnostic Tag		0xA3	結果元診断タグ	
			Result Source Diagnostic Length				可変
			Dialogue Service User Tag		0xA1	ダイアログサービスユーザタグ	
			Dialogue Service User Length		可変		
			Integer Tag		0x02	整数タグ	
			Integer Length		0x01		
			Service User Value		0x00	Null	
			User Information Tag		0	0xBE	ユーザ情報タグ
			User Information Length			可変	
			User Information			可変	ユーザ情報
			Component Portion		0	可変	コンポーネント部
			Component Type Tag		M	0x6C	コンポーネントタイプタグ
			Component Length			可変	
			Component Type		M	0xA2	結果応答（最終）コンポーネント
			Invoke ID Tag			0x02	起動 ID タグ
			Invoke ID Length			0x01	
			Invoke ID		可変	起動 ID	
			Sequence Tag		0	0x30	シーケンスタグ
			Sequence Length			可変	パラメータに情報要素がない場合が省略される
			Operation Code Tag		M	0x02	ローカルオペレーションコードタグ
			Operation Code Length			0x01	
			Operation Code			可変	オペレーション依存
			Parameter Tag		0	可変	パラメータタグ
Parameter Length	可変						
Parameters	可変	本パラメータ以降は、MAP パラメータがセットされる					

3.3.4 TC-ABORT

TC-ABORTのフォーマットについて表3.3.4-1、3.3.4-2、3.3.4-3に示す。

表 3.3.4-1 TC-ABORT (P-ABORT)

Continue message type (P-ABORT)	M/O	値	補足
Message Type Tag	M	0x67	TC-ABORT
Total message Length		可変	
Destination Transaction ID Tag	M	0x49	着トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID	可変	着トランザクション ID	
P-Abort Cause Tag	0	0x4A	
P-Abort Cause Length		0x01	
P-Abort Cause		可変	アボート理由に依存

表 3.3.4-2 TC-ABORT (U-Abort : Dialogue Abort)

Continue message type (U-Abort : Dialogue Abort)	M/O	値	補足
--	-----	---	----

Message Type Tag	M	0x67	TC-ABORT
Total message Length		可変	
Originating Transaction ID Tag	M	0x48	発トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	発トランザクション ID
Destination Transaction ID Tag	M	0x49	着トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	着トランザクション ID
Dialogue Portion	O	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ
Dialogue Portion Length		可変	
External Tag	M	0x28	外部タグ
External Length		可変	
Structured dialogue	M	可変	構造化対話
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ
Object Identifier Length		0x07	
Dialogue-as-ID value		0x00	ccitt recommendation
		0x11	q
		0x86	773 (X' 305)
		0x05	固定値
		0x01	as(1)
		0x01	dialoguePDU(1)
0x01		version1(1)	
Single-ANS.1-type Tag		M	0xA0
Single-ASN.1-type Length	可変		
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU
Dialogue Response Tag	M	0x64	対話アボートタグ
Dialogue Response Length		可変	
Abort SourceTag	M	0x80	中断元タグ
Abort Source Length		可変	
Abort Source		0x00 0x01	サービスユーザ / サービスプロバイダ
User Information Tag	O	0xBE	ユーザ情報タグ
User Information Length		可変	
User Information		可変	ユーザ情報

表 3. 3. 4-3 TC-ABORT (U-Abort: Dialogue Response)

Continue message type (U-Abort: Dialogue Response)	M/O	値	補足
Message Type Tag	M	0x67	TC-ABORT
Total message Length		可変	
Destination Transaction ID Tag	M	0x49	着トランザクション ID タグ
Transaction ID Length		可変	
Transaction ID		可変	着トランザクション ID
Dialogue Portion	O	可変	ダイアログ部
Dialogue Portion Tag	M	0x6B	ダイアログ部タグ
Dialogue Portion Length		可変	
External Tag	M	0x28	外部タグ
External Length		可変	
Structured dialogue	M	可変	構造化対話
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ

Object Identifier Length		0x07		
Dialogue-as-ID value		0x00	ccitt recommendation	
		0x11	q	
		0x86	773 (X' 305)	
		0x05	固定値	
		0x01	as(1)	
		0x01	dialoguePDU(1)	
		0x01	version1(1)	
Single-ANS.1-type Tag	M	0xA0	Single-ASN.1 タイプタグ	
Single-ASN.1-type Length		可変		
Dialogue PDU	M	可変	ダイアログ PDU	
Dialogue Response Tag	M	0x61	AARE-apdu : 対話応答	
Dialogue Response Length		可変		
Protocol Version Tag	0	0x80	プロトコルバージョンタグ	
Protocol Version Length		可変		
Protocol Version		可変	値がセットされない場合は Version1 となる	
Application Context Name Tag	M	0xA1	応用コンテキストタグ	
Application Context Name Length		可変		
Object Identifier Tag	M	0x06	オブジェクト識別タグ	
Object Identifier Length		0x07		
Application Context Name		0x04	ccitt recommendation(4)	
		0x00	etsi(0)	
		0x00	mobileDomain(0)	
		0x01	gsm-Network(1)	
		0x00	ac_id(0)	
		0x19	dialoguePDU=shortMsgMT-Relay(25)	
		0x14	または dialoguePDU=shortMsgGateway(20)	
		0x17	または dialoguePDU=shortMsgAlert(23)	
		0x03	AC version3	
		0x02	AC version2 (AlerSC のみ)	
Result Tag		M	0xA2	結果タグ
Result Length			可変	
Integer Tag	0x02		整数タグ	
Integer Length	0x01			
Result	0x01		拒否	
Result Source Diagnostic Tag	M	0xA3	結果元診断タグ	
Result Source Diagnostic Length		可変		
Dialogue Service User Tag		0xA1	ダイアログサービスユーザタグ	
Dialogue Service User Length		可変		
Integer Tag		0x02	整数タグ	
Integer Length		0x01		
Service User Value		0x01	理由指定なし/未サポート応用コンテキスト	
User Information Tag	0	0xBE	ユーザ情報タグ	
User Information Length		可変		
User Information		可変	ユーザ情報	

3.3.5 TCAPネットワークタイマ

TCAPに関するネットワークタイマ値を表3.3.5-1に示す。

表3.3.5-1 TCAPタイマ値

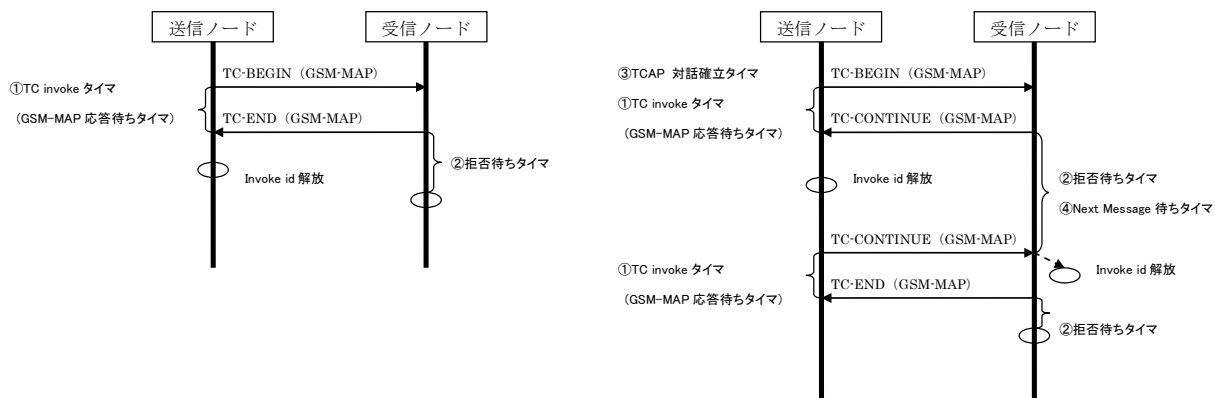
	信号名	値
TCAP	TC invoke タイマ	※1
	拒否待ちタイマ	—
	TCAP 対話確立タイマ	※2
	Next Message 待ちタイマ	※2

※1 MAP オペレーションタイマに依存する。

※2 TCAP対話確立タイマとNext Message 待ちタイマ個別のタイマは保持していない。

TCAP 確立から解放までのタイマ (=600秒)。

なお、上記のTCAPタイマの概念については、下図を参照のこと。



3.4 3GPP MAP オペレーション

3GPP MAPにてサポートするオペレーションの一覧を表3.4-1に示す。

表 3.4-1 3GPP MAPサポートオペレーション一覧

No	PDU名		サポート	機能概要
	他網GS→IWSG	IWSG→他網GS		
1	SRIforSM	SRIforSM	○	ショートメッセージ配信先のルート情報を取得するために用いる。
2	SRIforSM_Ack (NAck)	SRIforSM_Ack (NAck)	○	
3	MT_ForwardSM	MT_ForwardSM	○	ショートメッセージ配信を行うために使用する。
4	MT_ForwardSM_Ack (NAck)	MT_ForwardSM_Ack (NAck)	○	
5	AlertSC	AlertSC	○	端末がショートメッセージを受信可能になった旨を通知する(回復通知)。
6	AlertSC_Ack (NAck)	AlertSC_Ack (NAck)	○	
7	ReportSMDeliveryStatus	ReportSMDeliveryStatus	○	メッセージ配信失敗時にHLRで保持しているMWD(Message Waiting Data)を設定/更新するために使用する。
8	ReportSMDeliveryStatus_Ack (NAck)	ReportSMDeliveryStatus_Ack (NAck)	○	
9	InformSC	-	○	ショートメッセージ配信を行った着番号がMWDに設定されたことを通知するために使用する。

3.4.1 SRIforSM

SRIforSMのフォーマットについて表3.4.1-1に示す。

表 3.4.1-1 SRIforSM

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	M	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct		
OperationCode	1oct		SRIforSM
Parameter Sequence Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
MSISDN Tag	1oct	M	固定
length	1oct		国内のMSISDN長は固定のため
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
address	6oct		81 から始まる 12 桁の電話番号 (着MSISDN)
SM-RP-PRI Tag	1oct	M	固定
length	1oct		固定
Boolean	1oct		0:False 1:True
ServiceCentreAddress Tag	1oct	M	固定
length	1oct		address 長に依存
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number

		numbering plan indicator	4bit		E. 164
		address	1~ 10oct		81 から始まる 12~15 桁の SC ノード 番号 (送信事業者 SMSCaddress 依存)
	GPRS Support Indicator Tag		1oct	0	信号送信時：設定契機なし 信号受信時：無視
		length	1oct		
	SM-RP-MTI Tag		1oct	0	信号送信時：設定契機なし 信号受信時：無視
		length	1oct		固定
		INTEGER	1oct		0: SMS Delivery
	SM-RP-SMEA Tag		1oct	0	信号送信時：設定契機なし 信号受信時：無視
		length	1oct		
		Address Length	1oct		
		type-of-address	1oct		
		Address	1~ 12oct		発 MSISDN

3.4.2 SRIforSM_Ack

SRIforSM_Ackのフォーマットについて表3.4.2-1に示す。

表 3.4.2-1 SRIforSM_Ack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	M ※1	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct		
OperationCode	1oct		SRIforSM
Parameter Sequence Tag	1oct	M ※1	固定
length	1oct		
IMSI Tag	1oct	M	固定
length	1oct		IMSI 長に依存
IMSI	3~8oct		440 or 441 で始まる IMSI 番号
locationInfoWithLMSI Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
Network Node Number Tag	1oct	M	
length	1oct		MSC address 長に依存
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
Address	1~20oct		SGSN/MSC address に依存
LMSI Tag	1oct	0	受信事業者に依存して付与
length	1oct		LMSI 長
Imsi	4oct		受信事業者側 VLR が付与
GPRS Node Indicator	1oct	0	信号送信時：設定契機なし
length	1oct		信号受信時：使用

※1 オペレーションコードとパラメータの省略は許容しない(MT_ForwardSM 送信のための情報が必須であるため)。

3.4.3 SRIforSM_Nack

SRIforSM_Nackのフォーマットについて表3.4.3-1に示す。

表 3.4.3-1 SRIforSM_Nack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
Error Code Tag	1oct	M	固定
length	1oct		※Error パラメータの詳細は標準準拠とし記載は省略する。
Error Code	1oct		エラーコード依存 (エラーにより付加情報を付与)

3.4.4 MT_ForwardSM

MT_ForwardSMのフォーマットについて表3.4.4-1に示す。

表 3.4.4-1 MT_ForwardSM

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	M	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct		
OperationCode	1oct		MT_ForwardSM
Parameter Sequence Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
SM RP DA Tag	1oct	M	IMSI を使用 : 0x80
length(IMSI の場合)	1oct	M	440 or 441 で始まる IMSI 番号
IMSI	3 ~ 8oct		
length(LMSI の場合)	1oct	M	未設定
LMSI	4oct		
SM RP OA tag	1oct	M	SC アドレスの場合
length (ServiceCntrAddress0A の場合)	1oct		address 長に依存
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
address	1~ 20oct		81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (送信事業者 SMSCAddress 依存)
SM RP UI Tag	1oct	M	SMS-Deliver
length	1oct		データ長に依存
TP-RP(TP-Reply-Path)	Bit7	M	0のみ許容
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	Bit6	M	0=TP-UD にヘッダなし、1=TP-UD にヘッダあり
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	Bit5	M	発信者操作に依存
spare	Bit3~ 4	-	
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	Bit2	M	1=後続 Msg なし、0=後続 Msg あり
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	Bit0~ 1	M	SMS-Deliver
TP-OA (TP-Orignating-Address)		M	固定 No Extention Unknown Unknown or E.164 0A0 から始まる 11 桁の電話番号 (発信者 address)
length	1oct		
ext	1bit		
type of number	3bit		
numbering plan indicator	4bit		
address	1~11oct		
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	1oct	M	0のみ許容
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	bit7~ 6	M	General Data Coding
	bit5		非圧縮テキストフォーマット
	bit4		0 : No Message Class
	bit3~		GSM 7 bit default alphabet /

				2		USC2	
				bit1~0		Message Class : Class 0	
				TP-SCTS (TP-Service-Centre-Time-Stamp)	7oct	M	JST + (GMT +9) 形式 ※値は送信側設備での受信日時
				TP-UDL (TP-User-Data-Length)	整数	M	ユーザデータに依存
				TP-UD (TP-User-Data)	TP-DCS 依存	0	発信者操作に依存 (最大140octetsまで)
				TP-UDH (TP-User-Data-Header)			相互接続のコンカチ SMS の場合、設定する (IEI=0x00 のみ許容)
				UDHL	1oct	0	UDH フィールド内の Octet 数
				IEI	1oct		連結 : 8 ビット整理番号
				IEDL	1oct		IED フィールド内の Octet 数
				IED	1oct		8 ビット連結 SM 整理番号
					1oct		最大 SM 番号
					1oct		シーケンス番号
				More Message To Send Tag	1oct	0	
				length	1oct		
				Extension Container Tag	1oct	0	未設定
				length	1oct		
				PrivateExtensionList Tag	1oct	0	
				length	1oct		
				InterPLMN-MT-FSM-ARG-EXTENSION Tag	1oct	0	
				length	1oct		
				Ext ID Tag	1oct	0	
				length	1oct		
				Ext ID	8oct		
				Ext Type Tag	1oct	0	
				length	1oct		
				Ext Type	1oct		

3.4.5 MT_ForwardSM_Ack

MT_ForwardSM_Ackのフォーマットについて表3.4.5-1に示す。

表 3.4.5-1 MT_ForwardSM_Ack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	0	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct	※2	
OperationCode	1oct		MT_ForwardSM
Parameter Sequence Tag	1oct	0	固定
length	1oct	※2	
SM RP UI Tag	1oct	M	
length	1oct		
TP-RP (TP-Reply-Path)	bit7	M	
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	bit6	M	TP-UDH なし

TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	bit5	M	
spare	bit3~4	-	
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	bit2	M	
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	bit0~1	M	SMS-Deliver-Report
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	1oct	M	
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	1oct	0	未設定
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	bit7~6	0	
	bit5		
	bit4		
	bit3~2		
bit1~0			
TP-UDL (TP-User-Data-Length)	整数	0	
TP-UD (TP-User-Data)	TP-DCS 依存	0	

※2 オペレーションコードとパラメータ (SM-RP-UI) の省略は許容する。
 但し、オペレーションコードのみ省略、パラメータ (SM-RP-UI) のみ省略は許容しない。

3.4.6 MT_ForwardSM_Nack

MT_ForwardSM_Nackのフォーマットについて表3.4.6-1に示す。

表 3.4.6-1 MT_ForwardSM_Nack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
Error Code Tag	1oct	M	固定 ※Error パラメータの詳細は標準準拠のため省略 (SM-DeliveryFailureのみ参考に記載)。
length	1oct		
Error Code	1oct		エラーコード依存
Parameter Sequence Tag	1oct	0	固定
length	1oct	※3	
SM-EnumeratedDeliveryFailureCause	1oct	0	UserError が SM-DeliveryFailure の場合のみ
length	1oct		
SM-DeliveryFailureCause Value	1oct		SM-DeliveryFailureCause に依存
diagnosticInfo	1oct	M	UserError が SM-DeliveryFailure の場合のみ
length	1oct		
TP-RP (TP-Reply-Path)	bit7	M	
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	bit6	M	TP-UDH なし
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	bit5	M	
spare	bit3~4	-	
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	bit2	M	
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	bit0~1	M	SMS-Deliver-Report
TP-FCS (TP-Failuer-Cause)	整数	M	
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	1oct	M	
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	1oct	0	未設定

		TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	bit7~6	0	未設定
			bit5		未設定
			bit4		未設定
			bit3~2		未設定
			bit1~0		未設定
		TP-UDL (TP-User-Data-Length)	整数	0	未設定
		TP-UD (TP-User-Data)	TP-DCS 依存	0	未設定

※3 パラメータの省略は許容する。

3.4.7 AlertSC

AlertSCのフォーマットについて表3.4.7-1に示す。

表 3.4.7-1 AlertSC

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	M	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct		
OperationCode	1oct		Alert_SC
Parameter Sequence Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
MSISdn-Alert Tag	1oct	M	固定
length	1oct		国内の MSISDN 長は固定のため
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E. 164
address	6oct		81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
Service Centre Address Tag	1oct	M	固定
length	1oct		address 長に依存
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E. 164
address	1~ 20oct		81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (送信事業者 SMSCaddress 依存)

3.4.8 AlertSC_Ack

AlertSC_Ackのフォーマットについて表3.4.8-1に示す。

表 3.4.8-1 AlertSC_Ack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID

3.4.9 AlertSC_Ack (Nack)

AlertSC_Ack (Nack) のフォーマットについて表 3.4.9-1 に示す。

表 3.4.9-1 AlertSC_Ack (Nack)

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	loct	M	起動 ID タグ
length	loct		
Invoke Id	loct		起動 ID
Error Code Tag	loct	M	固定 ※Error パラメータの詳細は標準準拠とし記載は省略する。
length	loct		
Error Code	loct		エラーコード依存

3.4.10 ReportSMDeliveryStatus

ReportSMDeliveryStatusのフォーマットについて表3.4.10-1に示す。

表 3.4.10-1 ReportSMDeliveryStatus

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct		起動 ID タグ
length	1oct	M	
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct		ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct	M	
OperationCode	1oct		ReportSMDeliveryStatus
Parameter Sequence Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
MSISDN Tag	1oct		固定
length	1oct		国内の MSISDN 長は固定のため
ext	1bit	M	No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
address	6oct		81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
Service Centre Address Tag	1oct		固定
length	1oct		address 長に依存
ext	1bit	M	No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
Address	1~20oct		81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (送信事業者 SMSCaddress 依存)
SM Delivery Outcome Tag	1oct		固定
length	1oct		固定
sm-DeliveryOutcome	1oct	M	memoryCapacityExceeded(0)/absentSubscriber(1)/successfulTransfer(2)
Absent Subscriber Diagnostic SM Tag	1oct		未設定
length	1oct	0	
value	1oct		
GPRS Support Indicator Tag	1oct	0	信号送信時：設定契機なし 信号受信時：無視
length	1oct		
Delivery Outcome Indicator Tag	1oct	0	信号送信時：設定契機有り 信号受信時：使用
length	1oct		
Additional SM Delivery Outcome Tag	1oct		未設定
length	1oct	0	
additionalSM-DeliveryOutcome	1oct		
Additional Absent Subscriber Diagnostic SM Tag	1oct		未設定
length	1oct	0	
value	1oct		

3.4.11 ReportSMDeliveryStatus_Ack

ReportSMDeliveryStatus_Ackのフォーマットについて表3.4.11-1に示す。

表3.4.11-1 ReportSMDeliveryStatus_Ack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID

3.4.12 ReportSMDeliveryStatus_Nack

ReportSMDeliveryStatus_Nackのフォーマットについて表3.4.11-1に示す。

表3.4.12-1 ReportSMDeliveryStatus_Nack

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
Error Code Tag	1oct	M	固定 ※Error パラメータの詳細は標準準拠とし記載は省略する。
length	1oct		
Error Code	1oct		エラーコード依存

3.4.13 InformSC

InformSCのフォーマットについて表3.4.13-1に示す。

表3.4.13-1 InformSC

パラメータ名	Size	M/O	補足
Invoke Id Tag	1oct	M	起動 ID タグ
length	1oct		
Invoke Id	1oct		起動 ID
OperationCode Tag	1oct	M	ローカルオペレーションコードタグ
length	1oct		
OperationCode	1oct		InformSC
Parameter Sequence Tag	1oct	M	固定
length	1oct		
MSIsdn-Alert Tag	1oct	0	固定
length	1oct		国内の MSISDN 長は固定のため
ext	1bit		No Extention
type of number	3bit		International Number
numbering plan indicator	4bit		E.164
address	6oct		81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
MWD Status Tag	1oct	0	
length	1oct		

		sc-addressNotIncluded	bit7	0:False 1:True
		mrf-Set	bit6	0:False 1:True
		mcef-Set	bit5	0:False 1:True
		mrg-Set	bit4	0:False 1:True
		unused bit	bit3~ 0	未使用 bit 4bit

3.4.14 MAPネットワークタイマ

MAPに関するネットワークタイマ値を表3.4.14-1に示す。

表3.4.14-1 MAPタイマ値

	信号名	値
MAP	SRIforSMタイマ	60秒
	MT_ForwardSMタイマ	60秒
	ReportSMDeliveryStatusタイマ	60秒
	AlertSCタイマ	60秒

3.5 IWSG送信信号

IWSGが信号を送信する場合に設定される信号データを記載する。

3.5.1 SRI for SM

IWSGから送信するSRI for SM (当社網発) に設定される信号を表 3.5.1-1に示す。

表 3.5.1-1 SRI for SM

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x2D	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
MS ISDN Tag	0x80	
length	0x07	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E.164
address	81AOCDEFGHIJ	81 から始まる 12 桁の電話番号 (着MSISDN)
SM-RP-PRI Tag	0x81	
length	0x01	
Boolean	0x00	IWSG は、0:False を固定で設定
ServiceCentreAddress Tag	0x82	
length	可変	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E.164
address	81AOCDE	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (IWSG の SC ノード番号)
GPRS Support Indicator Tag	0x87	当社では未設定
length	0x00	
SM-RP-MTI Tag	0x88	当社では未設定
length	0x01	
INTEGER	0x00	
SM-RP-SMEA Tag	0x89	当社では未設定
length	-	
Address Length	-	
type-of-address	-	
Address	-	

3.5.2 SRIForSM_Ack

IWSGから送信するSRIForSM_Ackに設定される信号を表3.5.2-1に示す。

表 3.5.2-1 SRIForSM_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	SRIForSM で受信した値を設定
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x2D	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
IMSI Tag	0x04	
length	可変	
IMSI	440xx.....	440 で始まる IMSI 番号
locationInfoWithLMSI Tag	0xA0	
length	可変	
Network Node Number Tag	0x81	
length	可変	
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address		81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (IWSG の SC ノード番号)
LMSI Tag	0x04	当社では未設定
length	-	
Imsi	-	
GPRS Node Indicator	0x85	当社では未設定
length	-	

3.5.3 SRIForSM_Nack

IWSGから送信するSRIForSM_Nackに設定される信号を表3.5.3-1に示す。

表 3.5.3-1 SRIForSM_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	SRIForSM で受信した値を設定
Error Code Tag	0x02	
length	0x01	
Error Code	可変	発生したエラーに応じて設定

3.5.4 MT_ForwardSM

IWSGから送信するMT_ForwardSMに設定される信号を表3.5.4-1に示す。

表3.5.4-1 MT_ForwardSM

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x2C	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
SM RP DA Tag	0x80	
length (IMSI の場合)	可変	
IMSI	440xx or 441xx . . .	SRIforSM_Ack に設定されている IMSI を設定
length (LMSI の場合)	0x04	当社は未設定
LMSI	-	
SM RP OA tag	0x84	
length (ServiceCntrAddress0A の場合)	可変	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E.164
address	81A0CDE	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (IWSG の SC ノード番号)
SM RP UI Tag	0x04	
length	可変	
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	相互接続では 0 固定で設定
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	0=TP-UD にヘッダなし、1=TP-UD に ヘッダあり
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	0 (bit)	0:STATUS-REPORT 送信なしを固定で 設定
spare	00 (bit)	00 固定
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	1 or 0 (bit)	1=後続 Msg なし、0=後続 Msg あり
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	00 : SMS-Deliver を固定で設定
TP-OA (TP-Originating-Address)		
length	0x0B	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	000 (bit)	不定
numbering plan indicator	0000 (bit)	不定 (IWSG は不定を固定で設定)
address	0AOCDEFGHIJ	
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	0x00	0 固定で設定
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	00 (bit)	00 (bit) : General Data Coding を 固定で設定
	0 (bit)	0 (bit) : 非圧縮テキストフォーマット を固定で設定
	0 (bit)	0 (bit) : No Message Class を固定 で設定
	00 or 10 (bit)	文字コード変換結果に依存。

				00 or 10 (bit) :GSM 7 bit default alphabet / USC2 の何れかを設定
			00(bit)	IWSG は 00 : class 0 固定で設定
			TP-SCTS (TP-Service-Centre-Time-Stamp)	可変 JST + (GMT +9) 形式
			TP-UDL (TP-User-Data-Length)	可変 文字変換後のサイズを設定
			TP-UD (TP-User-Data)	可変 文字変換後のデータを設定
			TP-UDH (TP-User-Data-Header)	TP-UDHI が 1(ヘッダあり)の場合に設定
			UDHL	0x05 "
			IEI	0x00 "
			IEDL	0x03 "
			IED	可変 "
				可変 "
				可変 "
			More Message To Send Tag	0x05 More_Message_To_Send が後続ありの場合に設定
			length	0x00 "
			Extension Container Tag	0xAD 当社では未設定
			length	-
			PrivateExtensionList Tag	0x30
			length	-
			InterPLMN-MT-FSM-ARG-EXTENSION Tag	0x30
			length	-
			Ext ID Tag	0x06
			length	-
			Ext ID	-
			Ext Type Tag	0x04
			length	-
			Ext Type	-

3.5.5 MT_ForwardSM_Ack

IWSGから送信するMT_ForwardSM_Ackに設定される信号を表 3.5.5. -1に示す。

表 3.5.5. -1 MT_ForwardSM_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	MT_ForwardSM で受信した Invoke Id を設定
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x2C	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	0x04	IWSG では固定
SM RP UI Tag	0x04	
length	0x02	IWSG では固定
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
spare	00 (bit)	IWSG では 00 固定
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	00 : SMS-Deliver-Report 固定
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	0x00	IWSG では、以下のパラメータ設定しないため、0x00 固定
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	-	当社では未設定
	-	//
	-	//
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	-	//
	-	//
	-	//
TP-UDL (TP-User-Data-Length)	-	//
TP-UD (TP-User-Data)	-	//

3.5.6 MT_ForwardSM_Nack

IWSGから送信するMT_ForwardSM_Nackに設定される信号を表3.5.6-1に示す。

表3.5.6-1 MT_ForwardSM_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	
Error Code Tag	0x02	
length	0x01	
Error Code	可変	発生したエラーに応じて設定
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
sm-EnumeratedDeliveryFailureCause	0x0A	
length	0x01	
SM-DeliveryFailureCause Value	可変	発生したエラーに応じて設定
diagnosticInfo	0x04	
length	可変	
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
spare	00 (bit)	IWSG では 00 固定
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	0 (bit)	IWSG では 0 固定
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	
TP-FCS (TP-Failuer-Cause)	0x00~0xFF	発生したエラーに応じて設定
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	0x00	IWSG では、以下のパラメータ設定しないため、0x00 固定
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	-	当社では未設定
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	-	//
TP-UDL (TP-User-Data-Length)	-	//
TP-UD (TP-User-Data)	-	//

3.5.7 AlertSC

IWSGから送信するAlertSCに設定される信号を表 3.5.7-1に示す。

表 3.5.7-1 AlertSC

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x40	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
MSISdn-Alert Tag	0x04	
length	0x07	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E.164
address	81AOCDEFGHIJ	81から始まる12桁の電話番号(着MSISDN)
Service Centre Address Tag	0x04	
length	可変	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E.164
address	81AOCDE.....	81から始まる12~15桁のSCノード番号

3.5.8 AlertSC_Ack

IWSGから送信するAlertSC_Ackに設定される信号を表 3.5.8-1に示す。

表 3.5.8-1 AlertSC_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	AlertSCに設定されている Invoke Idを設定

3.5.9 AlertSC_Nack

IWSGから送信するAlertSC_Nackに設定される信号を表 3.5.9-1に示す。

表 3.5.9-1 AlertSC_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	AlertSCに設定されている Invoke Idを設定

Error Code Tag	0x02	
length	0x01	
Error Code	可変	発生したエラーに応じて設定

3.5.10 ReportSMDeliveryStatus

IWSGから送信するReportSMDeliveryStatusに設定される信号を表3.5.10-1に示す。

表3.5.10-1 ReportSMDeliveryStatus

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	
OperationCode Tag	0x02	
length	0x01	
OperationCode	0x2f	
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
MSISDN Tag	0x04	
length	0x07	
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDEFGHIJ	81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
Service Centre Address Tag	0x04	
length	可変	
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDE.....	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (IWSG の SC ノード番号)
SM Delivery Outcome Tag	0x0A	
length	0x01	
sm-DeliveryOutcome	0x00/0x01/0x02	MT_ForwardSM_NAck のエラーに応じて設定
Absent Subscriber Diagnostic SM Tag	0x02	当社では未設定
length	-	
value	-	
GPRS Support Indicator Tag	0x82	当社では未設定
length	-	
Delivery Outcome Indicator Tag	0x83	SRIforSM_Ack の gprsNodeIndicator が付与されていた場合のみ設定
length	0x00	当社では 00 固定
Additional SM DeliveryOutcome Tag	0x0A	当社では未設定
length	-	
additionalSM-DeliveryOutcome	-	
Additional Absent Subscriber Diagnostic SM Tag	0x02	当社では未設定

	length	-	
	value	-	

3.5.11 ReportSMDeliveryStatus__Ack

IWSGから送信するReportSMDeliveryStatus__Ackに設定される信号を表 3.5.11-1に示す。

表 3.5.11-1 ReportSMDeliveryStatus__Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	ReportSMDeliveryStatus に設定されている Invoke Id を設定

3.5.12 ReportSMDeliveryStatus__Nack

IWSGから送信するReportSMDeliveryStatus__Nackに設定される信号を表 3.5.12-1に示す。

表 3.5.12-1 ReportSMDeliveryStatus__Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	
length	0x01	
Invoke Id	可変	ReportSMDeliveryStatus に設定されている Invoke Id を設定
Error Code Tag	0x02	
length	0x01	
Error Code	可変	発生したエラーに応じて設定

3.6 IWSG受信信号

IWSGで信号を受信する場合に設定されている信号データを記載する。

3.6.1 SRIforSM

IWSGで受信するSRIforSM(当社網着)に設定されている信号を表 3.6.1-1に示す。

当社網着の他移動体事業者網への転送の場合は受信したSRIforSMをそのまま転送する。

表 3.6.1-1 SRIforSM

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコード タグ
length	0x01	
OperationCode	0x2D	SRIfor_SM
Parameter Sequence Tag	0x30	
length	可変	
MS ISDN Tag	0x80	
length	0x07	
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDEFGHIJ	81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
SM-RP-PRI Tag	0x81	
length	0x01	
Boolean	0x00	送信設備依存 0:False 1:True
ServiceCentreAddress Tag	0x82	
length	可変	
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDE	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号
GPRS Support Indicator Tag	0x87	設定の有無は送信事業者次第
length	0x00	
SM-RP-MTI Tag	0x88	
length	0x01	
INTEGER	送信設備依存	0: SMS Delivery
SM-RP-SMEA Tag	0x89	設定の有無は送信事業者次第
length	可変	
Address Length	可変	
type-of-address	可変	
Address	81AOCDEFGHIJ	発 MSISDN

3.6.2 SRIforSM_Ack

IWSGで受信するSRIforSM_Ackに設定されている信号を表3.6.2-1に示す。

表3.6.2-1 SRIforSM_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコードタグ
length	0x01	
OperationCode	0x2D	SRIforSM
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	可変	
IMSI Tag	0x04	固定
length	可変	IMSI 長に依存
IMSI	440xx or 441xx	440 or 441 で始まる IMSI 番号
locationInfoWithLMSI Tag	0xA0	
length	可変	
Network Node Number Tag	0x81	
length	可変	MSC address 長に依存
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	可変	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号
LMSI Tag	0x04	送信事業者に依存して付与
length	0x04	LMSI 長
Imsi	可変	送信事業者側 VLR が付与
GPRS Node Indicator	0x85	設定の有無は送信事業者次第
length	-	

3.6.3 SRIforSM_Nack

IWSGで受信するSRIforSM_Nackに設定されている信号を表3.6.3-1に示す。

表3.6.3-1 SRIforSM_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 Id タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
Error Code Tag	0x02	固定 ※Error パラメータの詳細は標準 準拠とし記載は省略する。
length	0x01	
Error Code	可変	エラーコード依存

3.6.4 MT_ForwardSM

IWSGで受信するMT_ForwardSMに設定されている信号を表 3.6.4-1 に示す。

表 3.6.4-1 MT_ForwardSM

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコードタグ
length	0x01	
OperationCode	0x2C	MT_ForwardSM
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	可変	
SM RP DA Tag	0x80	IMSI の場合
SM RP DA Tag	0x81	LMSI の場合
length(IMSI の場合)	可変	
IMSI	440 . . .	SRIforSM_Ack 応答時に設定した IMSI 番号
length(LMSI の場合)	0x04	
LMSI	設備依存	VLR で付与される LMSI 番号
SM RP OA tag	0x84	SC アドレスの場合
length (ServiceCenterAddressOA の場合)	可変	address 長に依存
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E. 164
address	81A0CDE	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号
SM RP UI Tag	0x04	SMS-Deliver
length	可変	データ長に依存
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	相互接続では 0 固定で設定
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	0=TP-UD にヘッダなし、1=TP-UD にヘッダあり
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	0 (bit)	発信者操作に依存
spare	-	
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	1 or 0 (bit)	1=後続 Msg なし、0=後続 Msg あり
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	00 : SMS-Deliver を固定で設定
TP-OA (TP-Originating-Address)		
length	0x0B	
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	000 (bit)	Unknown
numbering plan indicator	0000 (bit)	Unknown or E. 164
address	0A0CDEFGHIJ	0A0 から始まる 11 桁の電話番号(発信者 address)
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	0x00	相互接続では 0 固定で設定
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	00 (bit)	00 (bit) : General Data Coding を固定で設定
	0 (bit)	0 (bit) : 非圧縮テキストフォーマットを固定で設定
	0 (bit)	0 (bit) : No Message Class を固定で設定

			00 or 10(bit)	00 or 10 (bit) :GSM 7 bit default alphabet / USC2 の何れかを設定
			00(bit)	Message Class : Class 0
		TP-SCTS (TP-Service-Centre-Time-Stamp)	可変	JST + (GMT +9) 形式 ※値は送信側設備での受信日時
		TP-UDL(TP-User-Data-Length)	可変	ユーザデータに依存
		TP-UD(TP-User-Data)	可変	発信者操作に依存 (最大 140octets まで)
		TP-UDH(TP-User-Data-Header)		TP-UDHI が 1(ヘッダあり)の場合に有効
		UDHL	可変	"
		IEI	0x00	"
		IEDL	可変	"
		IED	可変	"
			可変	"
			可変	"
		More Message To Send Tag	0x05	
		length	0x00	
		Extension Container Tag	0xAD	
		length	-	
		PrivateExtensionList Tag	0x30	
		length	-	
		InterPLMN-MT-FSM-ARG-EXTENSION Tag	0x30	構造型 SEQUENCE
		length	-	
		Ext ID Tag	0x06	オブジェクト識別子
		length	0x0D	
		Ext ID	0x02	Level 1 : ccitt(0)
			0x83	Level 2 : administration(2)
			0x38	Level 3 : japan(440)
			0x86	Level 4 : kddi(112636)
			0xEF	
			0x7C	
			0X02	Level 5 : inter-plmn(2)
			0x01	Level6: sms-private-extension-version1 (1)
		Ext Type Tag	0x04	OCTET STRING
		length	0x01	
		Ext Type	可変	SM-MO の TP-MR

3.6.5 MT_ForwardSM_Ack
 IWSGで受信するMT_ForwardSM_Ackに設定されている信号を表 3.6.5-1に示す。

表 3.6.5-1 MT_ForwardSM_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコードタ

		グ
length	0x01	
OperationCode	0x2C	MT_ForwardSM
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	0x04	
SM RP UI Tag	0x04	
length	0x02	
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	TP-UDH なし
TP-SRI (TP-Status-Report-Indication)	0 (bit)	
spare	00 (bit)	
TP-MMS (TP-More-Message-to-Send)	0 (bit)	
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	SMS-Deliver-Report
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	0x00	
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	0x00	
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	00 (bit)	General Data Coding
	0 (bit)	非圧縮テキストフォーマット
	0 or 1 (bit)	Include class (基本は 0 No Message Class だが相互接続では許容とする)
	00 or 10 (bit)	GSM 7 bit default alphabet / USC2
	00 ~ 11 (bit)	Message Class に依存 (基本は Class 0 だが相互接続では許容とする)
TP-UDL (TP-User-Data-Length)	可変	
TP-UD (TP-User-Data)	可変	

3.6.6 MT_ForwardSM_Nack

I WSGで受信するMT_ForwardSM_Nackに設定されている信号を表 3.6.6-1 に示す。

表 3.6.6-1 MT_ForwardSM_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
Error Code Tag	0x02	固定 ※Error パラメータの詳細は標準 準拠のため省略 (sm-DeliveryFailure のみ参考 に記載)。
length	0x01	
ErrorCode	可変	エラーコード依存
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	可変	
sm-EnumeratedDeliveryFailureCause	0x0A	UserError が SM-DeliveryFailure の場合のみ
length	0x01	
SM-DeliveryFailureCause Value	可変	SM-DeliveryFailureCause に依存
diagnosticInfo	0x04	UserError が SM-DeliveryFailure の場合のみ

length	可変	
TP-RP (TP-Reply-Path)	0 (bit)	
TP-UDHI (TP-User-Data-Header-Indicator)	0 (bit)	TP-UDH なし
TP-FCS (TP-Failuer-Cause)	0x00~0xFF	
TP-MTI (TP-MessageTypeIndicator)	00 (bit)	SMS-Deliver-Report
TP-PI (TP-Parameter-Indicator)	0x00	
TP-PID (TP-Protocol-Identifer)	0x00	
TP-DCS (TP-Data-Coding-Scheme)	00 (bit)	General Data Coding
	0 (bit)	非圧縮テキストフォーマット
	0 or 1 (bit)	Include class (基本は 0 No Message Class だが相互接続では許容とする)
	00 or 10 (bit)	GSM 7 bit default alphabet / USC2
	00 ~ 11 (bit)	Message Class に依存 (基本は Class 0 だが相互接続では許容とする)
TP-UDL (TP-User-Data-Length)	可変	
TP-UD (TP-User-Data)	可変	

3.6.7 AlertSC

IWSGで受信するAlertSCに設定されている信号を表 3.6.7-1 に示す。

表 3.6.7-1 AlertSC

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコードタグ
length	0x01	
OperationCode	0x40	AlertSC
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	可変	
MSISdn-Alert Tag	0x04	固定
length	0x07	国内の MSISDN 長は固定のため
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number
numbering plan indicator	0001 (bit)	E. 164
address	81A0CDEFGHIJ	81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
Service Centre Address Tag	0x04	固定
length	可変	address 長に依存
ext	1 (bit)	No Extension
type of number	001 (bit)	International Number (0x01)
numbering plan indicator	0001 (bit)	E. 164 (0x01)
address	81A0CDE.....	81 から始まる 12~15 桁の SC ノード番号 (送信事業者 SMSAddress 依存)

3.6.8 AlertSC_Ack

IWSGで受信するAlertSC_Ackに設定されている信号を表 3.6.8-1に示す。

表 3.6.8-1 AlertSC_Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID

3.6.9 AlertSC_Nack

IWSGで受信するAlertSC_Nackに設定されている信号を表 3.6.9-1に示す。

表 3.6.9-1 AlertSC_Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
Error Code Tag	0x02	固定 ※Error パラメータの詳細は標準 準拠とし記載は省略する。
length	0x01	
Error Code	可変	エラーコード依存

3.6.10 ReportSMDeliveryStatus

IWSGで受信するReportSMDeliveryStatusに設定されている信号を表3.6.10-1に示す。

表3.6.10-1 ReportSMDeliveryStatus

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
OperationCode Tag	0x02	ローカルオペレーションコード タグ
length	0x01	
OperationCode	0x2f	ReportSMDeliveryStatus
Parameter Sequence Tag	0x30	固定
length	可変	
MSISDN Tag	0x04	固定
length	0x07	国内の MSISDN 長は固定のため
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDEFGHIJ	81 から始まる 12 桁の電話番号 (着 MSISDN)
Service Centre Address Tag	0x04	固定
length	可変	address 長に依存
ext	1(bit)	No Extension
type of number	001(bit)	International Number
numbering plan indicator	0001(bit)	E.164
address	81AOCDE.....	81 から始まる 12~15 桁の SC ノ ード番号 (送信事業者 SMSCaddress 依存)
SM Delivery Outcome Tag	0x0A	固定
length	0x01	固定
sm-DeliveryOutcome	0x00/0x01/0x02	memoryCapacityExceeded(0)/abs entSubscriber(1)/successfulTr ansfer(2)
Absent Subscriber Diagnostic SM Tag		
length	0x01	
value	0x00~0xFF	
GPRS Support Indicator Tag	0x82	当社信号受信時:無視
length	0x00	
Delivery Outcome Indicator Tag	0x83	
length	0x00	
Additional SM DeliveryOutcome Tag	0x0A	
length	0x01	固定
additionalSM-DeliveryOutcome	0x00/0x01/0x02	memoryCapacityExceeded(0)/abs entSubscriber(1)/successfulTr ansfer(2)
Additional Absent Subscriber Diagnostic SM Tag		
length	0x01	
value	0x00~0xFF	

3.6.11 ReportSMDeliveryStatus__Ack

IWSGで受信するReportSMDeliveryStatus__Ackに設定されている信号を表 3.6.11-1に示す。

表 3.6.11-1 ReportSMDeliveryStatus__Ack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID

3.6.12 ReportSMDeliveryStatus__Nack

IWSGで受信するReportSMDeliveryStatus__Nackに設定されている信号を表 3.6.12-1に示す。

表 3.6.12-1 ReportSMDeliveryStatus__Nack

パラメータ名	値	補足
Invoke Id Tag	0x02	起動 ID タグ
length	0x01	
Invoke Id	可変	起動 ID
Error Code Tag	0x02	固定 ※Error パラメータの詳細は標準準拠とし記載は省略する。
length	0x01	
Error Code	可変	エラーコード依存

技術的条件集別表 15

接続シーケンス

(対移動体事業者SMS接続用インタフェース)

技術的条件集別表－15（接続シーケンス）

1. 概説

本別表は、当社網と移動体事業者網間の3GPP（GSM-MAP）方式を利用したSMSの相互接続に関する接続シーケンスについて規定する。

2. 接続基本シーケンス

本項ではSMS相互接続の基本手順を示す。発事業者網の契約者回線より送信されるSMSは、発事業者網に收容されるものとする。SMSの配信時、SMSCは、宛先アドレスをHLRに問い合わせることにより、着事業者を選択（番号解決）し、得られた着事業者網に対して、SMSを送信する。SMS相互接続配信基本手順を図2-1に示す。但し、設備構成、設備名称について制限するものではない。

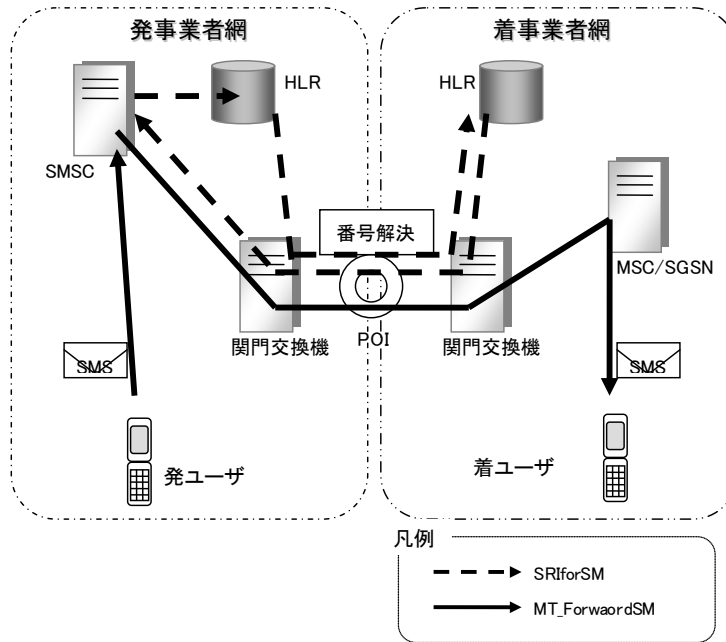


図 2-1 国内SMS相互接続のイメージ

2.1 網間信号

当社網と移動体事業者網間に流れるGSM-MAP信号を表2.1-1に示す。

なお、マルチコンポーネントでの送信も可能とする。

表 2.1-1 網間にて送受信するMAPサービス

項番	MAP サービス	本書での略称	備考
1	MAP_SEND_ROUTING_INFO_SM	SRIforSM	
2	MAP_SEND_ROUTING_INFO_SM_ACK	SRIforSM_Ack (Nack)	1項の応答
3	MAP_MT_FORWARD_SHORT_MESSAGE	MT_ForwardSM	
4	MAP_MT_FORWARD_SHORT_MESSAGE_ACK	MT_ForwardSM_Ack (Nack)	3項応答
5	MAP_ALERT_SERVICE_CENTER	AlertSC	
6	MAP_ALERT_SERVICE_CENTER_ACK	AlertSC_Ack (Nack)	5項の応答
7	MAP_REPORT_SM_DELIVERY_STATUS	ReportSMDeliveryStatus	
8	MAP_REPORT_SM_DELIVERY_STATUS_ACK	ReportSMDeliveryStatus_Ack (Nack)	7項の応答
9	INFORM_SERVICE_CENTER	InformSC	1項の応答

2.2 シーケンス

表2.1-1に示した処理シーケンスを下図に示す。なお、シーケンス上の設備は代表的な機能を有する一般的な名称で表現しており、事業者網内の物理設備や事業者網内の処理シーケンスを制約するものではない。当社網内信号は本別表の規定対象外としており、GSM-MAP相当の信号または一般的な信号への置き換え、若しくは一部省略し表現している。

また、接続事業者は3GPP(GSM-MAP)仕様を利用している移動体事業者を前提として記載している。

本別表の以下のシーケンスは、当社網と移動体事業者網間を流れる3GPP(GSM-MAP)信号の代表例のみ記載する。

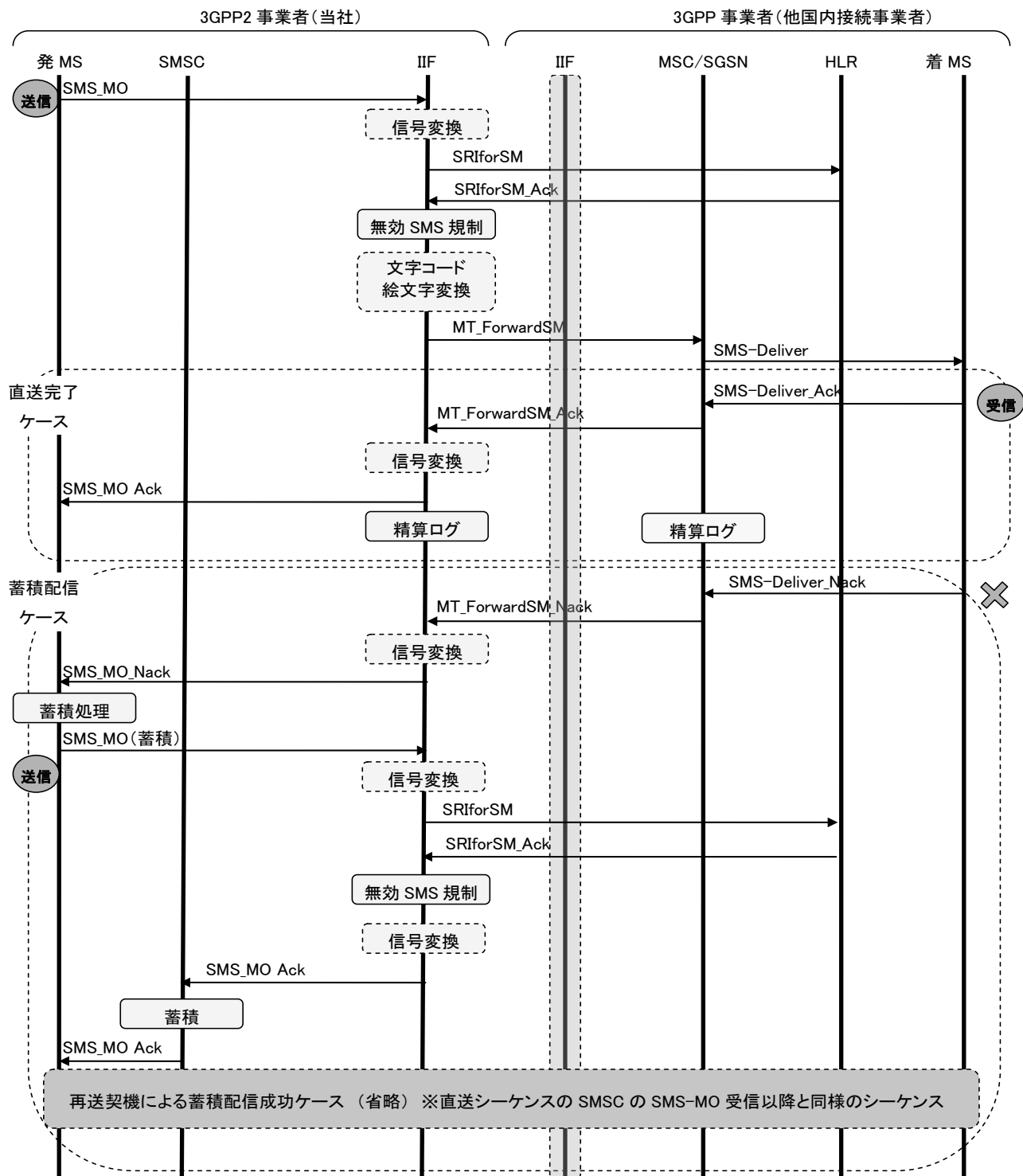


図 2. 2-1 3GPP2 事業者(当社)⇒3GPP 事業者 (他国内接続事業者)
(基本シーケンス 1)

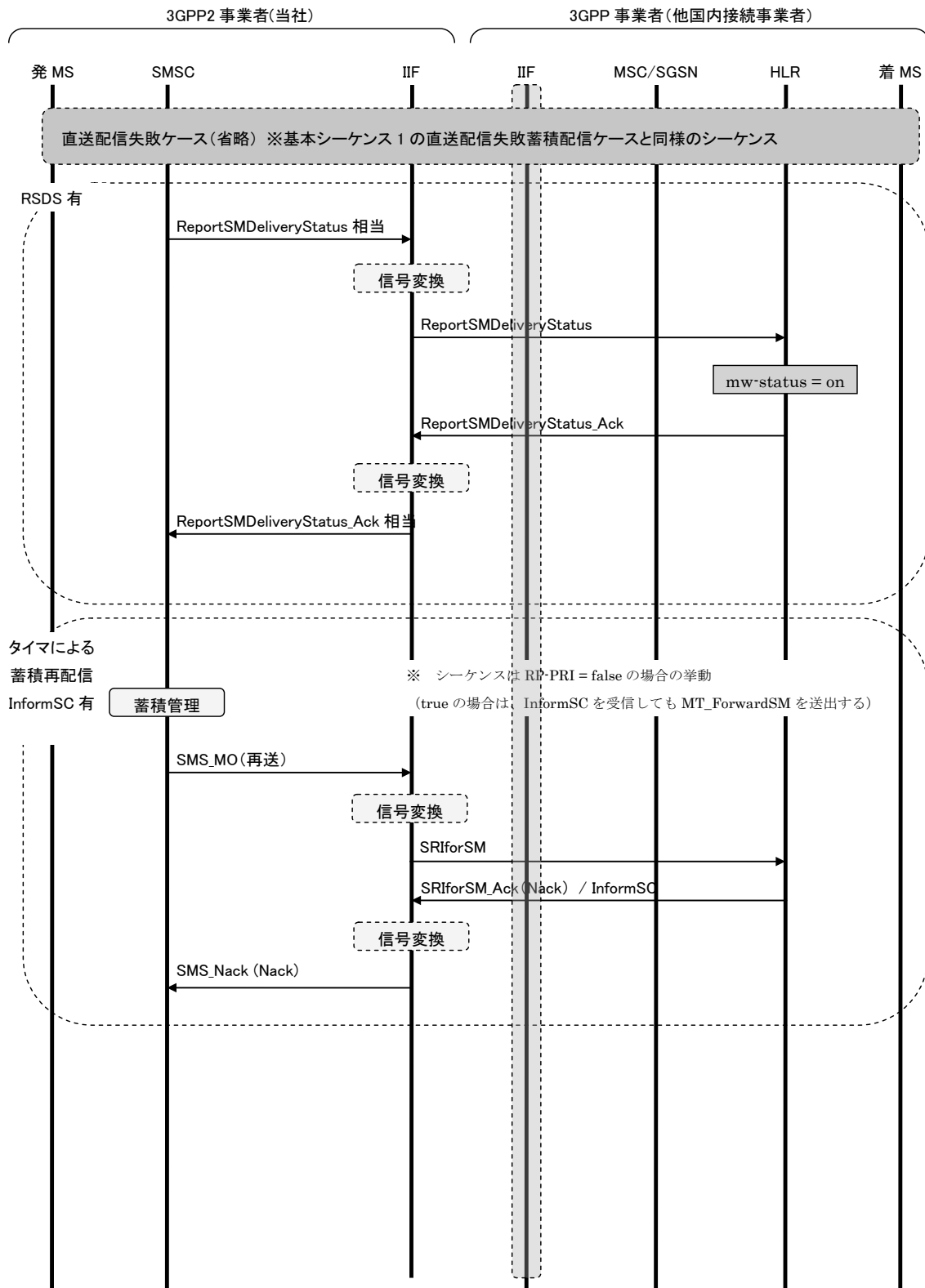


図 2. 2-2 3GPP2事業者(当社)⇒3GPP事業者(他国内接続事業者)
(基本シーケンス2)

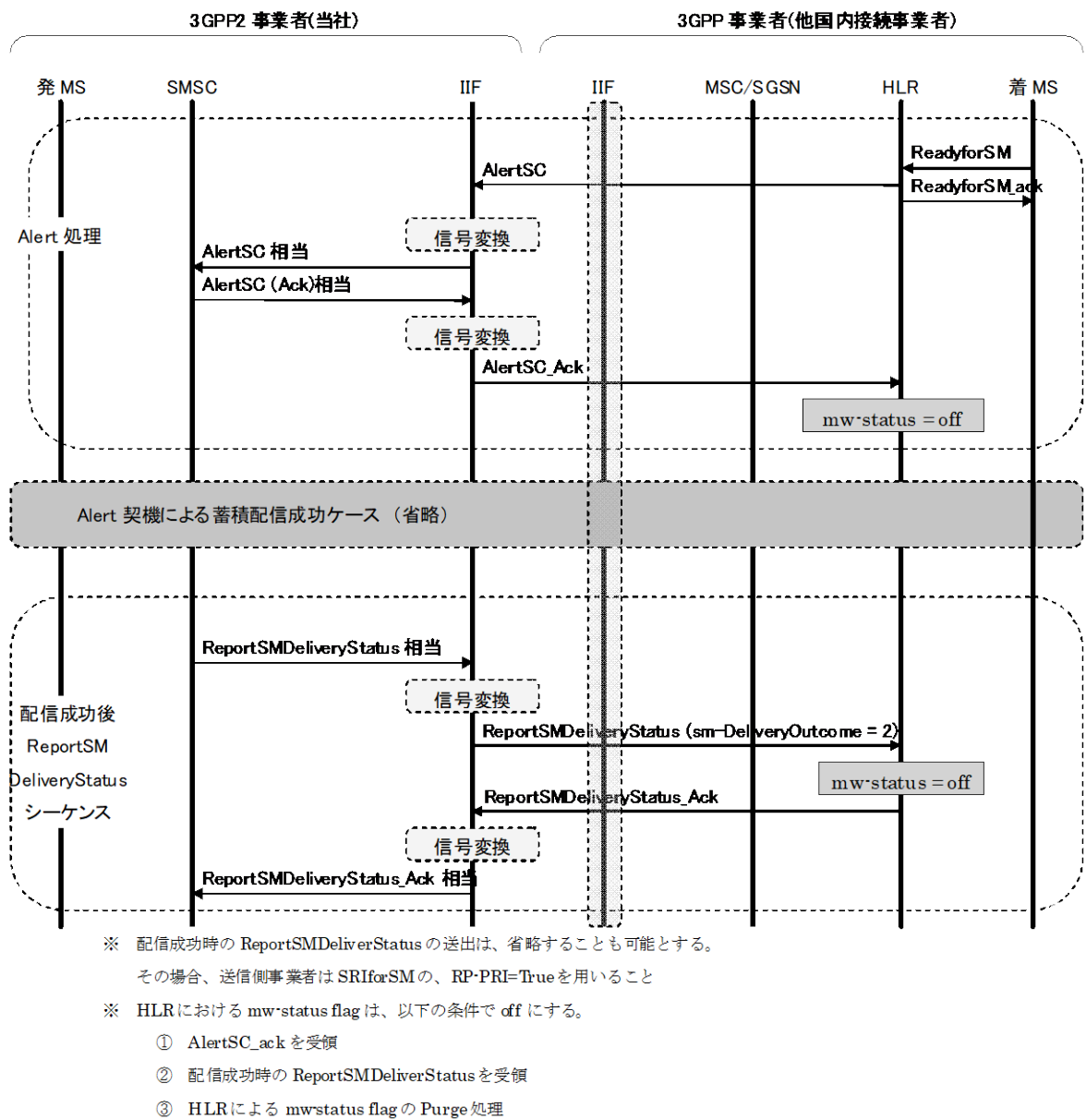


図 2. 2-3 3GPP2 事業者 (当社) ⇒ 3GPP 事業者 (他国内接続事業者)
(基本シーケンス 3)

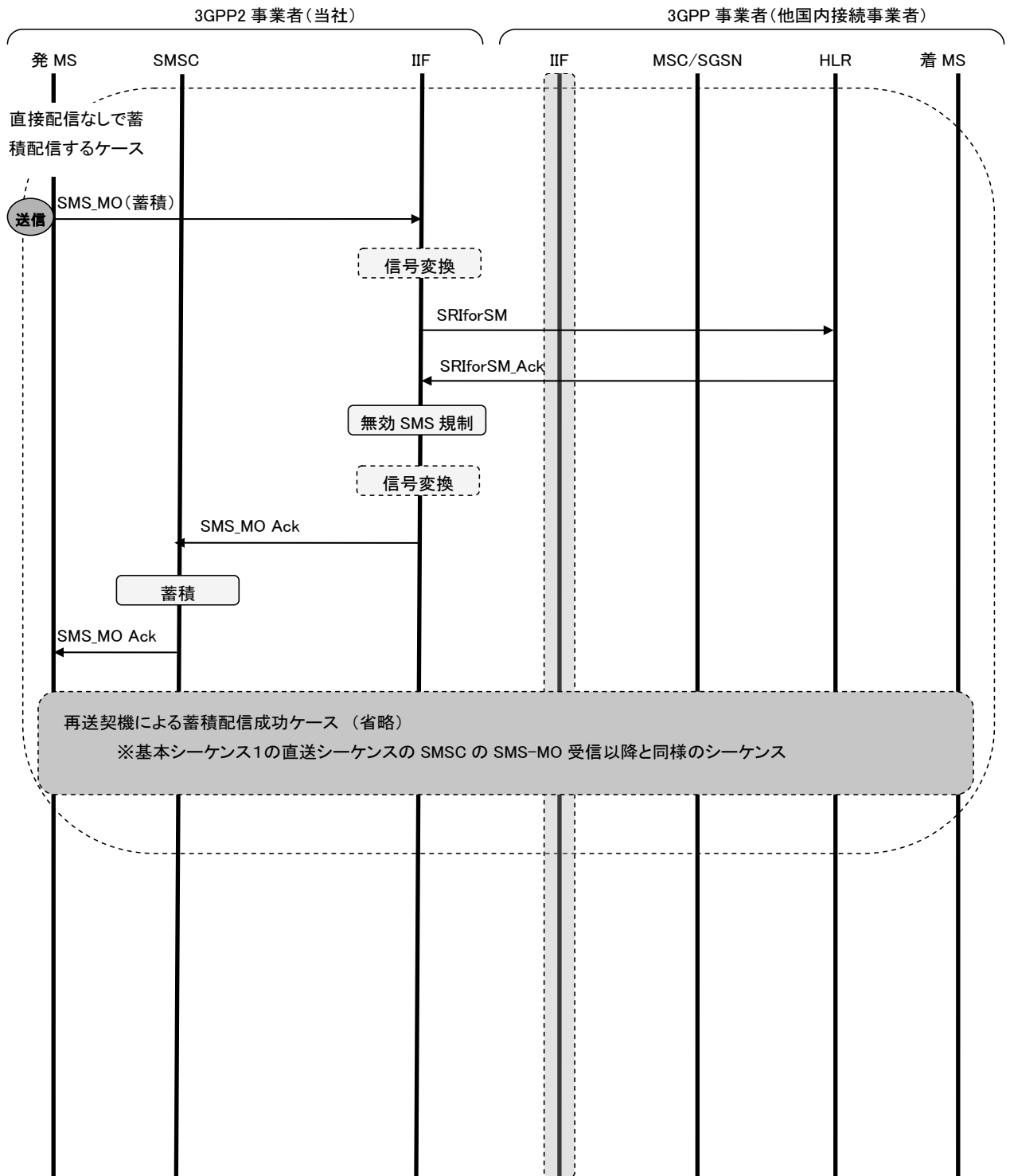


図 2. 2-4 3GPP2 事業者(当社) ⇒ 3GPP 事業者(他国内接続事業者)
 (基本シーケンス 4)

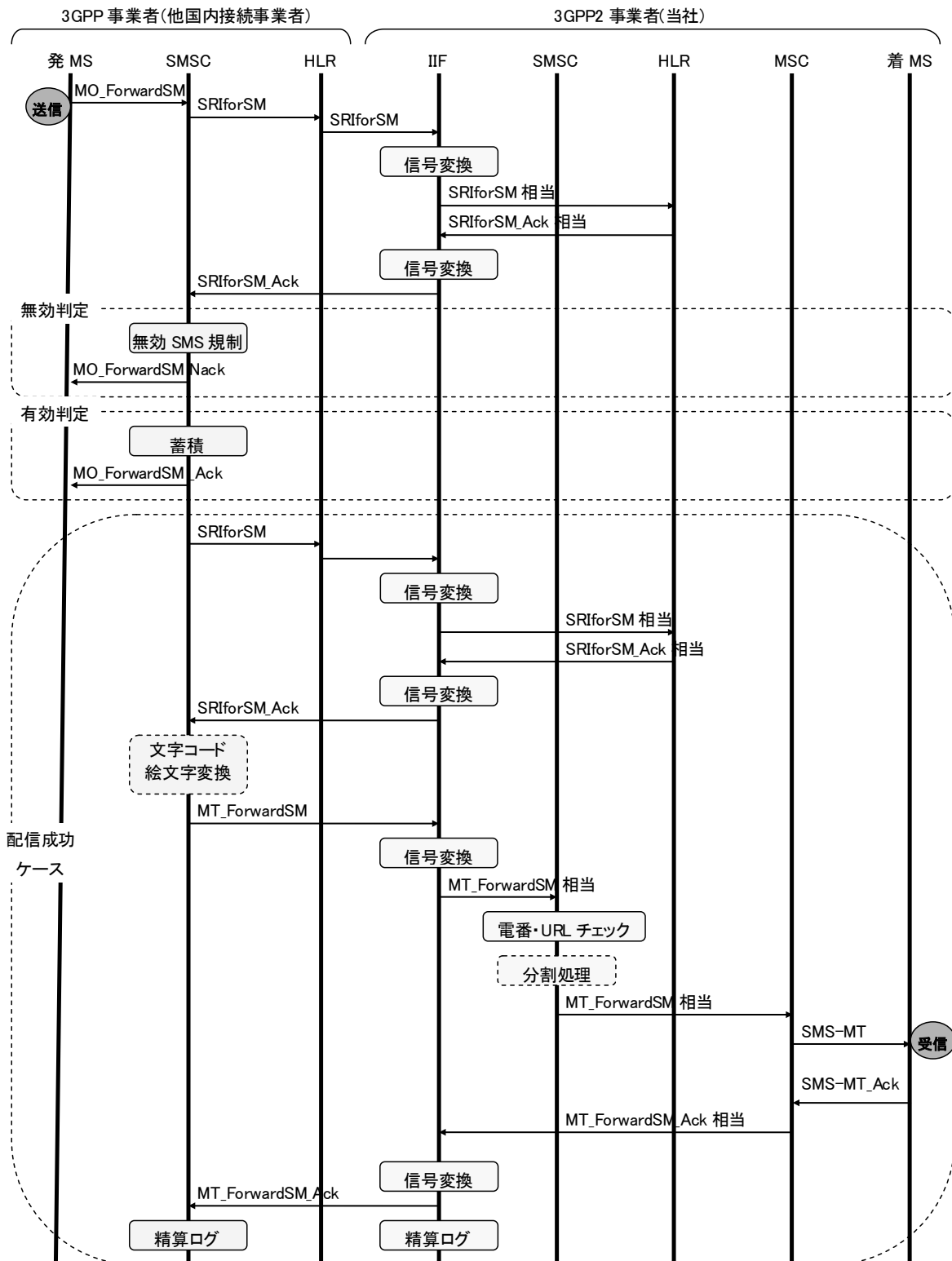


図 2. 2-5 3GPP (他国内接続事業者) ⇒ 3GPP2 (当社) 事業者
(基本シーケンス 1)

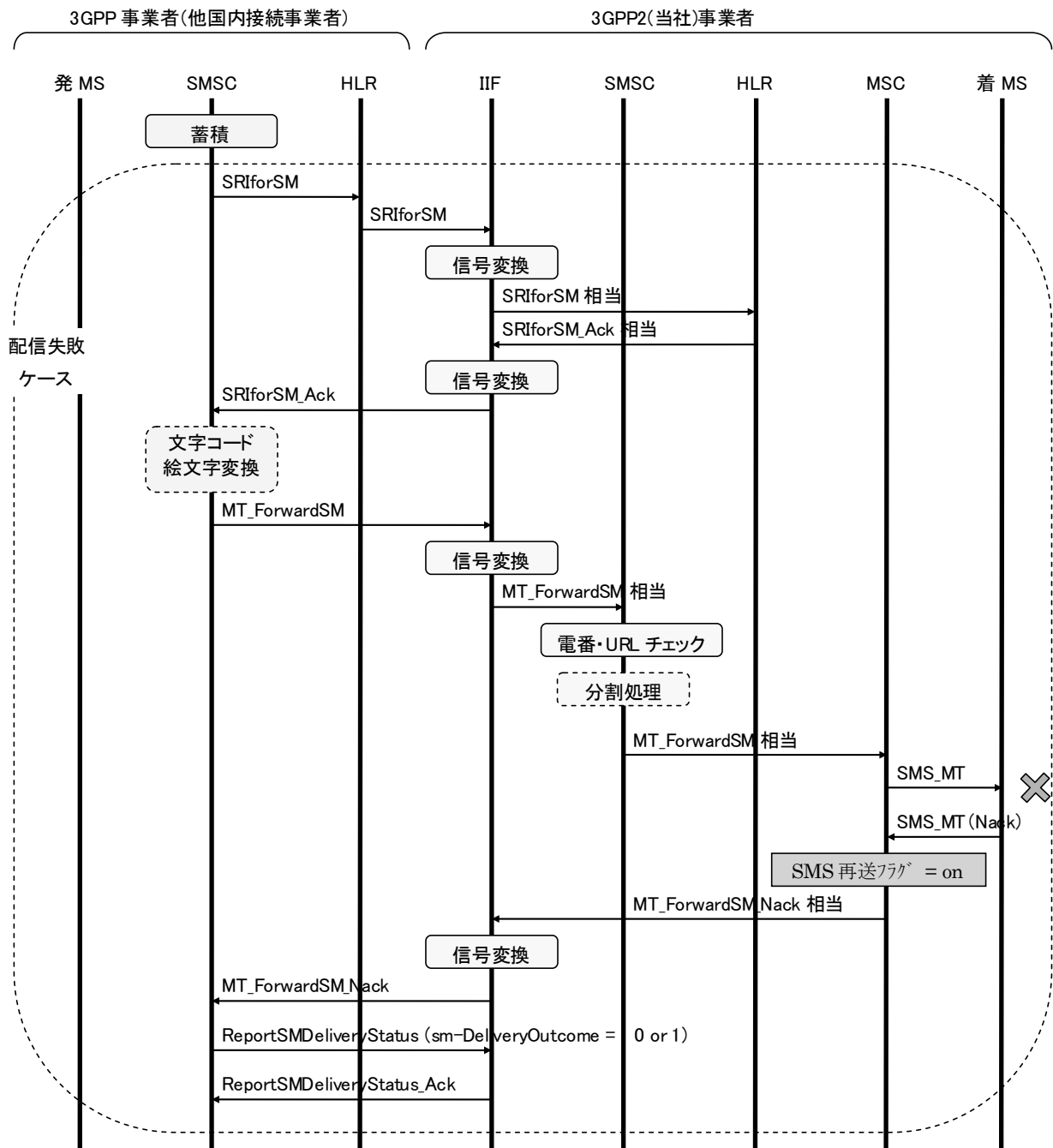


図 2. 2 - 6-5 3GPP (他国内接続事業者) ⇒ 3GPP2 (当社) 事業者
(基本シーケンス 2)

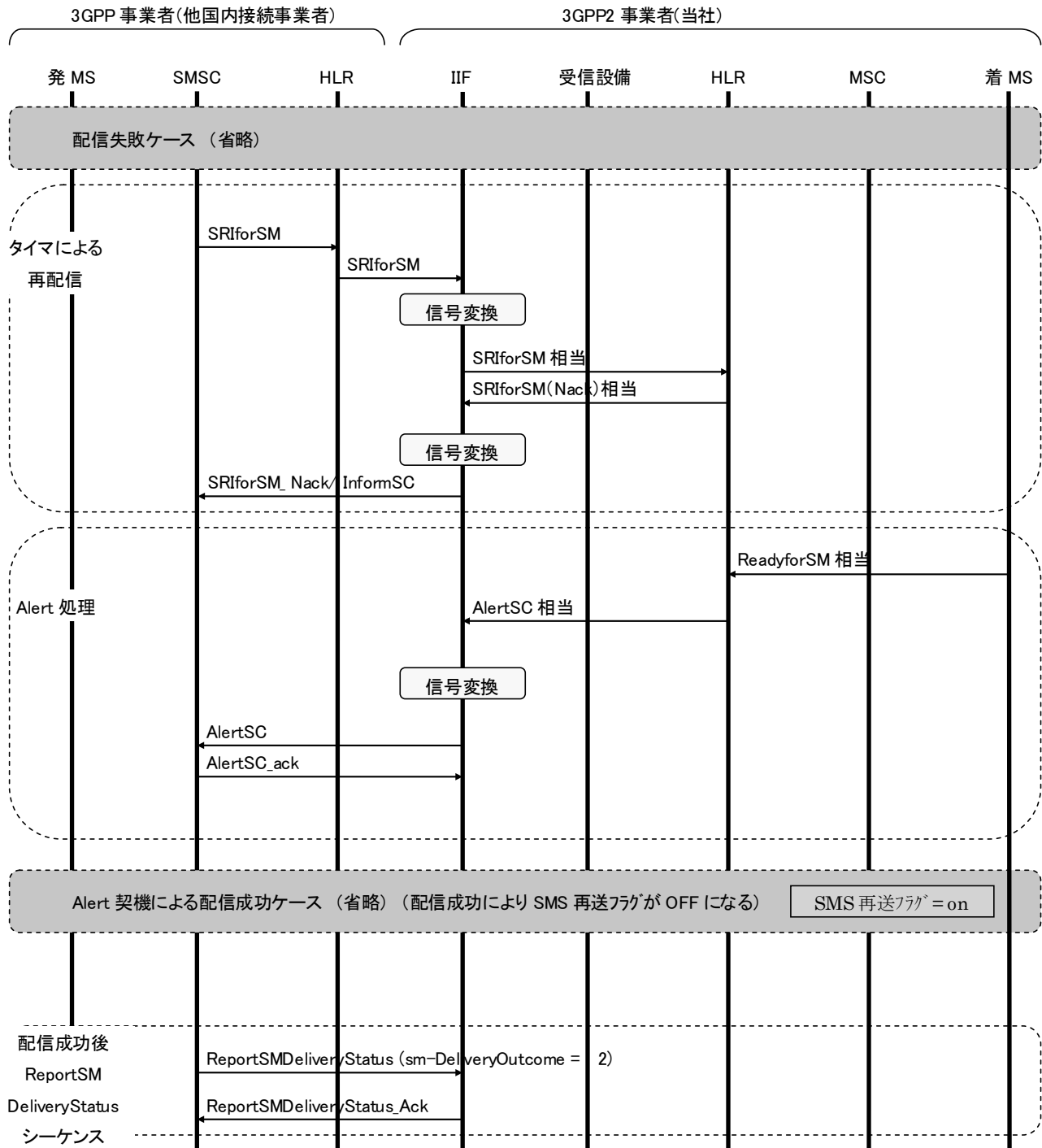


図 2. 2 - 7-6 3GPP (他国内接続事業者) ⇒ 3GPP2 (当社) 事業者
(基本シーケンス 3)

2.3 TCAP Handshake

SCCPメッセージタイプUDTにおいてMT_Forward SMを送出する場合、ユーザデータのサイズに応じてTCAP Handshakeを行う。図2.3-1にTCAP Handshakeによる配信のメッセージシーケンスを示す。

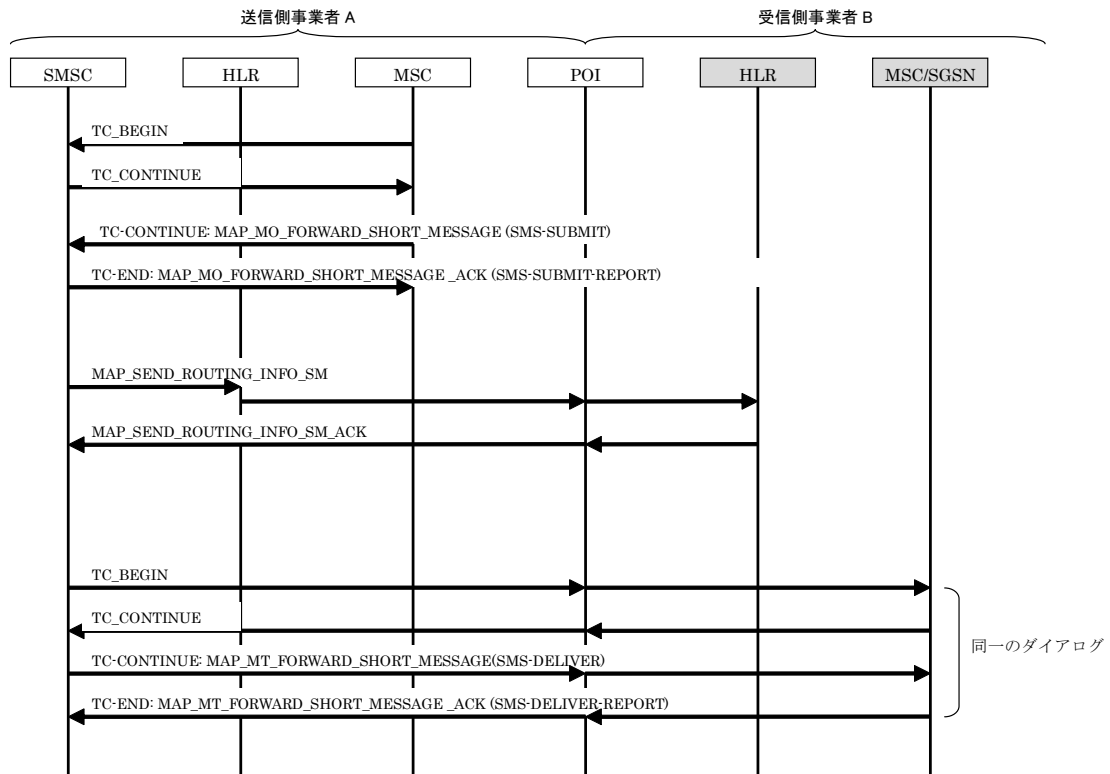


図 2.3-1 TCAP Handshake 時の配信シーケンス

2.4 More Messages to Sendの対応

3GPP仕様におけるMore Messages to SendによるSMSの連続配信に対応できることとする。図2.4-1にMore Messages to Sendによる配信のメッセージシーケンスを示す。なお、More Messages to SendによるSMSの連続配信の場合においても、ユーザデータサイズに依存し、前項のTCAP Handshakeの有無が変更される。

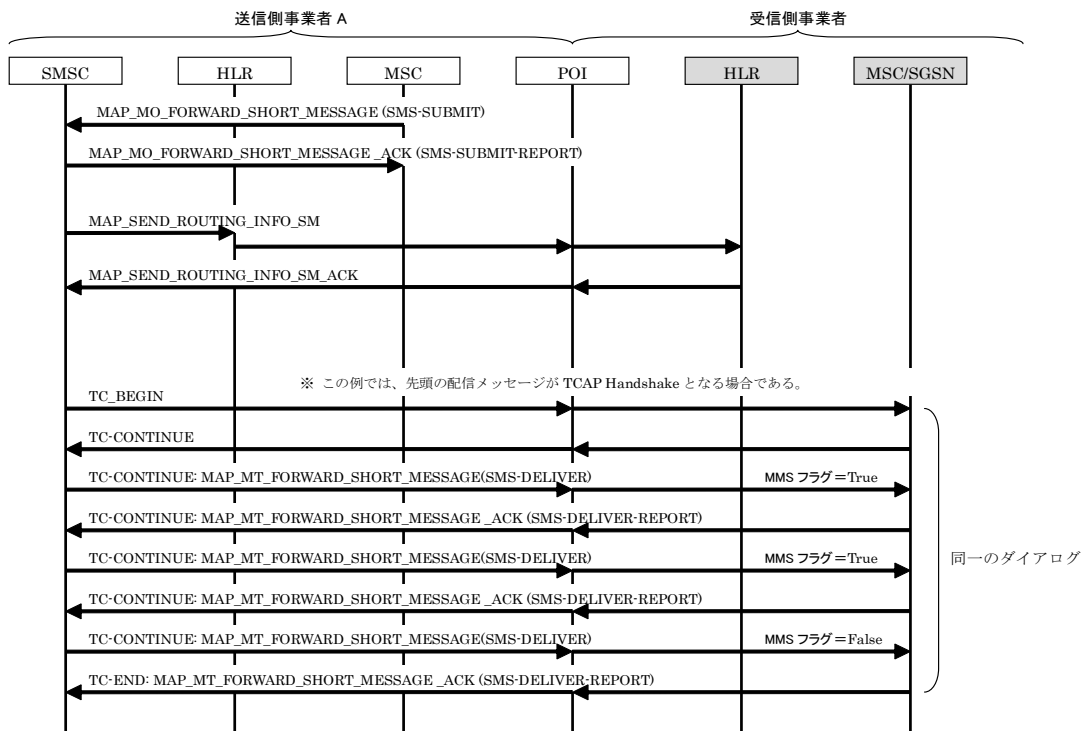


図 2.4-1 More Messages to Sendの配信シーケンス

2.5 Application Context (AC) バージョン

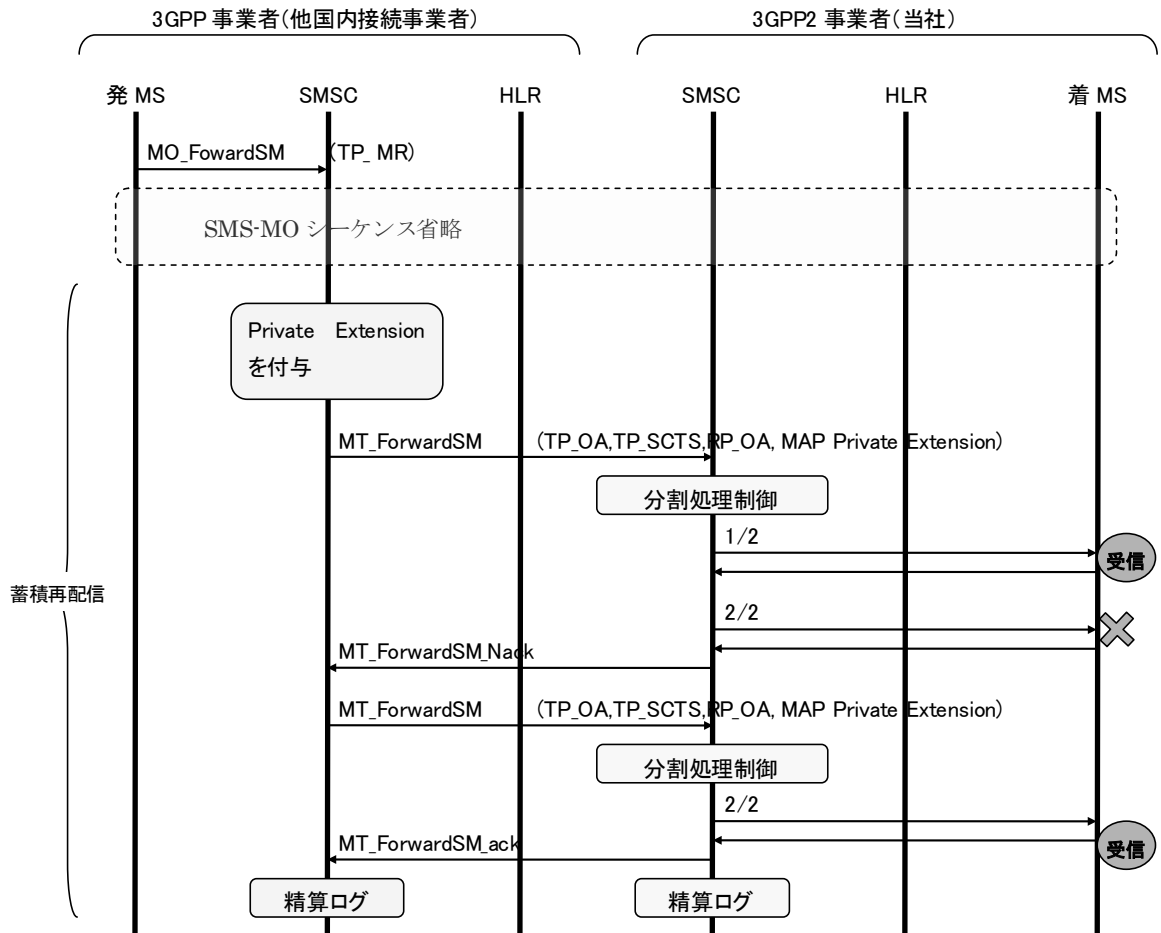
当社網と他移動体事業者網間は、表 2. 5 に示す AC バージョンで信号を送出することとする。

表 2. 5 AC バージョン対応表

信号サービス	AC バージョン
SRIforSM	shortMsgGatewayContext-v3
MT_ForwardSM	shortMsgMT-RelayContext-v3
AlertSC	shortMsgAlertContext-v2
ReportSMDeliveryStatus	shortMsgGatewayContext-v3
InformSC	shortMsgGatewayContext-v3

2.6 メッセージ長変換の多重配信回避について

3GPP仕様を利用する他移動体事業者網発当社網着のメッセージ長差分を吸収するため、当社受信設備にてメッセージ分割を行うが、配信管理が発事業者網と着事業者網に跨るため、場合によっては多重配信が生じる可能性がある。多重配信を回避する仕組みとして、Private Extensionを発事業者網で付与する。シーケンスを図2.6に示す。



※ 3GPP2事業者側で2/2パート目の配信に失敗し、再配信を行うケース

図2.6 多重配信回避のシーケンス

2.7 海外ローミングアウト時の信号シーケンス

当社契約者回線が海外ローミングアウト中であっても、当社網を経由するホームルーティン
グでSMSの相互接続を実現する。シーケンスを図2.7に示す。

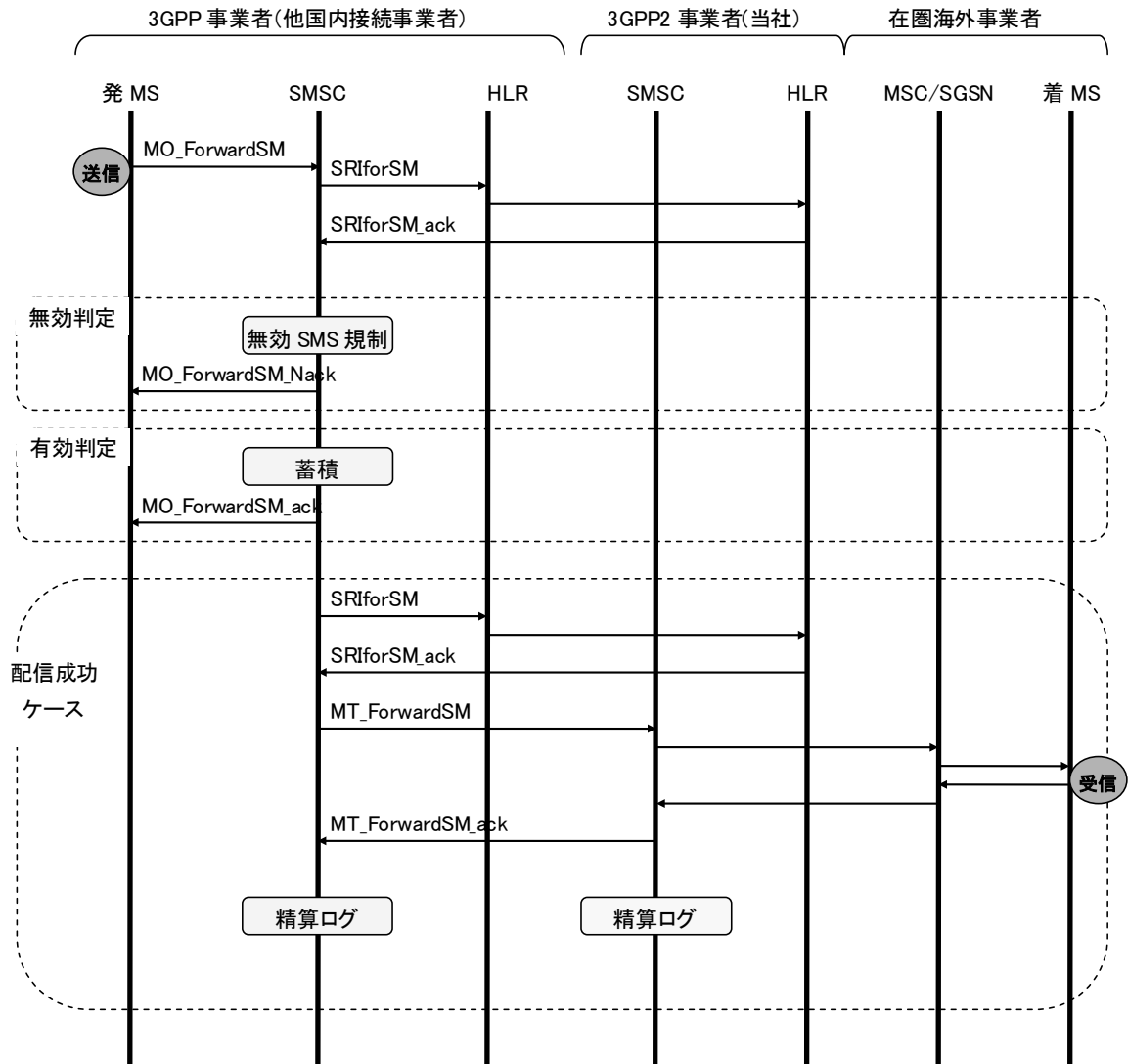


図2.7 海外ローミングアウト時の基本シーケンス (3GPP⇒3GPP2事業者)

2.8 番号解決方法

網間の番号解決を目的としたSRIforSMのルーチングは図2.8-1, 図2.8-2及び図2.8-3のとおり、HLR転送方式とする。また、ReportSMDeliveryStatusのルーチングはHLR転送方式ではなく、直前のMT_ForwardSMのCalled Party addressから発事業者網でルーチング先の事業者を判断の上、Prefixを設定し着事業者網へ直接ルーチングを行うものとする。

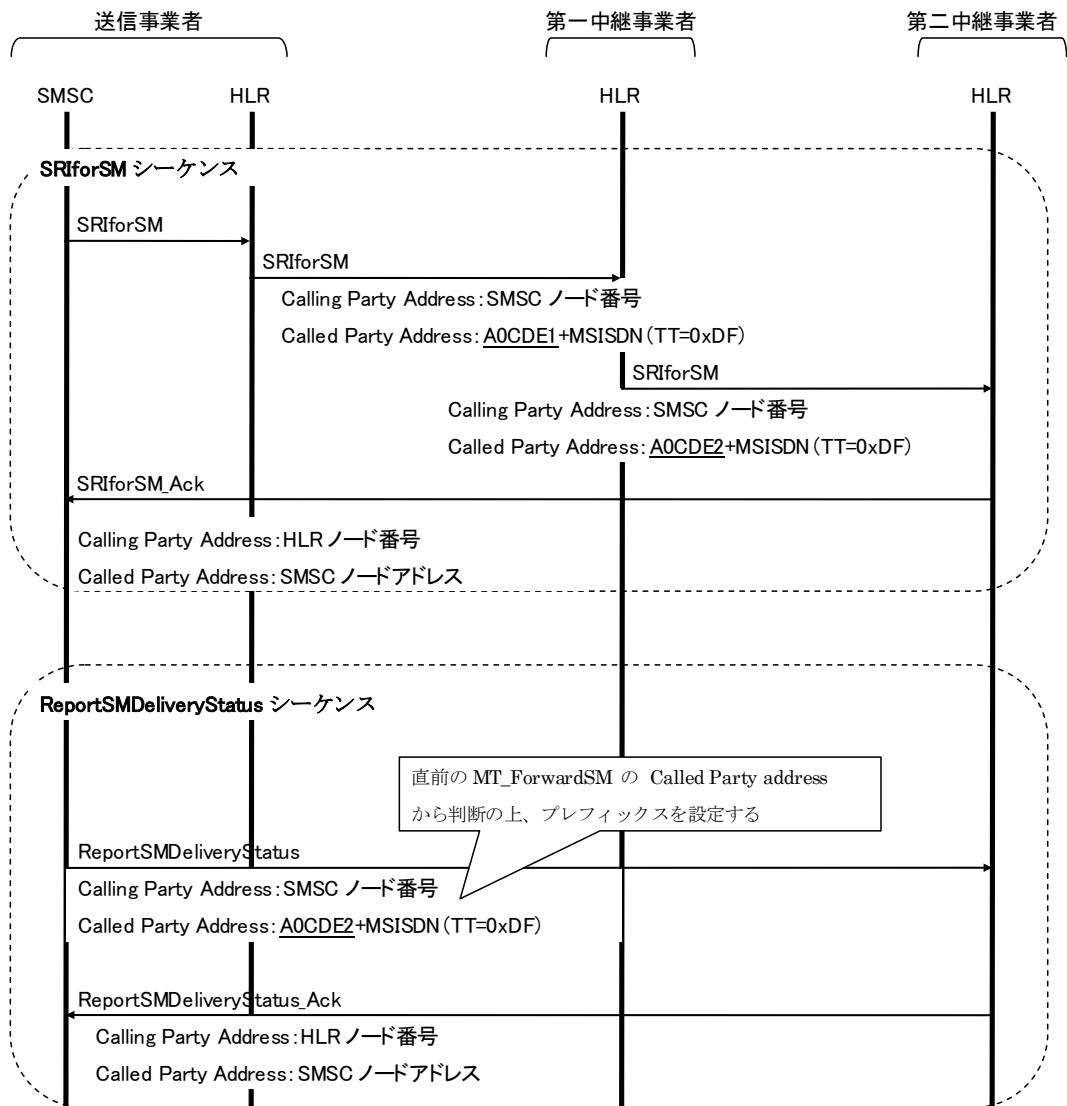
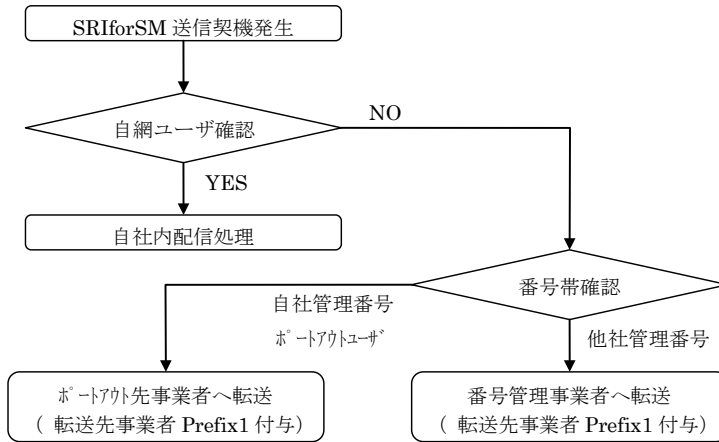
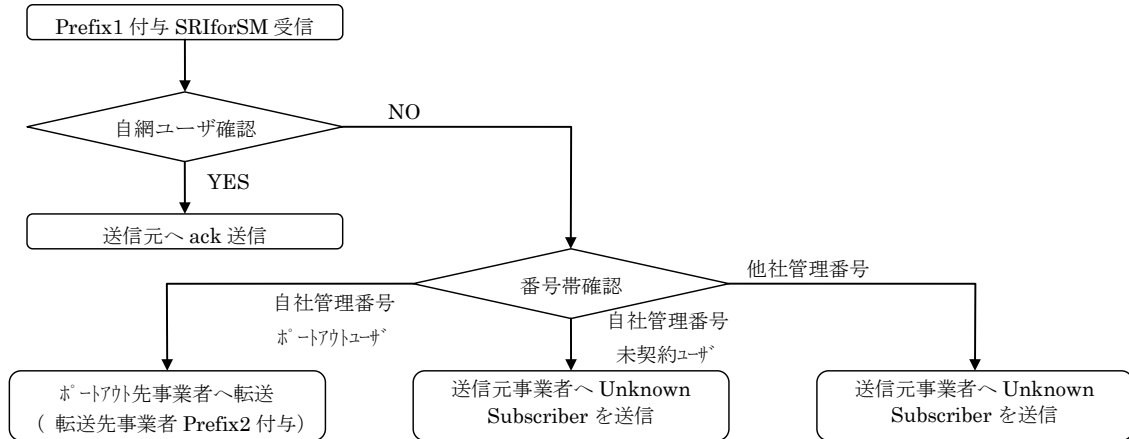


図 2. 8 - 1 番号解決ルーチング

【送信元事業者処理】



【第一中継事業者処理】



【第二中継事業者処理】

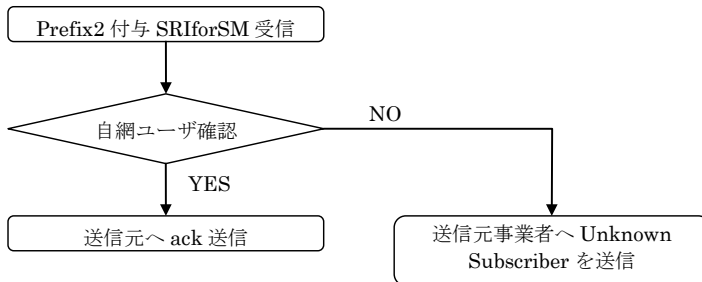
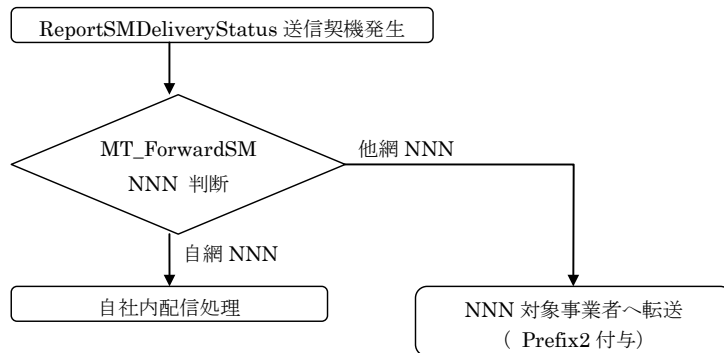


図 2. 8-2 SRIforSM 番号解決判断フロー

【送信元事業者処理】



【受信事業者処理】

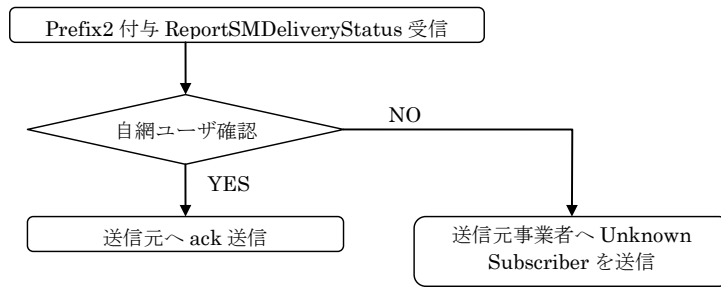


図 2. 8-3 ReportSMDeliveryStatus ルーティング判断フロー

技術的条件集別表 16

伝送装置間インタフェース仕様
(対移動体事業者接続用SMSインタフェース)

〔準拠した規格一覧〕

TTC標準	JT-G707	: 第5版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G783	: 第3版	2001年4月19日制定
TTC標準	JT-G957	: 第3版	2001年4月19日制定
JIS規格	JIS C 6835		1989年3月1日制定
JIS規格	JIS C 5973		1990年6月1日制定

1. インタフェース規定点

本インタフェース条件を規定するポイントは図1のとおりである。

2. 物理的条件

2. 1 ケーブル

本インタフェースに適用するケーブルは、 $1.3\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はSM型光ファイバケーブルとし、 $1.5\mu\text{m}$ 帯の波長を使用する場合はDSM型光ファイバケーブルとする。なお、SM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMA-9.5/125相当の光ファイバ素線を使用し、DSM型光ファイバケーブルは、JIS C6835 SSMB-8/125相当の光ファイバ素線を使用する。

2. 2 コネクタ

本インタフェースに適用するコネクタは、JIS C 5973 (F04 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上（マスタプラグ接続時の挿入損失が0.7dB以下）、接続時の反射減衰量は22dB以上またはJIS C 5983 (F14 形単心光ファイバコネクタ) であり、プラグはB等級以上（マスタプラグ接続時の挿入損失が0.5dB以下）、接続時の反射減衰量は22dB以上とする。

3. 光学的条件

3. 1 50M 信号局内用

光パラメータ条件を表1に示す。

3. 2 150M 信号局内用

光パラメータ条件を表2に示す。

3. 3 150M 信号 40km 局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表3に示す。

3. 4 150M 信号 80km 局間用 ($1.55\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表4に示す。

3. 5 600M 信号局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表5に示す。

3. 6 2.4G 信号局間用 ($1.31\mu\text{m}$)

光パラメータ条件を表6に示す。

4. 論理的条件

論理的条件は以下のとおりとする。

4. 1 フレーム構成

4. 1. 1 多重化構造

本インタフェースに適用される多重化構造はTTC標準JT-G707に準拠する。

4. 1. 2 フレームフォーマット

STM-16, STM-4, STM-1, STM-0, VC-3, TUG-2, VC-2, VC-11 信号のフレームフォーマットを図5～12に示す。

4. 1. 3 オーバーヘッドバイトの定義

本インタフェースに使用するオーバーヘッドバイトの定義を表7～10に示す。

4. 2 フレーム同期方式

STM-16, STM-4, STM-1, STM-0 信号のフレーム同期方式を表11に示す。

4. 3 S1バイト処理条件

S1バイト（同期状態メッセージ）の送受信条件を表12,13に示す。

4. 4 警報インタフェース条件

4. 4. 1 警報発出解除条件

本インタフェースにおける警報発出解除条件を表14に示す。

4. 4. 2 警報転送

本インタフェースにおける警報転送機能を図14に示す。

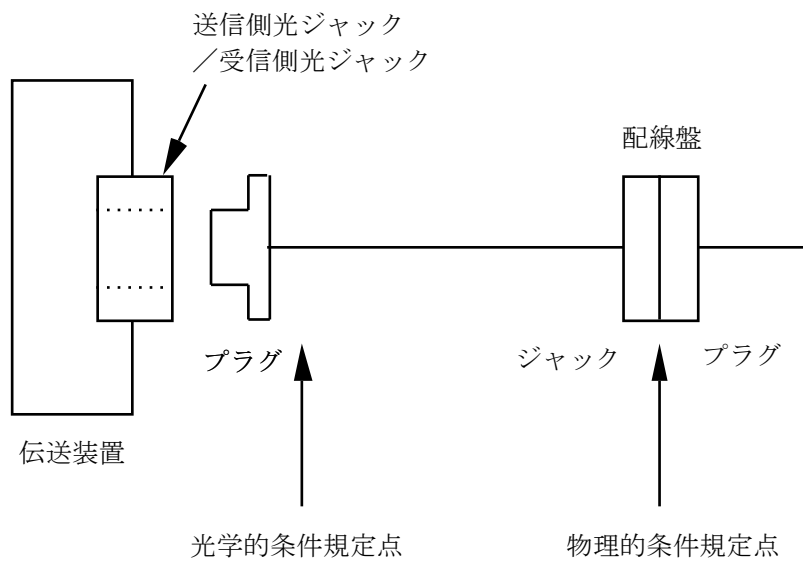


図1 インタフェース規定点

表1 50M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	51.840Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1260～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-15～ -8dBm
光出力波形	図2参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力（平均値）	-8dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表2 150M信号局内用の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1260～1360nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-15～ -8dBm
光出力波形	図2参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力（平均値）	-8dBm以上
最小受光電力（平均値）	-23dBm以下

表3 150M信号40Km局間用 (1.31 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290～1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-5～ 0dBm
光出力波形	図2参照
消光比	10dB以上
最大受光電力 (平均値)	-10dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-34dBm以下
最大光路ペナルティ	1 dB以下

表4 150M信号80Km局間用 (1.55 μ m) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	155.520Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1530～1570nm
符号誤り率	1×10^{-11} / 中継区間
平均送信電力	-3～ +3dBm
光出力波形	図2参照
消光比	13dB以上
最大受光電力 (平均値)	-17dBm以上
最小受光電力 (平均値)	-32dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

表5 600M信号局間用 (1.31 μm) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	622.08Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290~1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} /中継区間
平均送信電力	-3~+2dBm
光出力波形	図3参照
消光比	10dB以上
最大受光電力(平均値)	-8dBm以上
最小受光電力(平均値)	-28dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

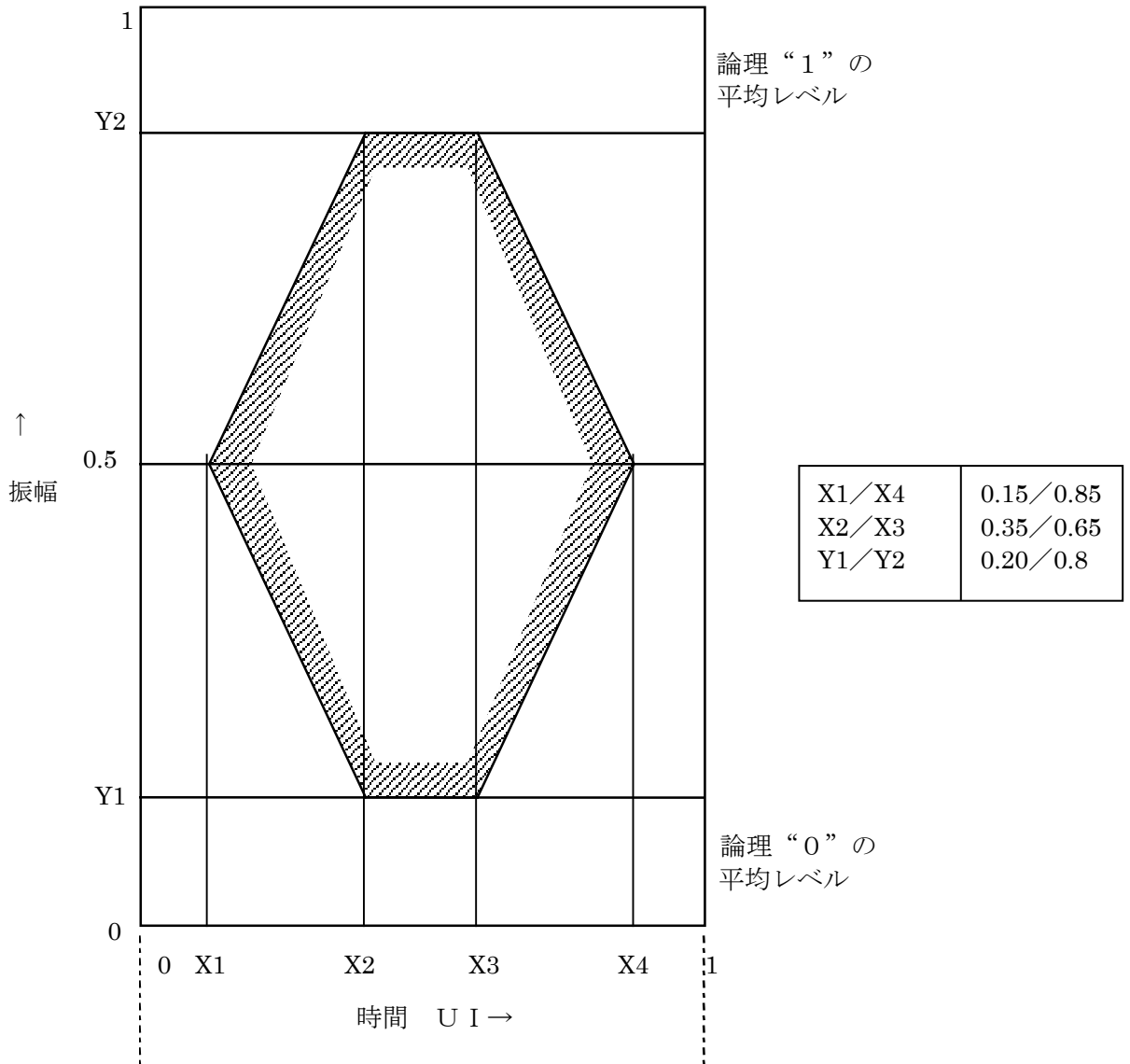
表6 2.4G信号局間用 (1.31 μm) の光パラメータ条件

項目	規格
インタフェース速度	2,488.32Mbit/s
伝送符号	スクランブルド2値NRZ符号
発光条件	正論理“1”は発光 正論理“0”は非発光
波長範囲	1290~1330nm
符号誤り率	1×10^{-11} /中継区間
平均送信電力	-2~+3dBm
光出力波形	図4参照
消光比	8.2dB以上
最大受光電力(平均値)	-9dBm以上
最小受光電力(平均値)	-27dBm以下
最大光路ペナルティ	1dB以下

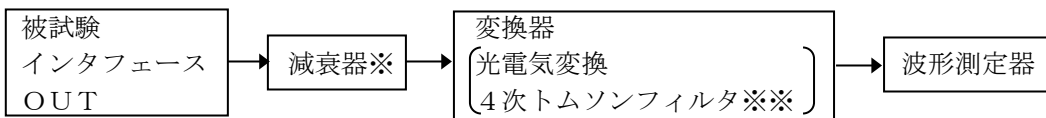
縦軸：相対値

横軸： $\times 1/155.52$ [μ s] (STM-1 の場合)

$\times 1/51.84$ [μ s] (STM-0 の場合)



【測定系】



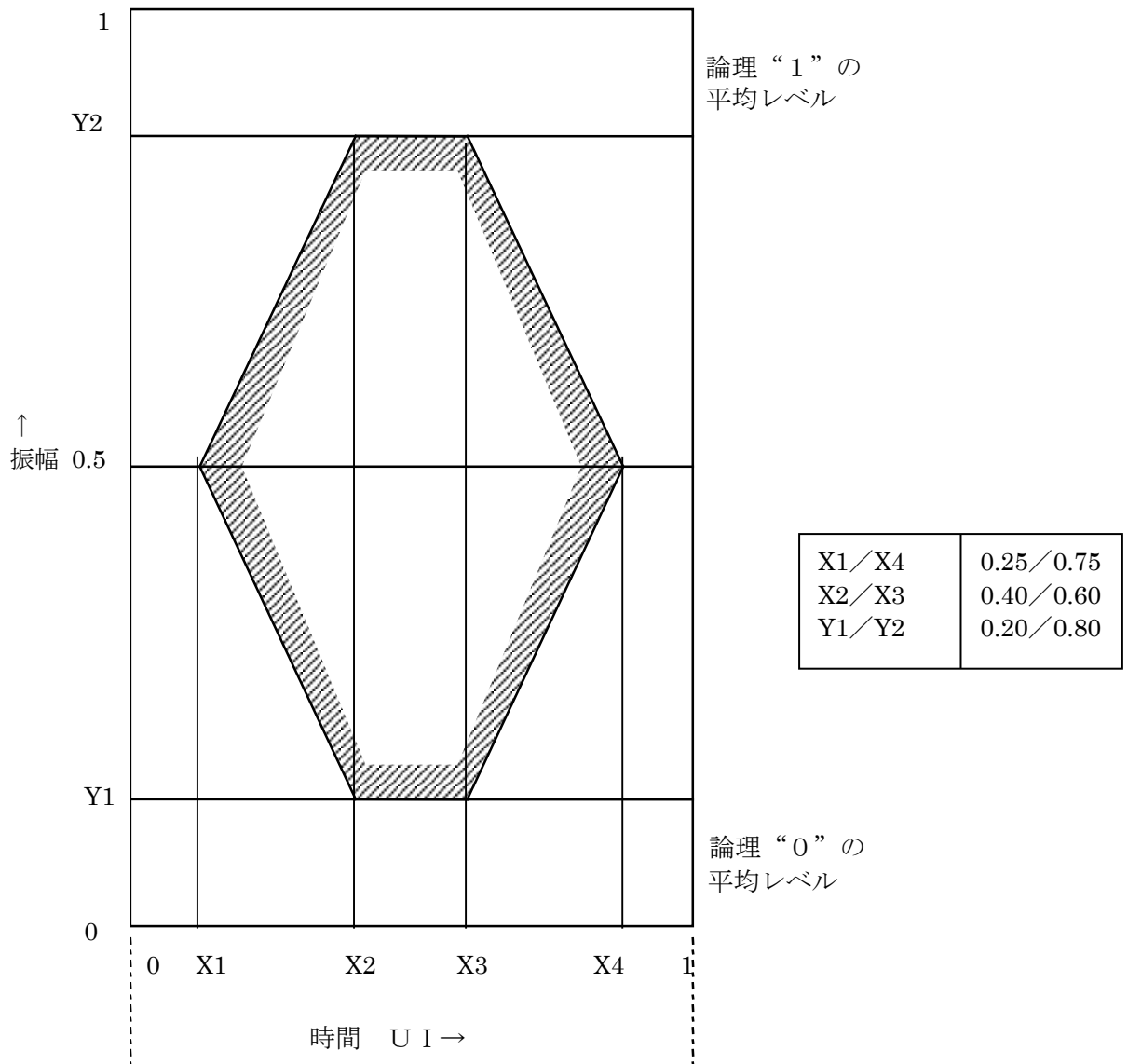
※：減衰器は必要に応じて用いる。

※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が伝送ビットレートの 0.75 倍であること。

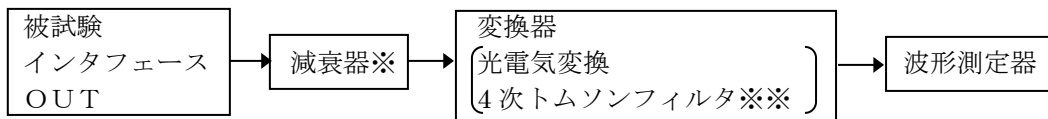
試験パターン：スクランブルド 2 値

図 2 STM-1/STM-0 信号のパルスマスク

縦軸：相対値
 横軸： $\times 1/622.08$ [μs] (STM-4 の場合)



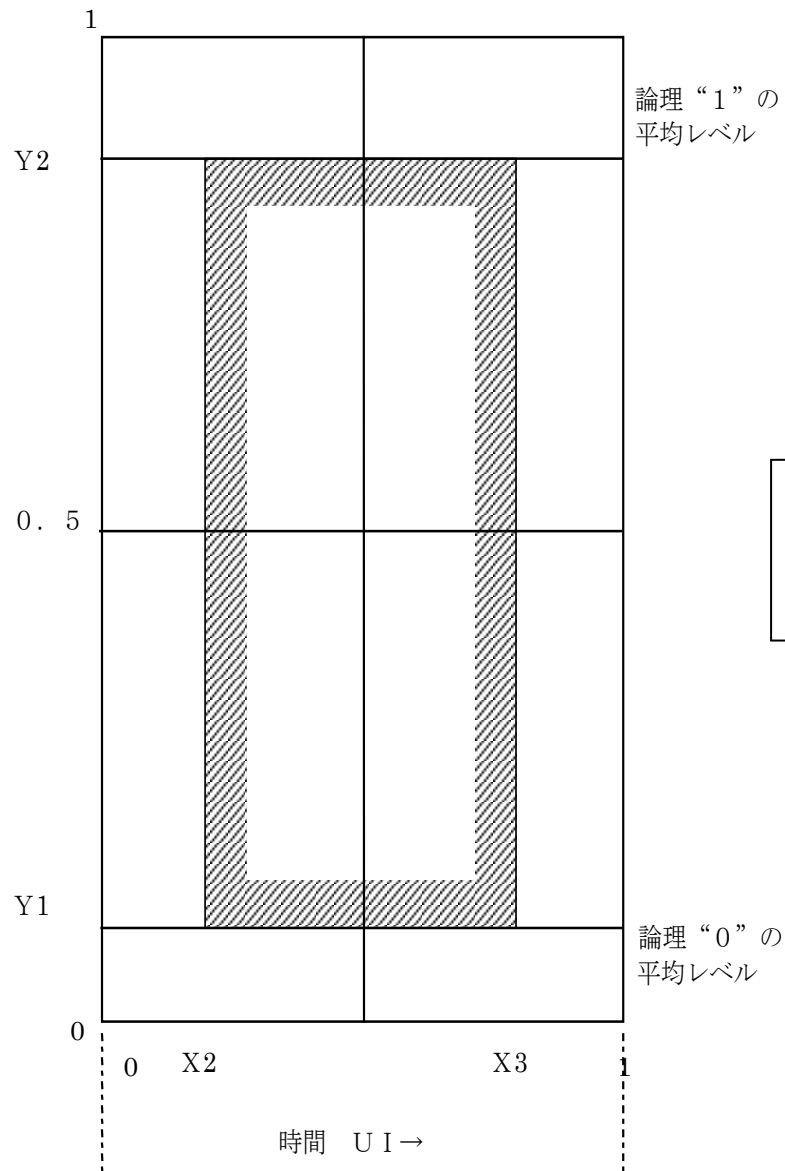
【測定系】



※：減衰器は必要に応じて用いる。
 ※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が入力公称ビットレートの 0.75 倍であること。
 試験パターン：スクランブルド 2 値

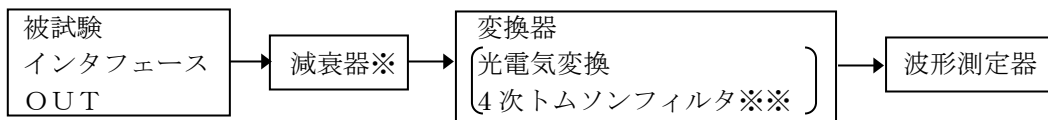
図 3 STM-4 信号のパルスマスク

縦軸：相対値
 横軸： $\times 1/2, 488.32 [\mu s]$ (STM-16 の場合)



X3 - X2	0.2
Y1 / Y2	0.25/0.75

【測定系】



※：減衰器は必要に応じて用いる。
 ※※：カットオフ周波数（-3 dB 減衰点）が入力公称ビットレートの 0.75 倍であること。
 試験パターン：スクランブルド 2 値

図4 STM-16 信号のパルスマスク

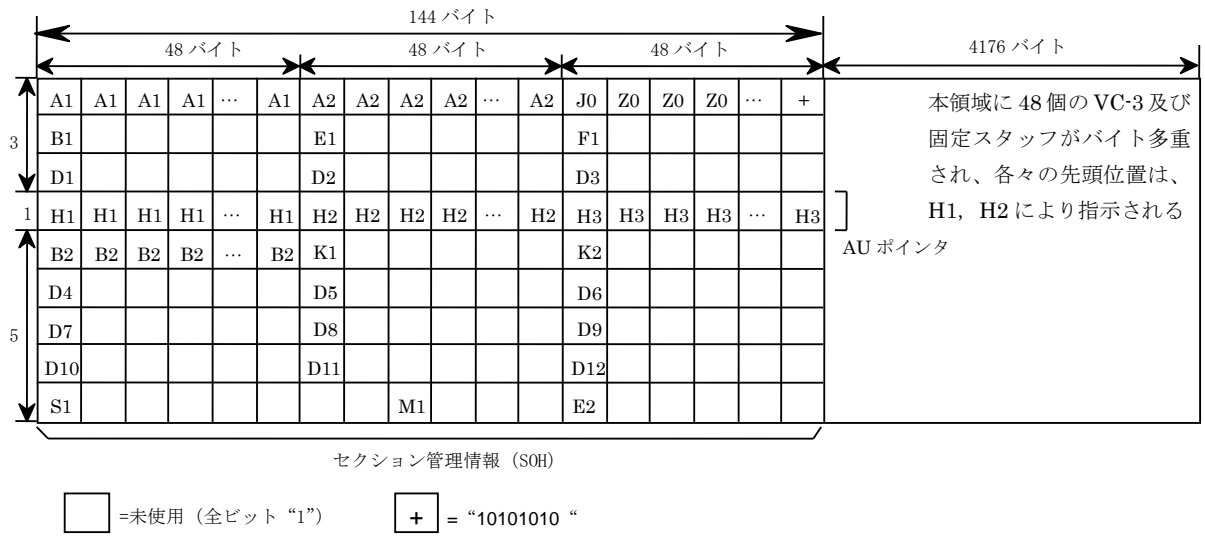


図5 STM-16 信号のフレームフォーマット

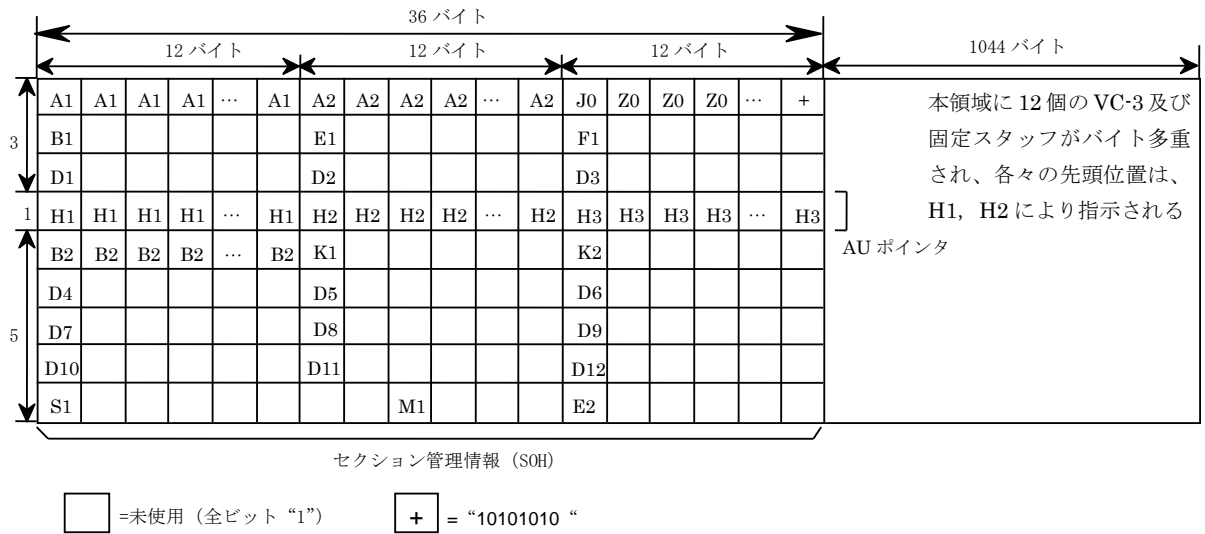
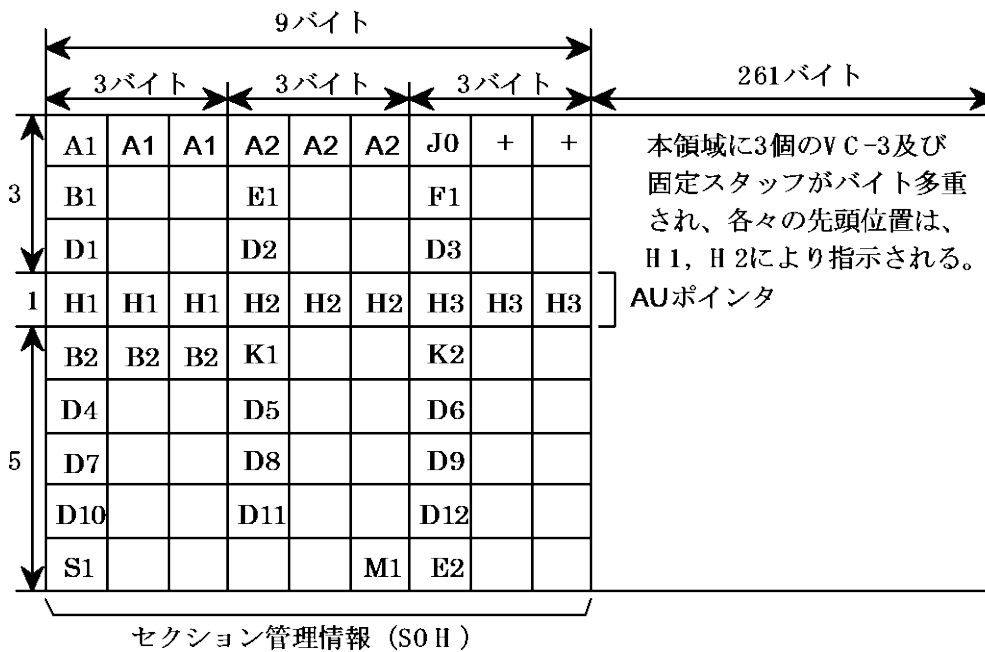
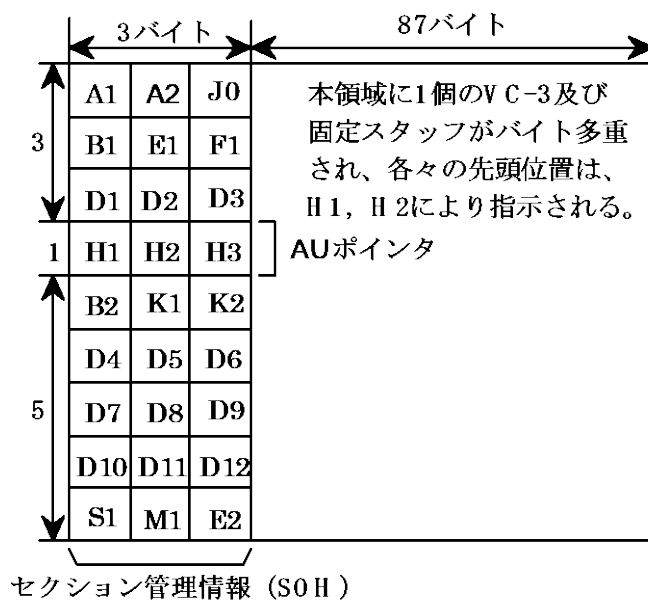


図6 STM-4 信号のフレームフォーマット



=未使用 (全ビット “1”) + = “10101010”

図7 STM-1信号のフレームフォーマット



=未使用 (全ビット “1”) + = “10101010”

図8 STM-0信号のフレームフォーマット

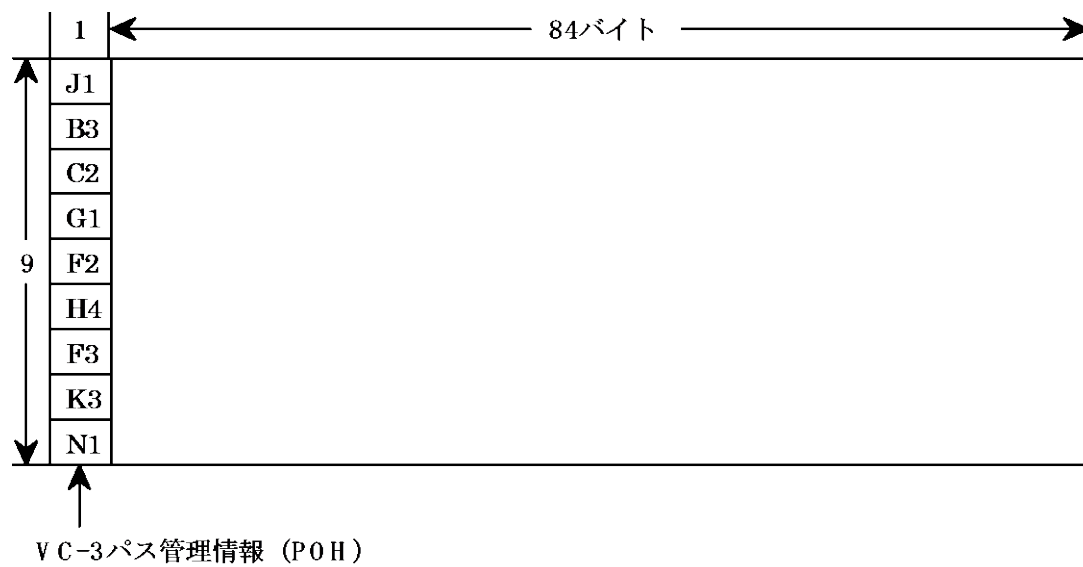
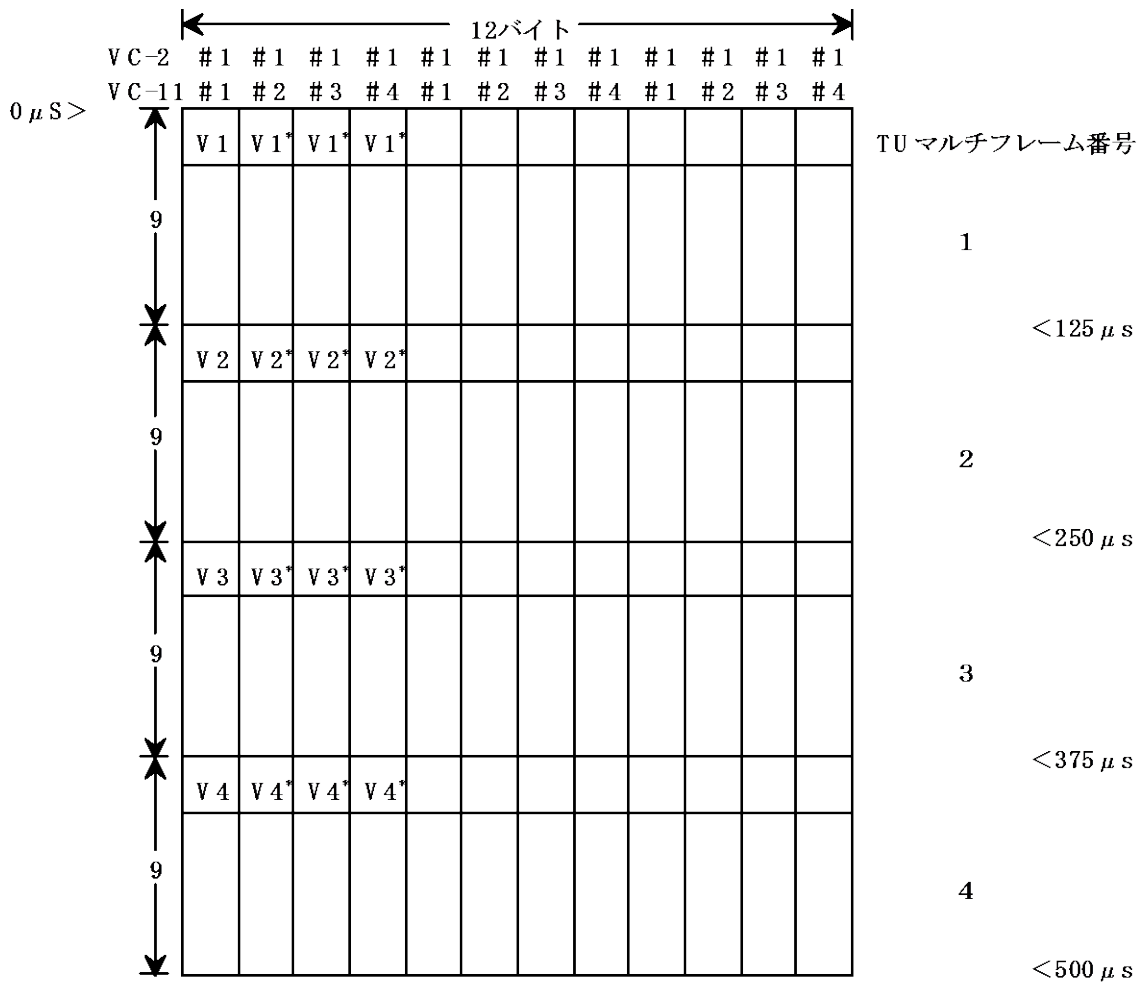


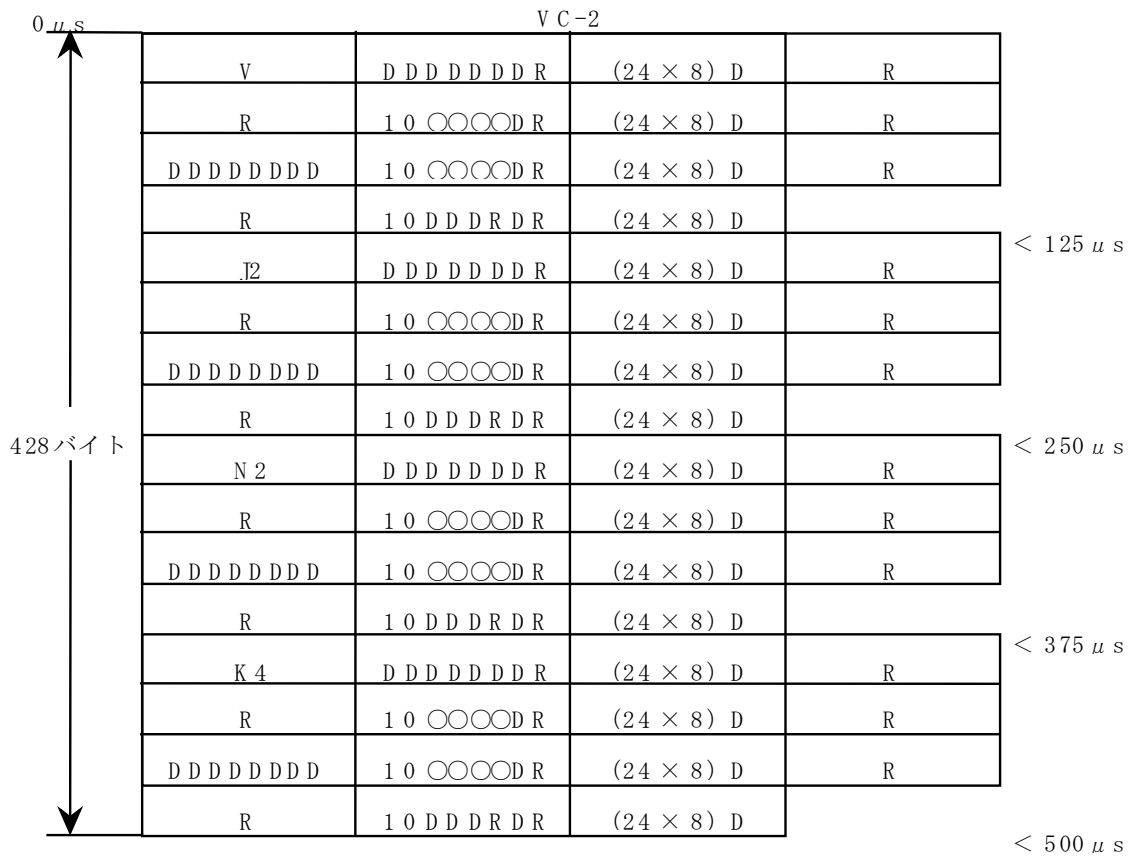
図9 VC-3信号のフレームフォーマット



(注1) VC-2の場合、V1*、V2*、V3*、V4*にVC-2データが収容される

(注2) VC-3パスオーバーヘッドのH4 (b7、b8) :
 TUマルチフレーム番号1 : '00'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号2 : '01'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号3 : '10'の現れるフレームの次のフレーム
 TUマルチフレーム番号4 : '11'の現れるフレームの次のフレーム

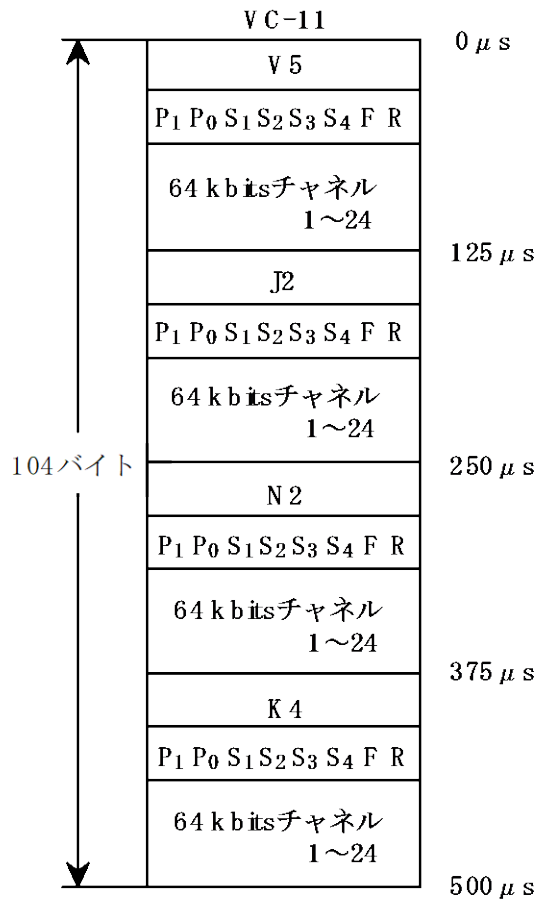
図10 TUG-2信号のフレームフォーマット



R : 固定スタッフ (“ 1 ”)
D : データビット (6.312M bit/s信号)
○ : オーバヘッド通信チャネルビット (未使用時 “ 1 ”)

- (注1) 125 μ s 当たり789ビット分の領域を用いて6.312M bit/s信号を伝送するモード (ビット同期モード) である。
(注2) TUG-2に収容するVC-2の先頭位置 (V 5) は、TU-2ポインタV1, V2により指示される。

図 11 VC-2 信号のフレームフォーマット



- R : 固定スタッフ (“1”)
- F : 1.544 M b i t / s トリビュタリフレームビット (未使用 “1”)
- P₁, P₀ : シグナリング位相表示 (未使用時 “10”)
- S₁ ~ 4 : シグナリング転送

図 12 VC-11 信号のフレームフォーマット

表7 セクションオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
セクション 管理情報 (SOH)	A1, A2	フレーム同期	A1：“11110110”， A2：“00101000”
	J0	中継セクショントレース (未使用)	送信：“00000001” (図 13 参照) 受信：無視
	Z0	予備 (未使用)	送信：STM 識別子 (図 13 参照) 受信：無視
	B1	中継セクションの誤り監視	前フレームの全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E1	中継セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	F1	中継セクションの故障特定	故障検出中間中継器番号と検出警報
	D1～D3	中継セクションのデータ通信 または未使用	192kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信 FFh，受信：無視)
	B2	端局セクションの誤り監視 (BIP-24N)	前フレームの第一行から 3 行の SOH を除く全ビッ トの BIP-24N 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K1, K2 (b1-b5)	端局セクション切替系の制御	切替動作は TTC 標準 JT-G783 付属資料 B に準拠
	K2 (b6-b8)	端局セクション状態の転送	正常：“000”， RDI：“110”， AIS：“111” TTC 標準 JT-G783 準拠
	D4-D12	端局セクションのデータ通信 または未使用	576kbit/s のデータ信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
	S1	同期状態メッセージまたは未使 用	同期状態，または未使用 (送信：FFh，受信：無 視)
	M1	端局セクションの対局誤り表示 (MS-REI)	対局の B2 演算結果の表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	E2	端局セクションのオーダワイヤ または未使用	64kbit/s PCM の音声信号，または未使用 (送信：FFh，受信：無視)
AU ポインタ	H1, H2	VC-3/4 先頭位相指示 正負スタッフ指示	VC-3/4 先頭位置，スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707/JT-G783 準拠
	H3	負スタッフ用バイト	負スタッフ時、ペイロード収容 TTC 標準 JT-G707 準拠

表8 高次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	J1	パストレース (未使用)	未使用 (送信: FFh, 受信: 無視)
	B3	パス誤り監視 (BIP-8)	前フレームの VC-3 の全ビットの BIP-8 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	C2	シグナルラベル (未使用)	送信: 01h (不特定パス収容) もしくは 13h (ATM マッピング) 受信: 無視
	G1 (b1-b4)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の B3 演算結果の表示 送信 BIP 誤りなし 0h BIP 誤りあり 1h-8h 受信 BIP 誤りなし 0h 及び 9h 以上 BIP 誤りあり 1h-8h TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b5)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0", 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	G1 (b6-b8)	未使用	送信: "111", 受信: 無視
	F2	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	F3	パスユーザチャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	H4	位置表示 (内部構造が規定されて いない場合は未使用)	VC-3 TU-11/2 マルチフレーム位置表示 TTC 標準 JT-G707 準拠
	K3	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N1	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

表9 TU ポインタバイトの定義

	記号	用途	内容
TU ポインタ	V1, V2	VC-11/VC-2 先頭位相表示正負 スタッフ指示	VC-11/VC-2 種別, 先頭位置, スタッフ制御等 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V3	負スタッフ用バイト	負スタッフ TTC 標準 JT-G707 準拠
	V4	未使用	送信: FFh, 受信: 無視

表10 低次パスオーバーヘッドバイトの定義

	記号	用途	内容
パス 管理情報 (POH)	V5 (b1-b2)	パス誤り監視 (BIP-2)	前フレームの全ビットの BIP-2 演算結果 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b3)	パス対局誤り表示 (REI)	対局の V5 (BIP-2) 演算結果の表示 "1" BIP-2 に 1 以上の誤りあり "0" その他 TTC 標準 JT-G707 準拠
	V5 (b4)	パス対局故障表示 (REI) (未使用)	送信: "1" 受信: 無視
	V5 (b5-b7)	シグナルラベル (未使用)	送信: "001", 受信: 無視
	V5 (b8)	送信パス状態の転送 (RDI)	正常: "0" 送信パス故障 (RDI): "1" TTC 標準 JT-G707 準拠
	J2	パストレース (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	N2	タンデムコネクション (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視
	K4	APS チャンネル (未使用)	送信: FFh, 受信: 無視

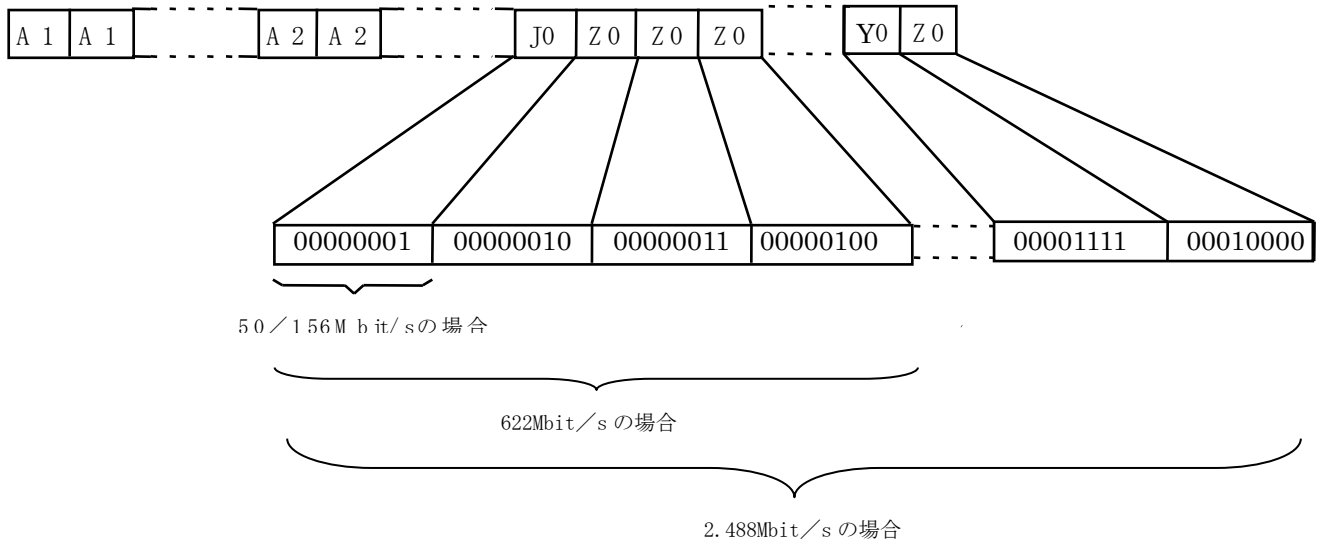


図 13 STM 識別子の定義

表 11 フレーム同期方式

項目	フレーム同期パターン	パターン探索法 パターン照合法	フレーム同期保護 (注 1, 2)
STM-16 信号 (2.488M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・連続したA1, A1, A2, A2バイトの 32ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-4 信号 (622M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS11-14のA1, A1, A2, A2バイトの 32ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-1 信号 (156M IF)	A1A1A2A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS2-5のA1, A1, A2, A2バイトの32 ビット同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段
STM-0 信号 (52M IF)	A1A2 A1=(11110110) A2=(00101000)	・1ビット即時シフト方式(注3) ・TS1-2のA1, A2バイトの16ビット 同時照合方式	・リセット方式 ・前方保護:5段 ・後方保護:2段

注 1. 前方 n 段とは、フレーム同期状態においてフレーム同期パターン照合結果、n 回連続不一致を検出したとき、フレーム同期復帰過程に移ることをいう。

注 2. 後方 m 段とは、フレーム同期復帰過程においてフレーム同期パターン照合結果、m 回連続一致を検出したとき、フレーム同期状態に移ることをいう。

注 3. または、1ビット即時シフト方式と同等なフレーム同期復帰特性を有するフレーム同期方式とする。

表 12 同期状態メッセージの送信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) は未使用 (送信 : S1 ('b1, b2, b3, b4') = '1111')

表 13 同期状態メッセージの受信条件

S1 バイト (b5-b8)	SDH 同期品質レベル
0000	品質不明 (既存の同期網)
1011	SDH 装置同期出力 (SETS) (但し、入力リファレンスにロック している場合はのぞく)

(注 1) S1 バイト (b1-b4) については、未使用 (受信 : 無視) とする。

表 14 警報検出解除条件 (1 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
物理 セクション	LOS	-----	-----	光入力断	光入力回復
	TF	-----	-----	光出力断	光出力回復
中継器 セクション	OOF	-----	-----	フレーム同期はずれ前方保護 4-5 段	フレーム同期復帰後 方保護 2 段
	LOF	-----	-----	OOF の 0~3m 秒継続	OOF 解除状態の 0~3m 秒継続
	RS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル前の STM-N の全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B1 との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD(B1)	-----	-----	B1 により検出した誤り率が、 10^{-5} 以上で発出	B1 により検出した誤り率が、 10^{-6} 以下で解除
	MS-AIS	LOS, LOF を検出後、スクランブル前の STM-N (RSOH を除く) に A11 "1" を送出	LOS, LOF を解除後に解除	-----	-----

表 14 警報検出解除条件 (2 / 4)

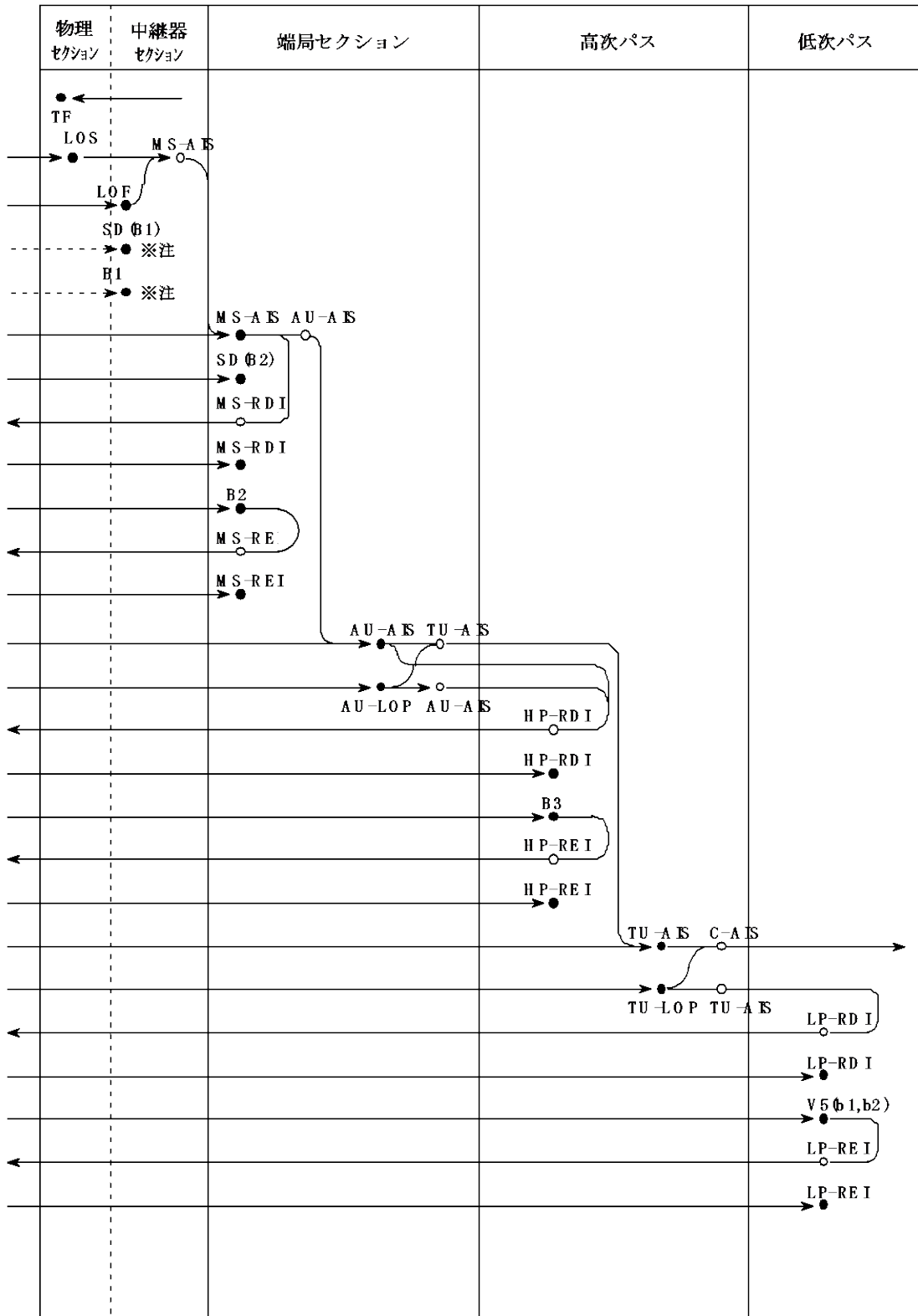
レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
端局 セクション	MS-AIS	-----	-----	デスクランブル後の K2 の b6-b8 = "111" を 3~5 回連続受信	デスクランブル後の K2 の b6-b8 ≠ "111" を 3~5 回連続受信
	MS-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の STM-N の全ビット (SOH の第 1-3 を除く) に対する BIP-24×N 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B2×3N との不一致	1 フレーム毎に解除
	SD(B2)	-----	-----	B2 により検出した誤り率が、10 ⁻⁵ 乗以上で発出	B2 により検出した誤り率が、10 ⁻⁶ 乗以下で解除
	MS-RDI	MS-AIS 検出時にスクランブル前の STM-N の K2 の b6-b8 = "110" を送出 SD(B2) 検出時は送出しない	MS-AIS 回復時に送出解除	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 = "110" を 3~10 フレーム連続受信	デスクランブル後の K2 バイトの bit 6-8 ≠ "110" を 3~10 フレーム連続受信
	MS-REI	B2 不一致時、M1 に B2 の演算結果を送出。	1 フレーム毎に解除。	M1 を検出	1 フレーム毎に解除
	AU-AIS	MS-AIS を検出後にスクランブル前の全 AU の全ビット A11 "1" を送出 (AU ポインタを含む)	MS-AIS 回復時に送出解除	-----	-----
	AU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照

表 14 警報検出解除条件 (3 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
	AU-AIS	AU-LOP 検出時に AU の全ビット A11"1"を送出 (AU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	AU-LOP, AU-AIS 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む、SOH は正常)	AU-LOP, AU-AIS 回復時に送出解除	-----	-----

表 14 警報検出解除条件 (4 / 4)

レイヤ	警報項目	送出方法	送出解除条件	警報検出条件	警報解除条件
高次パス	HP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の VC 全ビットに対する BIP-8 演算結果とデスクランブル後の次フレームの B3 との不一致	1 フレーム毎に解除
	HP-REI	B3 不一致時、G1 (b1-b4) に B3 の演算結果を送出	1 フレーム毎に解除	G1 (b1-b4) を検出	1 フレーム毎に解除
	HP-RDI	AU-LOP, AU-AIS 検出時に、G1 の b5="1"を送出。	AU-LOP, AU-AIS 回復時に、送出解除。	G1 バイトの bit 5="1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信	G1 バイトの bit 5≠"1"を 3,5 または 10 フレーム連続受信
	TU-LOP	-----	-----	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
	TU-AIS	TU-LOP 検出時に TU の全ビット A11"1"を送出 (TU ポインタを含む)	TU-LOP 回復時に送出解除	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照	TTC 標準 JT-G783 付属資料 C 参照
低次パス	LP-BIP Error	-----	-----	デスクランブル後の低次 VC 全ビットに対する BIP-2 演算結果とデスクランブル後の次マルチフレーム V5 (b1, b2) との不一致	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-REI	V5 (b1, b2) 不一致時、V5 (b3) に V5 (b1, b2) の演算結果を送出	1 マルチフレーム毎に解除	V5 (b3) を検出	1 マルチフレーム毎に解除
	LP-RDI	TU-LOP, TU-AIS 検出時に、V5 の b8="1"を送出	TU-LOP, TU-AIS 回復時に、送出解除	V5 バイトの bit 8="1"を 3~10 マルチフレーム連続受信	V5 バイトの bit 8≠"1"を 3~10 マルチフレーム連続受信



● : 検出 ○ : 生成

※注. B1とSD (B1)の検出はオプション

図 14 警報転送機能

技術的条件集別表 17

対移動体事業者 I P 接続用インタフェース仕様

1. 概説

本別表 17 は、当社網と直接協定事業者網間の接続条件（以下、「網間インタフェース」という。）について規定する。

2. 規定範囲

本別表は、電気通信事業者間の相互接続を円滑に行うため、網間インタフェースに関わる接続条件について規定を行うものである。本別表は、基本サービス機能について規定している。

3. 規定対象

本別表は、基本サービス機能に関わる網間インタフェースを規定しており、網間インタフェースは、SIP、ENUM 及び DNS に関わる事項を含む相互接続に必要な事項を規定対象としている。

4. 番号方式

(1) 当社網と直接協定事業者網間で使用する電気通信番号は、電気通信番号規則（令和元年総務省令第4号）を準用することとする。なお、直接協定事業者は、当社の加入契約者から直接協定事業者網へ接続するための電気通信番号を当社に通知することを要する。

分類1による当社網と直接協定事業者網間で使用する電話番号の基本構成は次のとおりとする。

0 A 0
+
C D E
+
F G H J K
 サービス識別番号 事業者識別番号 接続番号

(2) 発事業者網のダイヤル番号に関する機能

発事業者網は、分類1に規定される電話番号において本網間インタフェースを利用する。

5. 接続条件

5.1. 接続制御

5.1.1. 基本的な接続機能

- ・ 当社網発信呼については、必要な接続制御を当社網で行う。
- ・ 当社網では、原則着事業者固有のサービスに対応するための発信制御は行わないが、協議に基づき当社網で必要な接続制御を行う場合もある。
- ・ 当社網に対する着信呼に関しては、原則として発事業者網側で接続制御を行うこととし当社網での接続制御は行わない。従って規制が必要な場合は発事業者網側で行う。

5.1.2. 付加的な接続機能

付加サービスへの接続に関しては、原則として当社網発信の付加サービスは当社網で発信を制御し、当社網着信の付加サービスの場合は発事業者網側で接続を制御することとする。但し、当社網着信の付加サービスに関しては当社網で必要な接続制御を行う場合がある。

当社における網接続制御の考え方を表 5-1 と表 5-2 にまとめる。

表 5-1 当社網発信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	当社網	着信事業者網
接続協定を締結した事業者の番号	全事業者に提供	接続/迂回(注1)	接続
	特定事業者のみ提供	接続/規制(注2)	接続/規制(注2)
上記以外	—	—	—

注1：4. 番号方式で定義された番号方式で、11.3. PSTN 接続に示す”E2U+pstn:sip”が返答された場合は、対移動体事業者接続用インタフェース経由で接続とする。

注2：接続を行う特定の事業者以外との接続を規制する。

表 5-2 当社網着信時の接続条件

接続番号	当社個別サービス条件	発事業者網	当社網
定義された番号	全事業者に提供	接続/迂回(注1)	接続
	特定事業者のみ提供	接続/規制(注2)	接続/規制(注2)
上記以外	—	—	—

注1：4. 番号方式で定義された番号方式で、11.3. PSTN 接続に示す”E2U+pstn:sip”を当社網から返答された場合は、対移動体事業者接続用インタフェース経由で接続とする。

注2：接続を行う特定の事業者以外との接続を規制する。

5.1.3. コーデックの条件

当社網着信時に発事業者網側では、AMR-NB(12.2kbps)、AMR-WB(12.65kbps)、EVS(13.2kbps)のいずれかを含めることとする。

5.1.4. 当社網発信時のサービス接続条件

当社網発信時のサービス接続条件を表 5-3 に示す。

表 5-3 当社網発信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	備考
発信番号通知	○	
3者通話	○	
ナンバーシェア	○	

凡例：○=全接続に提供，□=特定接続のみ提供

5.1.5. 当社網着信時のサービス接続条件

当社着網時のサービス接続条件を表 5-4 に示す。

表 5-4 当社網着信時のサービス接続条件

付加サービスの種類	接続条件	備考
着信転送	□	転送接続を許容する番号は限定される
応答保留	○	
通話中保留	○	
お留守番	○	
割り込み通話	○	
番号通知リクエスト	○	
着信拒否	○	
迷惑電話撃退	○	
待ちうた	○	
ナンバーシェア	○	

凡例：○=全接続に提供，□=特定接続のみ提供

6. 課金方式

基本的な呼の接続に関するユーザ課金方式及び事業者間料金精算方式について記述する。当社と接続事業者間の課金方式は、ここで述べる課金方式を原則とし、協議により決定する。

6.1. ユーザ課金方式

6.1.1. 当社が発事業者の場合

- ① 当社が料金設定を行う場合
発ユーザから料金回収を行う。
- ② 当社が料金設定を行わず、後位網からユーザ課金の指示を受ける場合
対移動体事業者IP接続用インタフェースでは、該当する呼種は流通させない。

6.1.2. 当社が着事業者の場合

接続事業者側で発ユーザから料金回収を行う。

6.2. 網使用料

当社および直接協定事業者は、網使用料の課金について、次のとおり取り扱うこととする。

- (1) 網使用料の課金開始・停止契機
開始契機：initial INVITE に対して 200 OK が着網より返された時
停止契機：bye が送信された時
- (2) 網使用料精算対象呼
以下を除く全ての呼を精算対象とする。
 - ① 試験呼
 - ② 接続が完了しなかった呼

7. 試験方式

当社網と直接協定事業者網間で使用する試験方法は次のとおりとする。

7.1. 基本的考え方

- (1) 予防保全、故障発生時の故障探索・修復確認及び増設時の機能確認等を目的とする。
- (2) それぞれの事業者の設備に係わる試験は設備を所有する事業者が責任を持って実施し、他事業者の試験については原則として実施しない。但し、故障切り分け等のため、当社網と直接協定事業者網間は試験可能とする。
- (3) 試験は原則として隣接の事業者間で実施する。
- (4) 試験呼は SIP 信号の cpc=test で識別する。

7.2. 試験の種類

(1) 手動接続試験

当社網と直接協定事業者網は、TrGW に自動応答トランク (AAT) 機能を付与し、手動接続試験を行うこととする。

(ア) 直接協定事業者網から当社網における手動接続試験の内容を表 7-1 に示す。

表 7-1 直接協定事業者網から当社網向けの手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	接続条件	強制切断の有無
手動接続試験	TrGWのAAT	A0 ^{※1} +CDE ^{※2} +123	非課金	有り

※1：A=7、8、9 携帯呼

※2：当社が使用する番号

(イ) 当社網から直接協定事業者網における手動接続試験の内容を表 7-2 に示す。

表 7-2 当社網から直接協定事業者網向けの手動接続試験

試験種別	接続先	試験番号構成	接続条件	強制切断の有無
手動接続試験	TrGWのAAT	A0 ^{※1} +CDE ^{※2} +123	非課金	いずれも対応可

※1：A=7、8、9 携帯呼

※2：直接協定事業者が使用する番号

8. 輻輳制御方式

8.1. 非常緊急通話の取り扱い

- (1) 優先的に扱う通信の識別は、SIP 信号上の Resource-Priority ヘッダに優先発ユーザである旨を示す“wps.1”、または cpc=priority で行う。当社網が直接協定事業者網から発出された Resource-Priority ヘッダに付与された”wps.1”、または cpc=priority に基づき輻輳制御を行う場合は、制御率を当社網内に終始する呼と同等にする。直接協定事業者網も当社網からの呼制御を行う場合は、直接協定事業者網内に終始する呼と同等にする。
- (2) 当社網と直接協定事業者網間での災害時優先電話の疎通を確保するため、当社網は優先発ユーザ分の回線を別途確保し制御を行うことができる。

8.2. 回線留保機能による制御方式

- (1) 直接協定事業者網は、優先発ユーザ留保回線制御を実施することの有無について、当社に通知することを要する。
- (2) 優先発ユーザ留保回線数及び使用可能回線数については、当社と直接協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

9. SIP 仕様

9.1. SIP 仕様に係る TTC 標準

SIP 仕様は「TTC 標準 IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース」に準拠する。ベースドキュメントとして参照する TTC 標準は次のとおりである。なお、具体的なパラメータは、別途協議のうえ決定とする。

- TTC 標準 JJ-90.30 IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース

9.2. 当社網と TTC 標準の対応

当社網と TTC 標準の対応を表 9-1、当社網との SIP 基本接続条件を表 9-2 に示す。TTC 標準の規定と当社規定に差分がある場合について、その具体的な内容を表 9-3 に示す。なお、表 9-1 における項番番号は、該当する TTC 標準のセクション番号に対応している。

表 9-1 JJ-90.30 対応表

JJ-90.30 の参照節		接続事業者網間仕様	備考	
項番	項目			
1	概説	ベースドキュメントどおり		
1.1.	本標準の適用範囲			
1.2.	本標準の目的			
1.3.	本標準の規定内容			
1.3.1.	必須の事項			
1.3.2.	オプションの事項			
1.3.3.	参考情報			
2	用語/略語			
2.1.	用語			
2.2.	略語			
3	サポートするインタフェース	ベースドキュメントどおり		
4	非ローミング II-NNI の SIP/SDP 規定	ベースドキュメントどおり	設定値については表 9-2 を参照	
4.1.	着信先番号の設定内容		設定値については表 9-2 を参照	
4.1.1.	Request-URI の設定内容		設定値については表 9-2 を参照	
4.1.1.1.	URI スキーム		設定値については表 9-2 を参照	
4.1.1.2.	telephone-subscriber 部		設定値については表 9-2 を参照	
4.1.1.3.	hostport 部		設定値については表 9-2 を参照	
4.1.1.4.	SIP URI パラメータ		設定値については表 9-2 を参照	
4.2.	発信者番号通知		設定値については表 9-2 を参照	
4.3.	空き番号トーキ		設定値については表 9-2 を参照	
4.3.1.	空き番号トーキの提供方法について		設定値については表 9-2 を参照	
4.3.1.1.	着側 IMS 網の必要機能		設定値については表 9-2 を参照	
4.3.1.2.	発側 IMS 網の必要機能		設定値については表 9-2 を参照	
4.4.	SIP メッセージ設定最大長		設定値については表 9-2 を参照	
付属資料 a	TS 29.165 に対する規定の明確化		ベースドキュメントどおり	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照
a.1.	概要			オプション項目の設定値については表 9-3 を参照
a.2.	規定の明確化方法			オプション項目の設定値については表 9-3 を参照
a.3.	オプション項目選択表のフォーマットと定義	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
a.4.	オプション項目選択表	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
a.4.1.	サポートするインタフェース	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
a.4.2.	ローミング/非ローミング II-NNI 共通のオプション項目選択表	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
a.4.3.	ローミング II-NNI 特有のオプション項目選択表	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
a.4.4.	非ローミング II-NNI 特有のオプション項目選択表	オプション項目の設定値については表 9-3 を参照		
付属資料 b	サブアドレス	着網でサブアドレスは破棄（又は無視）する		
b.1.	概要			
b.2.	サブアドレス情報の内容			
b.3.	サブアドレス情報のフォーマット			
付属資料 c	アーリーダイアログでの SDP の不透過性	ベースドキュメントどおり		
c.1.	概要			
c.2.	ガイダンス/トーキ			
c.2.1.	着側 IMS 網からのガイダンス/トーキの提供			
c.2.2.	発側 IMS 網からのガイダンス/トーキの提供			
c.3.	呼完了前ネットワーク送出 RTP 音声の接続について			
c.3.1.	ネットワーク送出 RTP 音声に関するモデル			
c.3.2.	ネットワーク送出 RTP 音声に関する動作概要			
c.3.2.1.	呼完了前ネットワーク送出 RTP の送信側 IMS 網の動作			

c. 3. 2. 2.	暫定レスポンスを中継する IMS 網の動作		
c. 3. 2. 3.	呼完了前パス接続を管理する IMS 網の動作		
付属資料 d	発ユーザ種別	ベースドキュメントどおり	
d. 1.	概要		
d. 2.	規定の明確化項目		
d. 3.	ISUP の発ユーザ種別との対応		
d. 4.	パラメータ設定例		
付属資料 e	帯域制御	ベースドキュメントどおり	b=RR 及び b=RS は使用されず、常に 5% の帯域を設定
e. 1.	概要		
e. 2.	IMS 網における帯域制御の仕組み		
e. 3.	SIP/SDP に関する規定		
付属資料 f	番号変換履歴	ベースドキュメントどおり	
f. 1.	概要		
f. 2.	番号変換履歴情報		
f. 2. 1.	トラスト関係		
f. 2. 1A.	Request-URI		
f. 2. 2.	ヘッダ形式		
f. 2. 2. 1.	URI		
f. 2. 2. 1A.	cause パラメータ		
f. 2. 2. 2.	インデックス値		
f. 2. 2. 3.	mp パラメータ		
f. 2. 2. 4.	通知可/不可		
f. 2. 2. 5.	その他のパラメータ		
f. 3.	他サービスとの相互動作		
f. 3. 1.	着信転送サービス		
f. 3. 1. 1.	エントリ順		
f. 3. 1. 2.	インデックス値		
f. 4.	ISUP パラメータとの対応		
付録 i	オプション項目表	未使用	
i. 1.	はじめに		
i. 2.	オプション項目表のフォーマットと定義		
i. 3.	サポートするインタフェース		
i. 4.	非ローミング II-NNI におけるオプション項目表		
付録 ii	SIP-ISUP インタワーク	ベースドキュメントどおり	
ii. 1.	概要		
ii. 2.	発信者番号関連情報の SIP-ISUP インタワーク		
ii. 2. 1.	概要		
ii. 2. 2.	適用モデル		
ii. 2. 3.	対象とするメッセージ		
ii. 2. 4.	IAM→initial INVITE		
ii. 2. 4. 1.	通知/非通知情報		
ii. 2. 4. 2.	網付与ユーザ ID 情報		
ii. 2. 4. 3.	各情報要素へのマッピング		
ii. 2. 4. 3. 1.	SIP_URI		
ii. 2. 4. 3. 2.	SIP_DISPLAYNAME		
ii. 2. 4. 3. 3.	TEL_URI		
ii. 2. 4. 3. 4.	TEL_DISPLAYNAME		
ii. 2. 4. 3. 5.	PRIVACY		
ii. 2. 4. 4.	ISUP→SIP インタワーク条件表		
ii. 2. 5.	initial INVITE→IAM		
ii. 2. 5. 1.	通知/非通知情報		
ii. 2. 5. 2.	各情報要素へのマッピング		
ii. 2. 5. 2. 1.	発番号		

ii.2.5.2.2.	汎用番号		
ii.2.5.2.3.	発信者番号非通知理由		
ii.2.5.3.	SIP→ISUP インタワーク条件表		
ii.3.	番号ポータビリティ情報の ISUP-SIP インタワーク		
ii.3.1.	概要		
ii.3.2.	番号ポータビリティ (MNP/LNP) 情報の SIP-ISUP インタワーク		
ii.3.2.1.	ISUP→SIP		
ii.3.2.1.1.	SIP メッセージ例		
ii.3.2.2.	SIP→ISUP		
付録 iii.	保守運用に関する留意事項		
iii.1.	SIP セッションの同時接続数制御方式		
iii.1.1.	概要		
iii.1.2.	基本原則		
iii.1.3.	片方向管理方式による出 SIP セッション数の制御		
iii.2.	接続試験方式		
iii.2.1.	概要		
iii.2.2.	試験の種類		
iii.2.3.	接続試験の網間番号構成		
iii.2.4.	接続試験の試験呼表示		
iii.2.5.	相互接続事業者間試験のシーケンス		
iii.3.	保守閉塞方式		
iii.3.1.	概要		
iii.3.2.	必要機能		

ベースドキュメントどおり

表 9-2 SIP 基本接続条件

項番	プロトコル	パラメータ		備考		
1	SIP	1	IP バージョン	v4		
		2	トランスポートプロトコル	UDP		
		3	ポート番号	5060		
		4	Req-URI の SIP URI フォーマット	1	global-number-digits	+81A0CDEXXXXX
				2	par	npdi
				3	Hostport	ims.mnc051.mcc440.3gppnetwork.org
4	uri-parameter			user=phone		
5	事業者識別子	1	一般	ims.mnc051.mcc440.3gppnetwork.org		
2	RTP	1	IP バージョン	v4		
		2	トランスポートプロトコル	UDP		
		3	ポート番号	SDP で指定		
3	RTCP	1	IP バージョン	v4		
		2	トランスポートプロトコル	UDP		
		3	ポート番号	SDP で指定		

表 9-3 オプション項目選択表

付表	分類	項番	オプション項目	JJ-90.30 仕様	
				II-NNI での適用	特記事項
a.4.1.1	サポートする II-NNI のシナリオ	1	ローミング II-NNI	適用する	
				適用しない	
		2	非ローミング II-NNI	適用する	
				適用しない	
a.4.2.1	SIP メソッド	1	INFO メソッド	適用する	利用する INFO パッケージ名
				適用しない	
		2	MESSAGE メソッド	適用する	既存ダイアログ内、外での利用 MESSAGE リクエストの内容
				適用しない	

		3	REFER メソッド	適用する	既存ダイアログ内、外での利用
				適用しない	
a. 4. 4. 1		1	NOTIFY メソッド	適用する	CONF の状態通知/登録
				適用しない	
		2	SUBSCRIBE メソッド	適用する	CONF の状態通知/登録
				適用しない	
3	PUBLISH メソッド	適用する	利用するイベントパッケージ名		
		適用しない			
a. 4. 2. 2	SIP 輻輳制御	1	SIP の輻輳制御	適用する	利用するメカニズム SIP の輻輳制御から MPS を除外するか否か
				適用しない	
		2	フィードバック制御	適用する	デフォルトのアルゴリズムを利用しない場合 のアルゴリズム (21.2 節)
				適用しない	
		3	イベント制御	適用する	監視対象のアドレス
				適用しない	
a. 4. 2. 3	リソース管理の ネゴシエーション	1	リソース管理のネゴシエーション (precondition)	適用する	基本呼におけるリソースネゴシエーション
				適用しない	
a. 4. 2. 4	定期的な SIP セッション更新	1	SIP セッションタイマ (timer)	適用する	利用条件 (更新間隔の制限、SIP セッションタイマを全セッションに適用するか否か)
a. 4. 2. 5	SIP ダイアログの 置換	1	SIP ダイアログの置換 (replaces)	適用する	
				適用しない	
a. 4. 2. 6	セッション参加	1	セッション参加 (join)	適用する	
				適用しない	
a. 4. 2. 7	端末能力の伝達	1	端末能力の伝達	適用する	
				適用しない	
a. 4. 2. 8	アーリーメディアの認可	1	アーリーメディアの認可	適用する	ガイダンス等
				適用しない	
a. 4. 2. 9	認証ユーザのサービスの検証	1	検証されたサービス表示の管理 (P-Assrted-Service ヘッダ)	適用する	利用するサービス識別子の値
				適用しない	
a. 4. 2. 10	シグナリングの モード	1	オーバーラップシグナ リング	ダイアログ内の メソッド	適用する
				適用しない	
				複数 INVITE のメ ソッド	適用する
				適用しない	
a. 4. 2. 11	SIP メッセージボディ	1	MIME タイプ	適用する	利用する MIME タイプ 必要な場合は適用する SIP メッセージボディ MIME の特徴 (Content-Disposition、 Content-Language ヘッダの設定値) <Content-Disposition ヘッダのパラメータ には初期値 ("session" 及び "render") のみ設 定可能とする。 >
a. 4. 2. 12	SIP メッセージボディサイズ	1	SIP メッセージボディの最大長	適用する	受信を受け付ける最大長
				適用しない	
a. 4. 2. 13	制御プレーンの トランスポート	1	TCP	適用する	利用条件 (待ち受けポート番号、既存 TCP コ ネクションを再利用する場合における最大同 時接続数等) <TCP の接続方式に関する留意事項として付 録 v を参照する。 >
				適用しない	
		2	TCP の KeepAlive オプション	適用する	KeepAlive オプションを利用する場合は、タイ ムアウト時間等のパラメータを決定する。
				適用しない	
		3	自 TCP コネクションが利用不可の場合に、対 向ノード側から確立した TCP コネクションを 利用した既存ダイアログ内 SIP リクエスト信	適用する	
				適用しない	

			号の送出		
		4	UDP	適用する	利用条件（待ち受けポート番号等）
				適用しない	
		5	SCTP	適用する	利用条件（待ち受けポート番号等）
				適用しない	
a. 4. 2. 14	ユーザプレーンの のトランスポート、メディア、コーデック	1	音声メディア (m=audio)	適用する	<p>利用する音声コーデック名（注1、注2） <コーデックリストに含まれないコーデックは、SDP オファーに設定しない。> <パケット化周期は 20ms を利用する。> 注1：事業者間協議で決定した適用するコーデックリストに含まれるコーデックは、接続事業者により II-NNI 上でサポートすることが保証される。 注2：事業者間協議で II-NNI で適用すると決定したコーデックリストにないコーデックをオファーすることを許容するか否かについても、必要に応じて事業者間協議で決定する。</p>
		2	映像メディア (m=video)	適用する	<p>利用する映像コーデック名（注1、注2） <コーデックリストに含まれないコーデックは、SDP オファーに設定しない。></p>
				適用しない	
		3	他のメディア	適用する	<p>利用するメディアタイプ（SDP の m=行） (application、image、message 等)</p>
				適用しない	
		4	RTP/AVPF	適用する	<p>このプロトコルを利用するメディアタイプ (SDP の m=行)</p>
				適用しない	
		5	TCP	適用する	<p>このプロトコルを利用するメディアタイプ (SDP の m=行)</p>
				適用しない	
		6	他のユーザプレーンプロトコル	適用する	<p>利用するプロトコル (udpt1、TCP/MSRP 等) とそのプロトコルを記述するメディアタイプ (SDP の m=行)</p>
				適用しない	
		a. 4. 2. 15	DTMF	1	DTMF の転送
SIP INFO メカニズム	適用しない				
	適用する				
	適用しない				
a. 4. 2. 16	番号、ネーム、アドレス	1	サブアドレス ("isub" tel URI パラメータ)	適用する	<p><サブアドレスの利用に関しては、付属資料 b の規定に従う。></p>
				適用しない	
a. 4. 2. 17	IP バージョン	1	IPv4	適用する	<p>利用条件（制御プレーンでの利用、ユーザプレーンでの利用等）</p>
		2	IPv6	適用しない	<p>利用条件（制御プレーンでの利用、ユーザプレーンでの利用等）</p>
a. 4. 2. 18	付加サービス	1	悪意呼識別 (MCID)	適用する	<p>II-NNI 上で交換する最小限の情報</p>
				適用しない	
		2	発信者番号通知 (OIP) 発信者番号通知制限 (OIR)	適用する	<p><発信者番号通知に関して、本標準の 4.2 節の規定に従う。></p>
適用しない					
		3	接続先番号通知 (TIP)	適用する	

		接続先番号通知制限 (TIR)	適用しない	
4		発信者番号非通知呼拒否 (ACR)	適用する	
			適用しない	
5		着信転送サービス (CDIV)	適用する	<着信転送に関するメッセージ条件に関して、[JJ-90.27]に従う。>
			適用しない	
6		コミュニケーションウェイトイング (CW)	適用する	
			適用しない	
7		呼出し保留 (HOLD)	適用する	
			適用しない	
8		メッセージ受信インディケータ (MWI)	適用する	
			適用しない	
9		着信制限 (ICB)	適用する	
			適用しない	
10		話中時再呼出し (CCBS)	適用する	
			適用しない	
11		無応答時再呼出し (CCNR)	適用する	
			適用しない	
12		特定呼転送 (ECT)	適用する	サポートする ECT の種別
			適用しない	
13		呼返し音のカスタマイズ (CAT)	適用する	利用する CAT モデル (ゲートウェイモデル、フォーキングモデル、アーリーセッションモデル)
			適用しない	
14		呼返し音のカスタマイズ (CRS)	適用する	
			適用しない	
15		閉域接続 (CUG)	適用する	
			適用しない	
16		パーソナルネットワークマネジメント (PNM)	適用する	
			適用しない	
17		3者通話 (3PTY)	適用する	
			適用しない	
18		会議通話 (CONF)	適用する	
			適用しない	
19		フレキシブルアラートリング (FA)	適用する	
			適用しない	
20	アナウンスメント	セッション確立中の提供	適用する	アナウンスメントの送出方法
			適用しない	
		確立済みセッション中の提供	適用する	アナウンスメントの送出方法
			適用しない	
通信リクエストを拒否する場合のアナウンスメント提供	適用する	アナウンスメントの送出方法		
	適用しない			
21		課金情報通知 (AOC)	適用する	
			適用しない	
22		未ログイン時再呼出し (CCNL)	適用する	
			適用しない	
23		プレゼンスサービス	適用する	利用するプレゼンスサービス (3GPP TS 24.141、OMA 1.1、または OMA 2.0)
			適用しない	
24	メッセージングサービス	Page-mode でのメッセージング	適用する	
			適用しない	
		Session-mode でのメッセージング	適用する	
			適用しない	

				Session-mode でのメッセージング会議	適用する	
				適用しない		
		24A	番号変換履歴の流通	適用する	機能を利用するサービス <番号変換履歴情報の持ち回りに関して、付属資料 f の規定に従う。>	
				適用しない		
		25	他の SIP 拡張を利用する付加サービス	適用する	利用する SIP 拡張とその拡張を利用するサービス	
				適用しない		
a. 4. 2. 19	付加機能	1	オブティマルメディアルーチング	適用する		
				適用しない		
		2	フォーキングの適用 (注1) 注1: フォーキングにより発生するレスポンスの処理、および Request-Disposition ヘッダは II-NNI 上でサポートされる。	適用する	"no-fork"を設定した Request-Disposition ヘッダの利用 (注3) 注3: "no-fork"を設定した Request-Disposition ヘッダはフォーキングの抑制に利用することができるが、接続事業者はあるサービスでフォーキングを利用する必要があるかもしれない。	
				適用しない		
		3	IP マルチメディアサービスタリフ情報の転送	適用する	Content-Disposition ヘッダの値	
				適用しない		
		4	IMS テレプレゼンス	適用する	Contact ヘッダ中の "+sip.clue" media feature タグの値	
				適用しない		
a. 4. 2. 20	SDP 行	1	m=行	適用する	利用する静的 RTP ペイロード番号	
		2	b=行	適用する	利用する b=行のタイプ	
		3	a=行	適用する	利用する属性値 "rtpmap"属性に関しては、利用する"encoding names"	
a. 4. 2. 21	緊急サービス	1	PSAP コールバック	適用する	利用する PSAP コール識別子	
				適用しない		
a. 4. 2. 22	II-NNI シナリオの明示	1	II-NNI シナリオ特定のための"iot1" SIP URI パラメータのサポート	適用する		
				適用しない		
a. 4. 2. 2	課金	1	事業者間料金精算	適用する	P-Charging-Vector ヘッダの type 2 "orig-ioi"と"term-ioi"ヘッダパラメータに設定する事業者網識別子	
				適用しない		
		2	中継シナリオの事業者間料金精算	適用する	P-Charging-Vector ヘッダの"transit-ioi"ヘッダパラメータに設定する事業者網識別子	
				適用しない		
a. 4. 4. 3	GRUU	1	Globally Routable User Agent URIs (gruu)	適用する		
				適用しない		
a. 4. 4. 4	Media feature タグ	1	Media feature タグ	適用する	利用する media feature タグ名	
				適用しない		
a. 4. 4. 5	ISDN インターワーキング	1	ISDN インターワーキングのための User to User 呼制御情報 (uui)	適用する		
				適用しない		
a. 4. 4. 6	企業網	1	私設網トラヒック (P-Private-Network-Indication ヘッダ)	適用する	<私設番号を利用した通信に当該ヘッダを適用する場合、[TS-1018]に従う。>	
				適用しない		
a. 4. 4. 7	番号、ネーム、アドレス	0	SIP URI	適用する	Non-global number の利用 受信を受け付ける hostport 部のドメイン名/IP アドレス	

		0A	tel URI	適用する	Non-global number の利用 Request-URI/P-Asserted-Identity ヘッダにおけるこの URI の適用 <本仕様書の 4.1 節に従い Request-URI には設定しない。> <本仕様書の 4.2 節に従い P-Asserted-Identity ヘッダに適用する。>
				適用しない	
		0AA	local-number-digits の有効な受信桁数の登録	適用する	適用する場合は最小受信桁数及び最大受信桁数を決定する。
				適用しない	
		0B	IM URI	適用する	
				適用しない	
		0C	PRES URI	適用する	
				適用しない	
		1	番号ポータビリティパラメータ ("rn"及び "npdi"パラメータ)	適用する	<本標準の 4.1 節に従い、本パラメータを適用する。>
				適用しない	
		2	発ユーザ種別 ("cpc"パラメータ)	適用する	利用する cpc パラメータ値 <発ユーザ種別の利用については、付属資料 d の規定に従う。>
				適用しない	
		3	発側回線情報 ("oli"tel URI パラメータ)	適用する	利用する oli パラメータ値
				適用しない	
a. 4. 4. 8	付加機能	1	OPTIONS メソッドのサポート	適用する	メソッドの利用目的
				適用しない	
i. 4. 18	SIP メッセージ設定最大長	1	SIP メッセージの 1 行毎最大長	事業者間で協議した値を適用する	値 (byte) を決定する。
		2	SIP メッセージの同一 SIP ヘッダ繰り返し最大回数	事業者間で協議した値を適用する	最大回数を設定する SIP ヘッダ毎に最大回数を決定する。
		3	SIP メッセージボディの最大長	事業者間で協議した値を適用する	値 (byte) を決定する。
		4	SIP/SDP メッセージの全体長	事業者間で協議した値を適用する	UDP 利用時と異なる値を適用する場合は、値を定する。
i. 4. 19	ガイダンス/トーキ	1	受信したレスポンスのステータスコードによるガイダンス/トーキの提供	適用する	提供する場合には、具体的なステータスコードを決定する。
				適用しない	
i. 4. 20	100rel	1	100rel を利用しない場合のアーリーメディア	適用する	
				適用しない	
i. 4. 21	帯域制御	1	トークンバケットサイズの個別指定	適用する	指定する場合は、上限値・下限値を定める。
				適用しない	
		2	レート係数	事業者間で協議した値を適用する	レート係数の値を決定する。
		3	コーデックに対応づけたトークンバケット速度	適用する	適用する場合は、コーデック毎の条件を示す。
				適用しない	
		4	b=RR/b=RS を用いた RTCP 帯域指定	事業者間で協議した値を適用する	
		5	b=RR/b=RS 未指定時の RTCP 帯域	事業者間で協議した値を適用する	5%以外の帯域を適用する場合は、帯域の決定方法を示す。
i. 4. 22	最大同時接続数	1	片方向管理での出 SIP セッションの同時接続数制御	適用する	利用条件 (SIP セッションの最大同時接続数、事業者双方の出 SIP セッションの同時接続数)
				適用しない	

※灰色網掛けされていない項目が当社網に適用される。

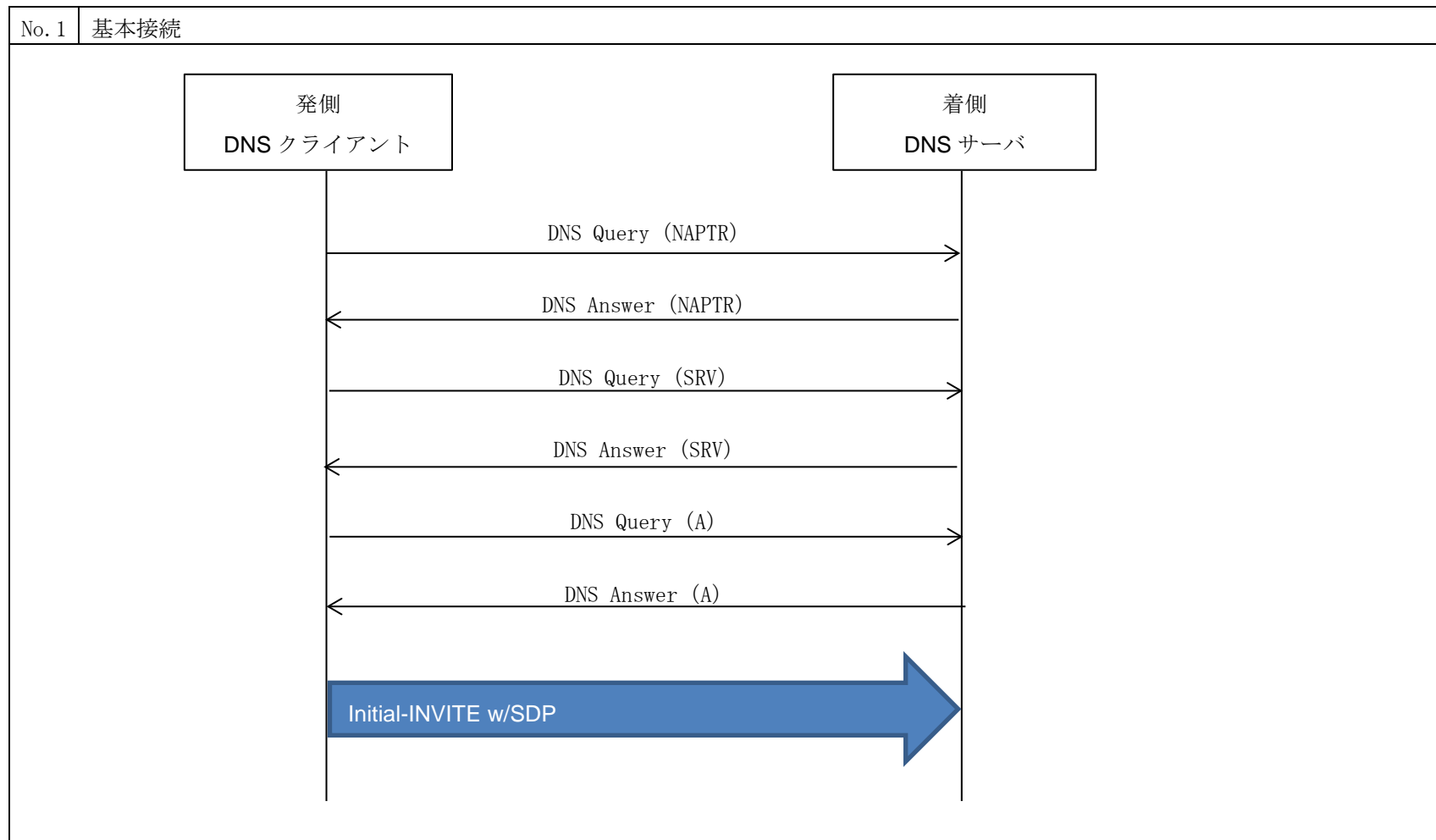
10. DNS 仕様

10.1. DNS 仕様に係わる標準

DNS 仕様のベースドキュメントとして参照する 3GPP/RFC 標準は次のとおりである。

- IR.67 - DNS/ENUM Guidelines for Service Providers & GRX/IPX Providers
- RFC1034 - DOMAIN NAMES - CONCEPTS AND FACILITIES
- RFC1035 - DOMAIN NAMES - IMPLEMENTATION AND SPECIFICATION

10.2. 基本シーケンス



11. ENUM 仕様

11.1. ENUM 仕様に係る TTC 標準

ENUM 仕様は「TTC 標準 キャリア ENUM の相互接続共通インタフェース」に準拠する。ベースドキュメントとして参照する TTC 標準は次のとおりである。

- TTC 標準 JJ-90.31 キャリア ENUM の相互接続共通インタフェース
- TTC JT-E164 Supplement2 国際公衆電気通信番号計画補足文書 2：番号ポータビリティ

11.2. 当社網と TTC 標準の対応

当社網と TTC 標準の対応を表 11-1 に示す。具体的なパラメータは、別途協議の上、決定とする。

表 11-1 JJ-90.31 対応表

	フィールド名	定義	接続事業者網間仕様	備考	
ヘッダ部	ID	問合せの識別子	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	QR	メッセージの種別	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	QPCODE	質問の種別	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	AA	権威サーバからの直接応答であることの識別子	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	TC	データサイズ切り落とし実施有無の識別子	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	RD	再帰問合せ要望	JJ-90.31 に従う		
	RA	再帰問合せ可否識別子	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	Z	予備（将来利用するためのリザーブ）	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	RCODE	回答の種別	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	QDCOUNT	質問部のエントリ数	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	ANCOUNT	回答部のリソースレコード数	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	NSCOUNT	権威部のリソースレコード数	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	ARCOUNT	追加情報部のリソースレコード数	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
質問部	QNAME	質問するドメイン名	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	QTYPE	問合せ種別	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	QCLASS	問合せクラス	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
回答部	NAME	所属するドメイン名	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	TYPE	RDATA フィールドの情報の意味	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	CLASS	RDATA フィールド内の情報のクラス	[RFC 1035]4.1.1 節に従う		
	TTL	リソースレコードがキャッシュ可能な時間	JJ-90.31 に従う		
	RDLENGTH	RDATA フィールドの長さ	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	RDATA	ORDER	複数の NAPTR リソースレコードがある場合の処理の順序	JJ-90.31 に従う	
		PREFERENCE	ORDER フィールドの値が同一である NAPTR リソースレコードの処理の優先度	JJ-90.31 に従う	
		FLAGS	リソースレコードの動作を指定	JJ-90.31 に従う	
		SERVICES	リソースレコードを対象としているサービスを指定	JJ-90.31 に従う	
		REGEXP	区切り文字 (delim-char 部) で区切られ、POSIX 拡張正規表現による置換規則 (ere 部) と置換対象となる文字列を指定	JJ-90.31 に従う	
REPLACEMENT	ドメイン出力時、REGEXP の代わりに使用 (REGEXP とは排他で、使用しないときは”.”を指定)	JJ-90.31 に従う			
権威部	NAME	所属するドメイン名	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	TYPE	RDATA フィールドの情報の意味	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	CLASS	RDATA フィールド内の情報のクラス	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	TTL	リソースレコードがキャッシュ可能な時間	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	RDLENGTH	RDATA フィールドの長さ	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	RDATA	TYPE フィールドと CLASS フィールドで指定された形式のリソースデータ	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
追加情報部	NAME	所属するドメイン名	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		
	TYPE	RDATA フィールドの情報の意味	[RFC 1035]4.1.3 節に従う		

	CLASS	RDATA フィールド内の情報のクラス	[RFC 1035]4.1.3 節に従う	
	TTL	リソースレコードがキャッシュ可能な時間	[RFC 1035]4.1.3 節に従う	
	RDLENGTH	RDATA フィールドの長さ	[RFC 1035]4.1.3 節に従う	
	RDATA	TYPE フィールドと CLASS フィールドで指定された形式のリソースデータ	[RFC 1035]4.1.3 節に従う	

11.3. PSTN 接続

“E2U+pstn:sip” を優先とする NAPTR リソースレコードを含む回答部を返答する場合、当該呼は対移動体事業者接続用インタフェース仕様に従う。

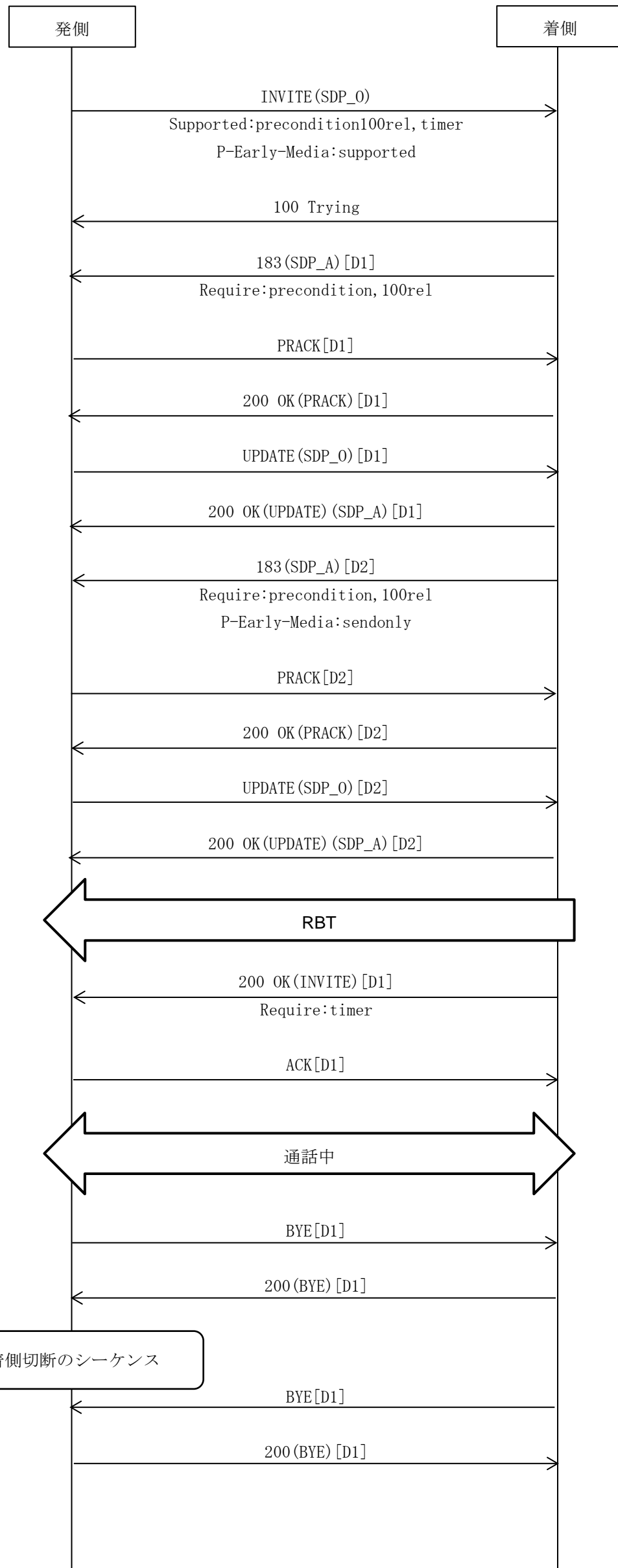
12. 接続シーケンス

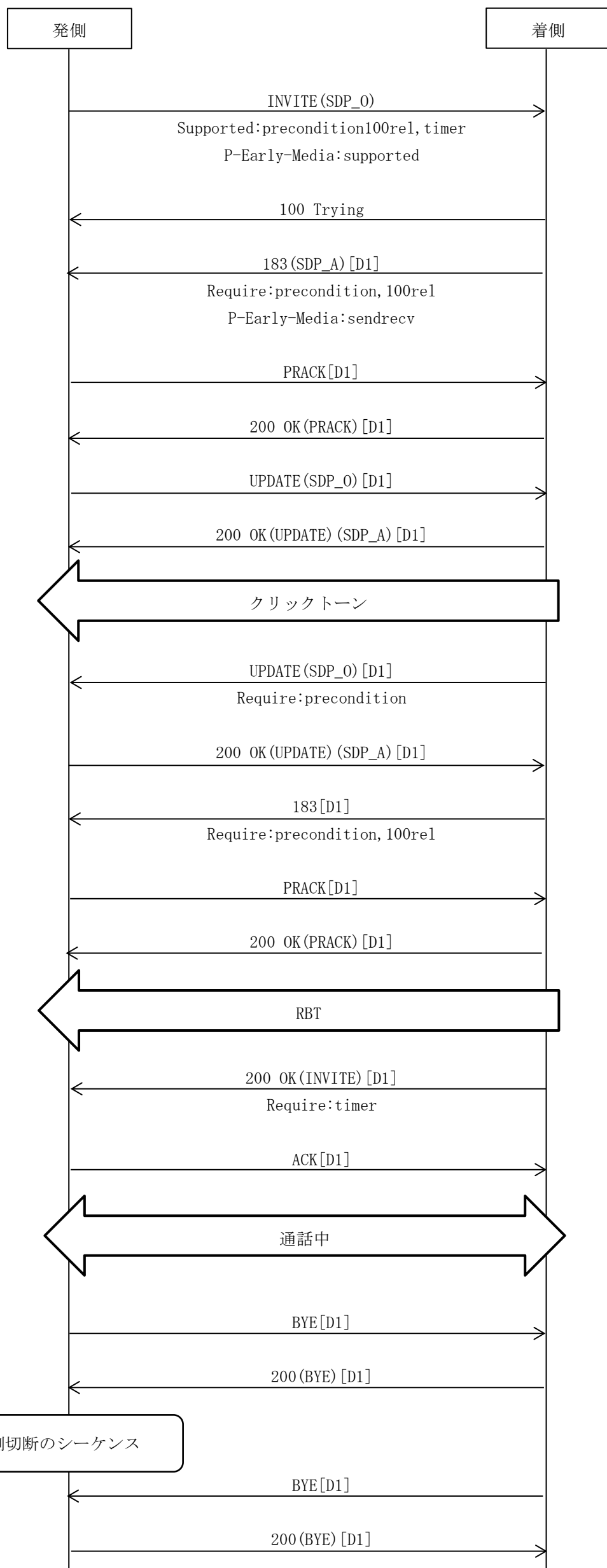
表 12-1 に示す代表的なシーケンス一覧を示す。

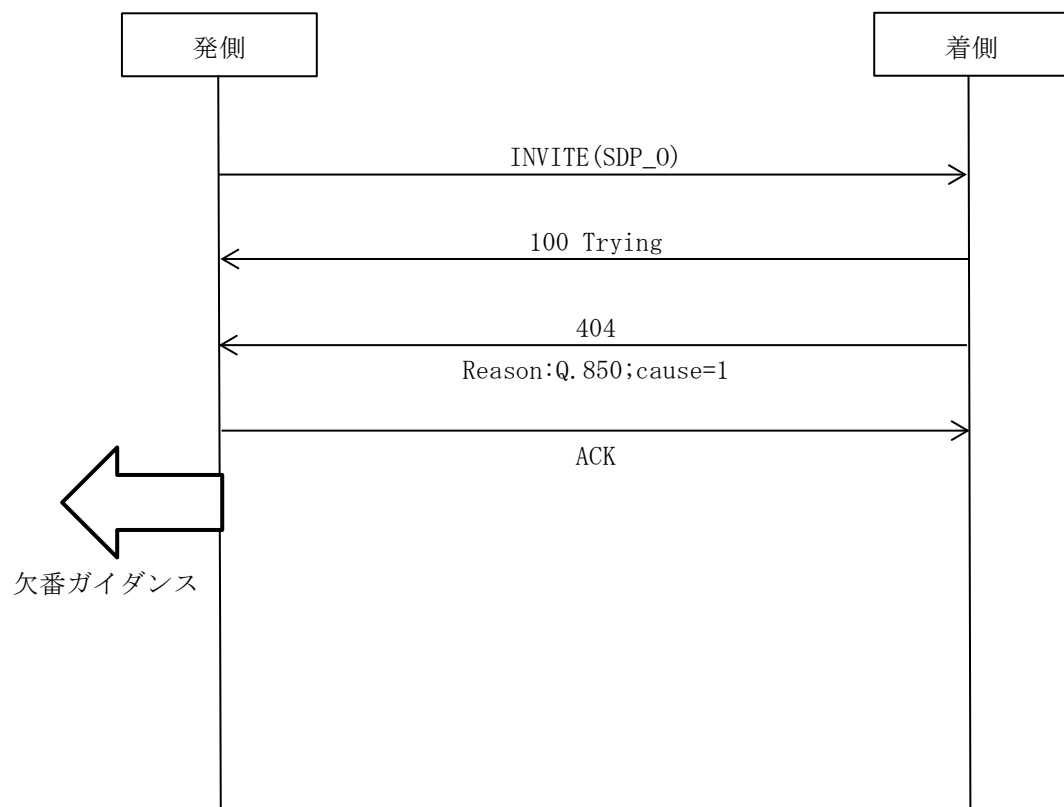
表 12-1 シーケンス分類一覧

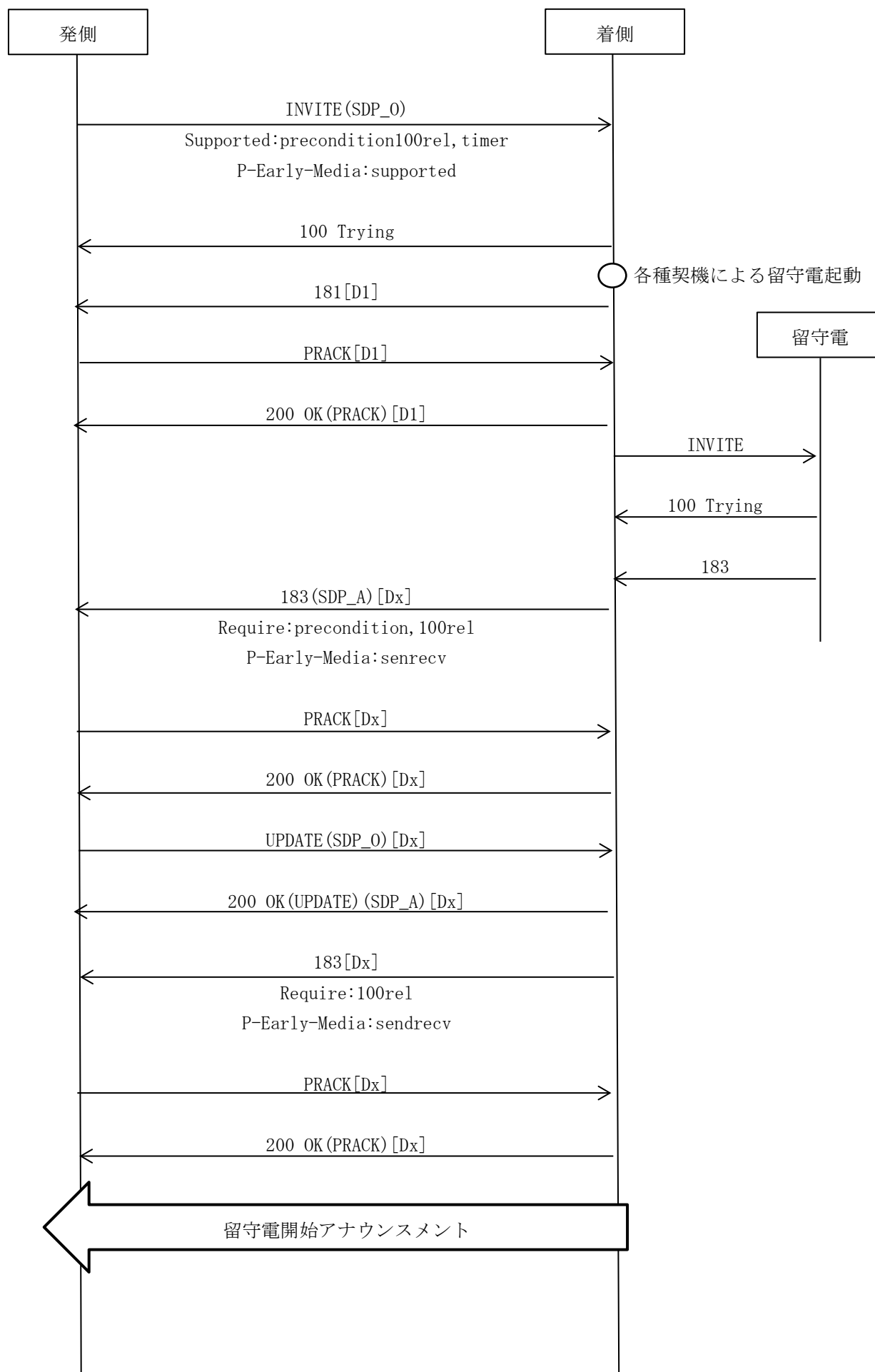
No. ※1	シーケンス分類
1	基本接続 (LTE 在圏)
2	基本接続 (3G 在圏)
3	不完了呼 (パターン 1: 欠番)
4	不完了呼 (パターン 2: セッション確立中のアナウンスメント)
5	不完了呼 (パターン 3: 通信リクエストを拒否する場合のアナウンスメント)
6	着信転送サービス (CDIV) (CFU)
7	着信転送サービス (CDIV) (CFNR)
8	呼出し音のカスタマイズ (待ちうた) (LTE 在圏)
9	呼出し音のカスタマイズ (待ちうた) (3G 在圏)
10	割込電話第 2 呼
11	ナンバーシェア (パターン 1)
12	ナンバーシェア (パターン 2)

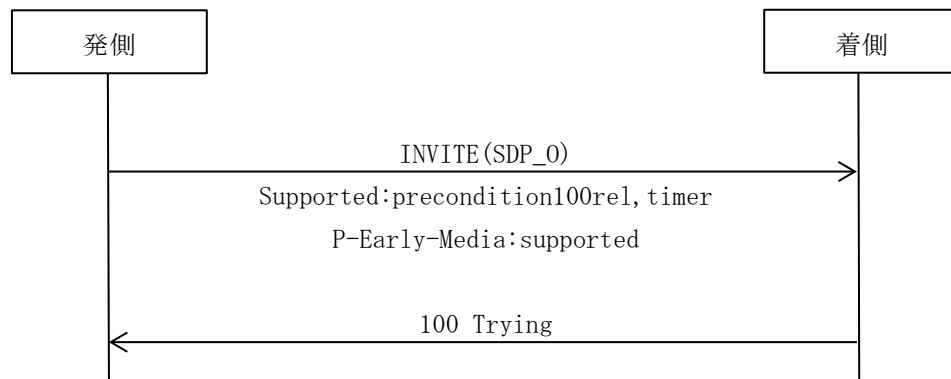
※ 1 : シーケンス No. 1, 2, 8, 9, 10, 11, 12 は当社網は着側の網
 シーケンス No. 3, 4, 5, 6, 7 は当社網は発側及び着側の網











無応答ガイドンスや応答拒否ガイドンス等、複数処理が行われるため複数ダイアログが存在するケースがある

